

令和5年度
市民アンケート報告書



令和5年9月

伊勢崎市

【目次】

I 調査の概要

1 調査の目的	4
2 調査の方法	4
3 市内各地区の人口	4
4 回収の状況	5
5 調査項目	7
6 報告書の留意点	7

II 調査の結果

1 回答者の属性	
(1) 性別	9
(2) 年齢	11
(3) 職業	12
(4) 伊勢崎市での居住年数	14
(5) 同居家族	16
(6) 居住地域	19
(7) 居住形態	21
(8) 勤務地・通学場所	23
(9) 子どもの年齢	25
2 住みやすさと定住意向	
(1) 住みよさについて	28
(2) 住みよい理由について	31
(3) 住みにくい理由について	36
(4) 定住意向について	41
3 現行の取り組みへの評価	
(1) 施策別の満足度・重要度	44
①調査年度別の満足度・重要度順位	47
②年代別の満足度・重要度	49
③地区別の満足度・重要度	51
(2) 施策別の満足度・重要度の散布図	53
(3) 施策別分析	65

4	分野別の意見	
(1)	健康・医療分野	107
(2)	福祉分野	112
(3)	都市基盤分野	122
(4)	産業・観光分野	127
(5)	安心安全分野	132
(6)	環境分野	137
(7)	教育分野	142
(8)	生涯学習・スポーツ・文化分野	147
(9)	協働・共生分野	152
(10)	行財政分野	162
5	現在の市と将来の市について	
(1)	伊勢崎市への愛着	191
(2)	現在と将来の市のイメージ	194
(3)	今後重要だと思うこと	204
(4)	将来不安なこと	218
6	自由意見	223
Ⅲ 総括		
1	意見の総括	
(1)	回答者の属性	226
(2)	住みやすさと定住意向	226
(3)	現行の取り組みへの評価	227
(4)	分野別の意見	229
(5)	現在の市と将来の市について	238
(6)	自由意見	241
2	重点分野ごとに他分野と横断的に取り組む課題	242
3	重点を置くべき取り組み	245
Ⅳ 参考資料		
	市民アンケート調査票	248

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、市民意識の動向と現在の市民の多様なニーズを統計的に把握し、その結果を第3次伊勢崎市総合計画（以下、総合計画）の策定及び今後の市政運営の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査の方法

- (1) 調査地域 伊勢崎市全域
- (2) 調査対象者 伊勢崎市に在住する満18歳以上の人
- (3) サンプル数 2,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 実施方法 調査票を郵送し、回答を返信用封筒にて返送
又は専用ページからインターネットで回答
- (6) 調査期間 令和5年6月9日（金）～6月30日（金）

3 市内各地区の人口

（令和5年6月1日現在）

	人口			割合 (%)
	男性（人）	女性（人）	計（人）	
伊勢崎地区	60,546	60,728	121,274	61.4
赤堀地区	11,647	11,398	23,045	11.7
東地区	12,956	12,802	25,758	13.0
境地区	13,880	13,577	27,457	13.9
計	99,029	98,505	197,534	100.0

※外国人を除く

4 回収の状況

配布数 (人)A	回収数 (人)B	回収率 (%)B/A*100	無効回答数 (人)C	有効回答数 (人)D	有効回答率 (%)D/A*100
2,000	545	27.3	0	545	27.3

※無効回答は、調査票への記載が全くなかったもの。

・性別

	有効回答数 (人)	割合 (%)	配布数 (人)	有効回収率 (%)
男性	233	42.8	1,026	22.7
女性	308	56.5	974	31.6
その他	0	0	0	-
無回答	3	0.6	-	-
無効回答	1	0.2	-	-
計	545	100.0	2,000	27.3

・年代別

	有効回答数(人)	割合 (%)	配布数(人)	有効回収率 (%)
18～29 歳	38	7.0	317	12.0
30 歳代	68	12.5	283	24.0
40 歳代	102	18.7	377	27.1
50 歳代	80	14.7	376	21.3
60 歳代	111	20.4	295	37.6
70 歳以上	142	26.1	352	40.3
無回答	4	0.7	-	-
計	545	100.0	2,000	27.3

・地区別

	有効回答数 (人)	割合(%)	配布数(人)	有効回収率 (%)
北地区	26	4.8	81	32.1
南地区	15	2.8	71	21.1
殖蓮地区	57	10.5	200	28.5
茂呂地区	40	7.3	167	24.0
三郷地区	36	6.6	129	27.9
宮郷地区	56	10.3	272	20.6
名和地区	39	7.2	150	26.0
豊受地区	55	10.1	158	34.8
伊勢崎地区計	324	59.4	1,228	26.4
赤堀地区	61	11.2	233	26.2
東地区	74	13.6	261	28.4
境地区	76	13.9	278	27.3
無回答	10	1.8	-	-
計	545	100.0	2,000	27.3

5 調査項目

(1) 回答者の属性

回答者の性別、年齢、職業、同居家族、居住年数、居住地域及び居住形態を調査し、属性から傾向を把握する。

(2) 住みやすさと定住意向

市民が感じる本市の住みよさに対する考えを調査し、総合計画の策定にあたっての資料とする。

(3) 現行の取り組みへの評価（施策の満足度・重要度）

総合計画に体系付けられた41施策について、現在の「満足度」と今後の「重要度」を調査し、市民のまちづくりに対するニーズや意識などを把握する。

(4) 分野別の意見

現行の総合計画の10の分野に関する市民の考えを調査し、総合計画における各分野の政策・施策の策定にあたっての資料とする。

(5) 現在と将来の市について

市民が感じる現在の本市のイメージと将来あるべき本市のイメージに関する考えを調査し、総合計画の策定にあたっての資料とする。

6 報告書の留意点

(1) 基礎となるべき実数は、有効回答数とした。

(2) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出し、すべてパーセント（％）で表した。そのためパーセントの合計が100%にならないことがある。

(3) 複数回答が可能な質問では、比率算出の基礎数は有効回答者数とし、その項目を選んだ人が有効回答者数からみて何%なのかという見方をした。そのため、各項目の比率の合計は通常100%を超える。

(4) 本報告書の回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載している場合がある。

(5) 質問において、記入のなかった回答については全て「無回答」として扱っている。

(6) 単一回答の質問において複数回答した回答や、複数回答が可能な質問において所定の選択肢数以上の回答をした回答は全て「無効回答」として扱っている。

(7) 地区別回答で「伊勢崎地区計」を表示している場合は、「伊勢崎地区」、「赤堀地区」、「東地区」、「境地区」の4地区を比較するコメントとした。

(8) 施策の名称及び施策体系の番号は、総合計画の基本計画体系図から引用した。

Ⅱ 調査の結果

1 回答者の属性

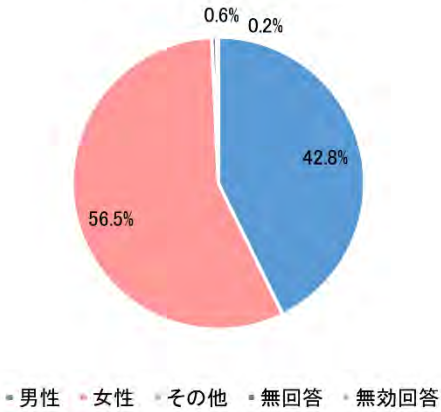
(1) 性別

性別については、「男性」が233人(42.8%)、「女性」が308人(56.5%)、「その他」が0人(0.0%)、「無回答」が3人(0.6%)、「無効回答」が1人(0.2%)となった。

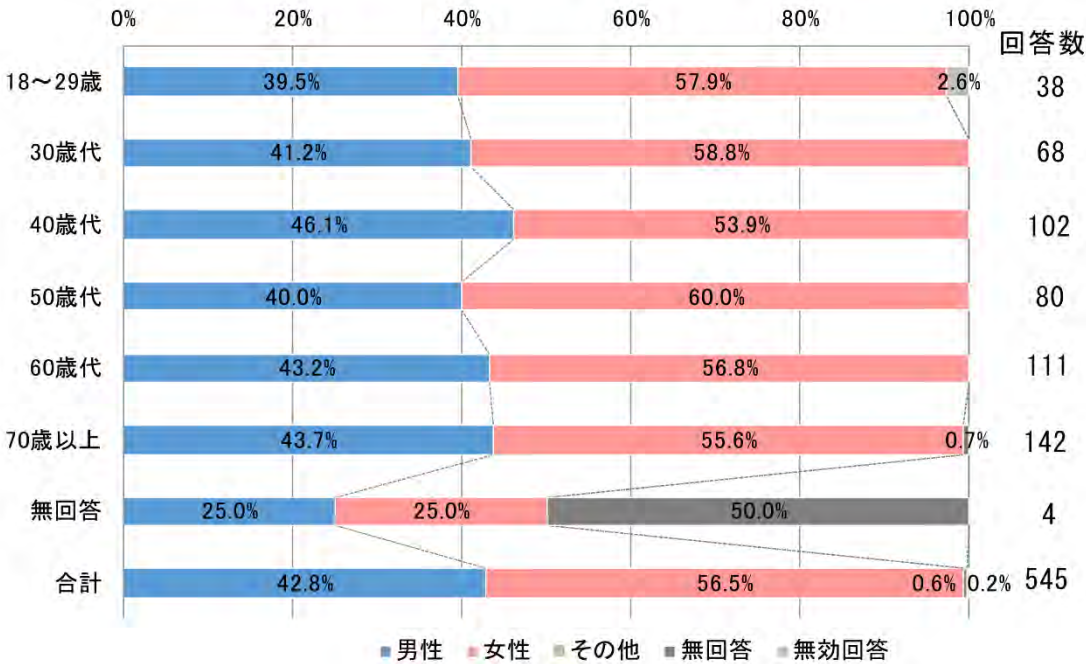
回答者の性別

	回答数	割合
男性	233	42.8
女性	308	56.5
その他	0	0.0
無回答	3	0.6
無効回答	1	0.2
合計	545	100.0

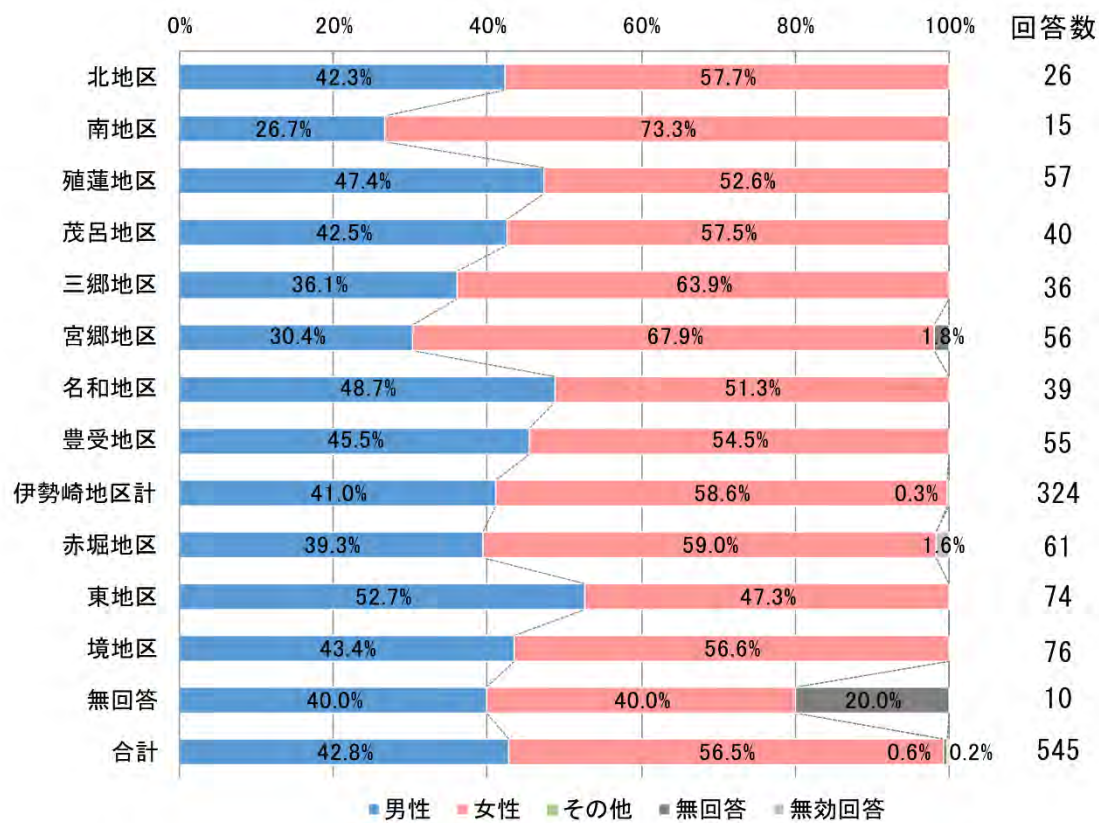
回答者の性別(割合)



年代別の回答者の性別(割合)



地区別の回答者の性別（割合）



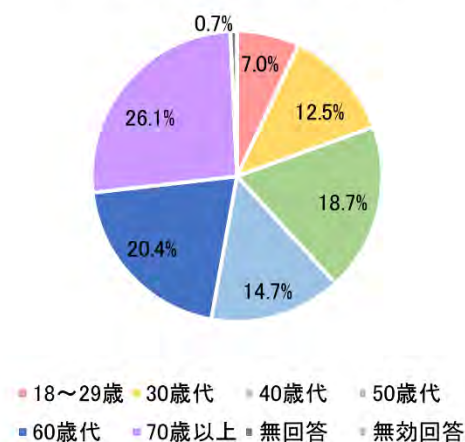
(2) 年齢

年齢については、「18～29歳」が38人(7.0%)、「30歳代」が68人(12.5%)、「40歳代」が102人(18.7%)、「50歳代」が80人(14.7%)、「60歳代」が111人(20.4%)、「70歳以上」が142人(26.1%)、「無回答」が4人(0.7%)、「無効回答」が0人(0.0%)となった。

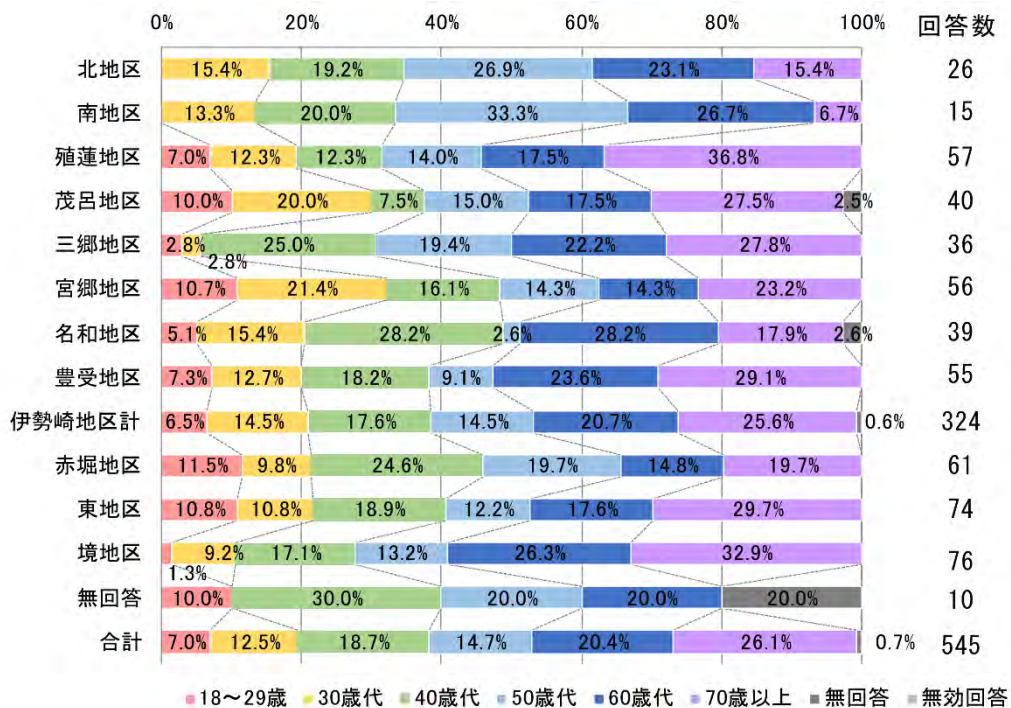
回答者の年齢

	回答数	割合
18～29歳	38	7.0
30歳代	68	12.5
40歳代	102	18.7
50歳代	80	14.7
60歳代	111	20.4
70歳以上	142	26.1
無回答	4	0.7
無効回答	0	0.0
合計	545	100.0

回答者の年齢(割合)



地区別の回答者の年齢(割合)



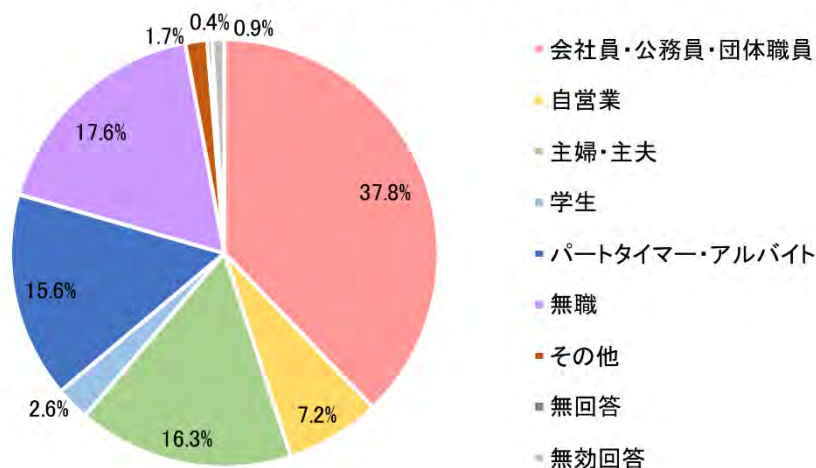
(3) 職業

職業については、「会社員・公務員・団体職員」が206人(37.8%)、「自営業」が39人(7.2%)、「主婦・主夫」が89人(16.3%)、「学生」が14人(2.6%)、「パートタイマー・アルバイト」が85人(15.6%)、「無職」が96人(17.6%)、「その他」が9人(1.7%)、「無回答」が2人(0.4%)、「無効回答」が5人(0.9%)となった。

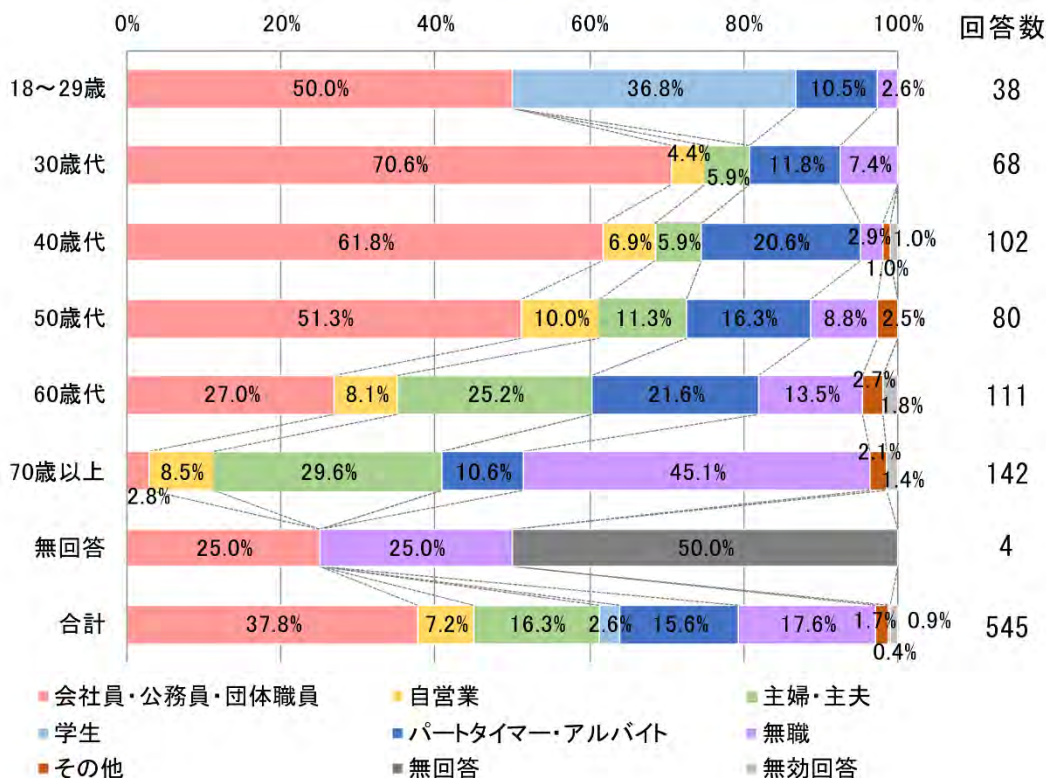
回答者の職業

	回答数	割合
会社員・公務員・団体職員	206	37.8
自営業	39	7.2
主婦・主夫	89	16.3
学生	14	2.6
パートタイマー・アルバイト	85	15.6
無職	96	17.6
その他	9	1.7
無回答	2	0.4
無効回答	5	0.9
合計	545	100.0

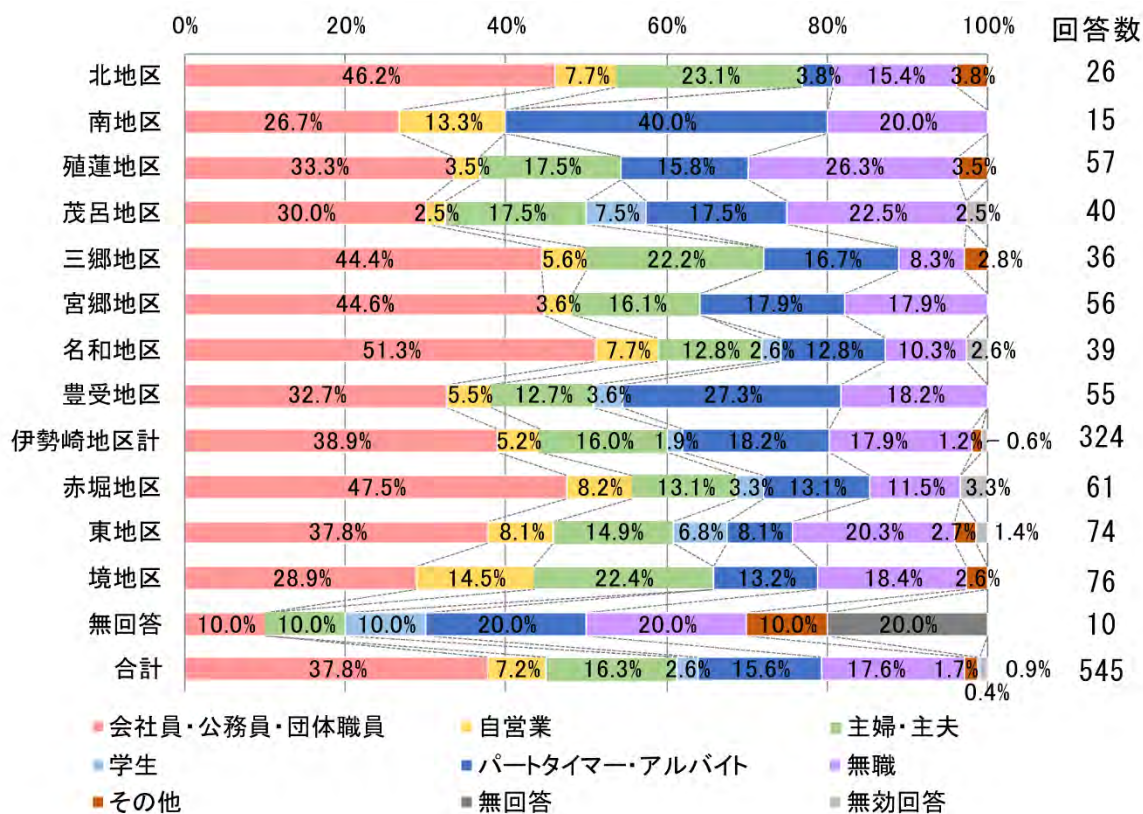
回答者の職業(割合)



年代別の回答者の職業（割合）



地区別の回答者の職業（割合）



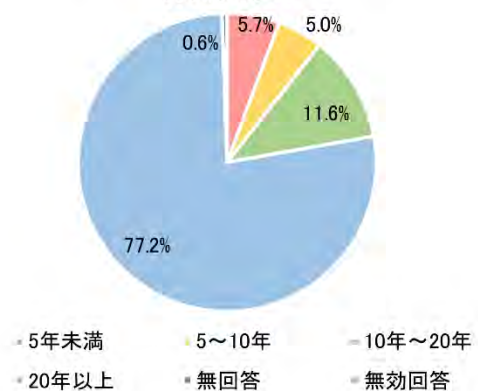
(4) 伊勢崎市での居住年数

伊勢崎市での居住年数については、「5年未満」が31人(5.7%)、「5年～10年」が27人(5.0%)、「10年～20年」が63人(11.6%)、「20年以上」が421人(77.2%)、「無回答」が3人(0.6%)、「無効回答」が0人(0.0%)となった。

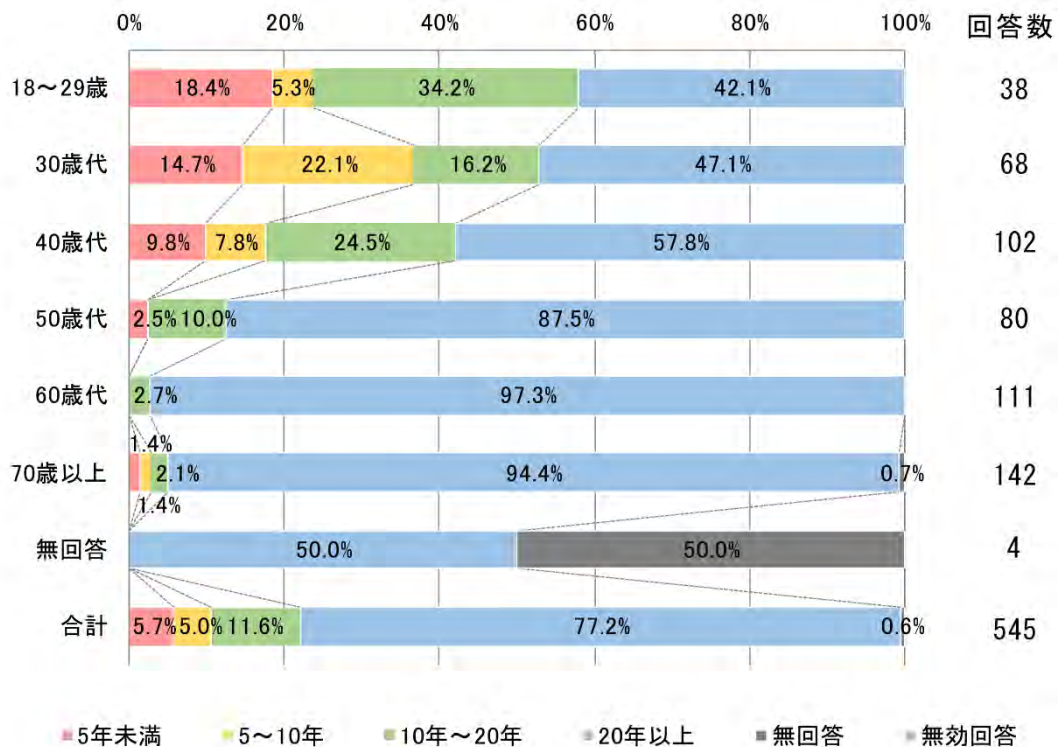
回答者の伊勢崎市での居住年数

	回答数	割合
5年未満	31	5.7
5年～10年	27	5.0
10年～20年	63	11.6
20年以上	421	77.2
無回答	3	0.6
無効回答	0	0.0
合計	545	100.0

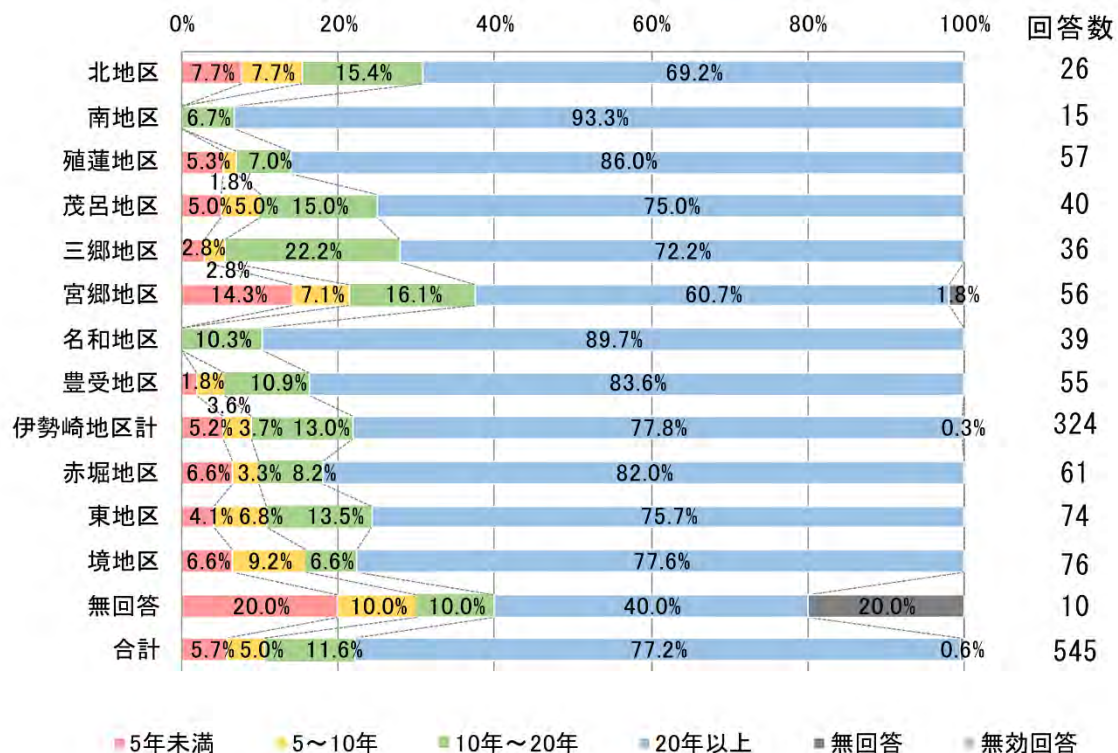
回答者の伊勢崎市での居住年数(割合)



年代別の回答者の伊勢崎市での居住年数(割合)



地区別の回答者の伊勢崎市での居住年数（割合）



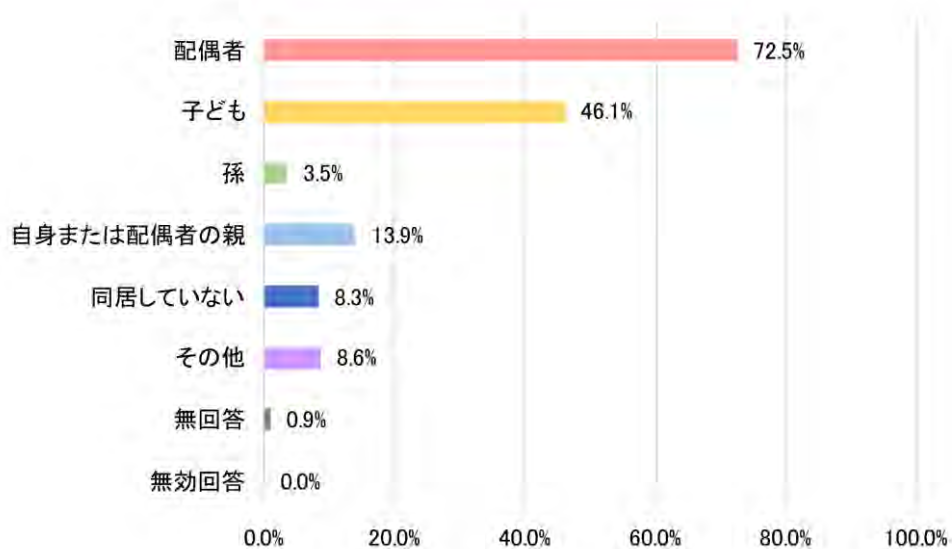
(5) 同居家族【複数回答】

同居家族については、「配偶者」が395人(72.5%)、「子ども」が251人(46.1%)、「孫」が19人(3.5%)、「自身または配偶者の親」が76人(13.9%)、「同居していない」が45人(8.3%)、「その他」が47人(8.6%)、「無回答」が5人(0.9%)、「無効回答」が0人(0.0%)となった。

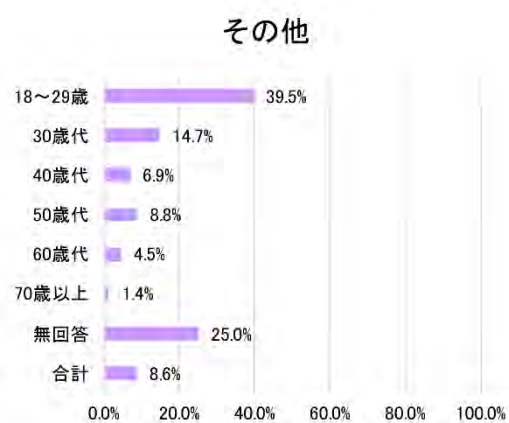
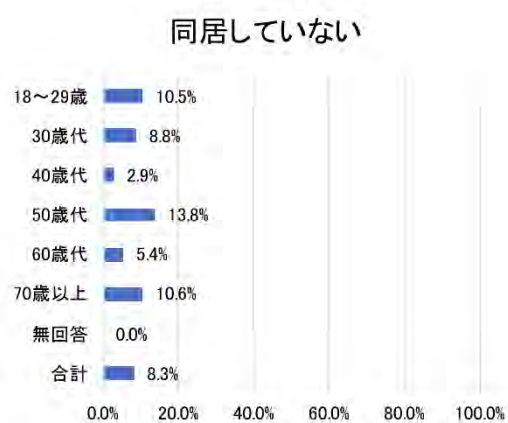
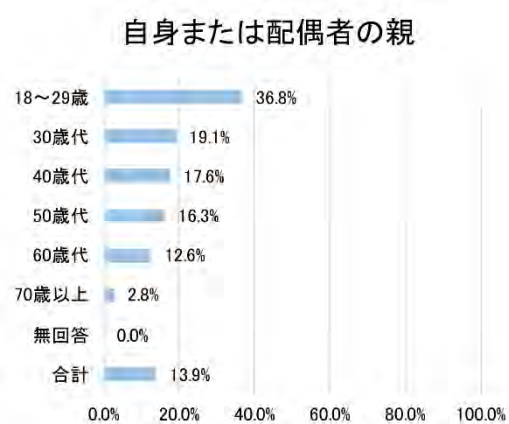
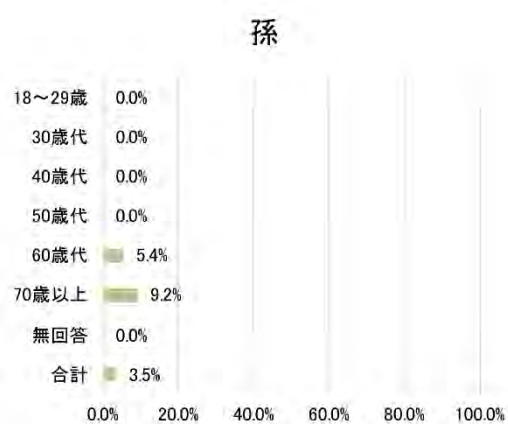
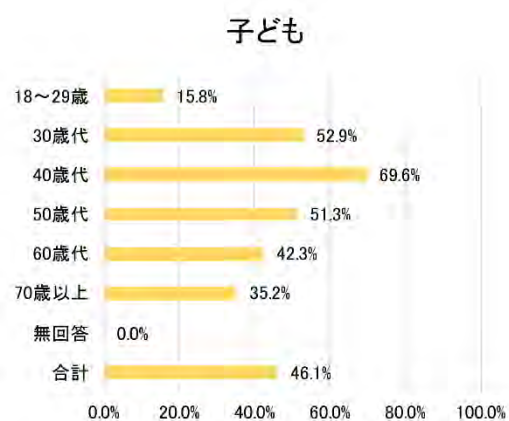
回答者の同居家族【複数回答】

	回答数	割合
配偶者	395	72.5
子ども	251	46.1
孫	19	3.5
自身または配偶者の親	76	13.9
同居していない	45	8.3
その他	47	8.6
無回答	5	0.9
無効回答	0	0.0
回答者数	545	100.0

回答者の同居家族（割合）

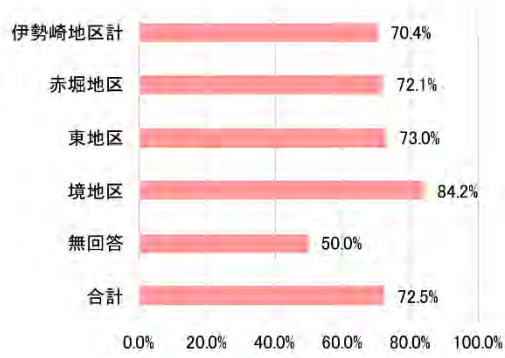


年代別の回答者の同居家族（割合）

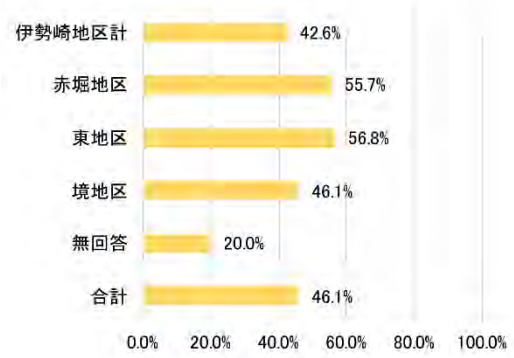


地区別の回答者の同居家族（割合）

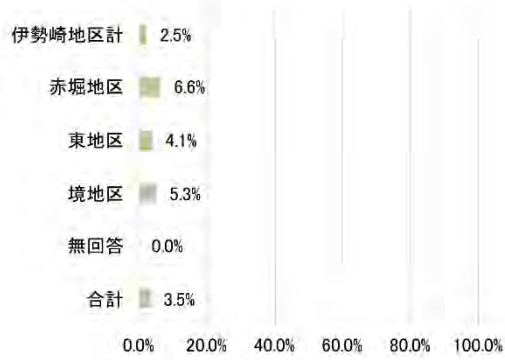
配偶者



子ども



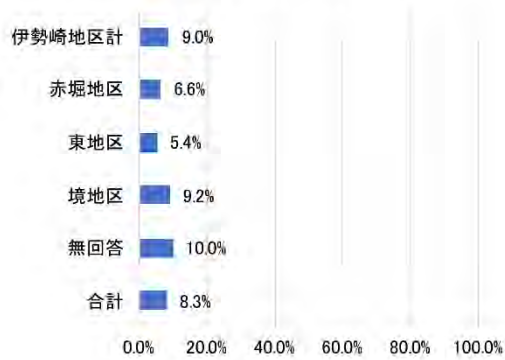
孫



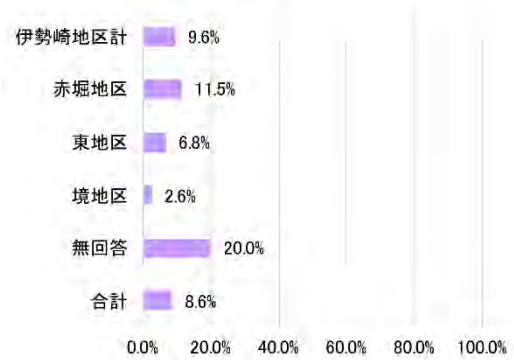
自身または配偶者の親



同居していない



その他



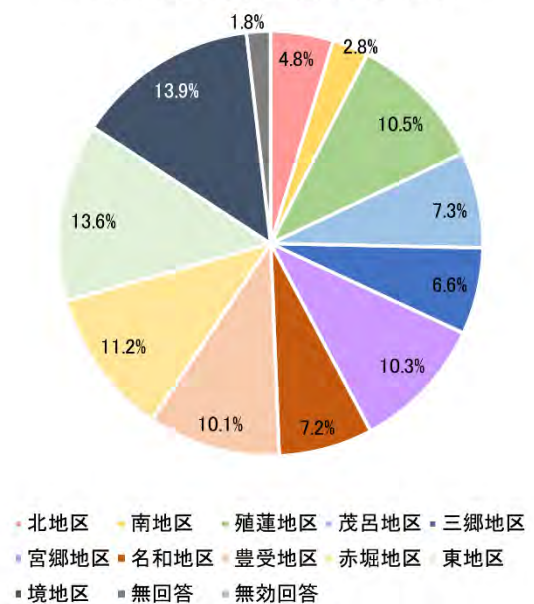
(6) 居住地域

居住地域については、「伊勢崎地区計」が324人(59.4%)、「赤堀地区」が61人(11.2%)、「東地区」が74人(13.6%)、「境地区」が76人(13.9%)、「無回答」が10人(1.8%)、「無効回答」が0人(0.0%)となった。

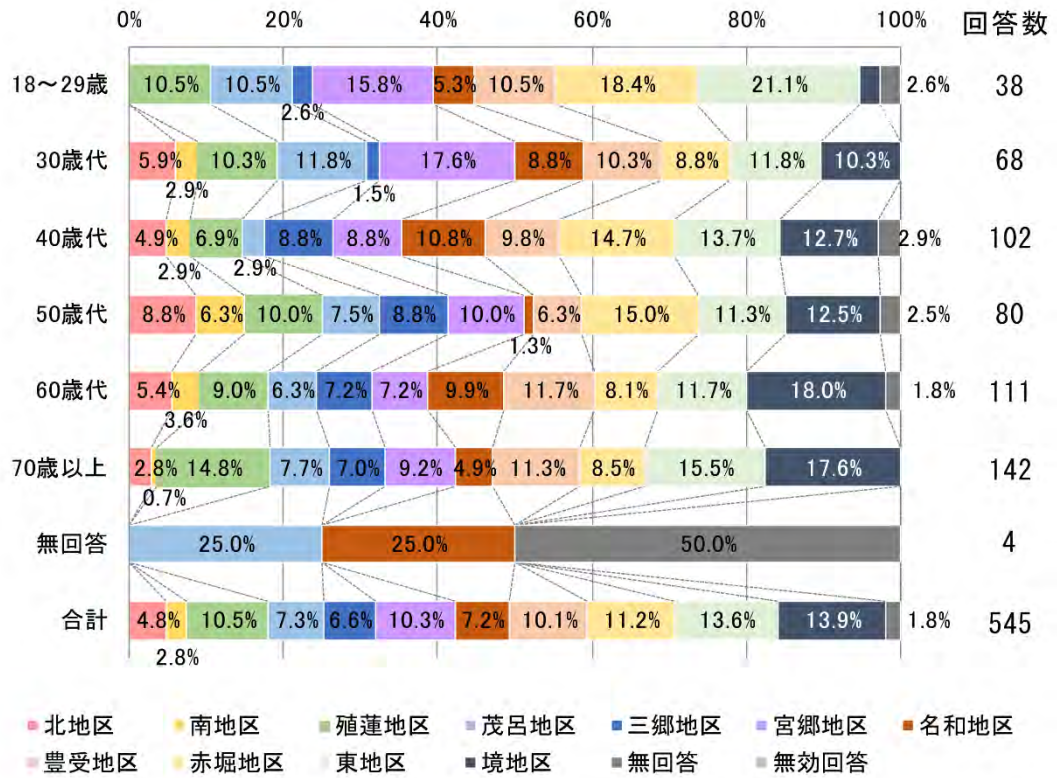
回答者の居住地域

	回答数	割合
北地区	26	4.8
南地区	15	2.8
殖蓮地区	57	10.5
茂呂地区	40	7.3
三郷地区	36	6.6
宮郷地区	56	10.3
名和地区	39	7.2
豊受地区	55	10.1
伊勢崎地区計	324	59.4
赤堀地区	61	11.2
東地区	74	13.6
境地区	76	13.9
無回答	10	1.8
無効回答	0	0.0
合計	545	100.0

回答者の居住地域(割合)



年代別の回答者の居住地（割合）



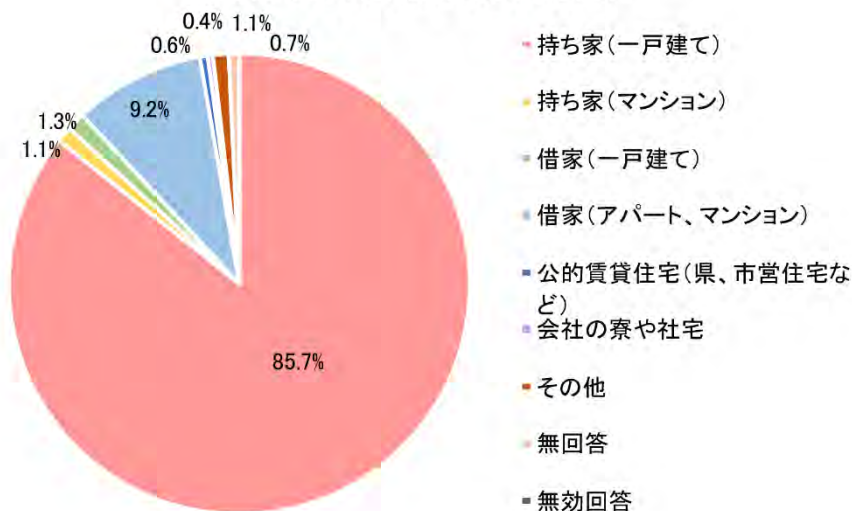
(7) 居住形態

居住形態については、「持ち家（一戸建て）」が467人(85.7%)、「持ち家（マンション）」が6人(1.1%)、「借家（一戸建て）」が7人(1.3%)、「借家（アパート、マンション）」が50人(9.2%)、「公的賃貸住宅（県・市営住宅など）」が3人(0.6%)、「会社の寮や社宅」が2人(0.4%)、「その他」が6人(1.1%)、「無回答」が4人(0.7%)、「無効回答」が0人(0.0%)となった。

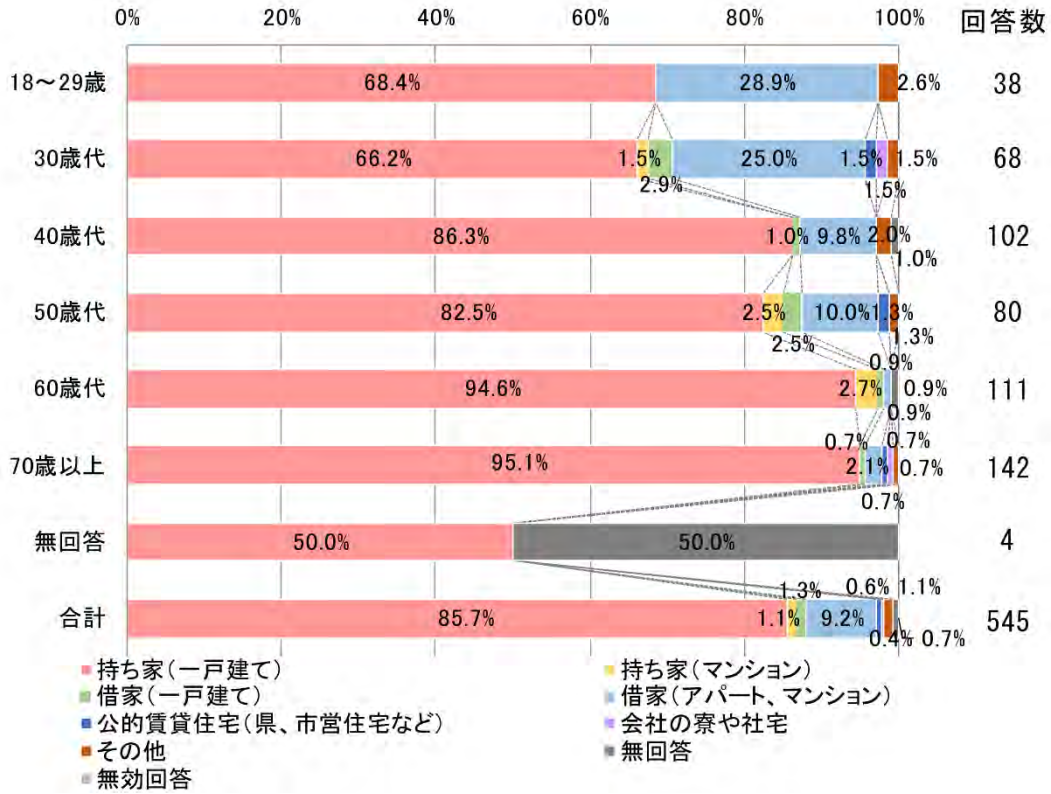
回答者の居住形態

	回答数	割合
持ち家（一戸建て）	467	85.7
持ち家（マンション）	6	1.1
借家（一戸建て）	7	1.3
借家（アパート、マンション）	50	9.2
公的賃貸住宅（県・市営住宅など）	3	0.6
会社の寮や社宅	2	0.4
その他	6	1.1
無回答	4	0.7
無効回答	0	0.0
合計	545	100.0

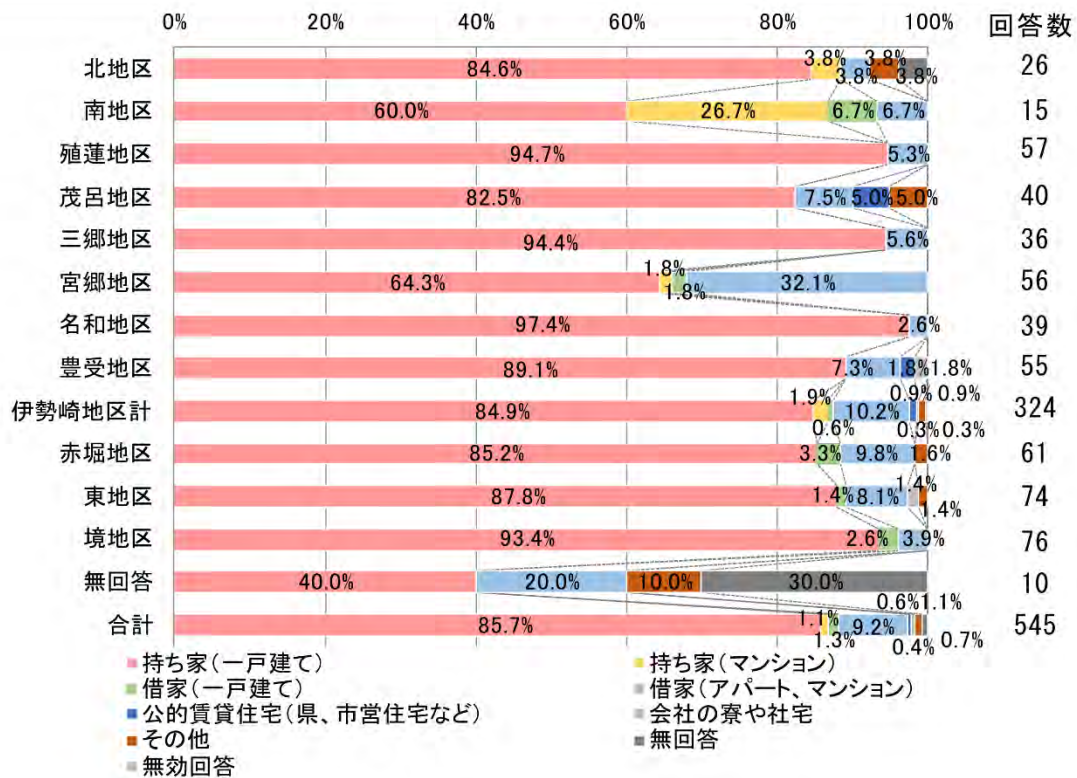
回答者の居住形態(割合)



年代別の回答者の居住形態（割合）



地区別の回答者の居住形態（割合）



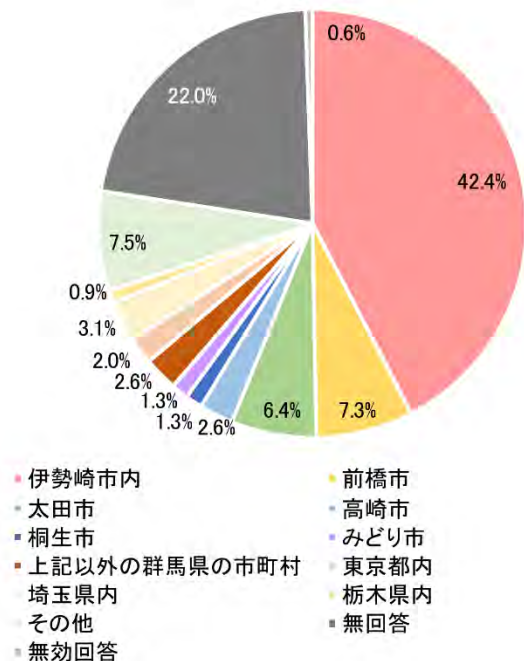
(8) 勤務地・通学場所

勤務地・通学場所については、「伊勢崎市内」が231人(42.4%)、「前橋市」が40人(7.3%)、「太田市」が35人(6.4%)、「高崎市」が14人(2.6%)、「桐生市」が7人(1.3%)、「みどり市」が7人(1.3%)、「それ以外の群馬県の市町村」が14人(2.6%)、「東京都内」が11人(2.0%)、「埼玉県内」が17人(3.1%)、「栃木県内」が5人(0.9%)、「その他」が41人(7.5%)、「無回答」が120人(22.0%)、「無効回答」が3人(0.6%)となった。

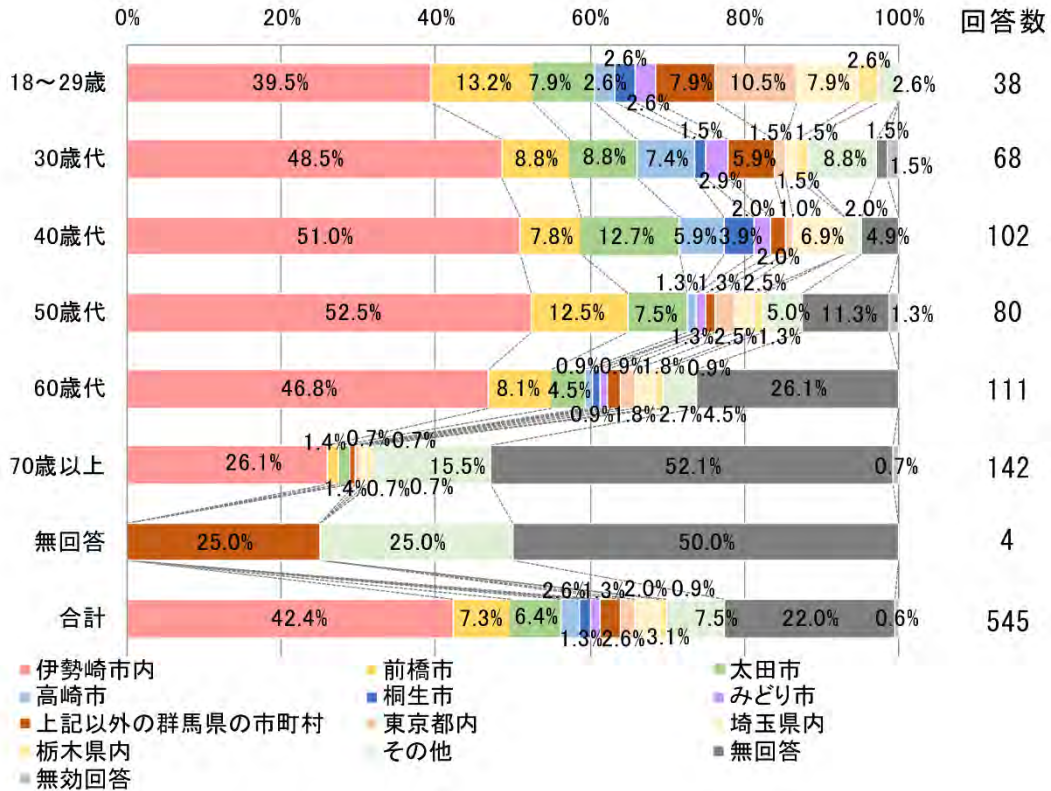
回答者の勤務地・通学場所

	回答数	割合
伊勢崎市内	231	42.4
前橋市	40	7.3
太田市	35	6.4
高崎市	14	2.6
桐生市	7	1.3
みどり市	7	1.3
それ以外の群馬県 の市町村	14	2.6
東京都内	11	2.0
埼玉県内	17	3.1
栃木県内	5	0.9
その他	41	7.5
無回答	120	22.0
無効回答	3	0.6
合計	545	100.0

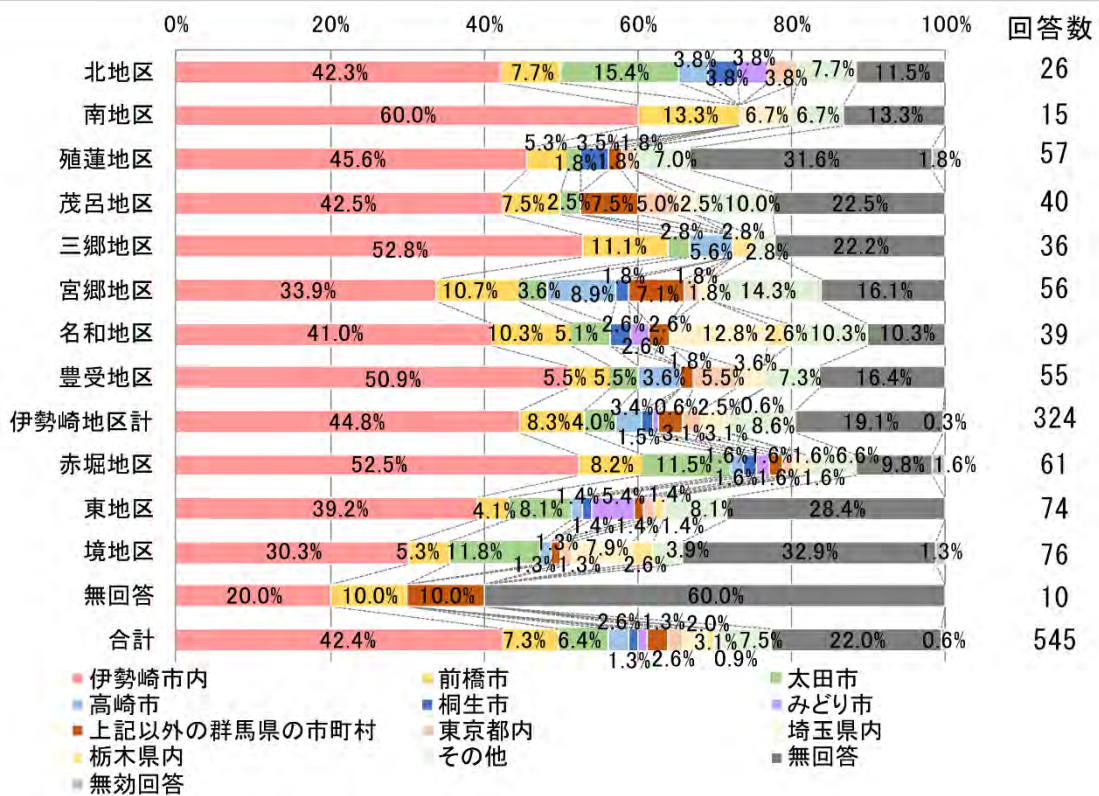
回答者の勤務地・通学場所
(割合)



年代別の回答者の勤務地・通学場所（割合）



地区別の回答者の勤務地・通学場所（割合）



(9) 子どもの年齢【複数選択】

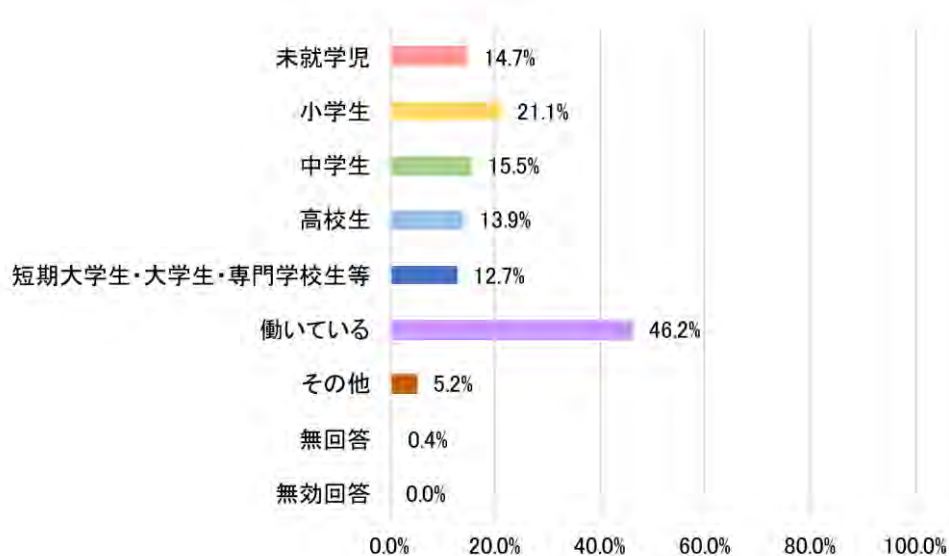
(5)で「子ども」と同居していると回答した回答者のみを対象としています。

子どもの年齢については、「未就学児」が37人(14.7%)、「小学生」が53人(21.1%)、「中学生」が39人(15.5%)、「高校生」が35人(13.9%)、「短期大学生・大学生・専門学校生等」が32人(12.7%)、「働いている」が116人(46.2%)、「その他」が13人(5.2%)、「無回答」が1人(0.4%)、「無効回答」が0人(0.0%)となった。

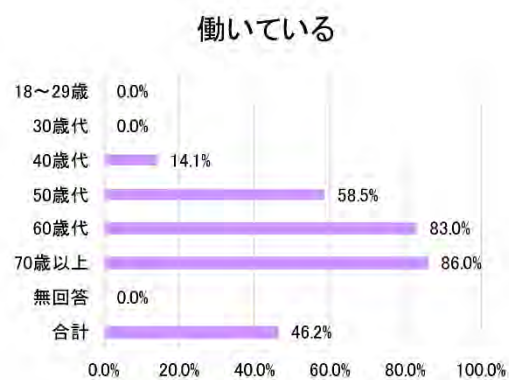
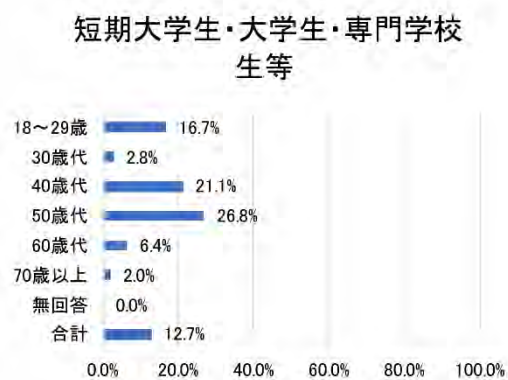
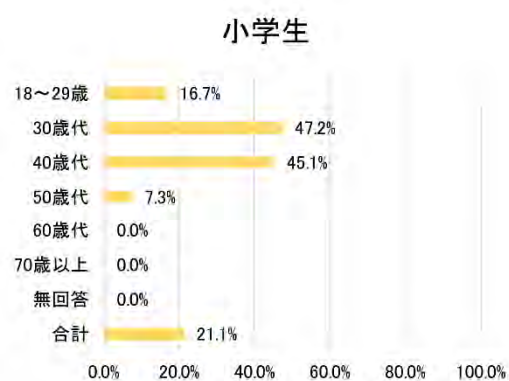
回答者の子どもの年齢【複数選択】

	回答数	割合
未就学児	37	14.7
小学生	53	21.1
中学生	39	15.5
高校生	35	13.9
短期大学生・大学生・専門学校生等	32	12.7
働いている	116	46.2
その他	13	5.2
無回答	1	0.4
無効回答	0	0.0
合計	251	100.0

子どもの年齢の回答（割合）



年代別の回答者の子どもの年齢（割合）



地区別の回答者の子どもの年齢（割合）

未就学児



小学生



中学生



高校生



短期大学生・大学生・専門学校生等



働いている



その他



2	住みやすさと定住意向
---	------------

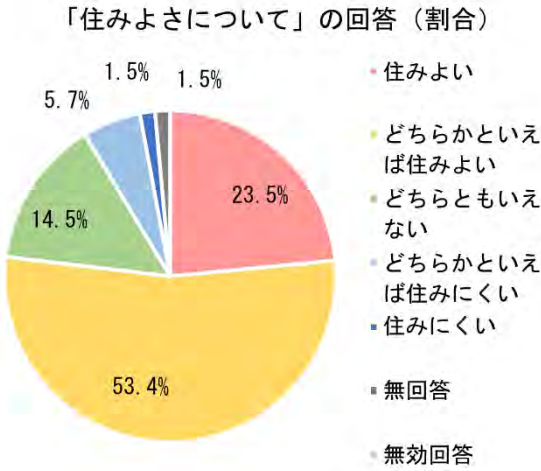
(1) 住みよさについて

あなたは、伊勢崎市の住みよさについて、どのように感じていますか。

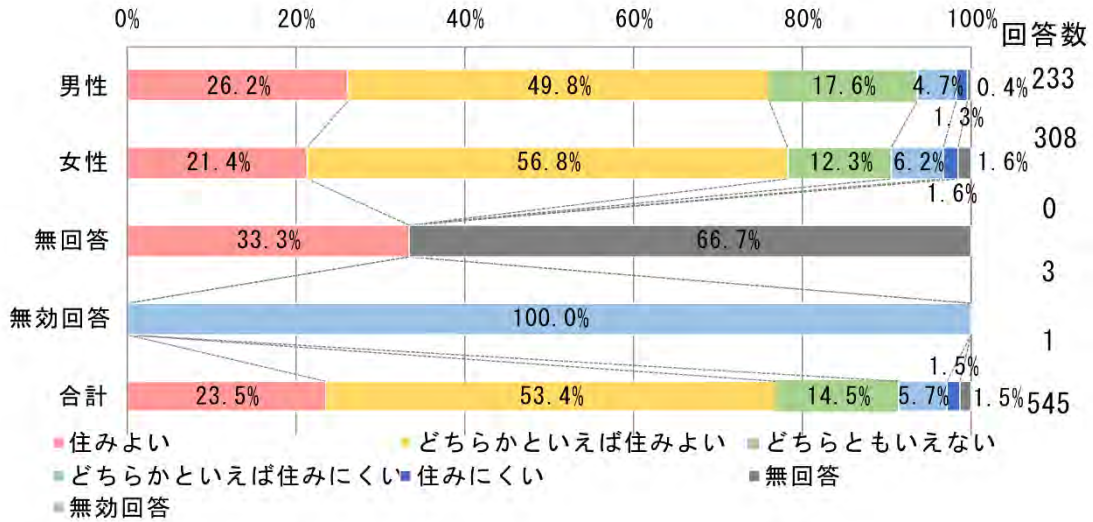
「どちらかといえば住みよい」を含め「住みよい」と回答した人は419人(76.9%)、「どちらともいえない」と回答した人は79人(14.5%)、「どちらかといえば住みにくい」を含め「住みにくい」と回答した人は39人(7.2%)、「無回答」が8人(1.5%)、「無効回答」が0人(0.0%)となり、多くの人が「どちらかといえば住みよい」を含め「住みよい」と回答した。

「住みよさについて」の回答

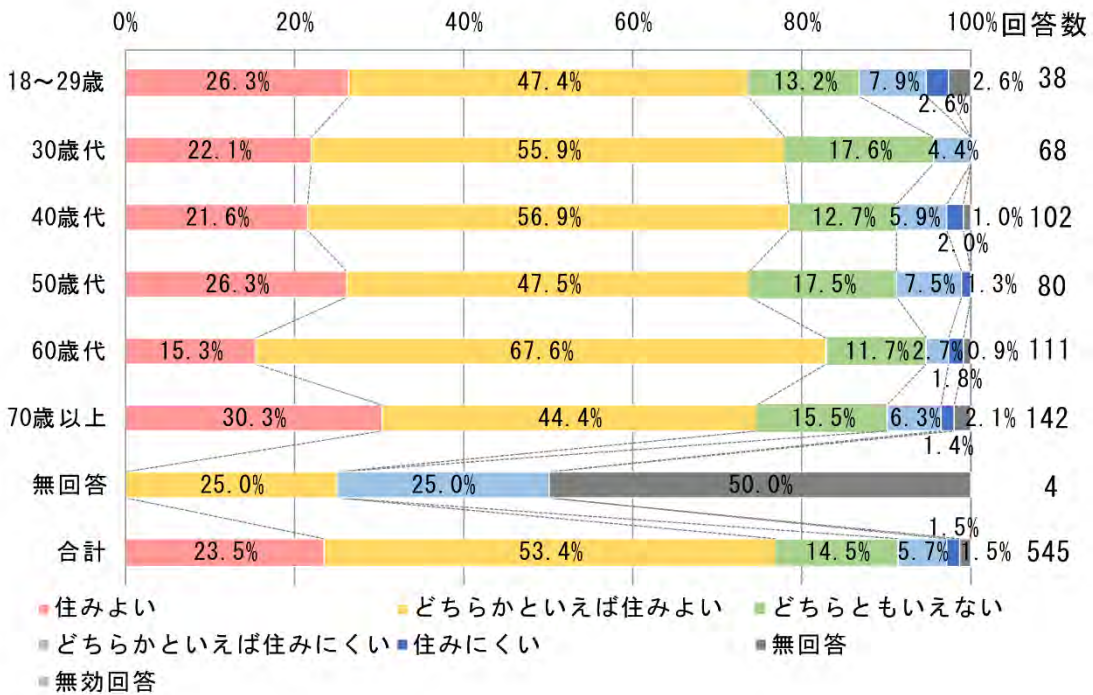
	回答数	割合
住みよい	128	23.5
どちらかといえば住みよい	291	53.4
どちらともいえない	79	14.5
どちらかといえば住みにくい	31	5.7
住みにくい	8	1.5
無回答	8	1.5
無効回答	0	0.0
合計	545	100.0



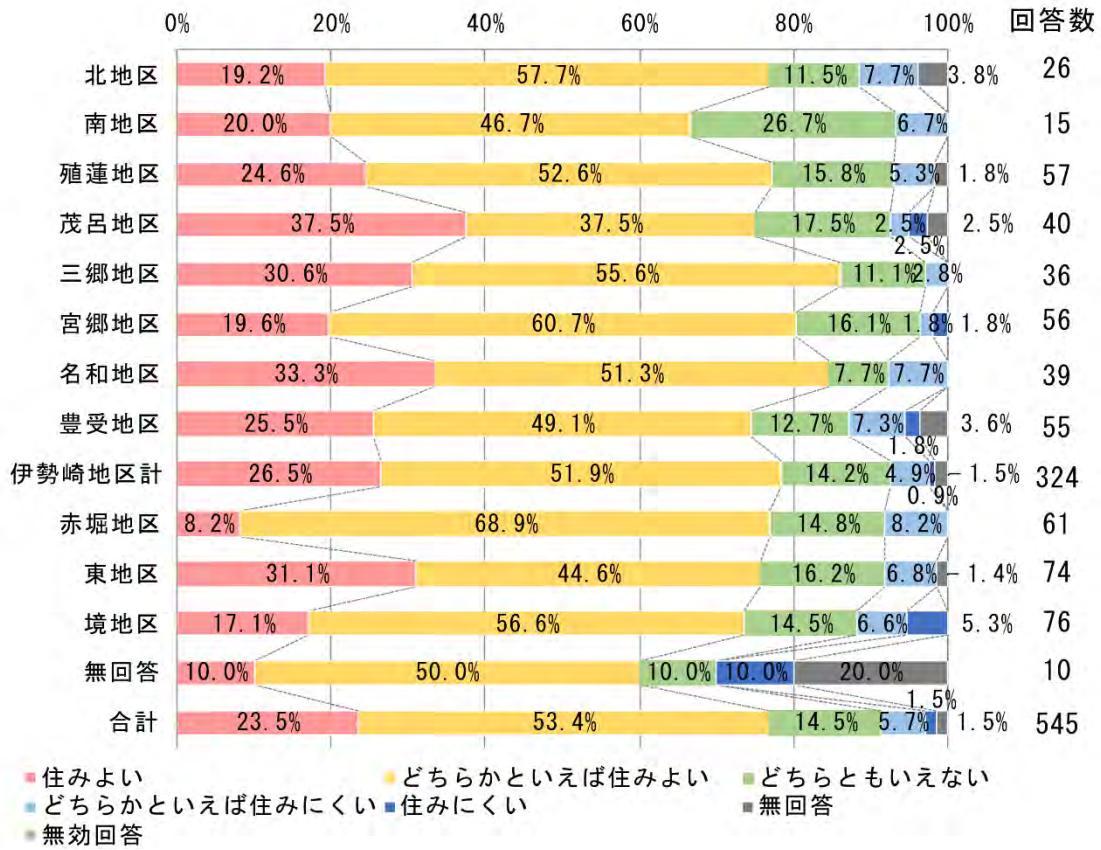
性別の「住みよさについて」の回答（割合）



年代別の「住みよさについて」の回答（割合）

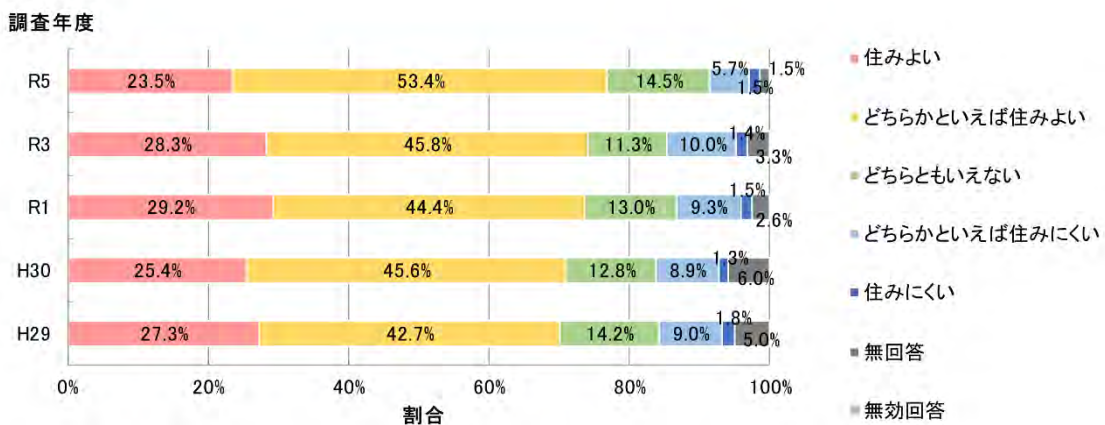


地区別の「住みよさについて」の回答（割合）



(参考)

「住みよさについて」の回答（割合）の調査年度比較



(2) 住みよい理由について【複数回答】

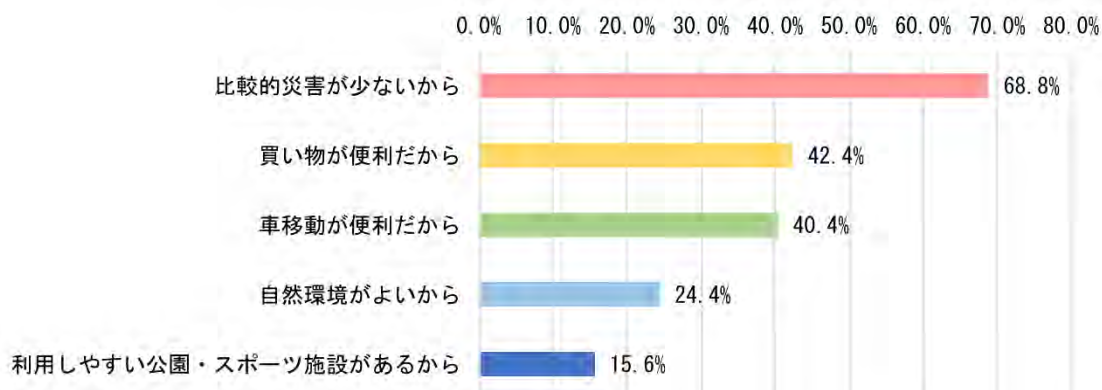
伊勢崎市の住みよいと思う点

「比較的災害が少ないから」と回答した人が最も多く、375人(68.8%)となっている。以下、「買い物が便利だから」が231人(42.4%)、「車移動が便利だから」が220人(40.4%)と続いている。

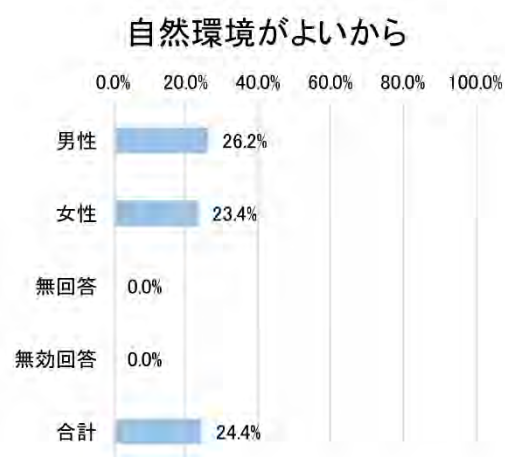
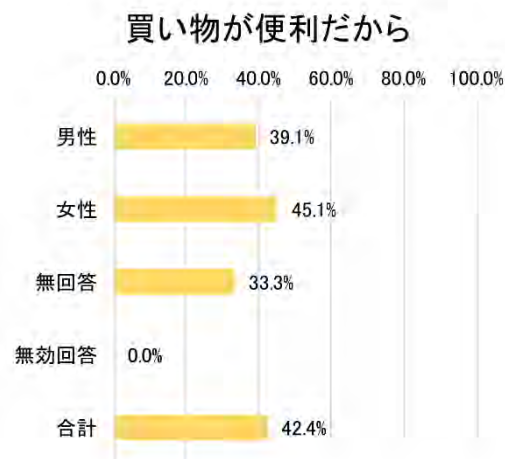
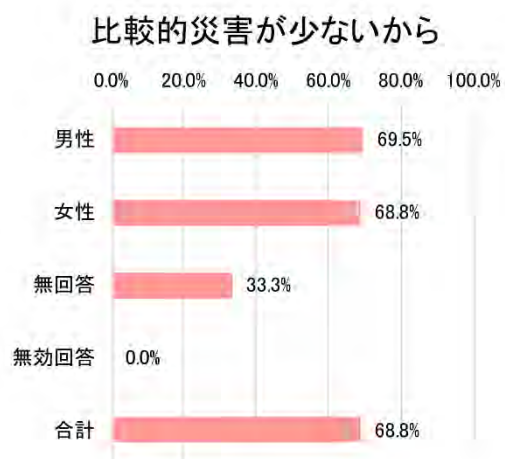
「住みよい理由について」の回答【複数回答】

	回答数	割合
比較的災害が少ないから	375	68.8
買い物が便利だから	231	42.4
車移動が便利だから	220	40.4
自然環境がよいから	133	24.4
利用しやすい公園・スポーツ施設があるから	85	15.6
通勤・通学先が近いから	84	15.4
地域での人間関係がよいから	58	10.6
医療体制が充実しているから	45	8.3
学校・図書館などの教育施設が充実しているから	18	3.3
子育てしやすい環境があるから	18	3.3
高齢者・障害者への対応が進んでいるから	13	2.9
バスなどの公共交通機関が便利だから	8	1.5
学校教育が充実しているから	8	1.5
魅力的な仕事があるから	3	0.6
その他	10	2.4
無回答	24	4.4
無効回答	9	1.7
回答者数	545	100.0

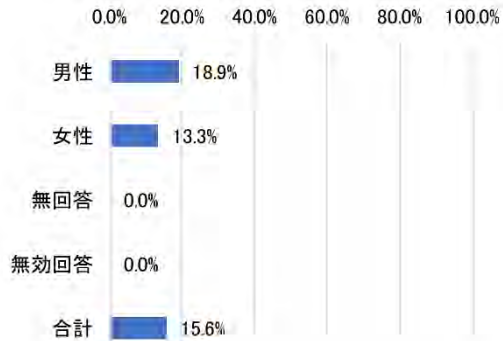
「住みよい理由について」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】



性別の「住みよい理由について」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】

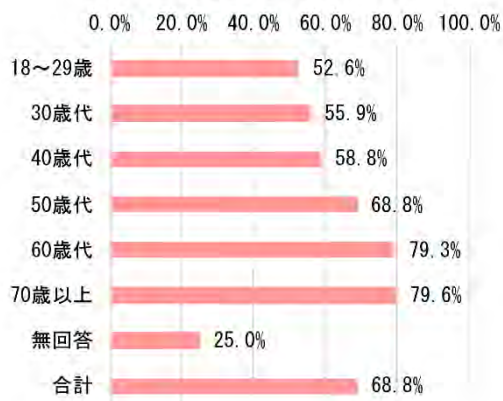


利用しやすい公園・スポーツ施設があるから

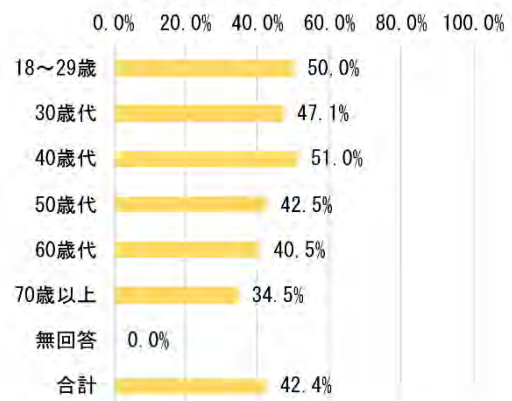


年代別の「住みよい理由について」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】

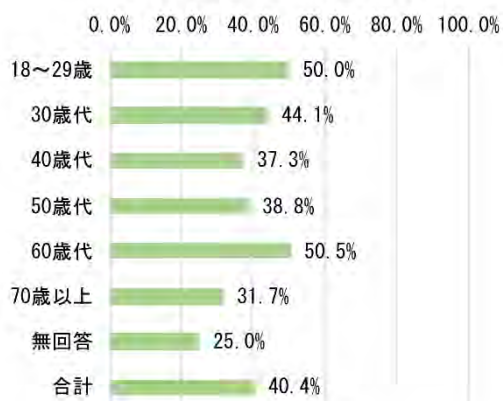
比較的災害が少ないから



買い物が便利だから



車移動が便利だから



自然環境がよいから

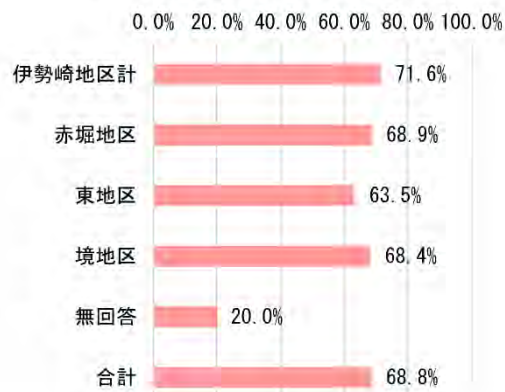


利用しやすい公園・スポーツ施設があるから

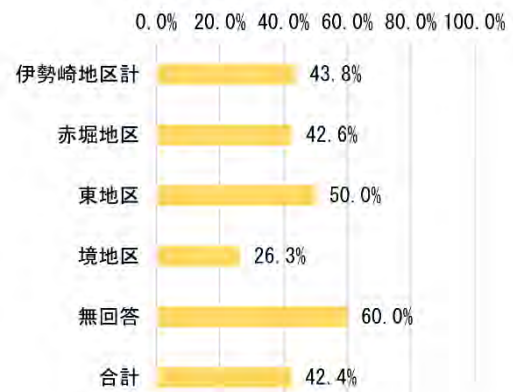


地区別の「住みよい理由について」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】

比較的災害が少ないから



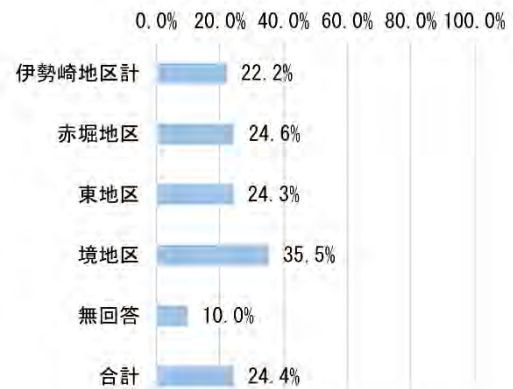
買い物が便利だから



車移動が便利だから



自然環境がよいから



利用しやすい公園・スポーツ施設があるから



- ◆ 「その他」の回答（主なもの）
 - ・ 産まれてからずっと住んでいるから
 - ・ 静かな住宅地域
 - ・ 物価が安いから

(3)住みにくい理由について【複数回答】

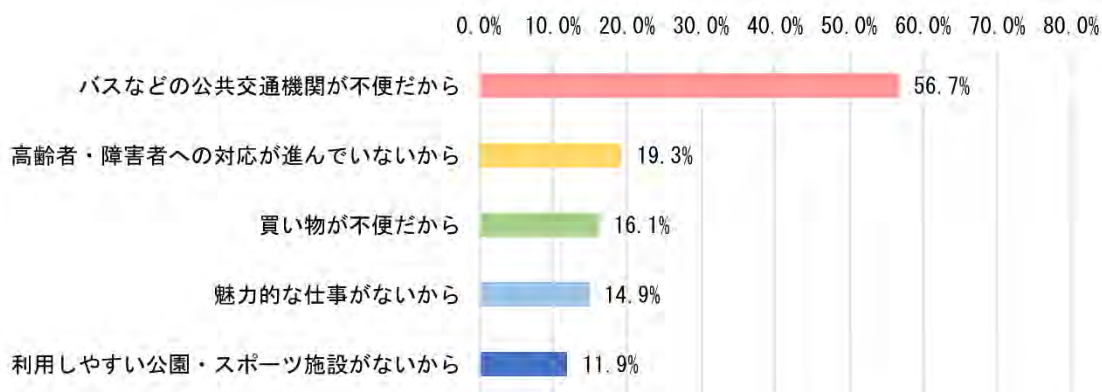
伊勢崎市の住みにくいと思う点

「バスなどの公共交通機関が不便だから」と回答した人が最も多く、309人(56.7%)となっている。以下、「高齢者・障害者への対応が進んでいないから」が105人(19.3%)、「買い物が不便だから」が88人(16.1%)と続いている。

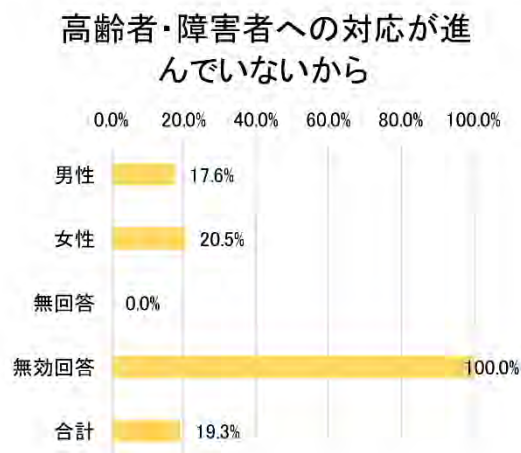
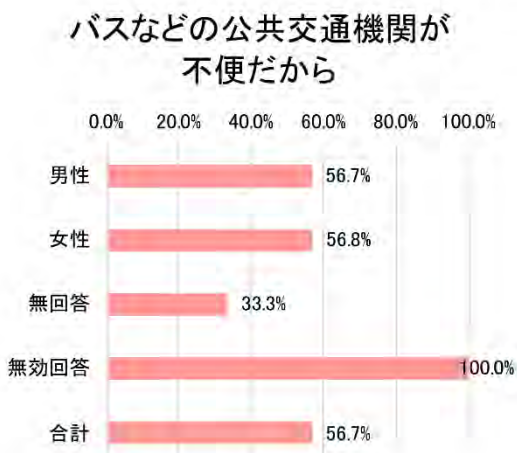
「住みにくい理由について」の回答【複数回答】

	回答数	割合
バスなどの公共交通機関が不便だから	309	56.7
高齢者・障害者への対応が進んでいないから	105	19.3
買い物が不便だから	88	16.1
魅力的な仕事がないから	81	14.9
利用しやすい公園・スポーツ施設がないから	65	11.9
医療体制が充実していないから	61	11.2
子育てしやすい環境がないから	47	8.6
地域での人間関係が悪いから	36	6.6
車移動が不便だから	35	6.4
通勤・通学先が遠いから	34	6.2
学校・図書館などの教育施設が充実していないから	33	6.1
自然環境が悪いから	22	4.0
学校教育が充実していないから	22	4.0
比較的災害が多いから	3	0.6
その他	43	7.9
無回答	85	15.6
無効回答	5	0.9
合計	545	100.0

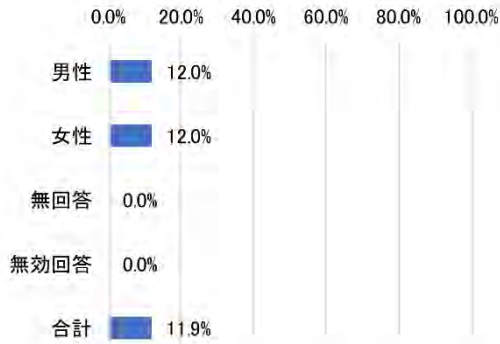
「住みにくい理由について」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】



性別の「住みにくい理由について」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】

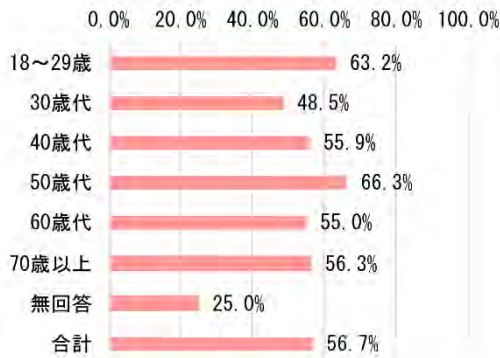


利用しやすい公園・スポーツ施設がないから



年代別の「住みにくい理由について」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】

バスなどの公共交通機関が不便だから



高齢者・障害者への対応が進んでいないから



買い物が不便だから



魅力的な仕事がないから

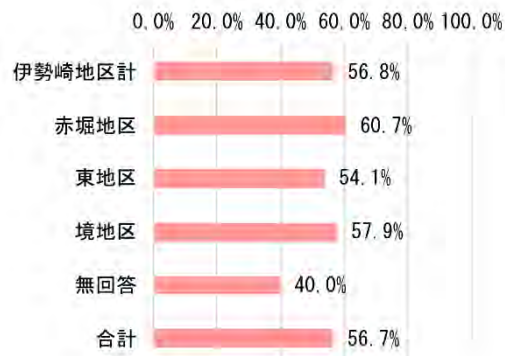


利用しやすい公園・スポーツ施設がないから

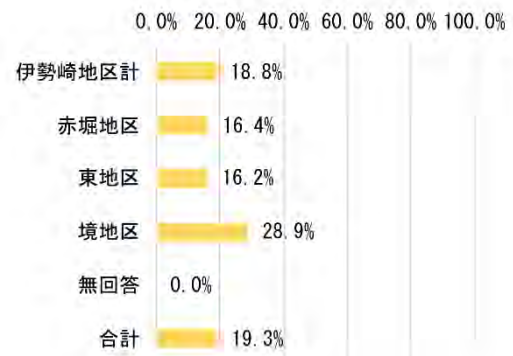


地区別の「住みにくい理由について」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】

バスなどの公共交通機関が不便だから



高齢者・障害者への対応が進んでいないから



買い物が不便だから



魅力的な仕事がないから



利用しやすい公園・スポーツ施設がないから



◆「その他」の回答（主なもの）

- ・ 色々な施設が駅から遠いから
- ・ 住民税が高いから
- ・ 治安が悪いから

(4) 定住意向について

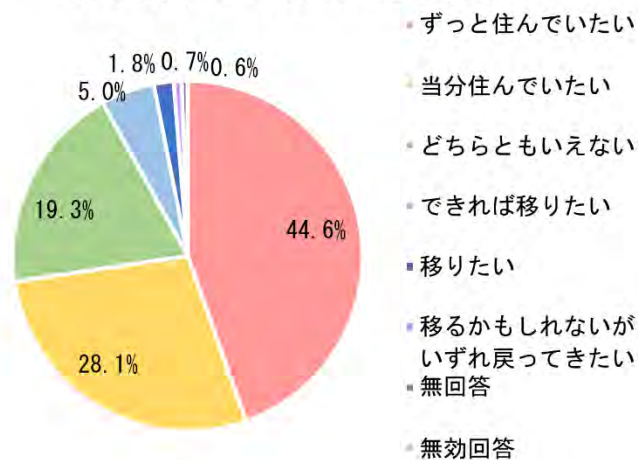
今後も伊勢崎市に住んでいたいと思いますか。

「当分住んでいたい」を含め「住んでいたい」と回答した人は396人(72.7%)、「どちらともいえない」と回答した人は105人(19.3%)、「できれば移りたい」を含め「移りたい」と回答した人は37人(6.8%)、「移るかもしれないがいずれ戻ってきたい」と回答した人は4人(0.7%)「無回答」が3人(0.6%)、「無効回答」が0人(0.0%)となり、多くの人が「当分住んでいたい」を含め「住んでいたい」と回答した。

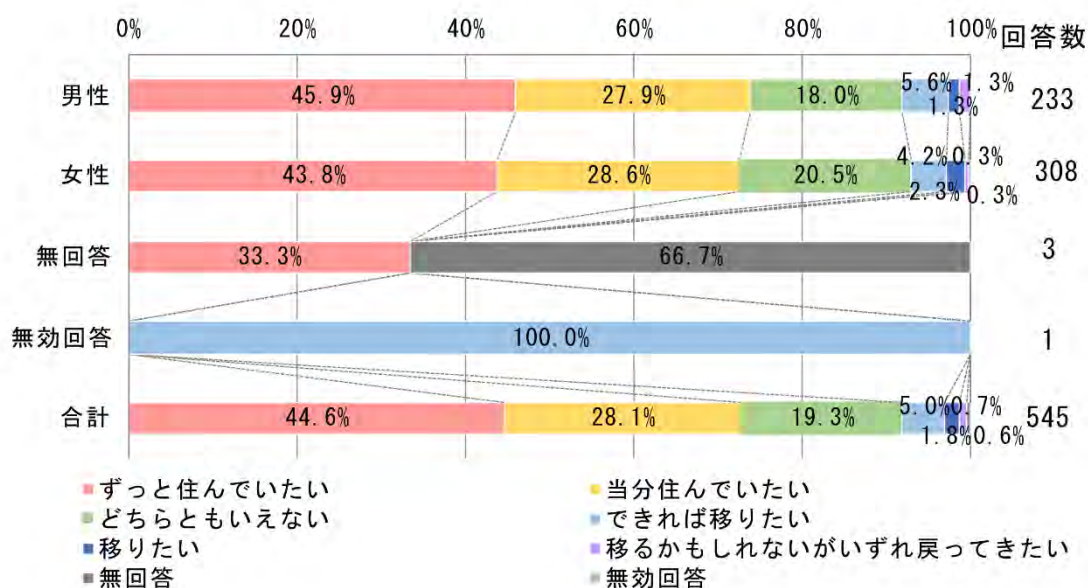
「定住意向について」の回答

	回答数	割合
ずっと住んでいたい	243	44.6
当分住んでいたい	153	28.1
どちらともいえない	105	19.3
できれば移りたい	27	5.0
移りたい	10	1.8
移るかもしれないが いずれ戻ってきたい	4	0.7
無回答	3	0.6
無効回答	0	0.0
合計	545	100.0

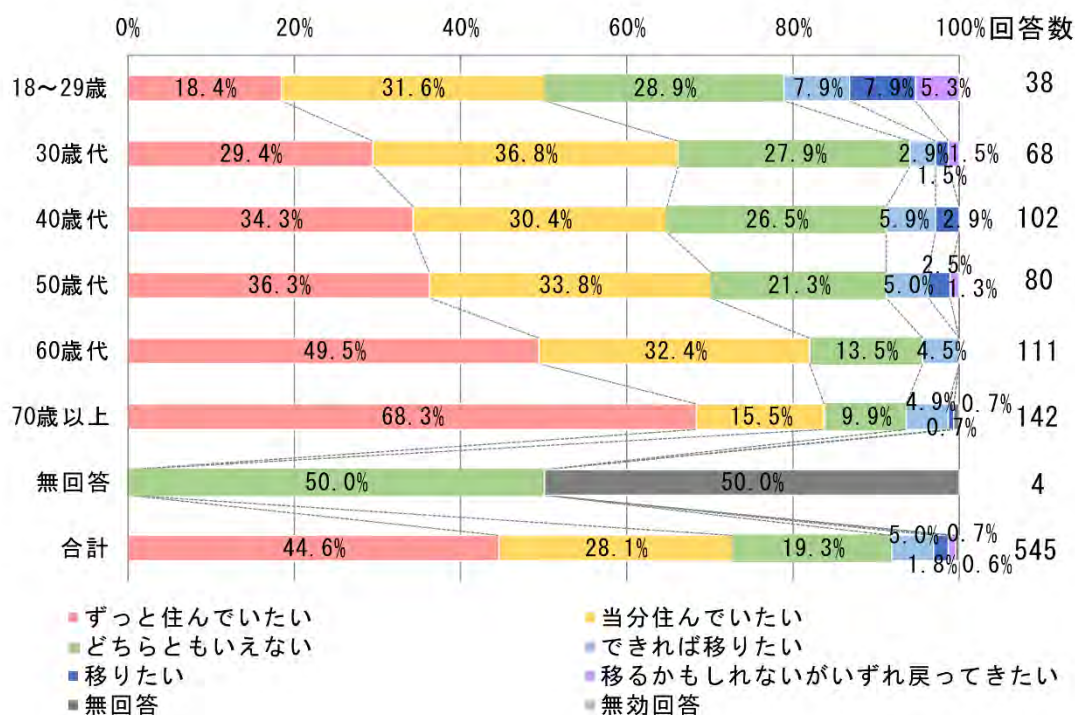
「定住意向について」の回答（割合）



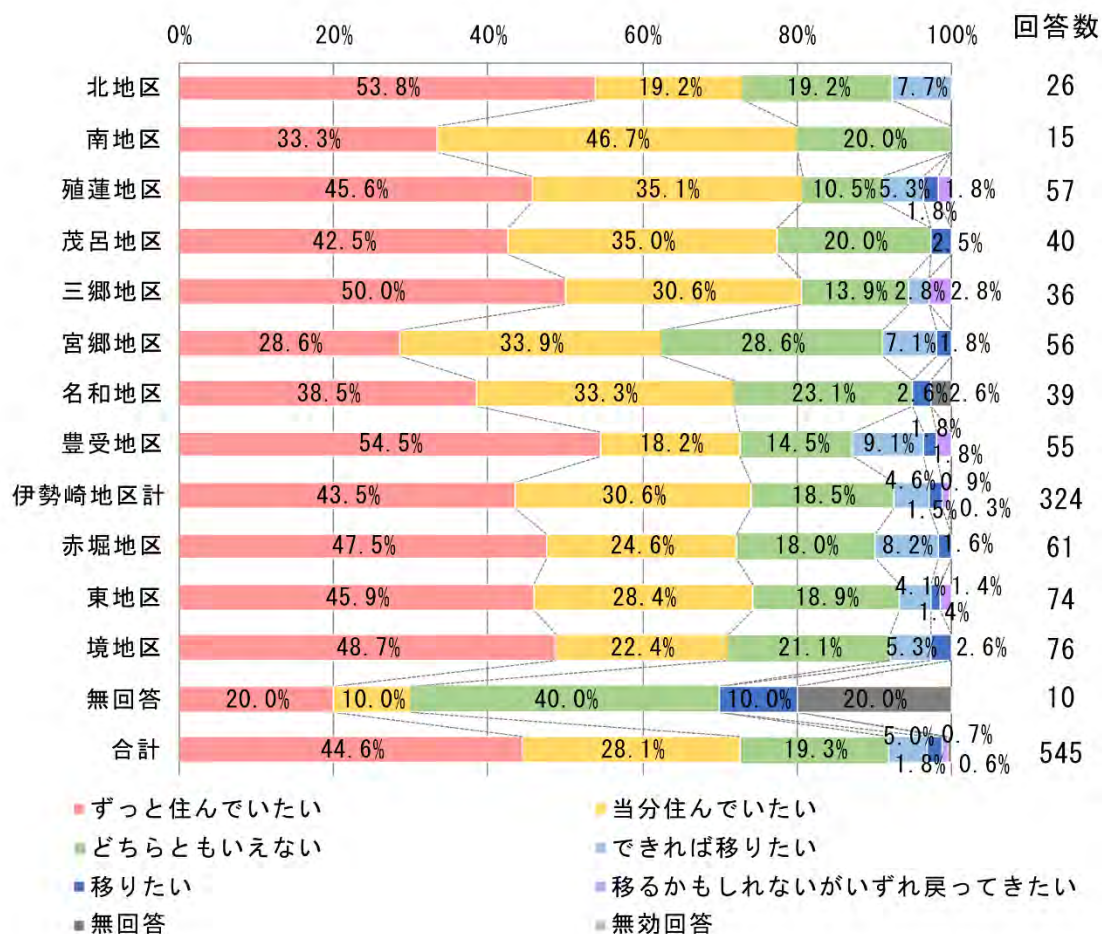
性別の「定住意向について」の回答（割合）



年代別の「定住意向について」の回答（割合）



地区別の「定住意向について」の回答（割合）



3 現行の取り組みへの評価

第2次伊勢崎市総合計画後期基本計画に体系付けられた10分野の41施策について、その「満足度」と「重要度」の得点を算出し、各施策に対する相対的な評価を行った。

「満足度」と「重要度」の得点については、「満足」と「重要」を4点とし、以下「どちらかといえば満足」と「どちらかといえば重要」を3点、「どちらかといえば不満」と「どちらかといえば重要でない」を2点、「不満」と「重要でない」を1点として平均値を算出している。したがって、各点数の回答が同数であった場合の平均得点は2.50点となる。

また、「満足度割合」については、「満足」と「どちらかといえば満足」を「満足」とし、「不満」と「どちらかといえば不満」を「不満」として回答の割合を算出し、「重要度割合」についても、「重要」と「どちらかといえば重要」を「重要」とし、「どちらかといえば重要でない」と「重要でない」を「重要でない」として回答の割合を算出している。

なお、満足度・重要度割合を算出するにあたり、無回答・無効回答を除いた有効回答数を基礎数としている。

(1) 施策別の満足度・重要度

全体の満足度の平均は2.59点で、最も満足度が高かった施策は、「安定した水道水の供給」の3.15点、最も満足度が低かった施策は、「公共交通ネットワークの確立」の2.00点となった。

全体の重要度の平均は3.36点で、最も重要度が高かった施策は、「安定した水道水の供給」の3.67点、最も重要度が低かった施策は、「国際交流・国内交流の推進」の2.93点となった。

なお、年代別、地区別の上位と下位は次ページのような結果となった。

詳細については、47～52ページの各表を参照。

年代別、地区別の満足度の上位と下位

	最も高い満足度			最も低い満足度		
	施策体系	施策名	得点	施策体系	施策名	得点
全体	2-1-6	安定した水道水の供給	3.15	2-1-3	公共交通ネットワークの確立	2.00

年代別

18～29 歳	2-1-6	安定した水道水の供給	3.19	2-1-3	公共交通ネットワークの確立	2.03
30 歳代	2-1-6	安定した水道水の供給	3.18	1-2-1	子ども・子育て支援の充実	2.12
40 歳代	2-1-6	安定した水道水の供給	3.09	2-1-3	公共交通ネットワークの確立	1.88
50 歳代	2-1-6	安定した水道水の供給	3.16	2-1-3	公共交通ネットワークの確立	1.88
60 歳代	2-1-6	安定した水道水の供給	3.18	2-1-3	公共交通ネットワークの確立	1.94
70 歳代	2-1-6	安定した水道水の供給	3.16	2-1-3	公共交通ネットワークの確立	2.11

地区別

伊勢崎地区	2-1-6	安定した水道水の供給	3.20	2-1-3	公共交通ネットワークの確立	2.11
赤堀地区	2-1-6	安定した水道水の供給	3.24	2-1-3	公共交通ネットワークの確立	1.86
東地区	2-1-6	安定した水道水の供給	3.05	2-1-3	公共交通ネットワークの確立	1.88
境地区	2-1-6	安定した水道水の供給	2.97	2-1-3	公共交通ネットワークの確立	1.83

※「無回答」、「無効回答」については母数が少ないため集計から除外した。

年代別、地区別の重要度の上位と下位

	最も高い重要度			最も低い重要度		
	施策体系	施策名	得点	施策体系	施策名	得点
全体	2-1-6	安定した水道水の供給	3.67	5-1-4	国際交流・国内交流の推進	2.93

年代別

18～29 歳	3-1-3	防犯対策の強化	3.79	5-1-4	国際交流・国内交流の推進	2.88
30 歳代	3-1-3	防犯対策の強化	3.75	5-1-4	国際交流・国内交流の推進	2.61
40 歳代	3-1-3	防犯対策の強化	3.73	4-2-3	文化財の保存活用と伝統文化の継承	2.93
50 歳代	3-1-4	消防・救急体制の充実	3.70	4-2-3	文化財の保存活用と伝統文化の継承	2.76
60 歳代	1-1-3	医療・年金制度の円滑な運営	3.68	5-1-4	国際交流・国内交流の推進	2.85
70 歳代	2-1-6	安定した水道水の供給	3.61	4-2-3	文化財の保存活用と伝統文化の継承	3.12

地区別

伊勢崎地区	2-1-6	安定した水道水の供給	3.68	5-1-4	国際交流・国内交流の推進	2.89
赤堀地区	3-1-4	消防・救急体制の充実	3.75	4-2-3	文化財の保存活用と伝統文化の継承	2.77
東地区	3-1-3	防犯対策の強化	3.67	5-1-4	国際交流・国内交流の推進	2.93
境地区	2-1-6	安定した水道水の供給	3.70	4-2-3	文化財の保存活用と伝統文化の継承	3.06

※「無回答」、「無効回答」については母数が少ないため集計から除外した。

年度別満足度順位

R5年度 順位	R3年度 順位	R1年度 順位	H30年度 順位	H29年度 順位	施策体系	施策名	R5年度 満足度	R3年度 満足度	R1年度 満足度	H30年度 満足度	H29年度 満足度	差 (R5-R3)
1	1	1	1	1	2-1-6	安定した水道水の供給	3.15	3.16	3.22	3.20	3.18	△ 0.01
2	3	4	3	2	3-1-4	消防・救急体制の充実	2.89	2.83	2.88	2.87	2.85	+0.06
3	5	2	2	3	1-1-1	健康づくりと疾病予防の推進	2.86	2.81	2.91	2.93	2.83	+0.05
4	7	16	5	10	4-2-3	文化財の保存活用と伝統文化の継承	2.80	2.79	2.76	2.78	2.77	+0.01
5	8	7	4	7	2-1-7	良好な居住環境の形成	2.78	2.79	2.83	2.82	2.81	△ 0.00
6	2	3	6	4	3-2-3	水と緑の空間の形成	2.75	2.83	2.90	2.78	2.83	△ 0.08
7	6	5	8	8	3-2-2	ごみの減量と再資源化の推進	2.73	2.80	2.87	2.77	2.81	△ 0.07
8	4	9	7	6	4-2-1	生涯学習の振興	2.70	2.83	2.80	2.78	2.81	△ 0.12
9	11	8	17	20	4-1-3	中等教育学校教育の充実	2.70	2.75	2.80	2.71	2.68	△ 0.05
10	15	10	12	5	5-1-2	人権の尊重	2.69	2.70	2.80	2.74	2.82	△ 0.01
11	14	20	19	18	1-1-2	地域医療体制の充実	2.69	2.71	2.71	2.70	2.69	△ 0.03
12	17	14	13	9	5-1-1	市民との協働によるまちづくり	2.68	2.69	2.77	2.74	2.78	△ 0.00
13	18	19	15	15	5-1-3	男女共同参画社会の確立	2.67	2.68	2.71	2.71	2.72	△ 0.01
14	9	6	11	12	3-2-1	良好な地域環境の保全	2.67	2.76	2.83	2.74	2.75	△ 0.09
15	13	11	10	11	4-1-2	児童・生徒の健全な心身の育成	2.66	2.73	2.79	2.74	2.76	△ 0.07
16	12	13	14	16	4-1-1	幼児・学校教育の充実	2.65	2.75	2.78	2.73	2.70	△ 0.09
17	10	12	9	19	4-2-5	スポーツの推進	2.63	2.76	2.78	2.76	2.68	△ 0.12
18	22	27	23	17	5-1-4	国際交流・国内交流の推進	2.62	2.62	2.62	2.61	2.70	△ 0.00
19	19	15	18	13	4-2-2	青少年の健全育成	2.61	2.68	2.76	2.71	2.73	△ 0.07
20	23	22	28	34	3-1-1	危機管理体制の充実	2.59	2.62	2.66	2.57	2.53	△ 0.03
21	24	23	22	25	2-1-5	適切な生活排水処理の推進	2.59	2.60	2.66	2.62	2.64	△ 0.02
22	33	25	24	33	3-1-2	災害に強いまちづくり	2.58	2.53	2.63	2.61	2.55	+0.05
23	28	24	26	22	1-2-2	地域福祉社会の構築	2.58	2.58	2.65	2.59	2.66	△ 0.01
24	16	17	16	21	4-2-4	教育施設の充実	2.57	2.69	2.73	2.71	2.66	△ 0.12
25	30	31	27	24	1-2-3	高齢者福祉の充実	2.57	2.56	2.59	2.58	2.64	+0.01
26	20	21	21	14	1-2-1	子ども・子育て支援の充実	2.56	2.66	2.69	2.63	2.72	△ 0.10
27	21	29	31	29	1-1-3	医療・年金制度の円滑な運営	2.54	2.66	2.60	2.57	2.59	△ 0.12
28	31	26	25	30	3-1-5	交通安全対策の推進	2.54	2.55	2.63	2.60	2.57	△ 0.02
29	25	35	33	31	2-2-1	持続可能な農業の振興	2.53	2.60	2.55	2.53	2.56	△ 0.07
30	29	34	34	28	3-1-6	消費者保護対策の充実	2.52	2.56	2.56	2.53	2.60	△ 0.04
31	37	37	32	27	1-2-4	障害者福祉の充実	2.51	2.46	2.52	2.56	2.61	+0.05
32	27	18	20	23	5-2-1	効率的で効果的な行政運営の推進	2.49	2.59	2.73	2.68	2.65	△ 0.10
33	32	28	35	39	2-2-4	魅力ある観光の振興	2.47	2.53	2.61	2.50	2.36	△ 0.06
34	26	33	30	32	2-2-3	企業誘致の推進と雇用の促進	2.44	2.60	2.57	2.57	2.55	△ 0.16
35	35	38	37	37	2-2-2	活力ある商工業の振興	2.43	2.51	2.49	2.47	2.45	△ 0.08
36	38	30	36	36	5-2-2	安定的な財政運営の推進	2.43	2.45	2.60	2.50	2.49	△ 0.02
37	36	36	38	35	3-1-3	防犯対策の強化	2.40	2.47	2.52	2.46	2.50	△ 0.06
38	34	32	29	26	2-1-4	道路の整備と管理	2.36	2.51	2.57	2.57	2.63	△ 0.15
39	39	39	39	38	2-1-1	適正な土地利用と良好な景観形成	2.35	2.35	2.42	2.43	2.39	+0.00
40	40	40	40	41	2-1-2	魅力ある市街地の整備	2.25	2.30	2.33	2.37	2.31	△ 0.05
41	41	41	41	40	2-1-3	公共交通ネットワークの確立	2.00	2.09	2.17	2.31	2.34	△ 0.09

年度別重要度順位

R5年度 順位	R3年度 順位	R1年度 順位	H30年度 順位	H29年度 順位	施策体系	施策名	R5年度 重要度	R3年度 重要度	R1年度 重要度	H30年度 重要度	H29年度 重要度	差 (R5-R3)
1	3	1	2	5	2-1-6	安定した水道水の供給	3.67	3.63	3.72	3.63	3.63	+0.05
2	4	3	4	2	3-1-3	防犯対策の強化	3.66	3.62	3.64	3.61	3.67	+0.04
3	5	4	3	4	1-1-3	医療・年金制度の円滑な運営	3.64	3.60	3.61	3.61	3.64	+0.04
4	2	2	1	1	1-1-2	地域医療体制の充実	3.63	3.64	3.65	3.64	3.68	△ 0.01
5	8	6	9	6	3-1-4	消防・救急体制の充実	3.63	3.57	3.61	3.56	3.62	+0.06
6	1	5	5	3	3-1-2	災害に強いまちづくり	3.62	3.64	3.61	3.60	3.64	△ 0.02
7	7	11	6	7	4-1-2	児童・生徒の健全な心身の育成	3.58	3.59	3.56	3.58	3.60	△ 0.01
8	10	9	10	12	3-1-5	交通安全対策の推進	3.55	3.54	3.57	3.53	3.55	+0.02
9	6	7	8	8	5-2-2	安定的な財政運営の推進	3.54	3.60	3.59	3.57	3.60	△ 0.05
10	11	12	11	11	4-1-1	幼児・学校教育の充実	3.54	3.51	3.54	3.52	3.55	+0.02
11	12	8	7	9	1-2-1	子ども・子育て支援の充実	3.53	3.49	3.57	3.58	3.58	+0.05
12	9	10	12	10	3-1-1	危機管理体制の充実	3.52	3.56	3.56	3.50	3.56	△ 0.04
13	18	13	17	14	1-1-1	健康づくりと疾病予防の推進	3.47	3.42	3.52	3.47	3.50	+0.04
14	16	14	13	13	1-2-3	高齢者福祉の充実	3.45	3.44	3.52	3.48	3.53	+0.01
15	14	18	20	18	3-2-2	ごみの減量と再資源化の推進	3.44	3.46	3.46	3.43	3.46	△ 0.02
16	19	16	19	15	1-2-4	障害者福祉の充実	3.41	3.42	3.48	3.43	3.48	△ 0.01
17	13	17	18	17	5-2-1	効率的で効果的な行政運営の推進	3.41	3.47	3.46	3.46	3.47	△ 0.06
18	17	15	14	16	2-1-5	適切な生活排水処理の推進	3.41	3.44	3.50	3.48	3.47	△ 0.03
19	15	19	16	20	2-1-4	道路の整備と管理	3.40	3.46	3.46	3.47	3.42	△ 0.05
20	28	28	31	34	2-2-1	持続可能な農業の振興	3.39	3.24	3.31	3.25	3.23	+0.16
21	22	22	21	26	2-1-7	良好な居住環境の形成	3.39	3.34	3.38	3.40	3.35	+0.06
22	20	23	22	21	4-2-4	教育施設の充実	3.38	3.37	3.37	3.37	3.38	+0.01
23	21	20	23	22	3-1-6	消費者保護対策の充実	3.37	3.37	3.41	3.36	3.37	+0.01
24	24	21	15	19	2-1-3	公共交通ネットワークの確立	3.35	3.28	3.38	3.47	3.45	+0.08
25	30	32	27	31	2-2-2	活力ある商工業の振興	3.35	3.23	3.27	3.30	3.27	+0.12
26	31	26	28	29	2-2-3	企業誘致の推進と雇用の促進	3.33	3.23	3.34	3.30	3.30	+0.11
27	29	27	26	28	4-2-2	青少年の健全育成	3.31	3.23	3.32	3.32	3.34	+0.07
28	27	31	30	30	2-1-2	魅力ある市街地の整備	3.31	3.24	3.28	3.26	3.30	+0.07
29	25	25	25	25	1-2-2	地域福祉社会の構築	3.28	3.25	3.36	3.34	3.35	+0.04
30	32	30	32	27	4-1-3	中等教育学校教育の充実	3.28	3.20	3.29	3.21	3.35	+0.08
31	23	24	24	23	3-2-1	良好な地域環境の保全	3.27	3.29	3.36	3.35	3.36	△ 0.02
32	26	29	29	24	3-2-3	水と緑の空間の形成	3.22	3.25	3.30	3.29	3.36	△ 0.03
33	36	34	33	32	2-1-1	適正な土地利用と良好な景観形成	3.19	3.10	3.17	3.19	3.24	+0.09
34	34	33	34	33	5-1-2	人権の尊重	3.19	3.15	3.18	3.18	3.24	+0.04
35	33	35	36	35	5-1-3	男女共同参画社会の確立	3.09	3.16	3.16	3.11	3.21	△ 0.07
36	39	39	37	39	2-2-4	魅力ある観光の振興	3.08	3.02	3.08	3.10	3.10	+0.06
37	37	37	38	36	4-2-5	スポーツの推進	3.05	3.07	3.12	3.10	3.16	△ 0.01
38	35	38	35	37	5-1-1	市民との協働によるまちづくり	3.04	3.10	3.10	3.11	3.15	△ 0.06
39	38	36	39	38	4-2-1	生涯学習の振興	3.04	3.03	3.12	3.07	3.15	+0.01
40	41	41	41	41	4-2-3	文化財の保存活用と伝統文化の継承	2.95	2.93	3.02	2.92	3.03	+0.02
41	40	40	40	40	5-1-4	国際交流・国内交流の推進	2.93	2.98	3.07	3.03	3.09	△ 0.05

年代別の満足度・重要度 【各年代別順位の上位3位を黄色、下位3位をピンク色に着色しています】

施策体系	施策名	全体			18~29歳			30歳代			40歳代			50歳代			60歳代			70歳以上								
		満足度	重要度	順位	満足度	重要度	順位	満足度	重要度	順位	満足度	重要度	順位	満足度	重要度	順位	満足度	重要度	順位	満足度	重要度	順位						
1-1-1	健康づくりと疾病予防の推進	2.86	3.47	13	3.00	3	3.38	27	2.62	16	3.44	15	2.86	2	3.44	19	2.72	11	3.41	14	2.87	3	3.43	15	2.99	2	3.59	3
1-1-2	地域医療体制の充実	2.69	3.63	4	2.68	23	3.68	6	2.55	19	3.65	8	2.71	10	3.70	3	2.63	17	3.66	5	2.68	14	3.64	2	2.79	4	3.53	11
1-1-3	医療・年金制度の円滑な運営	2.54	3.64	27	2.52	29	3.42	20	2.51	23	3.67	4	2.58	22	3.69	4	2.47	32	3.64	7	2.40	32	3.68	1	2.69	15	3.60	2
1-2-1	子ども・子育て支援の充実	2.56	3.53	11	2.55	28	3.53	11	2.12	41	3.71	3	2.52	25	3.56	12	2.63	18	3.39	15	2.58	25	3.46	11	2.76	7	3.57	6
1-2-2	地域福祉社会の構築	2.58	3.28	29	2.74	17	3.39	26	2.41	32	3.21	28	2.58	23	3.28	30	2.62	21	3.32	23	2.47	27	3.19	32	2.68	18	3.35	31
1-2-3	高齢者福祉の充実	2.57	3.45	14	3.06	2	3.28	32	2.42	30	3.17	30	2.52	26	3.56	10	2.54	28	3.62	8	2.45	31	3.42	16	2.67	19	3.46	21
1-2-4	障害者福祉の充実	2.51	3.41	16	2.89	6	3.40	23	2.29	38	3.33	17	2.50	27	3.52	13	2.57	25	3.34	19	2.37	33	3.34	22	2.60	27	3.48	17
2-1-1	適正な土地利用と良好な景観形成	2.35	3.19	33	2.88	7	3.23	36	2.25	40	3.17	29	2.43	34	3.15	34	2.36	36	3.03	34	2.20	39	3.20	31	2.34	39	3.31	33
2-1-2	魅力ある市街地の整備	2.25	3.31	28	2.41	33	3.46	18	2.31	36	3.29	23	2.34	40	3.36	23	2.16	40	3.20	30	2.18	40	3.24	28	2.23	40	3.34	32
2-1-3	公共交通ネットワークの確立	2.00	3.35	24	2.03	41	3.47	15	2.27	39	3.07	34	1.88	41	3.35	24	1.88	41	3.39	16	1.94	41	3.42	17	2.11	41	3.37	28
2-1-4	道路の整備と管理	2.36	3.40	19	2.34	36	3.51	13	2.48	27	3.38	16	2.37	37	3.51	15	2.30	39	3.30	25	2.30	37	3.37	19	2.39	36	3.40	25
2-1-5	適切な生活排水処理の推進	2.59	3.41	18	2.64	26	3.47	16	2.94	4	3.30	20	2.61	17	3.45	16	2.49	30	3.33	20	2.61	21	3.37	20	2.46	33	3.49	14
2-1-6	安定的水道水の供給	3.15	3.67	1	3.19	1	3.70	3	3.18	1	3.74	2	3.09	1	3.68	5	3.16	1	3.65	6	3.18	1	3.61	3	3.14	1	3.69	1
2-1-7	良好な居住環境の形成	2.78	3.39	21	3.00	3	3.45	19	2.94	5	3.30	22	2.78	6	3.44	18	2.80	6	3.33	21	2.74	9	3.34	23	2.68	16	3.48	16
2-2-1	持続可能な農業の振興	2.53	3.39	20	2.67	24	3.26	33	2.88	6	3.26	25	2.77	7	3.40	21	2.56	27	3.33	22	2.33	35	3.45	12	2.38	37	3.49	15
2-2-2	活力ある商工業の振興	2.43	3.35	25	2.71	19	3.37	28	2.56	18	3.30	21	2.46	33	3.34	26	2.47	34	3.29	26	2.33	34	3.34	21	2.37	38	3.43	23
2-2-3	企業誘致の推進と雇用の促進	2.44	3.33	26	2.70	20	3.34	29	2.53	20	3.28	24	2.35	39	3.33	28	2.48	31	3.31	24	2.32	36	3.26	27	2.47	31	3.44	22
2-2-4	魅力ある観光の振興	2.47	3.08	33	2.42	32	3.24	35	2.67	13	3.11	32	2.59	19	3.15	35	2.47	33	2.79	40	2.28	38	3.02	36	2.43	34	3.18	37

年代別の満足度・重要度 【各年代別順位の上位3位を黄色、下位3位をピンク色に着色しています】

施策体系	施策名	全体			18～29歳			30歳代			40歳代			50歳代			60歳代			70歳以上									
		満足度	順位	重要度	満足度	順位	重要度	満足度	順位	重要度	満足度	順位	重要度	満足度	順位	重要度	満足度	順位	重要度	満足度	順位	重要度							
3-1-1	危機管理体制の充実	2.59	20	3.52	12	2.75	14	3.48	14	2.67	14	3.50	13	2.62	16	3.58	9	2.57	26	3.54	11	2.60	22	3.51	8	2.48	30	3.50	13
3-1-2	災害に強いまちづくり	2.58	22	3.62	6	2.69	21	3.74	2	2.67	12	3.58	11	2.68	12	3.71	2	2.63	19	3.69	2	2.63	20	3.53	6	2.41	35	3.55	9
3-1-3	防犯対策の強化	2.40	37	3.66	2	2.30	39	3.79	1	2.46	28	3.75	1	2.36	38	3.73	1	2.31	37	3.67	4	2.45	30	3.58	5	2.46	32	3.58	4
3-1-4	消防・救急体制の充実	2.89	2	3.63	5	2.92	5	3.69	4	3.04	2	3.67	4	2.84	4	3.67	6	2.85	4	3.70	1	2.92	2	3.59	4	2.86	3	3.56	7
3-1-5	交通安全対策の推進	2.54	28	3.55	8	2.32	37	3.69	5	2.52	22	3.60	10	2.48	32	3.62	7	2.52	29	3.57	9	2.64	18	3.44	13	2.58	28	3.53	10
3-1-6	消費者保護対策の充実	2.52	30	3.37	23	2.63	27	3.41	22	2.48	26	3.26	25	2.49	30	3.39	22	2.58	24	3.35	18	2.46	28	3.31	24	2.55	29	3.47	18
3-2-1	良好な地域環境の保全	2.67	14	3.27	31	2.73	18	3.21	38	2.68	11	3.06	35	2.67	13	3.34	27	2.78	7	3.27	28	2.59	24	3.21	30	2.65	22	3.40	26
3-2-2	ごみの減量と再資源化の推進	2.73	7	3.44	15	2.82	10	3.40	23	2.79	8	3.32	19	2.76	9	3.44	17	2.75	10	3.51	12	2.68	15	3.44	13	2.69	14	3.47	19
3-2-3	水と緑の空間の形成	2.75	6	3.22	32	2.81	12	3.25	34	3.02	3	3.22	27	2.78	5	3.25	32	2.70	13	3.11	33	2.65	16	3.19	33	2.68	17	3.25	34
4-1-1	幼児・学校教育の充実	2.65	16	3.54	10	2.26	40	3.59	8	2.42	29	3.66	7	2.59	19	3.56	11	2.72	12	3.36	17	2.81	5	3.49	9	2.77	5	3.58	5
4-1-2	児童・生徒の健全な心身の育成	2.66	15	3.56	7	2.32	38	3.64	7	2.49	25	3.66	6	2.65	14	3.61	8	2.65	16	3.54	10	2.82	4	3.53	7	2.73	9	3.55	8
4-1-3	中等教育学校教育の充実	2.70	9	3.28	30	2.68	22	3.54	10	2.36	33	3.15	31	2.70	11	3.33	29	2.68	15	2.94	36	2.75	8	3.24	29	2.76	6	3.46	20
4-2-1	生涯学習の振興	2.70	8	3.04	39	2.75	14	3.47	17	2.53	21	3.03	36	2.76	8	2.95	39	2.60	22	2.85	38	2.78	7	3.00	37	2.72	11	3.12	40
4-2-2	青少年の健全育成	2.61	19	3.31	27	2.67	24	3.40	23	2.34	34	3.32	18	2.49	29	3.26	31	2.60	23	3.24	29	2.74	10	3.28	26	2.66	20	3.38	27
4-2-3	文化財の保存活用と伝統文化の継承	2.80	4	2.95	40	2.87	8	3.00	40	2.81	7	2.90	38	2.84	3	2.93	41	2.89	3	2.76	41	2.80	6	2.93	40	2.72	10	3.12	41
4-2-4	教育施設の充実	2.57	24	3.38	22	2.48	31	3.55	9	2.30	37	3.58	12	2.49	28	3.40	20	2.62	20	3.29	26	2.63	19	3.29	25	2.72	12	3.35	30
4-2-5	スポーツの推進	2.63	17	3.05	37	2.50	30	3.28	30	2.71	10	3.07	33	2.49	31	3.00	36	2.76	8	2.85	38	2.71	11	2.98	38	2.64	23	3.19	36
5-1-1	市民との協働によるまちづくり	2.68	12	3.04	38	2.81	11	3.17	39	2.73	9	2.87	39	2.59	18	2.98	37	2.76	9	3.03	34	2.70	12	2.98	39	2.66	21	3.18	37
5-1-2	人権の尊重	2.69	10	3.19	34	2.80	13	3.22	37	2.50	24	2.93	37	2.62	15	3.17	33	2.83	5	3.16	32	2.69	13	3.15	34	2.74	8	3.36	29
5-1-3	男女共同参画社会の確立	2.67	13	3.09	35	2.86	9	3.28	30	2.56	17	2.85	40	2.59	21	2.98	38	2.93	2	3.20	31	2.64	17	3.03	35	2.64	24	3.23	35
5-1-4	国際交流・国内交流の推進	2.62	18	2.93	41	2.75	14	2.88	41	2.65	15	2.61	41	2.55	24	2.95	40	2.69	14	2.89	37	2.60	23	2.85	41	2.61	25	3.16	39
5-2-1	初歩的で効果的な行政運営の推進	2.49	32	3.41	17	2.40	34	3.41	21	2.41	31	3.45	14	2.39	35	3.35	25	2.41	35	3.44	13	2.51	26	3.40	18	2.69	13	3.42	24
5-2-2	安定的な財政運営の推進	2.43	36	3.54	9	2.40	34	3.53	11	2.33	35	3.61	9	2.39	36	3.52	14	2.30	38	3.68	3	2.46	29	3.47	10	2.61	26	3.51	12
	平均	2.59		3.36		2.66		3.42		2.57		3.32		2.58		3.38		2.60		3.32		2.57		3.32		2.61		3.42	

地区別の満足度・重要度 【各地区別順位の上位3位を黄色、下位3位をピンク色に着色しています】

施策体系	施策名	全体			伊勢崎地区			赤堀地区			東地区			境地区							
		満足度	順位	重要度	満足度	順位	重要度	満足度	順位	重要度	満足度	順位	重要度	満足度	順位	重要度					
1-1-1	健康づくりと疾病予防の推進	2.86	3	3.47	13	2.82	4	3.46	13	3.02	2	3.40	14	2.94	2	3.48	11	2.84	2	3.50	14
1-1-2	地域医療体制の充実	2.69	11	3.63	4	2.67	12	3.65	4	2.74	12	3.54	9	2.81	8	3.66	2	2.57	22	3.55	7
1-1-3	医療・年金制度の円滑な運営	2.54	27	3.64	3	2.57	24	3.67	2	2.53	32	3.57	8	2.57	27	3.57	7	2.35	30	3.63	2
1-2-1	子ども・子育て支援の充実	2.56	26	3.53	11	2.60	19	3.55	8	2.58	29	3.40	15	2.38	36	3.54	9	2.58	21	3.52	10
1-2-2	地域福祉社会の構築	2.58	23	3.28	29	2.59	20	3.28	28	2.81	6	3.16	32	2.64	20	3.36	25	2.34	31	3.30	28
1-2-3	高齢者福祉の充実	2.57	25	3.45	14	2.56	26	3.45	15	2.66	22	3.40	15	2.76	12	3.39	21	2.33	33	3.54	8
1-2-4	障害者福祉の充実	2.51	31	3.41	16	2.49	33	3.39	19	2.70	17	3.35	21	2.76	11	3.39	23	2.28	37	3.53	9
2-1-1	適正な土地利用と良好な景観形成	2.35	39	3.19	33	2.33	39	3.18	34	2.64	24	3.08	33	2.36	38	3.26	30	2.25	38	3.22	34
2-1-2	魅力ある市街地の整備	2.25	40	3.31	28	2.24	40	3.26	30	2.35	38	3.24	29	2.25	40	3.40	19	2.19	39	3.39	20
2-1-3	公共交通ネットワークの確立	2.00	41	3.35	24	2.11	41	3.30	27	1.86	41	3.33	23	1.88	41	3.48	11	1.83	41	3.39	20
2-1-4	道路の整備と管理	2.36	38	3.40	19	2.43	36	3.38	22	2.28	40	3.39	17	2.34	39	3.47	13	2.11	40	3.41	19
2-1-5	適切な生活排水処理の推進	2.59	21	3.41	18	2.64	18	3.41	18	2.72	14	3.40	13	2.49	30	3.40	20	2.34	32	3.37	23
2-1-6	安定した水道水の供給	3.15	1	3.67	1	3.20	1	3.68	1	3.24	1	3.67	4	3.05	1	3.60	4	2.97	1	3.70	1
2-1-7	良好な居住環境の形成	2.78	5	3.39	21	2.84	3	3.43	16	2.78	8	3.32	24	2.75	13	3.33	26	2.58	20	3.34	26
2-2-1	持続可能な農業の振興	2.53	29	3.39	20	2.52	30	3.38	20	2.63	26	3.38	19	2.59	25	3.31	27	2.45	26	3.49	16
2-2-2	活力ある商工業の振興	2.43	35	3.35	25	2.42	37	3.34	24	2.68	20	3.36	20	2.42	34	3.38	24	2.32	34	3.33	27
2-2-3	企業誘致の推進と雇用の促進	2.44	34	3.33	26	2.45	34	3.32	26	2.49	33	3.31	25	2.37	37	3.39	22	2.37	29	3.35	24
2-2-4	魅力ある観光の振興	2.47	33	3.08	36	2.49	31	3.03	37	2.54	31	2.94	38	2.43	33	3.15	36	2.30	36	3.27	32

地区別の満足度・重要度 【各地区別順位の上位3位を黄色、下位3位をピンク色に着色しています】

施策体系	施策名	全体			伊勢湾地区			赤堀地区			東地区			境地区							
		満足度	順位	重要度	満足度	順位	重要度	満足度	順位	重要度	満足度	順位	重要度	満足度	順位	重要度					
3-1-1	危機管理体制の充実	2.59	20	3.52	12	2.57	23	3.52	12	2.56	30	3.48	11	2.64	22	3.54	8	2.61	16	3.52	13
3-1-2	災害に強いまちづくり	2.58	22	3.62	6	2.57	25	3.62	5	2.72	13	3.67	5	2.69	18	3.58	6	2.46	25	3.59	4
3-1-3	防犯対策の強化	2.40	37	3.66	2	2.43	35	3.66	3	2.33	39	3.68	3	2.45	31	3.67	1	2.32	35	3.63	2
3-1-4	消防・救急体制の充実	2.89	2	3.63	5	2.94	2	3.61	6	2.76	11	3.75	1	2.90	3	3.65	3	2.80	3	3.58	5
3-1-5	交通安全対策の推進	2.54	28	3.55	8	2.56	27	3.53	11	2.36	37	3.69	2	2.51	29	3.52	10	2.60	18	3.58	5
3-1-6	消費者保護対策の充実	2.52	30	3.37	23	2.56	28	3.36	23	2.40	36	3.49	10	2.64	20	3.28	29	2.40	28	3.38	22
3-2-1	良好な地域環境の保全	2.67	14	3.27	31	2.65	15	3.26	31	2.80	7	3.18	31	2.70	17	3.25	31	2.64	10	3.34	25
3-2-2	ごみの減量と再資源化の推進	2.73	7	3.44	15	2.72	7	3.45	14	2.85	3	3.30	26	2.81	7	3.45	15	2.61	17	3.44	17
3-2-3	水と緑の空間の形成	2.75	6	3.22	32	2.73	6	3.23	32	2.83	5	3.06	35	2.83	5	3.25	32	2.70	6	3.24	33
4-1-1	幼児・学校教育の充実	2.65	16	3.54	10	2.66	13	3.55	9	2.77	10	3.60	7	2.57	28	3.43	17	2.60	19	3.50	14
4-1-2	児童・生徒の健全な心身の育成	2.66	15	3.58	7	2.65	17	3.61	7	2.78	9	3.64	6	2.61	23	3.42	18	2.67	8	3.52	12
4-1-3	中等教育学校教育の充実	2.70	9	3.28	30	2.71	8	3.27	29	2.69	19	3.35	22	2.78	10	3.24	33	2.62	15	3.27	31
4-2-1	生涯学習の振興	2.70	8	3.04	39	2.68	11	3.03	38	2.65	23	2.85	40	2.83	6	3.12	37	2.72	5	3.15	36
4-2-2	青少年の健全育成	2.61	19	3.31	27	2.58	21	3.33	25	2.61	28	3.20	30	2.70	16	3.30	28	2.63	13	3.30	29
4-2-3	文化財の保存活用と伝統文化の継承	2.80	4	2.95	40	2.82	5	2.94	40	2.85	4	2.77	41	2.88	4	3.03	40	2.64	12	3.06	41
4-2-4	教育施設の充実	2.57	24	3.38	22	2.55	29	3.38	21	2.63	27	3.38	18	2.66	19	3.44	16	2.53	23	3.29	30
4-2-5	スポーツの推進	2.63	17	3.05	37	2.58	22	3.05	36	2.71	16	2.96	37	2.74	15	3.05	39	2.63	13	3.13	38
5-1-1	市民との協働によるまちづくり	2.68	12	3.04	38	2.68	10	3.01	39	2.68	21	3.00	36	2.58	26	3.10	38	2.75	4	3.11	39
5-1-2	人権の尊重	2.69	10	3.19	34	2.69	9	3.18	33	2.64	25	3.24	28	2.78	9	3.18	35	2.70	7	3.17	35
5-1-3	男女共同参画社会の確立	2.67	13	3.09	35	2.65	16	3.06	35	2.70	18	3.06	34	2.74	14	3.19	34	2.66	9	3.14	37
5-1-4	国際交流・国内交流の推進	2.62	18	2.93	41	2.65	14	2.89	41	2.71	15	2.91	39	2.59	24	2.93	41	2.44	27	3.07	40
5-2-1	効率的で効果的な行政運営の推進	2.49	32	3.41	17	2.49	32	3.43	17	2.46	34	3.27	27	2.40	35	3.47	14	2.64	11	3.42	18
5-2-2	安定的な財政運営の推進	2.43	36	3.54	9	2.41	38	3.55	10	2.45	35	3.46	12	2.44	32	3.58	5	2.48	24	3.52	11
	平均	2.59		3.36		2.60		3.36		2.64		3.32		2.62		3.37		2.51		3.38	

(2) 施策別の満足度・重要度の散布図

満足度を横軸に、重要度を縦軸にとり、満足度平均点と重要度平均点を境として4つの領域に分類した。

詳細については、54ページの全41施策、55～64ページの各分野別による散布図を参照。

A 重点改善施策

重要度が高いにもかかわらず満足度が低いため、満足度を向上させられるよう、最優先で改善すべき施策。

【防犯対策の強化、安定的な財政運営の推進 など】

B 改善施策

重要度は低いが満足度も低いため、満足度の向上を意識して改善すべき施策。

【適正な土地利用と良好な景観形成、魅力ある市街地の整備 など】

C 重点維持施策

重要度も満足度も高いため、現状の水準を引き続き重点的に維持すべき施策。

【安定した水道水の供給、消防・救急体制の充実 など】

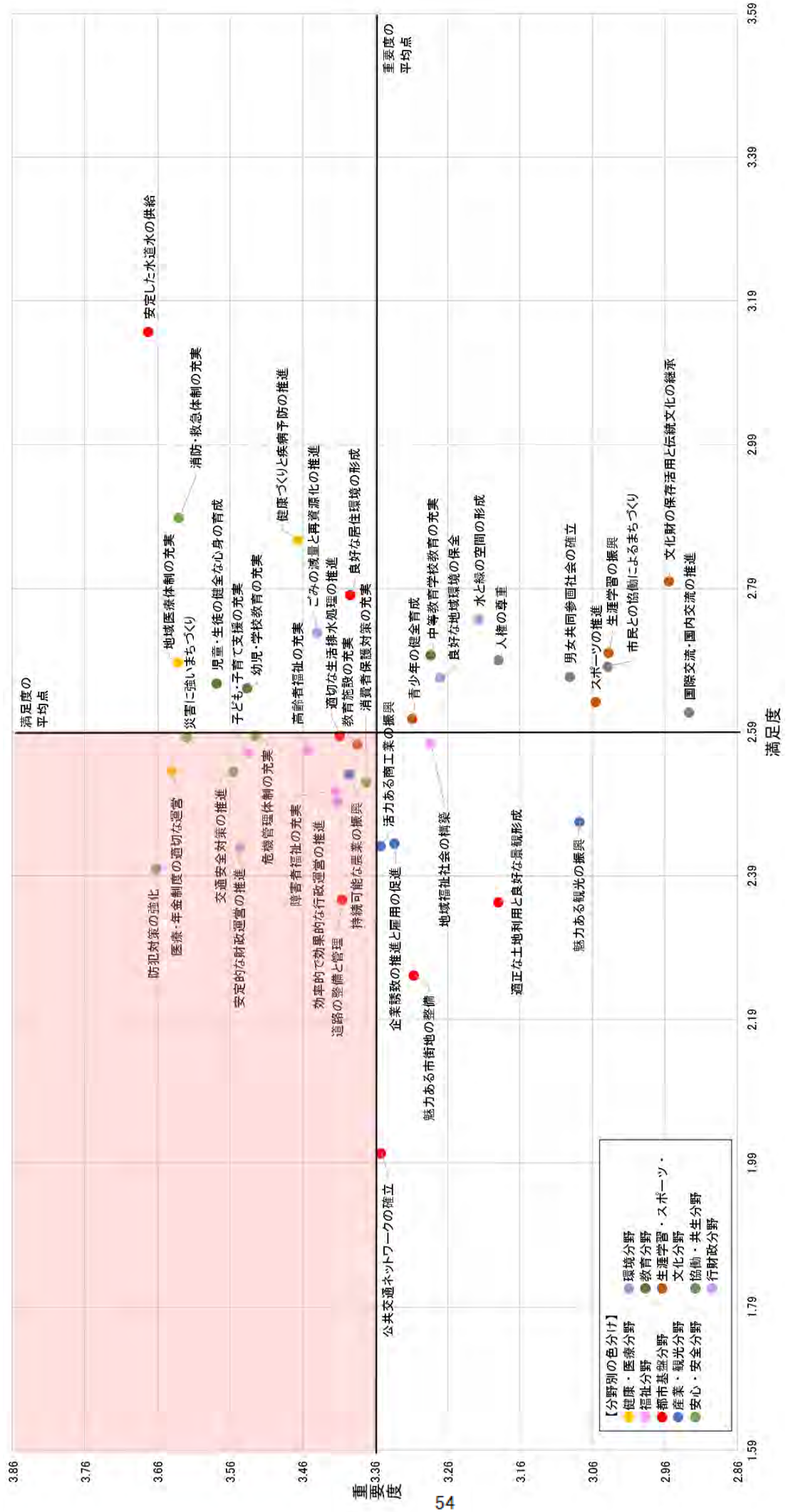
D 維持施策

重要度は低いが満足度は高いため、現状の水準を維持すべき施策。

【文化財の保存活用と伝統文化の継承、生涯学習の振興 など】

<p>A 重要度が高く、満足度が低い ～ 重点改善施策 ～ 満足度を向上させるため、最優先で改善すべき施策</p>	<p>C 満足度も重要度も高い ～ 重点維持施策 ～ 現状の水準を引き続き重点的に維持すべき施策</p>
<p>B 満足度も重要度も低い ～ 改善施策 ～ 重要度は低い、満足度の向上を意識して改善すべき施策</p>	<p>D 満足度が高く、重要度が低い ～ 維持施策 ～ 重要度は低い、現状の水準を維持すべき施策</p>

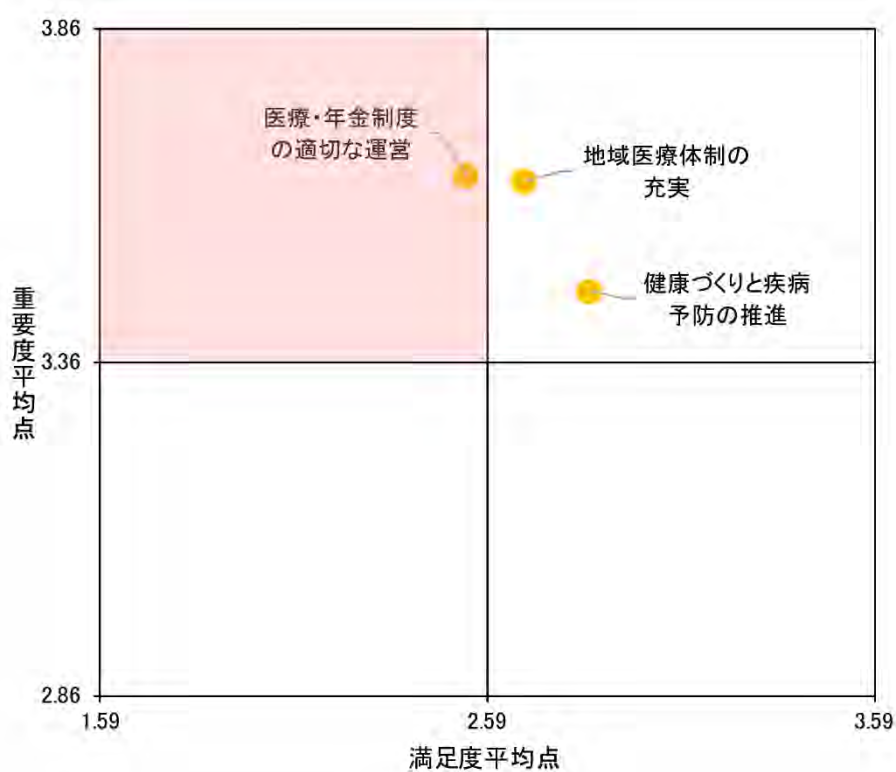
施策別の満足度・重要度の散布図（全41施策）



施策別の満足度・重要度の散布図（分野別）

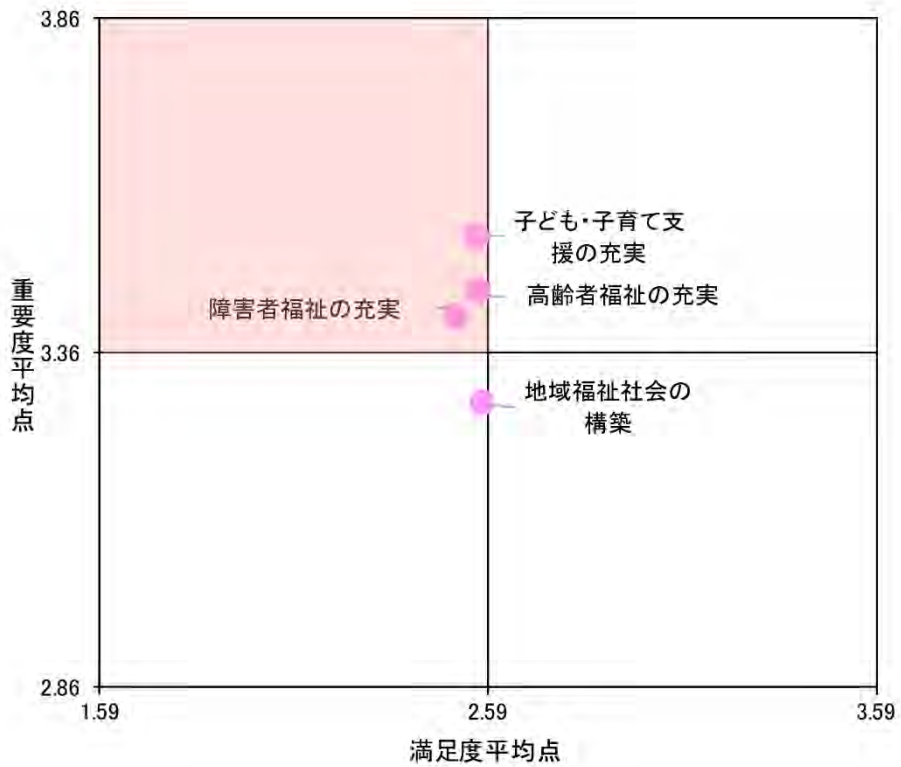
1. 健康・医療分野

	得点		割合（％）	
	満足度	重要度	満足	不満
健康づくりと疾病予防の推進	2.86	3.47	64.1	16.6
地域医療体制の充実	2.69	3.63	57.3	27.4
医療・年金制度の適切な運営	2.54	3.64	42.9	32.1



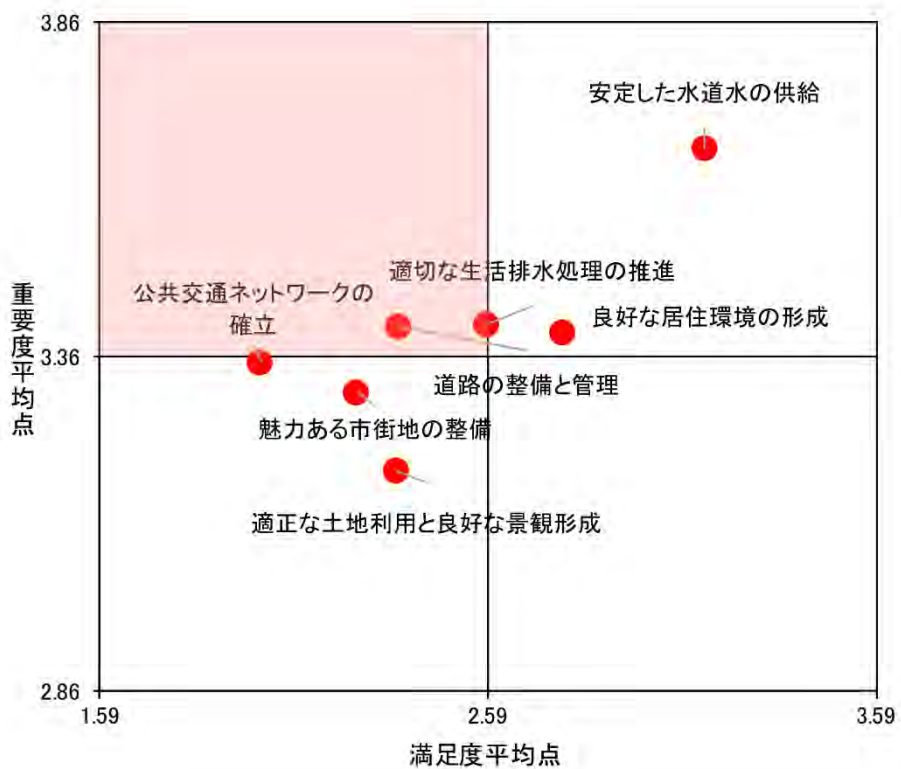
2. 福祉分野

	得点		割合 (%)	
	満足度	重要度	満足	不満
子ども・子育て支援の充実	2.56	3.53	42.3	26.5
地域福祉社会の構築	2.58	3.28	38.9	25.0
高齢者福祉の充実	2.57	3.45	38.2	25.4
障害者福祉の充実	2.51	3.41	31.4	23.9



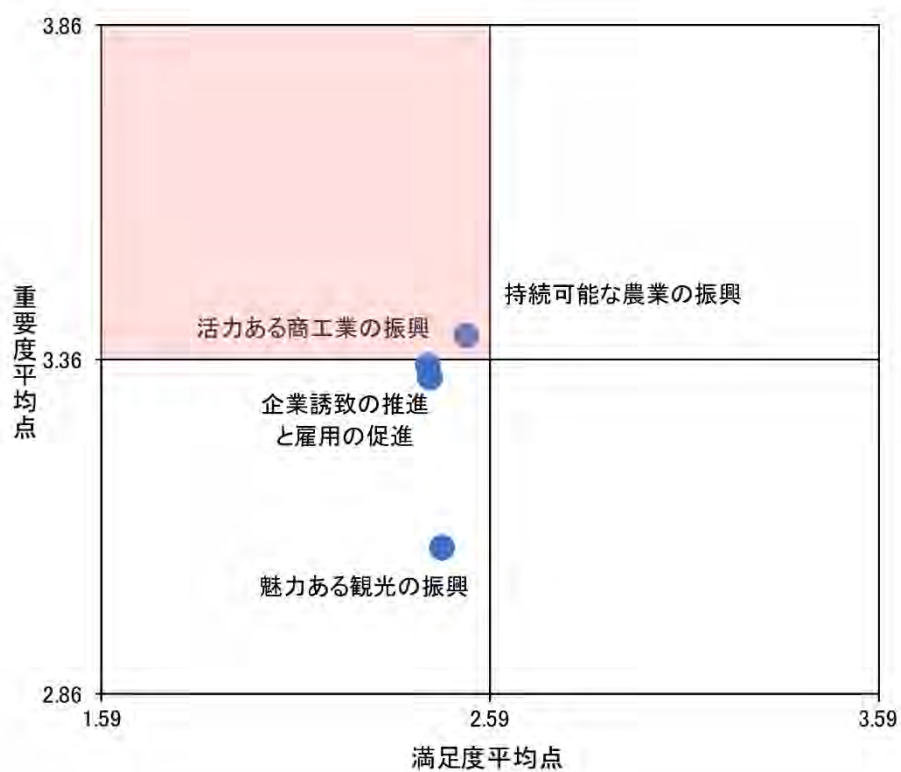
3. 都市基盤分野

	得点		割合 (%)	
	満足度	重要度	満足	不満
適正な土地利用と良好な景観形成	2.35	3.19	37.2	39.7
魅力ある市街地の整備	2.25	3.31	36.2	51.8
公共交通ネットワークの確立	2.00	3.35	22.9	59.5
道路の整備と管理	2.36	3.40	44.8	47.6
適切な生活排水処理の推進	2.59	3.41	50.8	31.3
安定した水道水の供給	3.15	3.67	77.7	14.2
良好な居住環境の形成	2.78	3.39	58.5	22.6



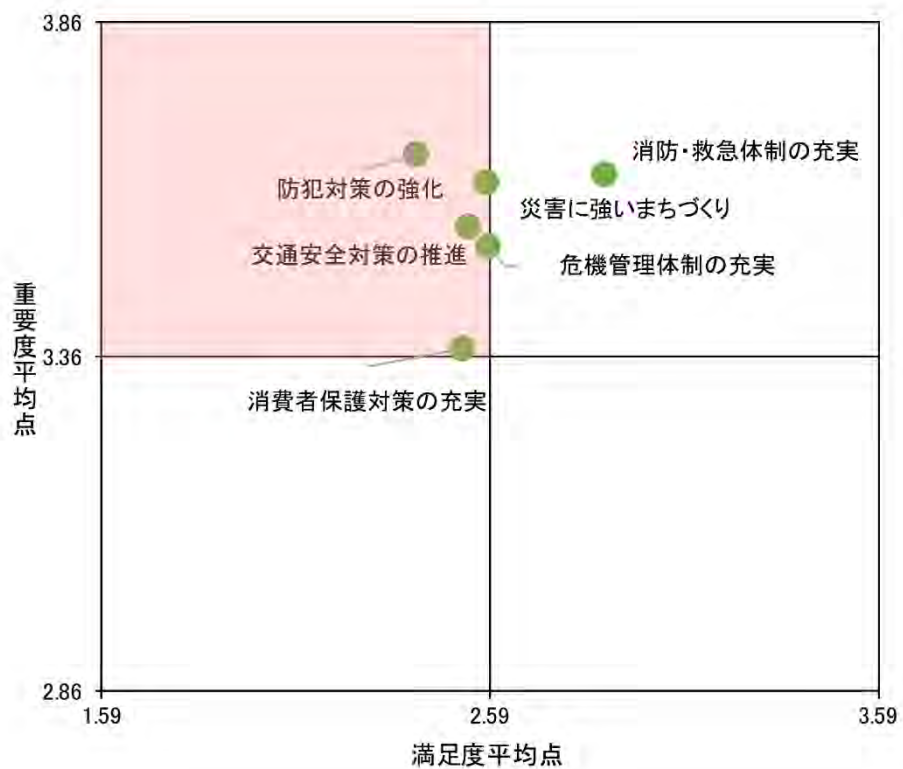
4. 産業・観光分野

	得点		割合 (%)	
	満足度	重要度	満足	不満
持続可能な農業の振興	2.53	3.39	31.7	24.0
活力ある商工業の振興	2.43	3.35	29.9	30.1
企業誘致の推進と雇用の促進	2.44	3.33	32.7	31.0
魅力ある観光の振興	2.47	3.08	40.4	37.5



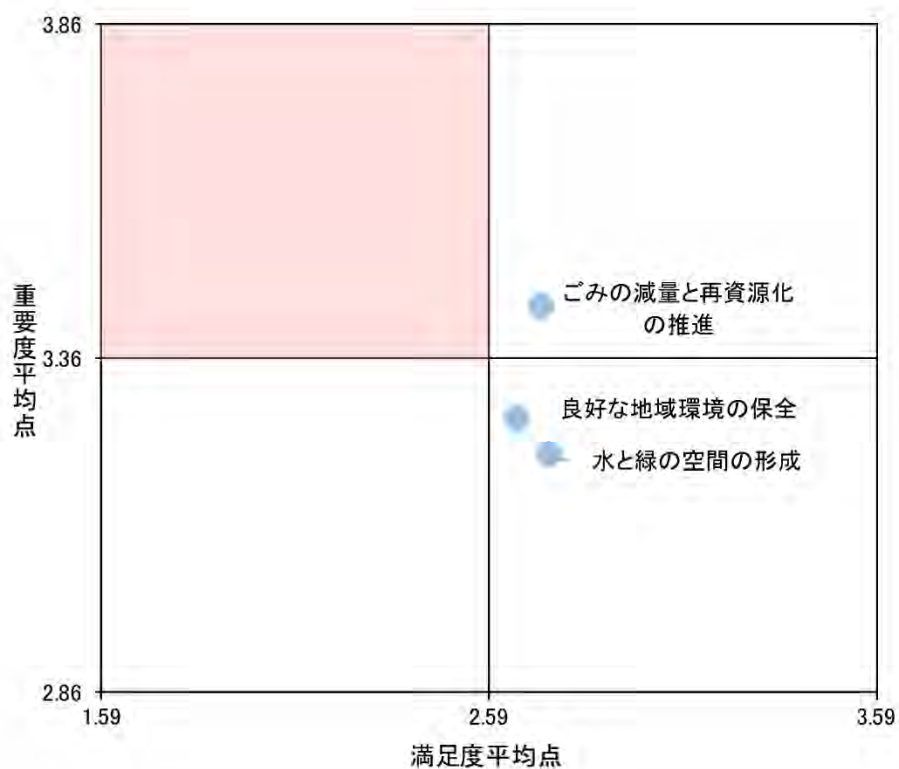
5. 安心安全分野

	得点		割合 (%)	
	満足度	重要度	満足	不満
危機管理体制の充実	2.59	3.52	44.4	30.4
災害に強いまちづくり	2.58	3.62	45.0	33.1
防犯対策の強化	2.40	3.66	36.6	41.3
消防・救急体制の充実	2.89	3.63	62.6	15.8
交通安全対策の推進	2.54	3.55	47.0	36.2
消費者保護対策の充実	2.52	3.37	33.1	26.4



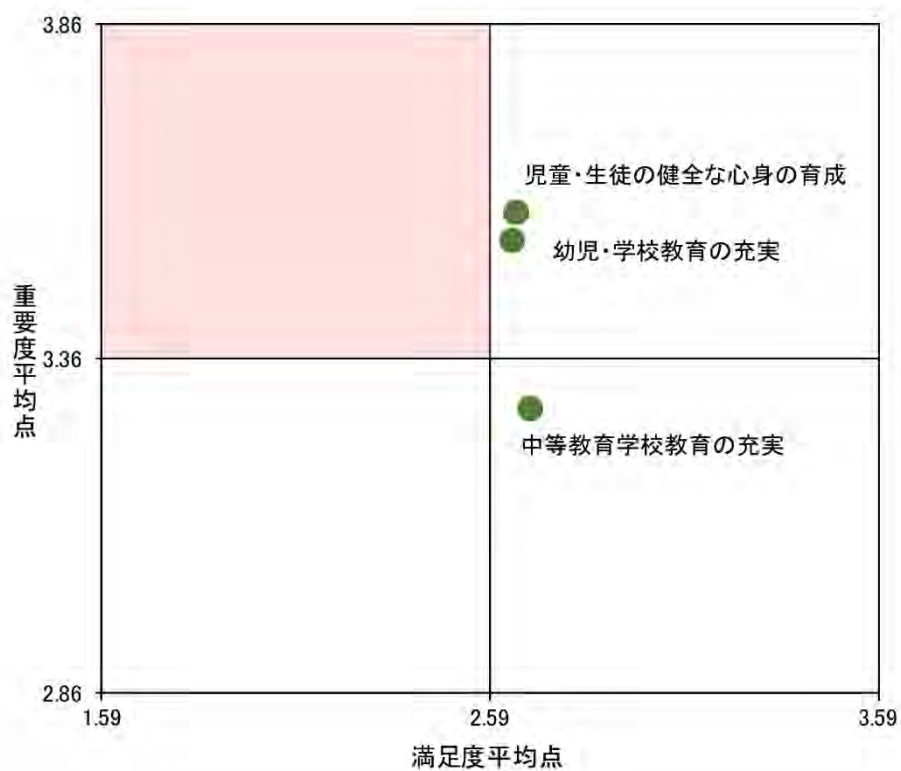
6. 環境分野

	得点		割合 (%)	
	満足度	重要度	満足	不満
良好な地域環境の保全	2.67	3.27	49.7	25.2
ごみの減量と再資源化の推進	2.73	3.44	59.6	26.3
水と緑の空間の形成	2.75	3.22	59.8	25.8

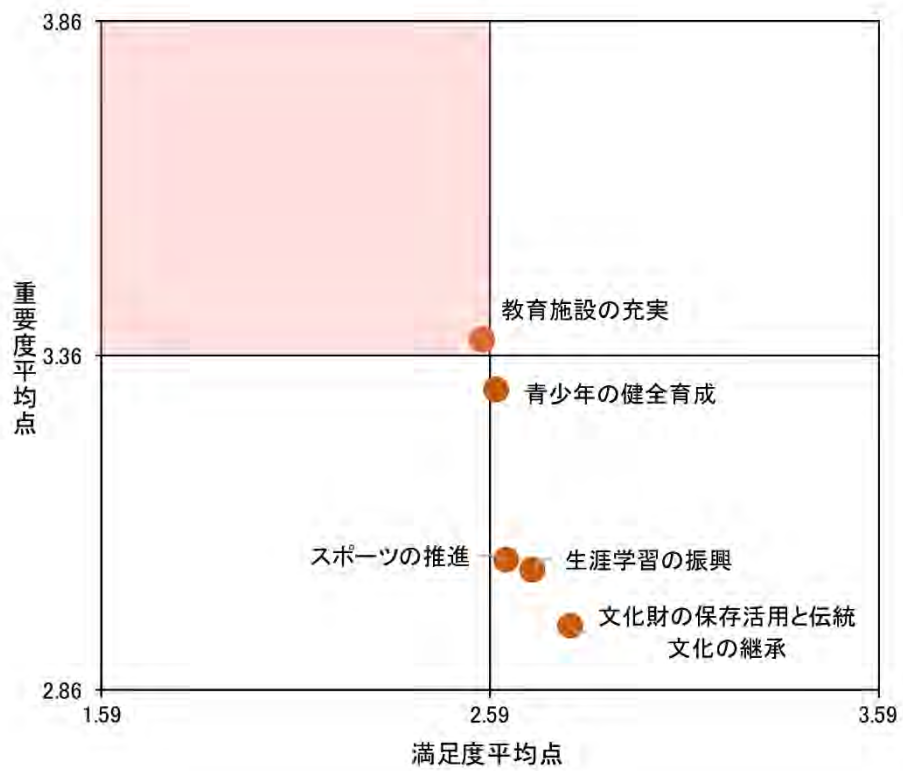


7. 教育分野

	得点		割合 (%)	
	満足度	重要度	満足	不満
幼児・学校教育の充実	2.65	3.54	42.0	24.2
児童・生徒の健全な心身の育成	2.66	3.58	41.4	23.1
中等教育学校教育の充実	2.70	3.28	37.1	17.4

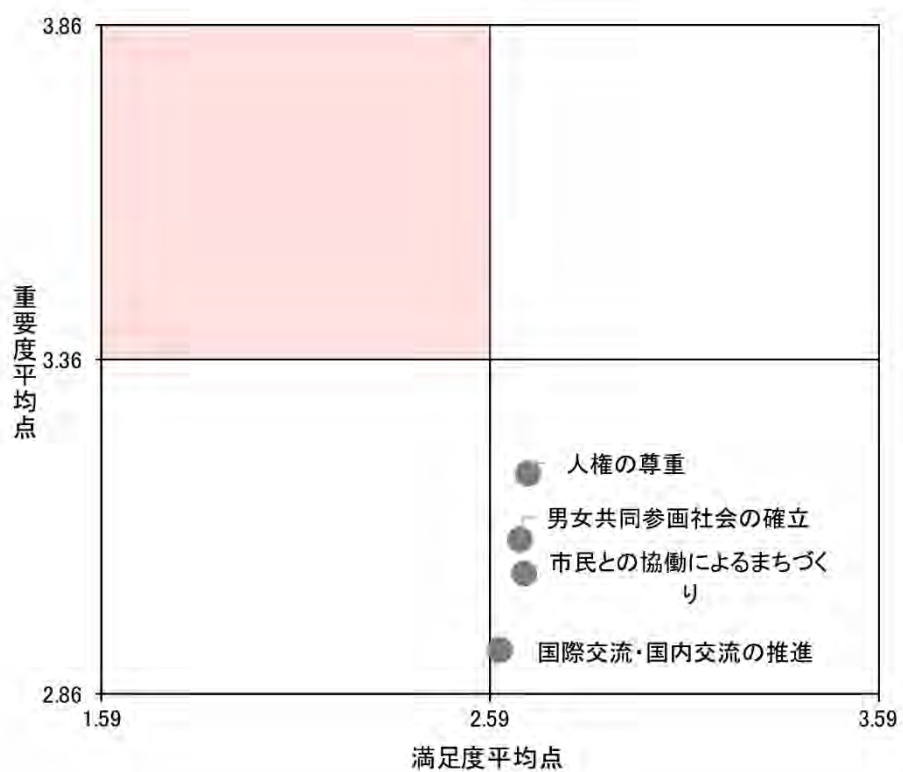


8. 生涯学習・スポーツ・文化分野	得点		割合 (%)	
	満足度	重要度	満足	不満
生涯学習の振興	2.70	3.04	44.4	21.1
青少年の健全育成	2.61	3.31	36.9	23.1
文化財の保存活用と伝統文化の継承	2.80	2.95	47.1	16.6
教育施設の充実	2.57	3.38	42.2	27.8
スポーツの推進	2.63	3.05	41.6	23.0



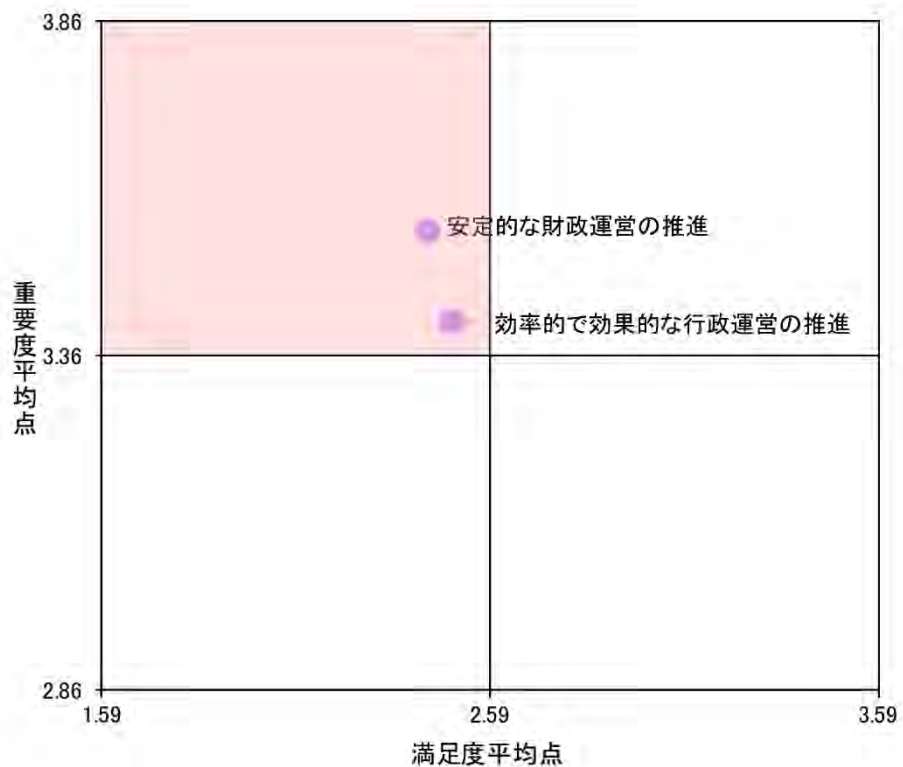
9. 協働・共生分野

	得点		割合 (%)	
	満足度	重要度	満足	不満
市民との協働によるまちづくり	2.68	3.04	41.3	23.4
人権の尊重	2.69	3.19	35.9	18.0
男女共同参画社会の確立	2.67	3.09	31.9	19.3
国際交流・国内交流の推進	2.62	2.93	30.2	20.5



10. 行財政分野

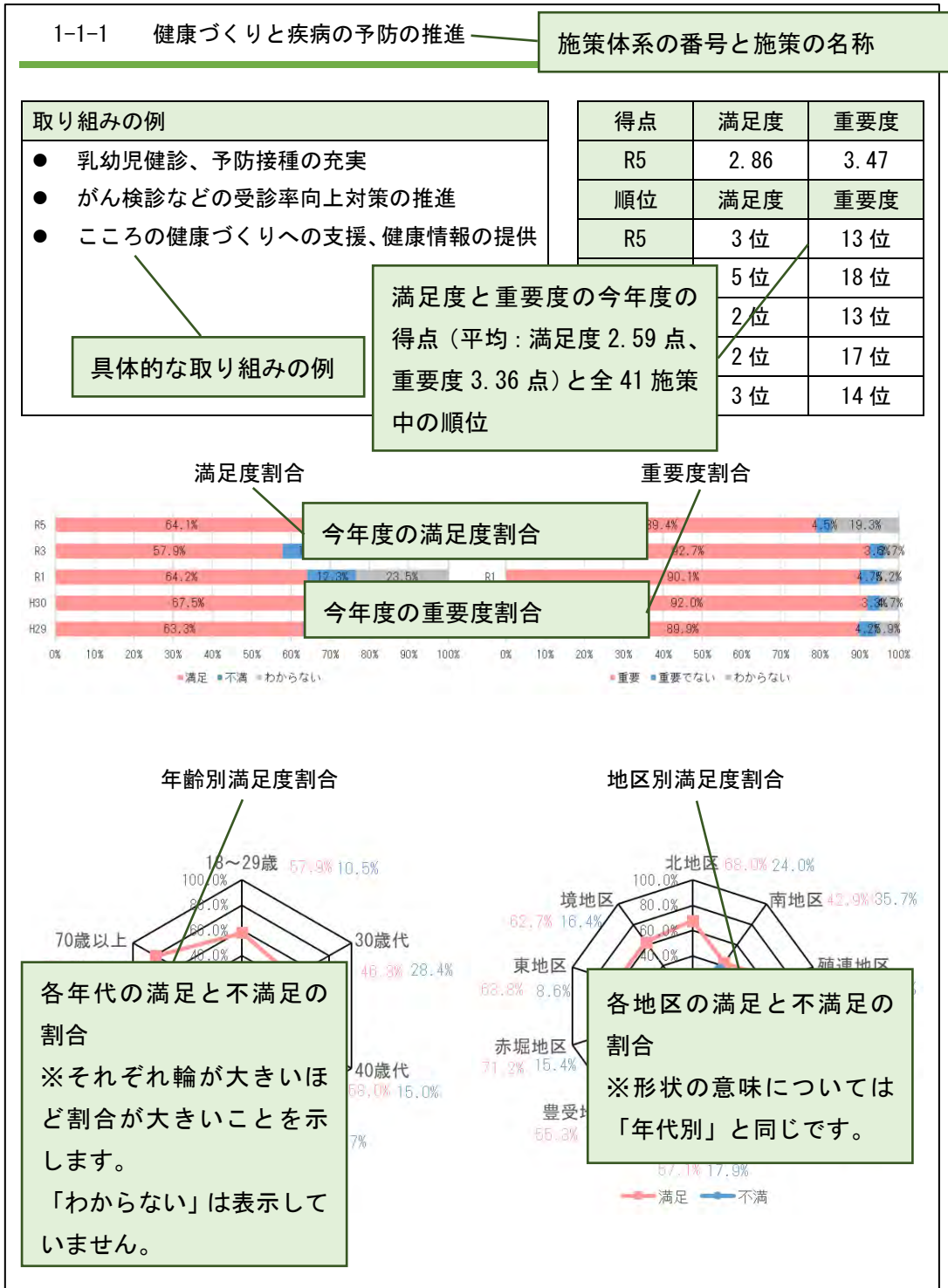
	得点		割合 (%)	
	満足度	重要度	満足	不満
効率的で効果的な行政運営の推進	2.49	3.41	41.9	33.0
安定的な財政運営の推進	2.43	3.54	36.4	30.2



(3) 施策別分析

41 施策についての満足度・重要度の得点及び割合を算出し、調査年度や年代別・地区別による比較を行った。

【 見 方 】

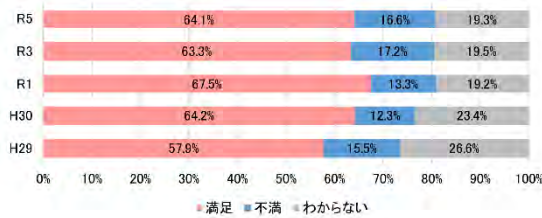


1-1-1 健康づくりと疾病の予防の推進

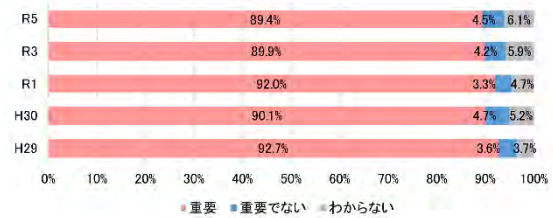
取り組みの例
<ul style="list-style-type: none"> ● 乳幼児健診、予防接種の充実 ● がん検診などの受診率向上対策の推進 ● ころの健康づくりへの支援、健康情報の提供など

得点	満足度	重要度
R5	2.86	3.47
順位	満足度	重要度
R5	3位	13位
R3	5位	18位
R1	2位	13位
H30	2位	17位
H29	3位	14位

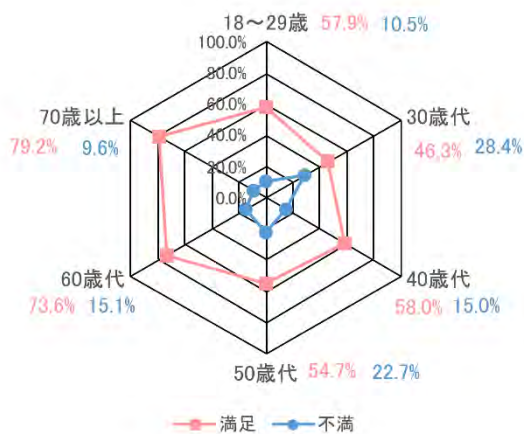
満足度割合



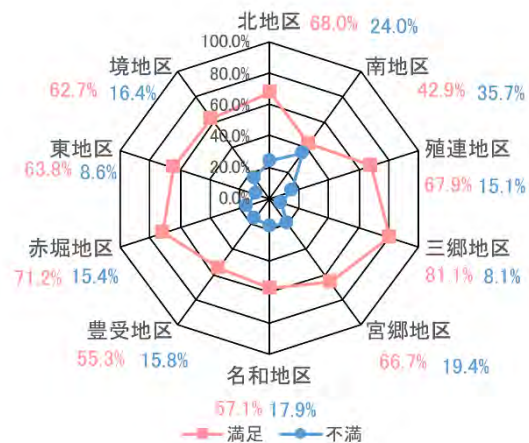
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

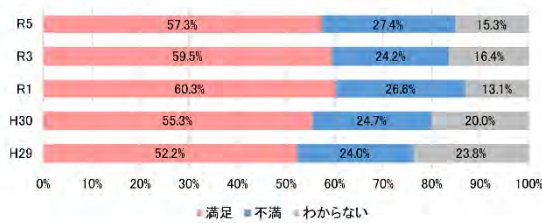


1-1-2 地域医療体制の充実

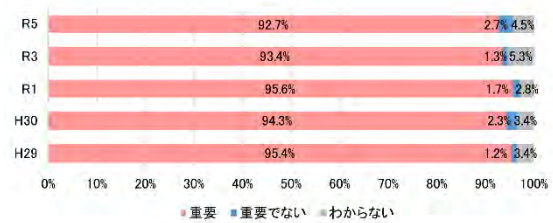
取り組みの例	
<ul style="list-style-type: none"> ● 伊勢崎市民病院の医療体制の充実 ● 休日や夜間の救急医療体制の充実 ● 地域の医療機関の連携への支援 	など

得点	満足度	重要度
R5	2.69	3.63
順位	満足度	重要度
R5	11位	4位
R3	14位	2位
R1	20位	2位
H30	19位	1位
H29	18位	1位

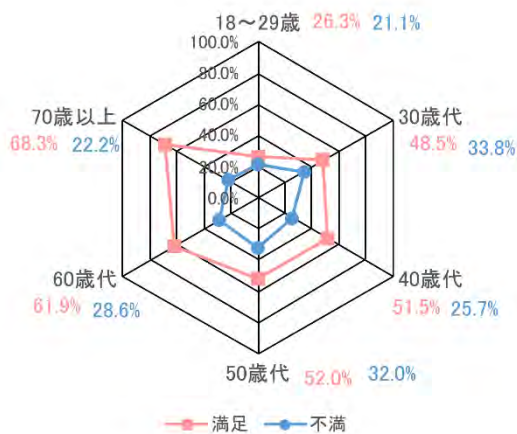
満足度割合



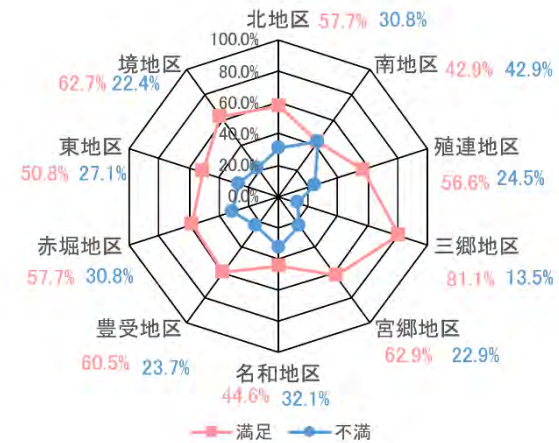
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

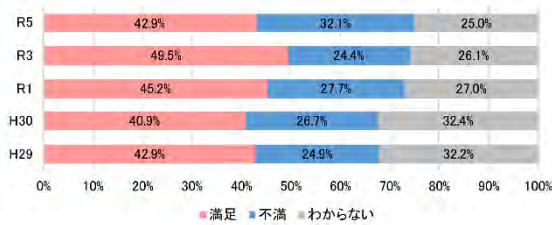


1-1-3 医療・年金制度の円滑な運営

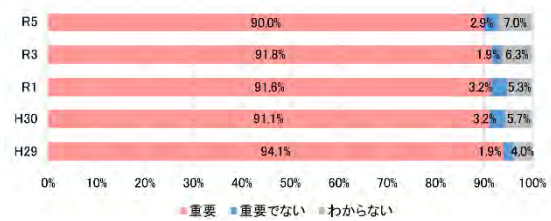
取り組みの例	
●	国民健康保険や後期高齢者医療制度の健全な運営
●	子どもの医療費無料化など医療費負担の軽減 など

得点	満足度	重要度
R5	2.54	3.64
順位	満足度	重要度
R5	27位	3位
R3	21位	5位
R1	29位	4位
H30	31位	3位
H29	29位	4位

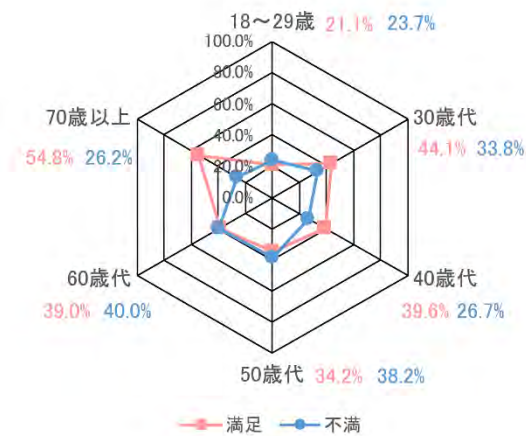
満足度割合



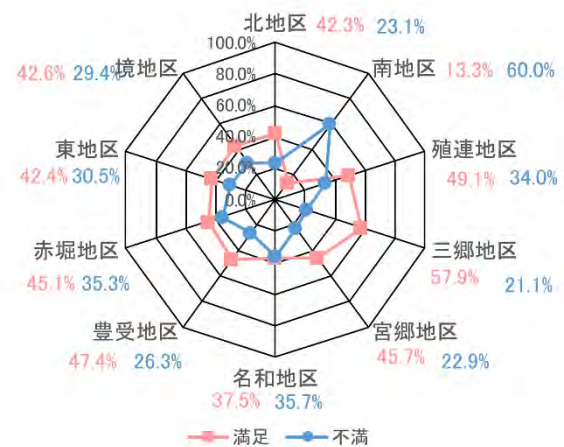
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

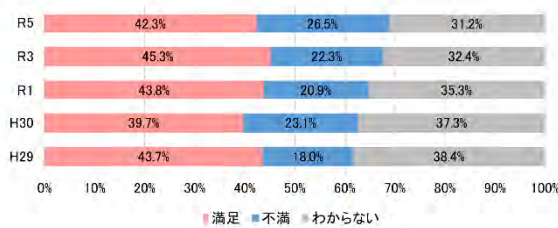


1-2-1 子ども・子育て支援の充実

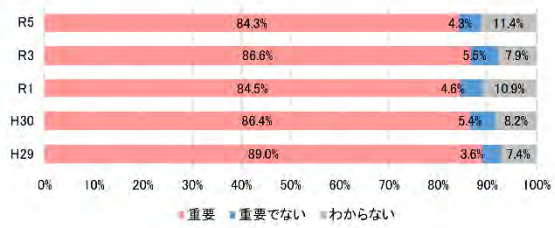
取り組みの例
<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て家庭支援の充実 ● 児童館、児童センターの機能の充実 ● 保育施設・体制の整備、保育サービスの充実 <p style="text-align: right;">など</p>

得点	満足度	重要度
R5	2.56	3.53
順位	満足度	重要度
R5	26位	11位
R3	20位	12位
R1	21位	8位
H30	21位	7位
H29	14位	9位

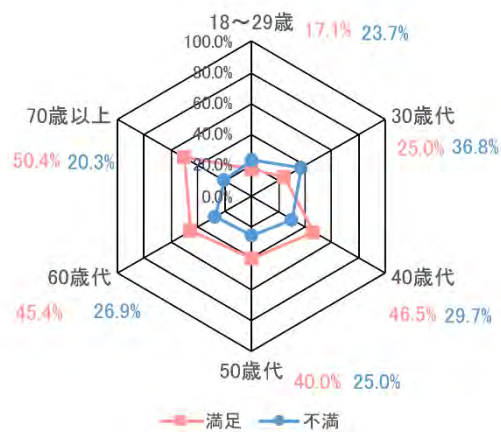
満足度割合



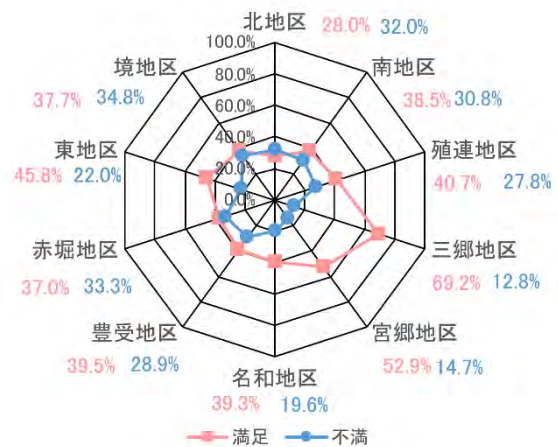
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

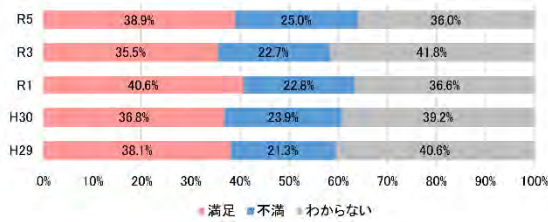


1-2-2 地域福祉社会の構築

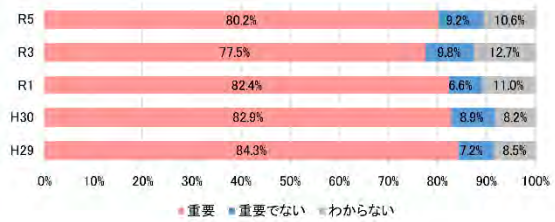
取り組みの例	
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の福祉活動団体への支援 ● 福祉ボランティア活動の活性化 	など

得点	満足度	重要度
R5	2.58	3.28
順位	満足度	重要度
R5	23位	29位
R3	28位	25位
R1	24位	25位
H30	26位	25位
H29	22位	25位

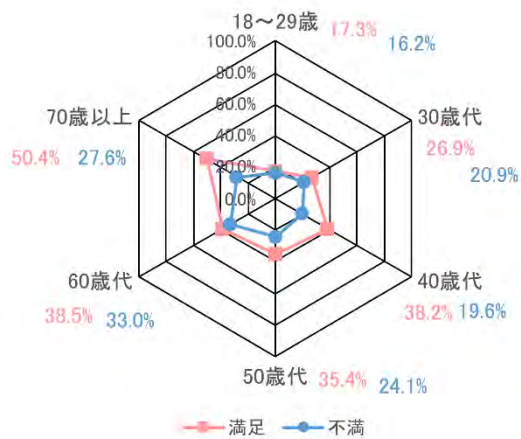
満足度割合



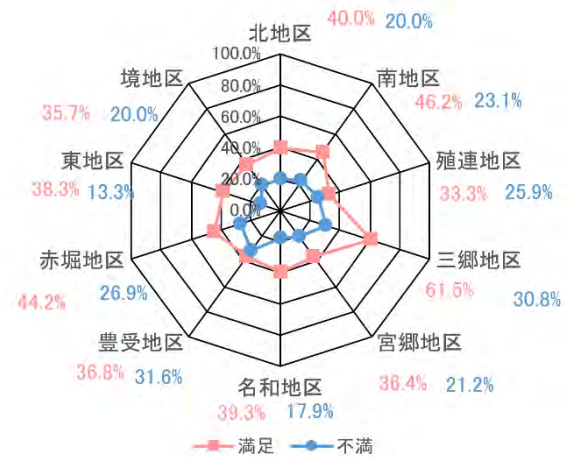
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

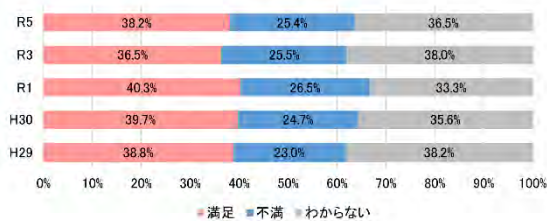


1-2-3 高齢者福祉の充実

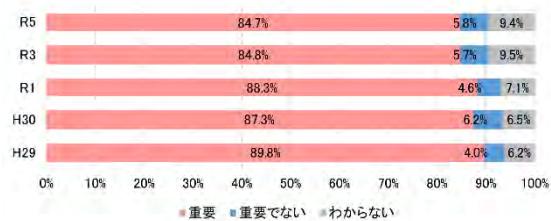
取り組みの例	
<ul style="list-style-type: none"> ● ミニデイサービス事業や相談・支援体制の充実 ● 高齢者の自立生活への支援 ● 介護保険サービスの充実 	など

得点	満足度	重要度
R5	2.57	3.45
順位	満足度	重要度
R5	25位	14位
R3	30位	16位
R1	31位	14位
H30	27位	13位
H29	24位	13位

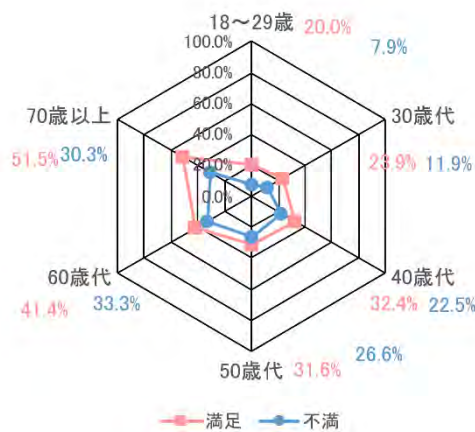
満足度割合



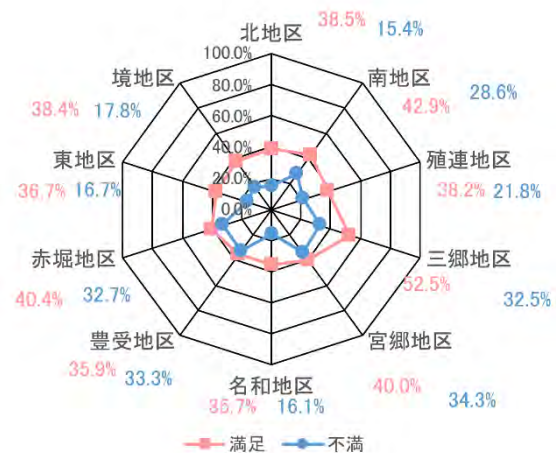
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

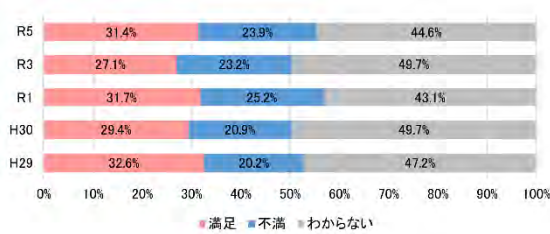


1-2-4 障害者福祉の充実

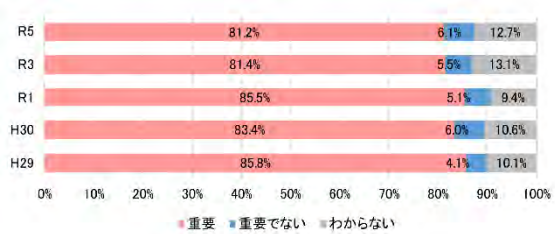
取り組みの例	
<ul style="list-style-type: none"> ● 在宅福祉サービスの充実 ● 相談体制の充実 ● 就労の促進、社会参加の支援 	など

得点	満足度	重要度
R5	2.51	3.41
順位	満足度	重要度
R5	31位	16位
R3	37位	19位
R1	37位	16位
H30	32位	19位
H29	27位	15位

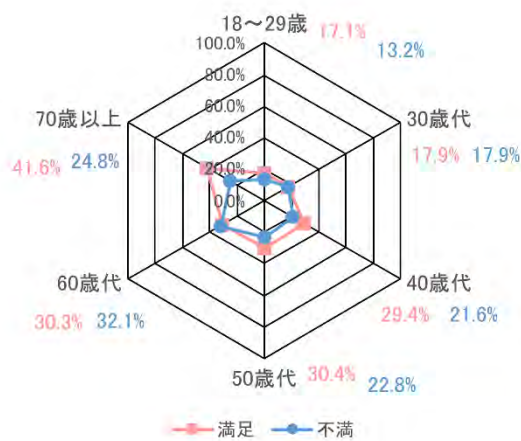
満足度割合



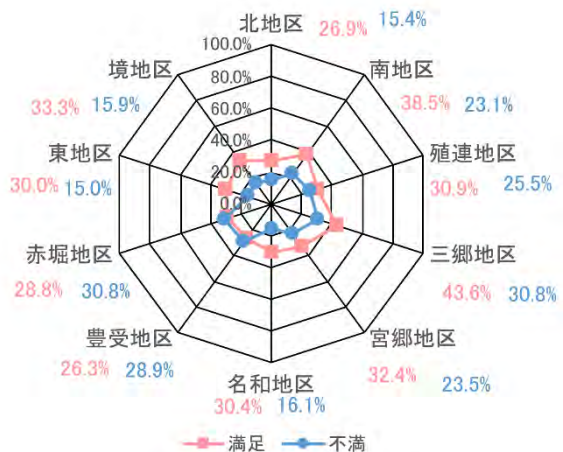
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

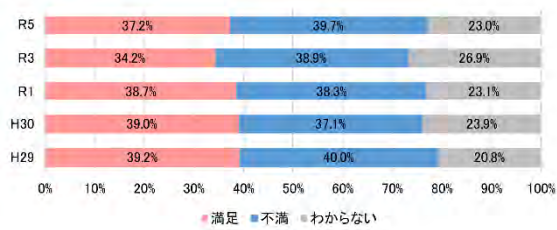


2-1-1 適正な土地利用と良好な景観形成

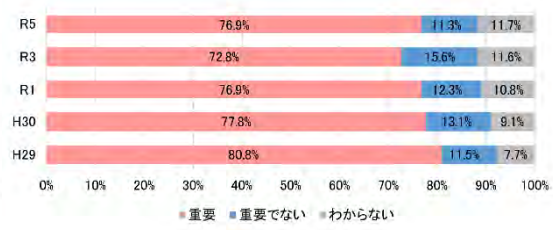
取り組みの例	
<ul style="list-style-type: none"> ● 適正な土地利用の誘導 ● 生活関連サービスの集約と居住の誘導 ● 大規模な建築物などの景観誘導 ● 屋外広告物の適正表示の推進 	など

得点	満足度	重要度
R5	2.35	3.19
順位	満足度	重要度
R5	39位	33位
R3	39位	36位
R1	39位	34位
H30	39位	33位
H29	38位	32位

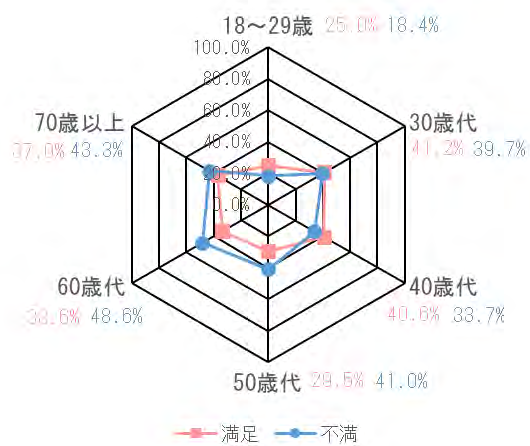
満足度割合



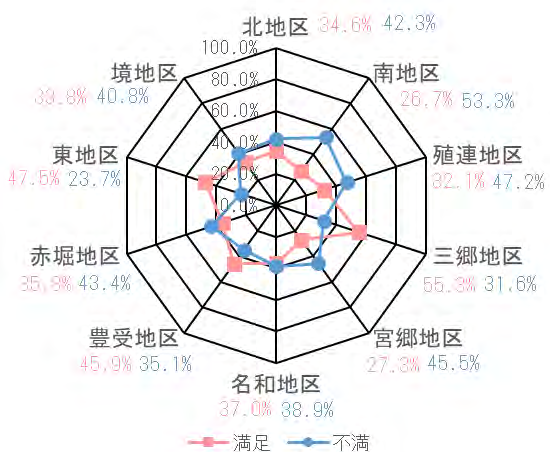
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

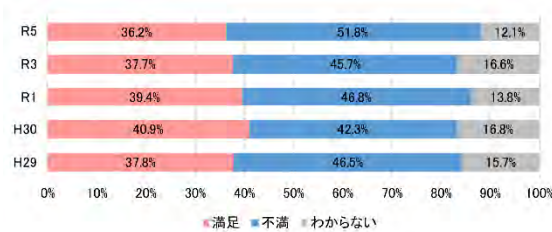


2-1-2 魅力ある市街地の整備

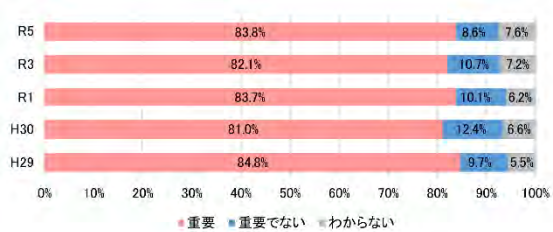
取り組みの例	
● 土地区画整理事業の推進による安全で快適な市街地の整備	など
● 利便性の高い道路や公園などの都市施設の整備	

得点	満足度	重要度
R5	2.25	3.31
順位	満足度	重要度
R5	40位	28位
R3	40位	27位
R1	40位	31位
H30	40位	30位
H29	41位	30位

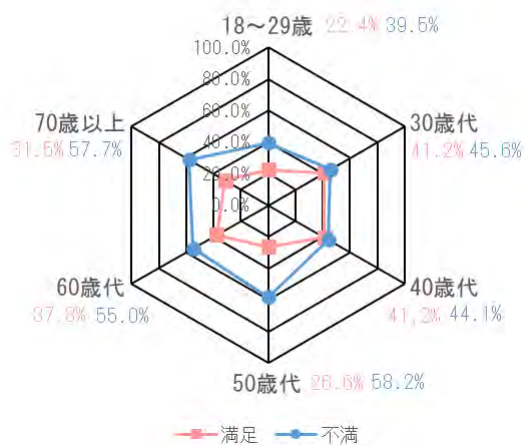
満足度割合



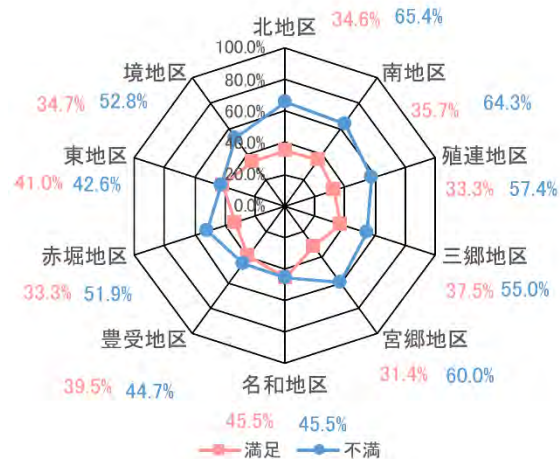
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

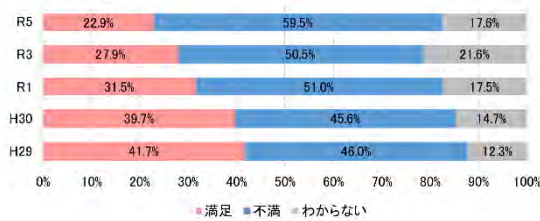


2-1-3 公共交通ネットワークの確立

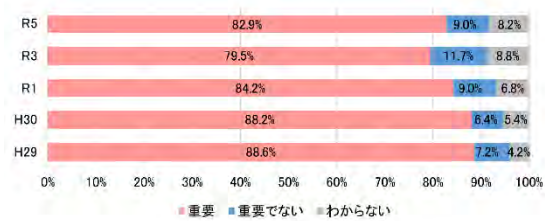
取り組みの例	
● コミュニティバスの路線や停留所など再編による利便性の向上	など
● コミュニティバス、路線バス、高速バスの利用促進	

得点	満足度	重要度
R5	2.00	3.35
順位	満足度	重要度
R5	41位	24位
R3	41位	24位
R1	41位	21位
H30	41位	15位
H29	40位	19位

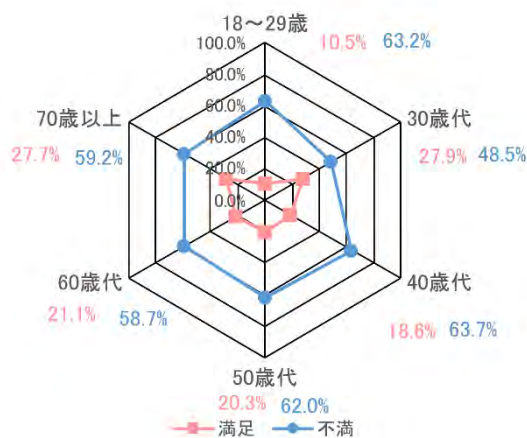
満足度割合



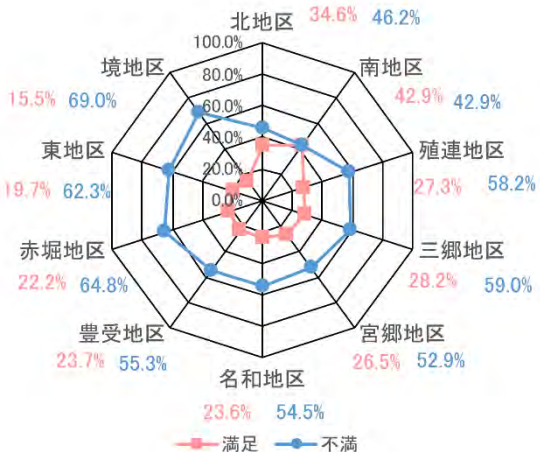
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

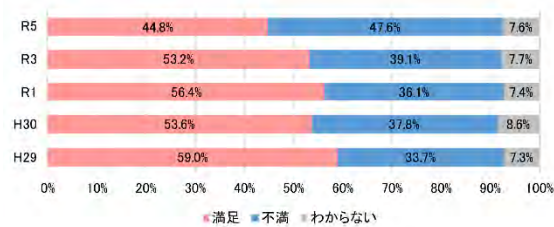


2-1-4 道路の整備と管理

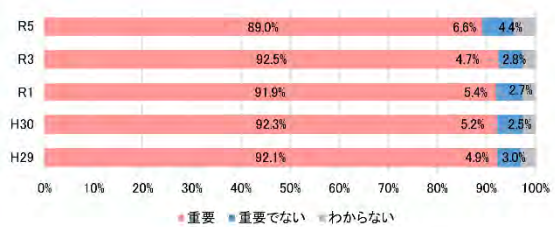
取り組みの例	
<ul style="list-style-type: none"> ● 幹線道路の整備による交通利便性の向上 ● 橋りょうやガードレールなどの道路施設の維持修繕 ● 幅員の狭い道路の解消 	など

得点	満足度	重要度
R5	2.36	3.40
順位	満足度	重要度
R5	38位	19位
R3	34位	15位
R1	32位	19位
H30	29位	16位
H29	26位	20位

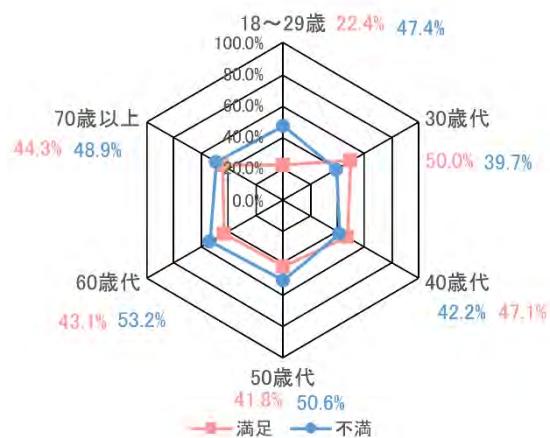
満足度割合



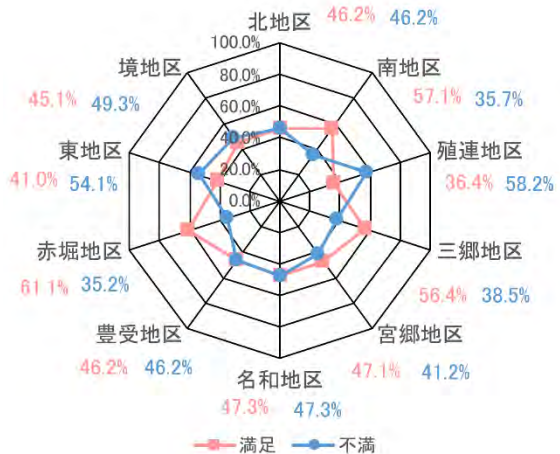
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

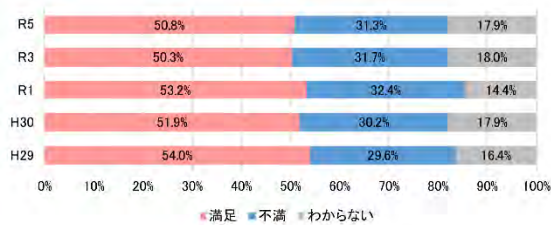


2-1-5 適切な生活排水処理の推進

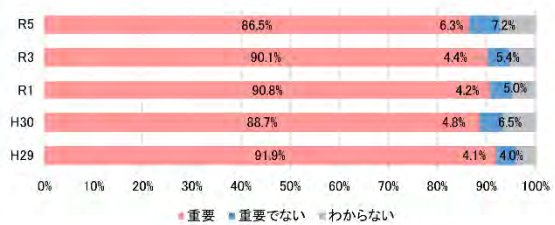
取り組みの例	
<ul style="list-style-type: none"> ● 下水道の整備と接続の推進 ● 浄化槽の設置や入れ替えに対する補助制度の充実 	など

得点	満足度	重要度
R5	2.59	3.41
順位	満足度	重要度
R5	21位	18位
R3	24位	17位
R1	23位	15位
H30	22位	14位
H29	25位	16位

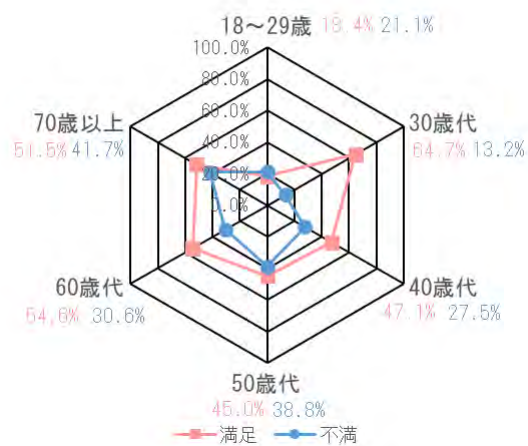
満足度割合



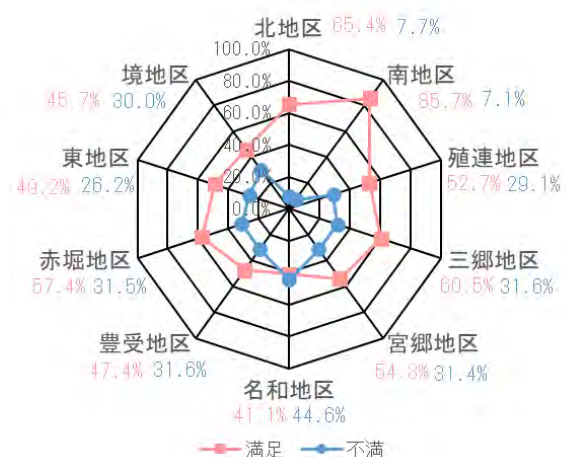
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

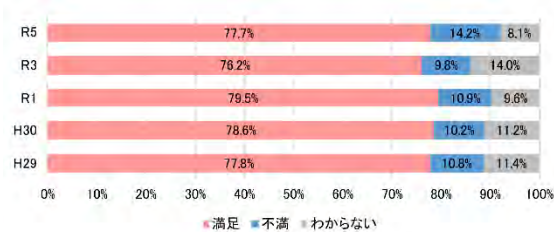


2-1-6 安定した水道水の供給

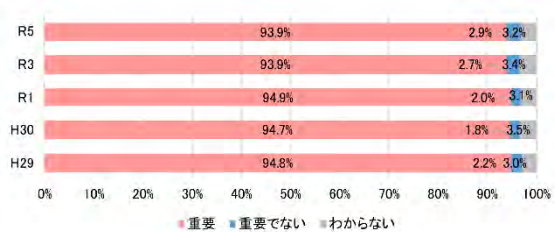
取り組みの例	
<ul style="list-style-type: none"> ● 水道施設の耐震化、老朽化した水道施設の更新 ● 配水管の整備、水質検査などによる安全性の確保 	など

得点	満足度	重要度
R5	3.15	3.67
順位	満足度	重要度
R5	1位	1位
R3	1位	3位
R1	1位	1位
H30	1位	2位
H29	1位	5位

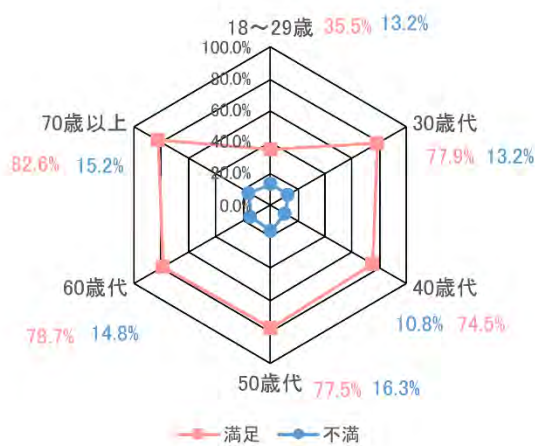
満足度割合



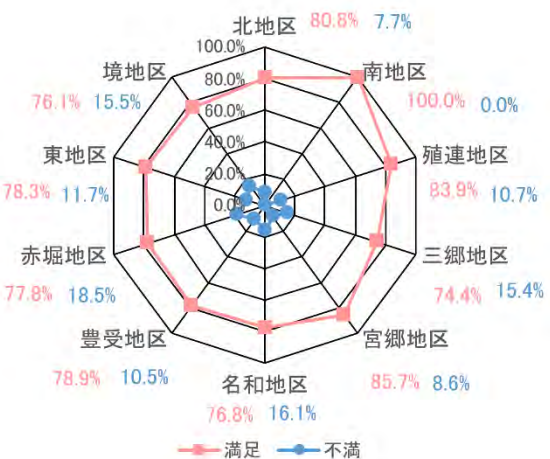
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

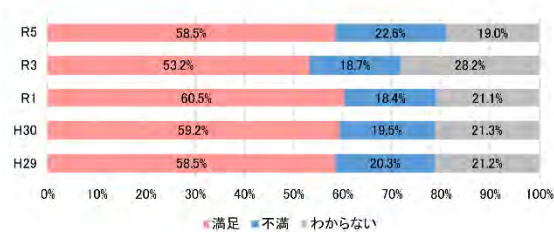


2-1-7 良好な居住環境の形成

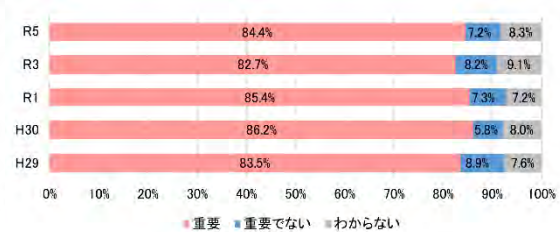
取り組みの例	
<ul style="list-style-type: none"> ● 無秩序な住宅開発を防ぐための指導 ● 住宅の耐震対策の促進 ● 市営住宅の計画的な整備・修繕 	など

得点	満足度	重要度
R5	2.78	3.39
順位	満足度	重要度
R5	5位	21位
R3	8位	22位
R1	7位	22位
H30	4位	21位
H29	7位	26位

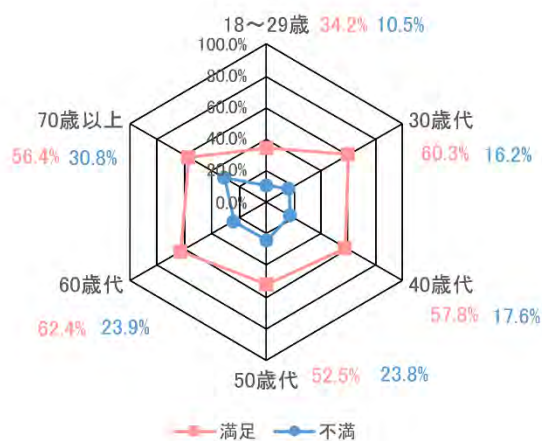
満足度割合



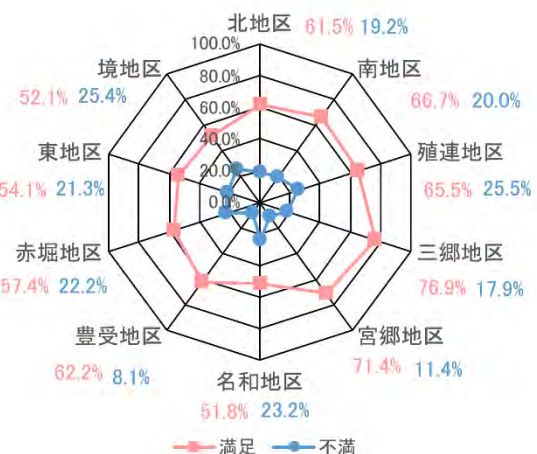
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

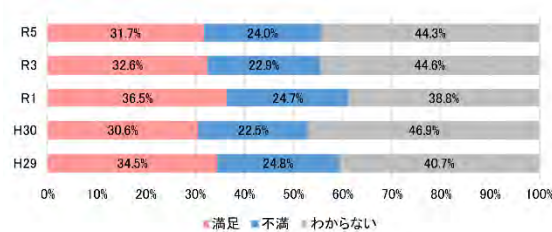


2-2-1 持続可能な農業の振興

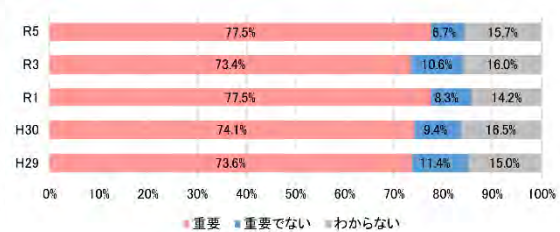
取り組みの例	
●	意欲ある農業者の確保・育成
●	土地改良事業によるほ場整備など農業生産基盤の整備
●	地元産農産物の地産地消の推進や流通の拡大 など

得点	満足度	重要度
R5	2.53	3.39
順位	満足度	重要度
R5	29位	20位
R3	25位	28位
R1	35位	28位
H30	33位	31位
H29	31位	34位

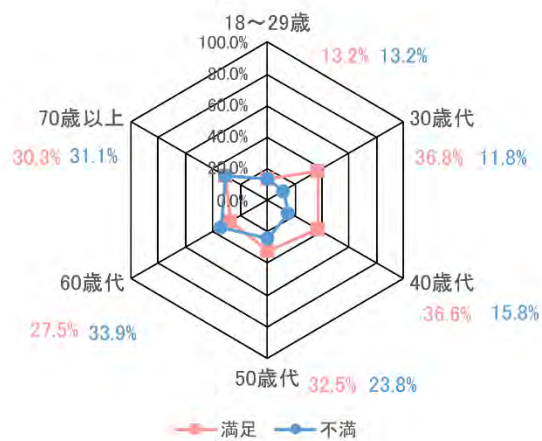
満足度割合



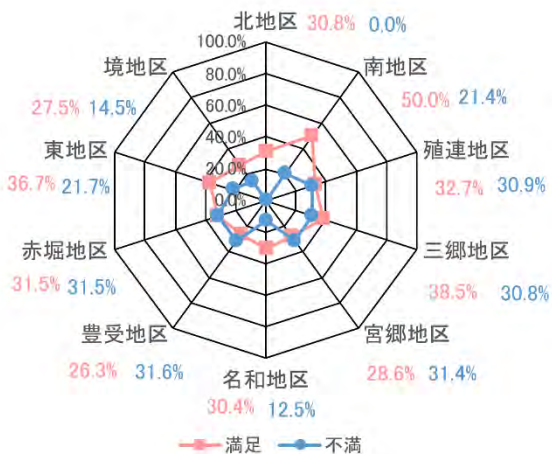
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

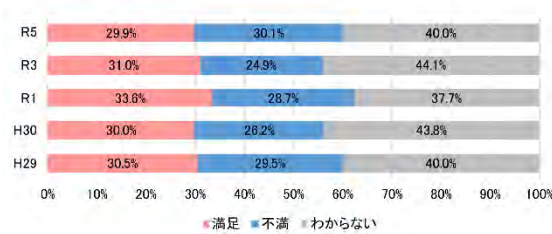


2-2-2 活力ある商工業の振興

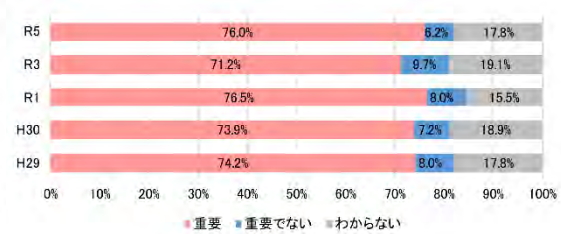
取り組みの例	
<ul style="list-style-type: none"> ● 商業活性化への支援 ● 融資制度や経営相談の充実 ● 中小企業の販路や受注の拡大への支援 	など

得点	満足度	重要度
R5	2.43	3.35
順位	満足度	重要度
R5	35位	25位
R3	35位	30位
R1	38位	32位
H30	37位	27位
H29	37位	31位

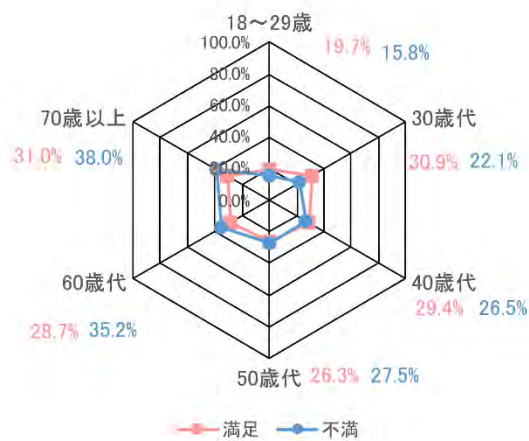
満足度割合



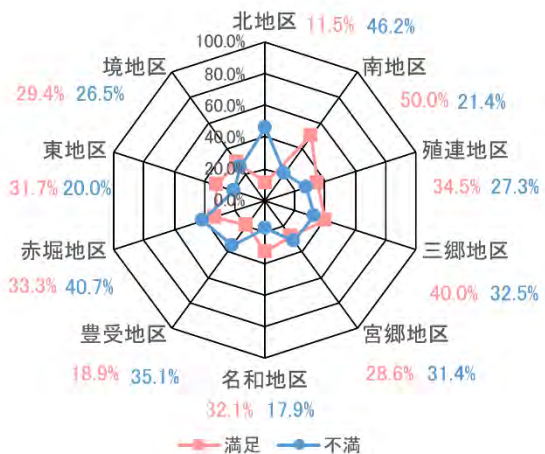
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

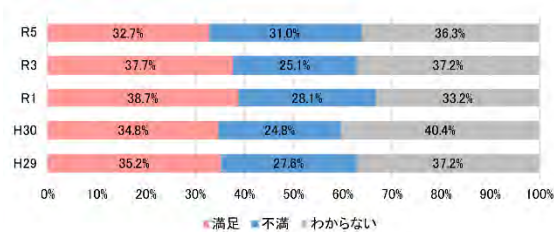


2-2-3 企業誘致の推進と雇用の促進

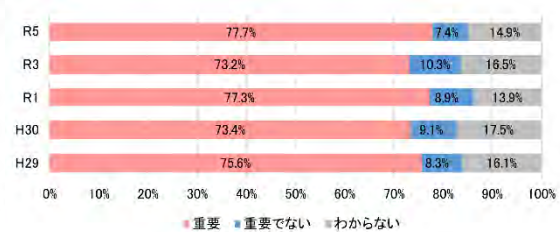
取り組みの例	
<ul style="list-style-type: none"> ● 積極的な企業誘致活動の展開 ● 雇用機会の確保と雇用の推進 ● 新たな産業団地の検討 	など

得点	満足度	重要度
R5	2.44	3.33
順位	満足度	重要度
R5	34位	26位
R3	26位	31位
R1	33位	26位
H30	30位	28位
H29	32位	29位

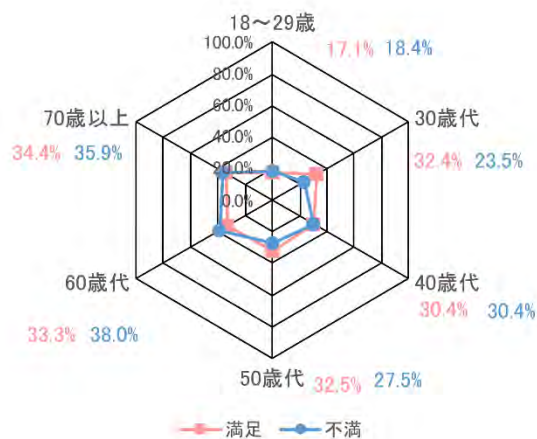
満足度割合



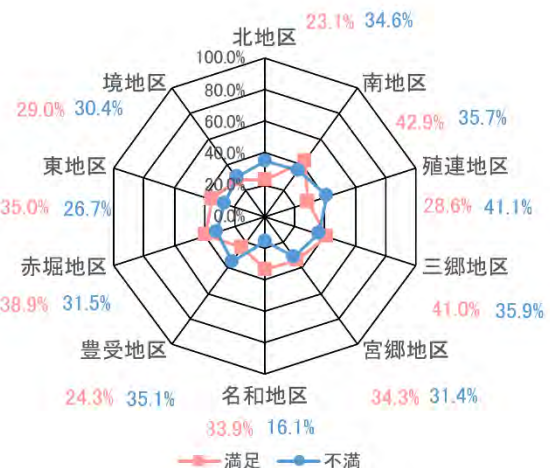
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

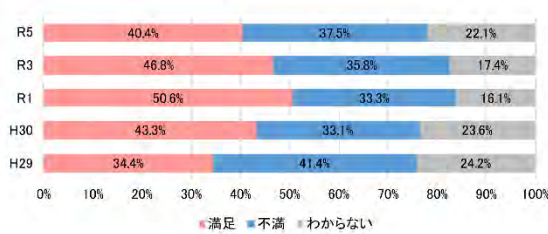


2-2-4 魅力ある観光の振興

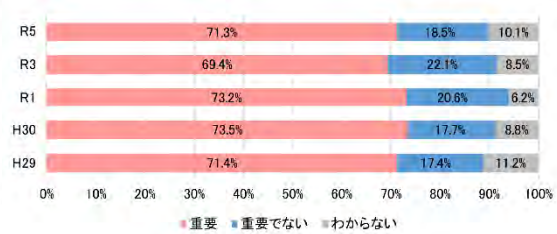
取り組みの例	
● 華蔵寺公園遊園地・赤堀花しょうぶ園などの花施設など観光資源の活用	など
● 夏まつり・花火大会・グルメイベントなど誘客イベントの開催	

得点	満足度	重要度
R5	2.47	3.08
順位	満足度	重要度
R5	33位	36位
R3	32位	39位
R1	28位	39位
H30	35位	37位
H29	39位	39位

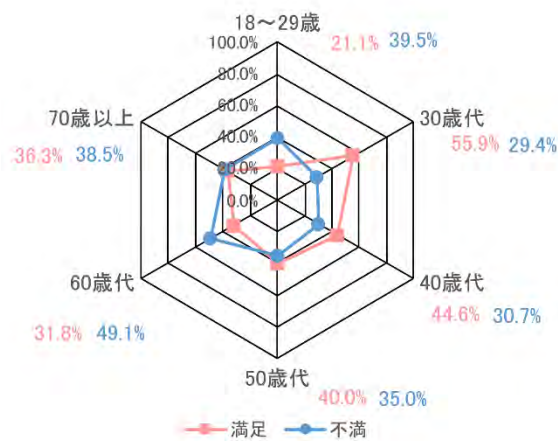
満足度割合



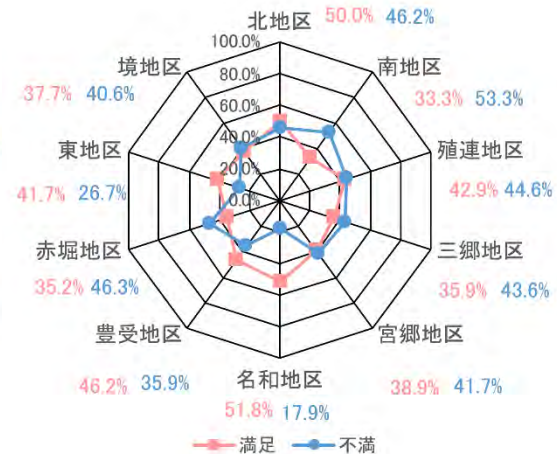
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

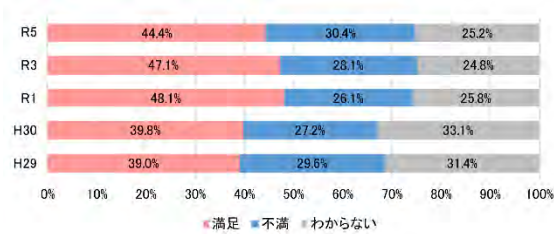


3-1-1 危機管理体制の充実

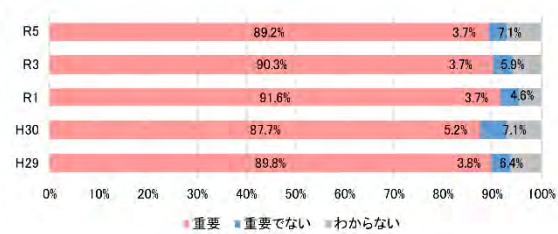
取り組みの例	
<ul style="list-style-type: none"> ● メールなどによる情報発信 ● 防災訓練など地域の防災体制の強化 ● 企業などとの災害時協力協定の締結 	など

得点	満足度	重要度
R5	2.59	3.52
順位	満足度	重要度
R5	20位	12位
R3	23位	9位
R1	22位	10位
H30	28位	12位
H29	34位	10位

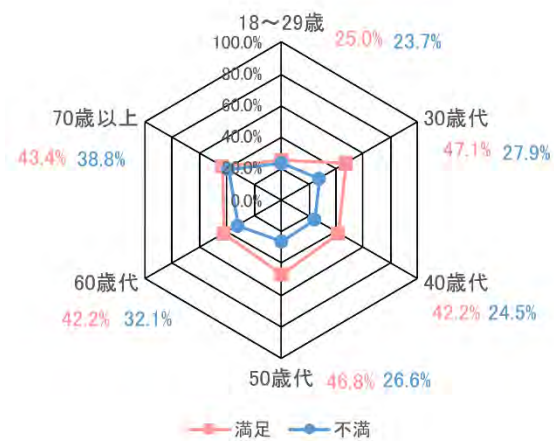
満足度割合



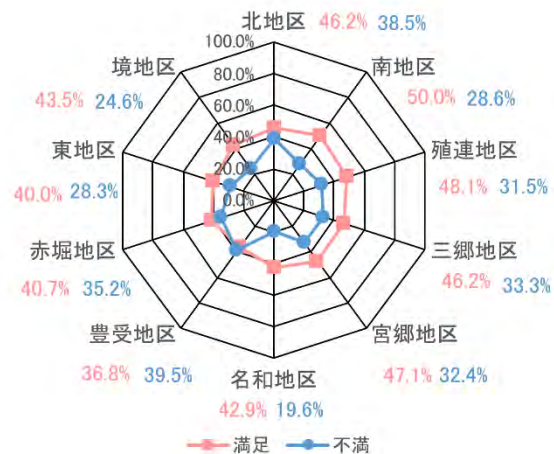
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

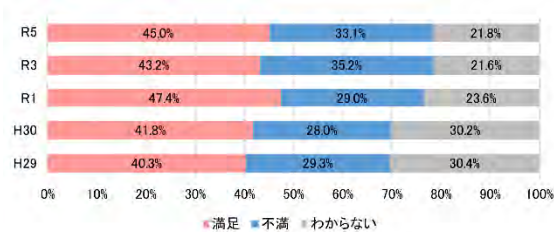


3-1-2 災害に強いまちづくり

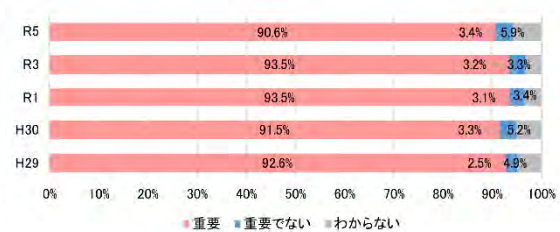
取り組みの例	
<ul style="list-style-type: none"> ● 水路の整備などによる浸水被害の防止 ● 機材や物資の備蓄による避難場所の環境整備 ● 住宅や公共施設の耐震化 	など

得点	満足度	重要度
R5	2.58	3.62
順位	満足度	重要度
R5	22位	6位
R3	33位	1位
R1	25位	5位
H30	24位	5位
H29	33位	3位

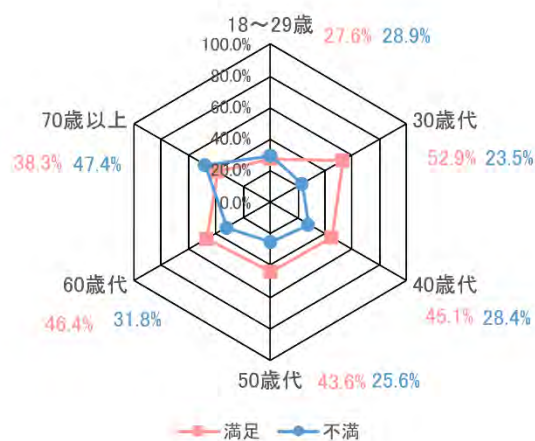
満足度割合



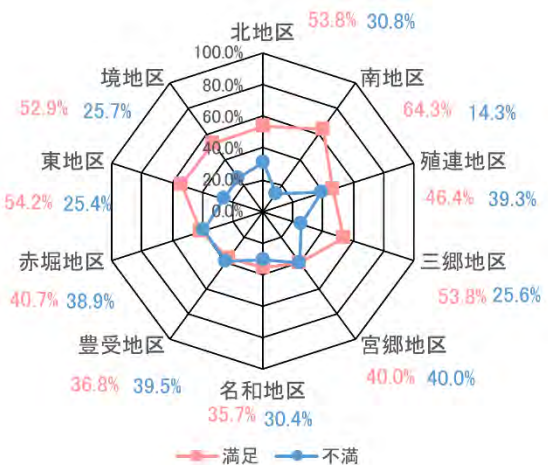
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

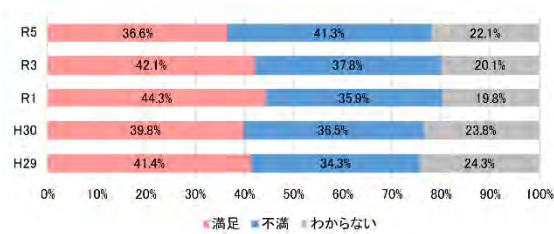


3-1-3 防犯対策の強化

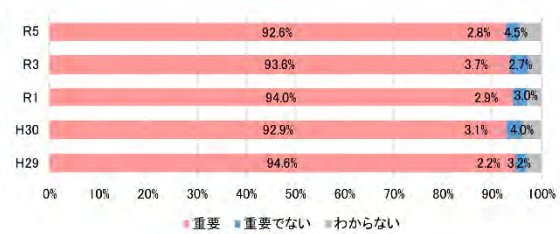
取り組みの例	
<ul style="list-style-type: none"> ● 警察や防犯団体との連携体制の強化 ● 防犯パトロールの実施 ● 防犯灯や防犯カメラ内蔵防犯灯の設置 	など

得点	満足度	重要度
R5	2.40	3.66
順位	満足度	重要度
R5	37位	2位
R3	36位	4位
R1	36位	3位
H30	38位	4位
H29	35位	2位

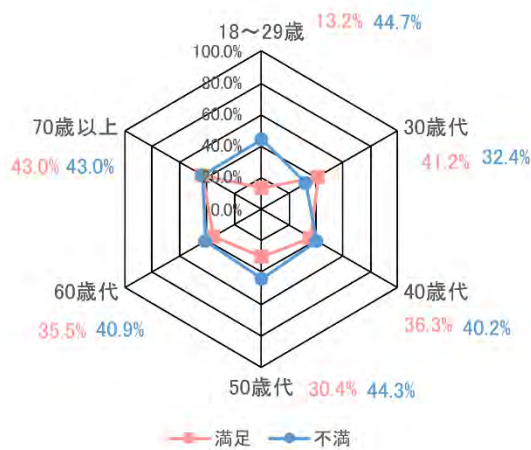
満足度割合



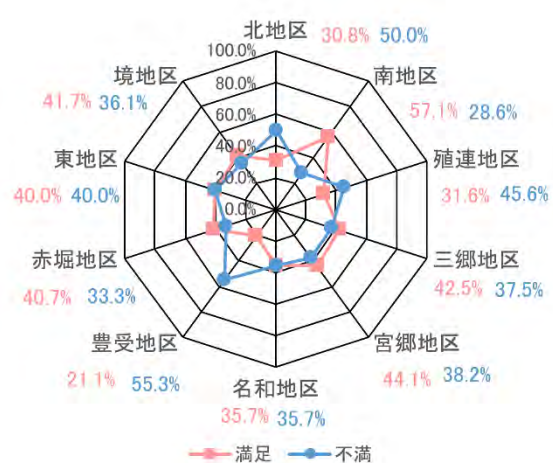
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

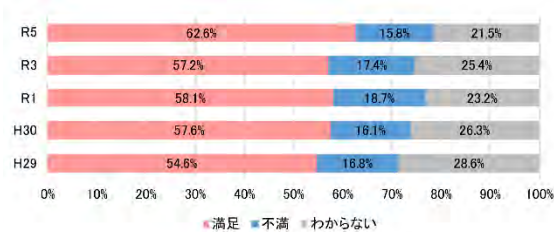


3-1-4 消防・救急体制の充実

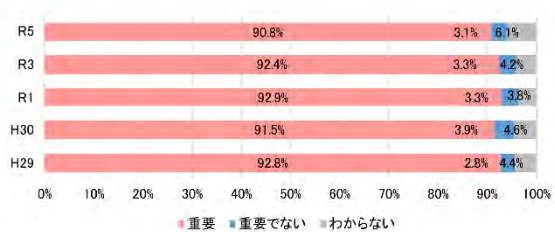
取り組みの例	
● 消防施設の整備や装備の充実	など
● 住宅用火災警報器の設置と維持管理対策の促進	
● 救急出動体制や装備資器材の整備	

得点	満足度	重要度
R5	2.89	3.63
順位	満足度	重要度
R5	2位	5位
R3	3位	8位
R1	4位	6位
H30	3位	9位
H29	2位	6位

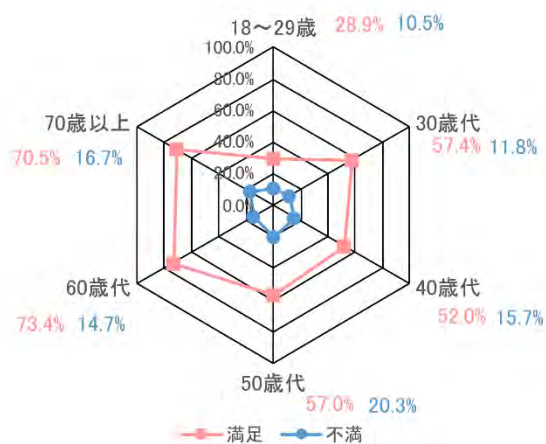
満足度割合



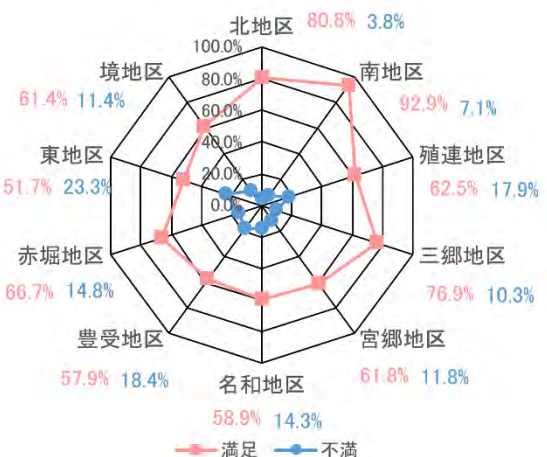
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

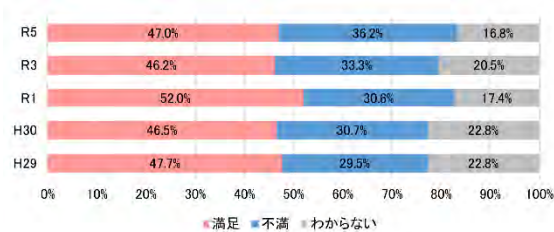


3-1-5 交通安全対策の推進

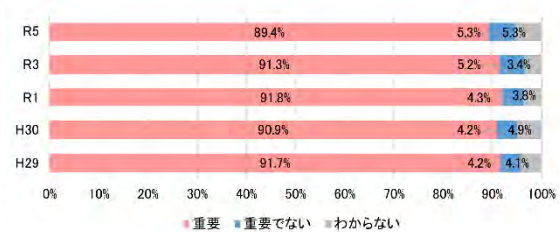
取り組みの例	
● 道路反射鏡や道路標識など交通安全施設の充実	など
● 高齢者・子どもを対象とした交通安全教室の開催	

得点	満足度	重要度
R5	2.54	3.55
順位	満足度	重要度
R5	28位	8位
R3	31位	10位
R1	26位	9位
H30	25位	10位
H29	30位	12位

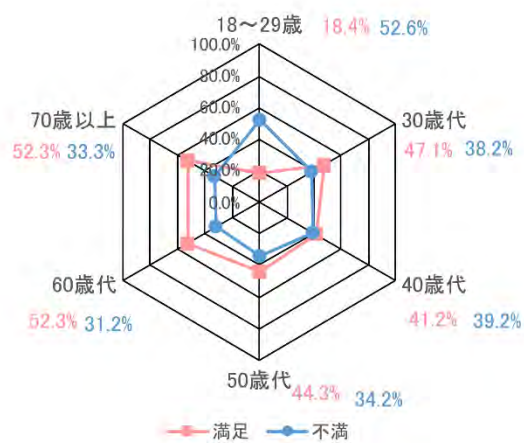
満足度割合



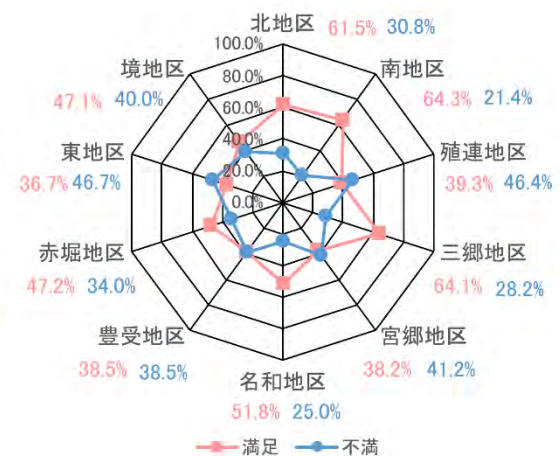
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

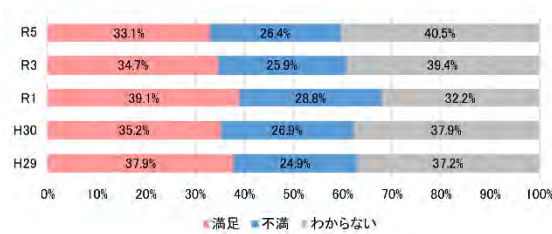


3-1-6 消費者保護対策の充実

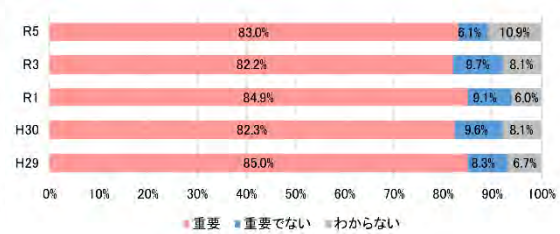
取り組みの例	
● 悪質商法などの被害を防止するための意識啓発	など
● 消費者トラブルに対する相談体制の充実	

得点	満足度	重要度
R5	2.52	3.37
順位	満足度	重要度
R5	30位	23位
R3	29位	21位
R1	34位	20位
H30	34位	23位
H29	28位	22位

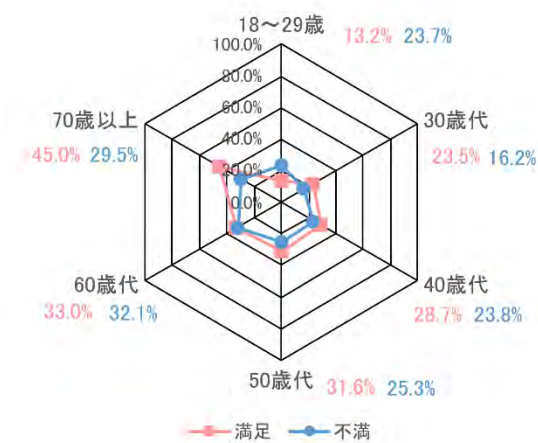
満足度割合



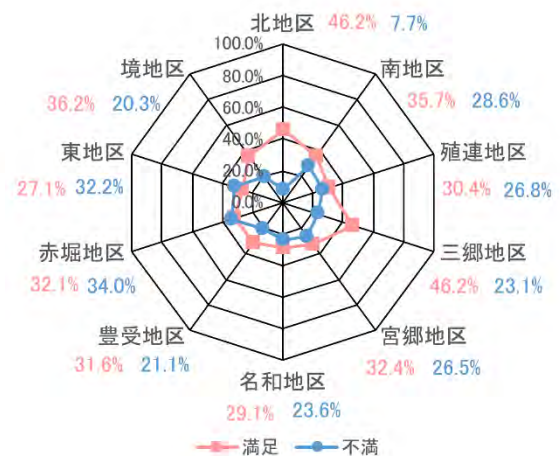
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

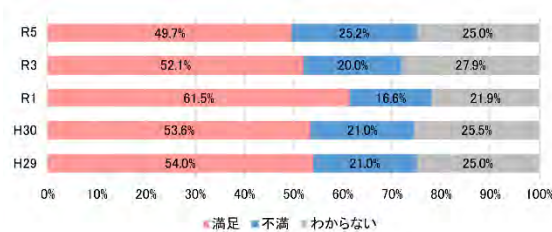


3-2-1 良好な地域環境の保全

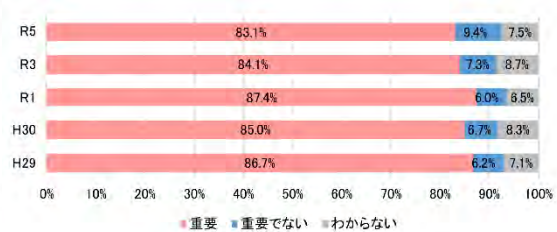
取り組みの例	
<ul style="list-style-type: none"> ● 公害防止のための検査や指導 ● 企業や家庭での省エネ・省資源活動の促進 ● 環境美化活動 	など

得点	満足度	重要度
R5	2.67	3.27
順位	満足度	重要度
R5	14位	31位
R3	9位	23位
R1	6位	24位
H30	11位	24位
H29	12位	23位

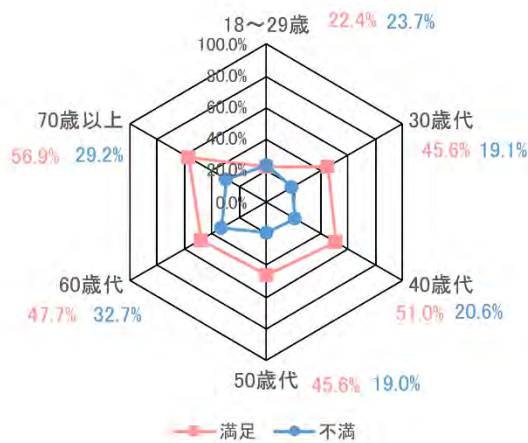
満足度割合



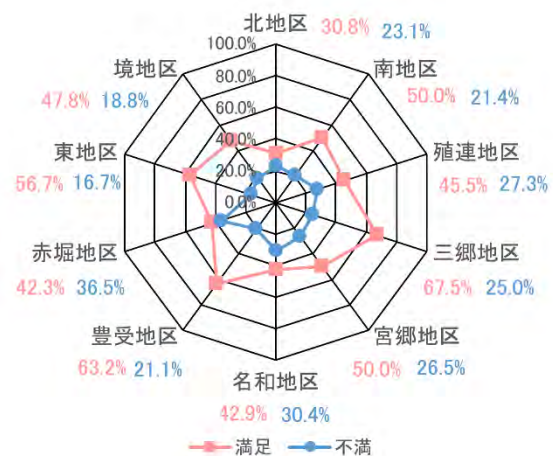
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

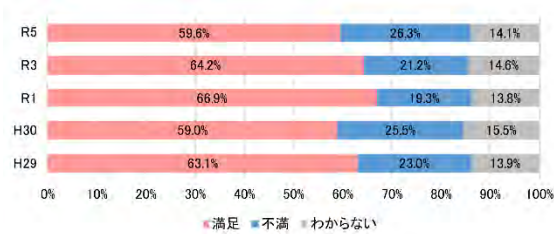


3-2-2 ごみの減量と再資源化の推進

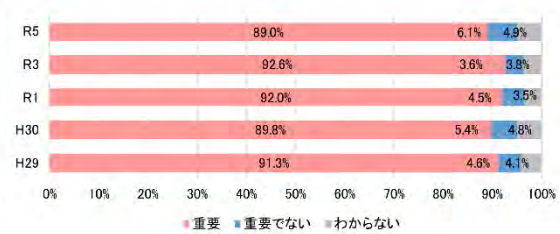
取り組みの例	
<ul style="list-style-type: none"> ● ごみの分別収集とリサイクルの推進 ● ごみ処理施設、し尿処理施設の機能の充実や安定稼働 	など

得点	満足度	重要度
R5	2.73	3.44
順位	満足度	重要度
R5	7位	15位
R3	6位	14位
R1	5位	18位
H30	8位	20位
H29	8位	18位

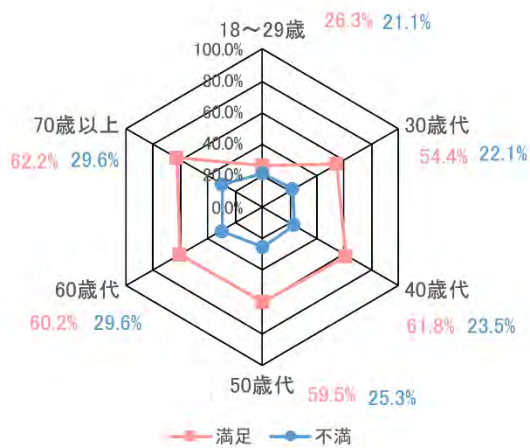
満足度割合



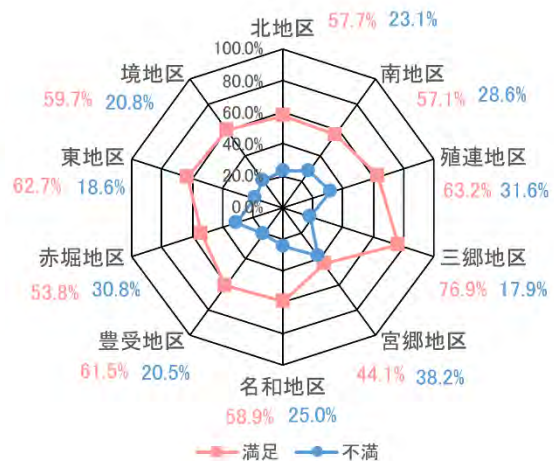
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

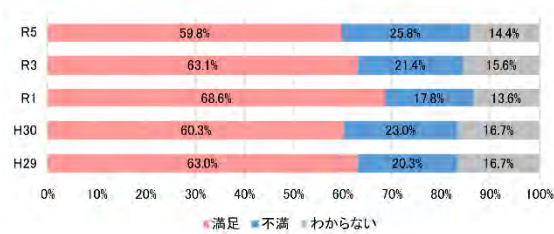


3-2-3 水と緑の空間の形成

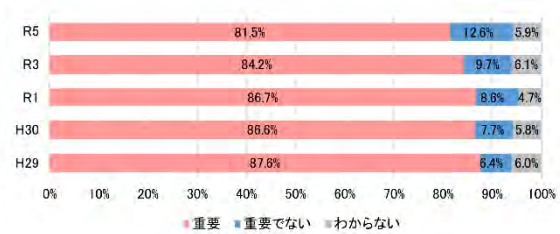
取り組みの例	
●	公園施設の整備・維持管理
●	地域のみどりや親水空間の保全と緑化の推進 など

得点	満足度	重要度
R5	2.75	3.22
順位	満足度	重要度
R5	6位	32位
R3	2位	26位
R1	3位	29位
H30	6位	29位
H29	4位	24位

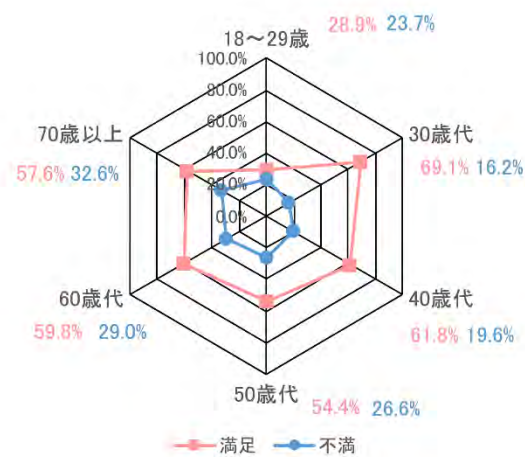
満足度割合



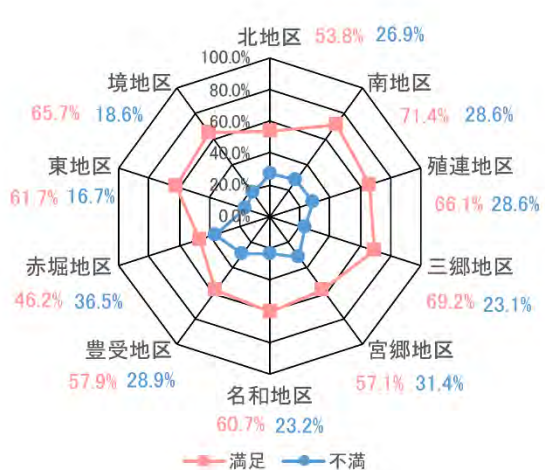
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

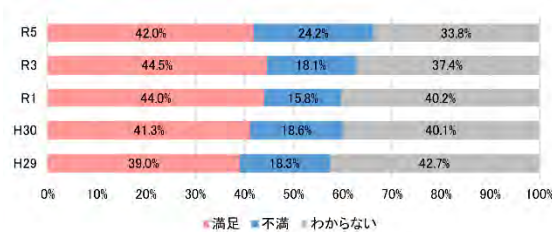


4-1-1 幼児・学校教育の充実

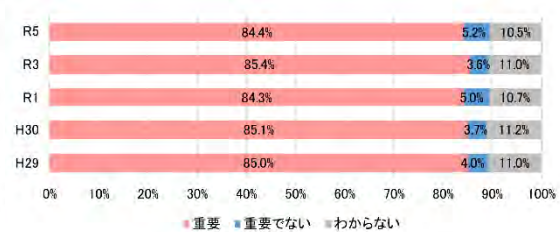
取り組みの例	
● 学力向上や豊かな心の育成	など
● 様々な人との交流や体験活動を重視した幼稚園教育の充実	
● 独自の教育構想による特色ある学校づくり	

得点	満足度	重要度
R5	2.65	3.54
順位	満足度	重要度
R5	16位	10位
R3	12位	11位
R1	13位	12位
H30	14位	11位
H29	16位	11位

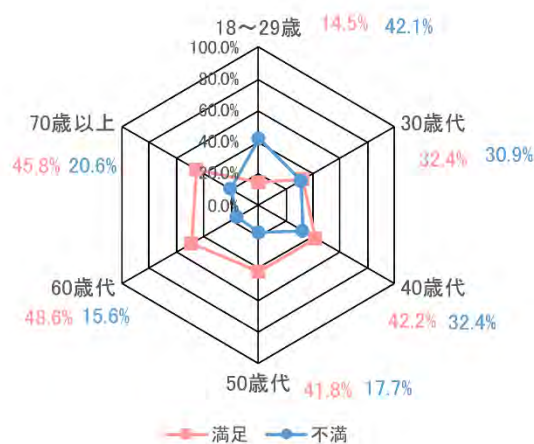
満足度割合



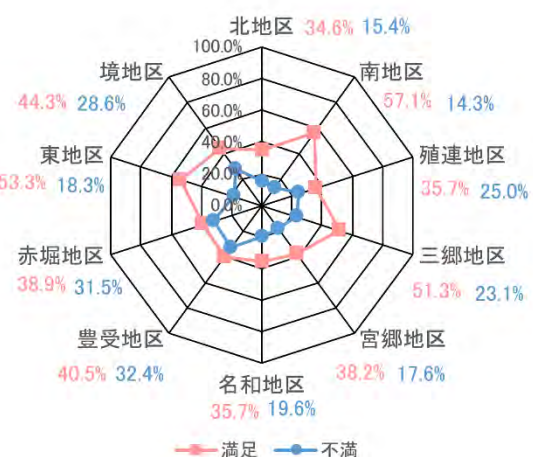
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

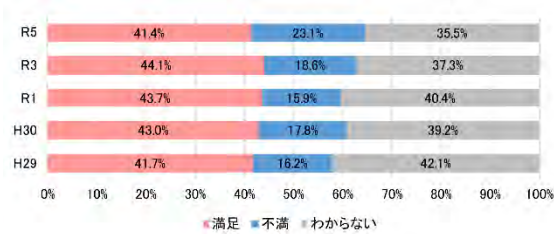


4-1-2 児童・生徒の健全な心身の育成

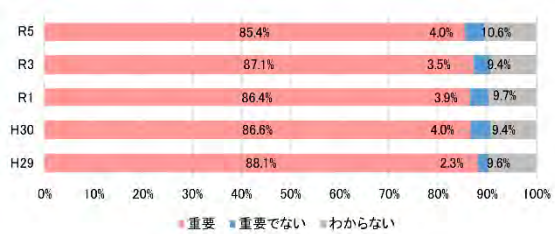
取り組みの例	
<ul style="list-style-type: none"> ● 小・中学生への規則正しい生活習慣の指導 ● 学校給食での食材や食品の安全管理 ● 通学路の安全対策、感染症対策 	など

得点	満足度	重要度
R5	2.66	3.58
順位	満足度	重要度
R5	15位	7位
R3	13位	7位
R1	11位	11位
H30	10位	6位
H29	11位	7位

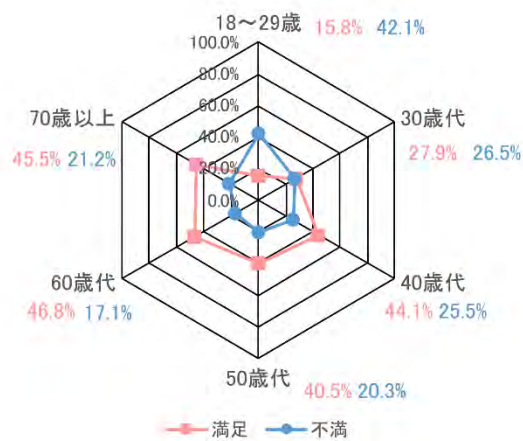
満足度割合



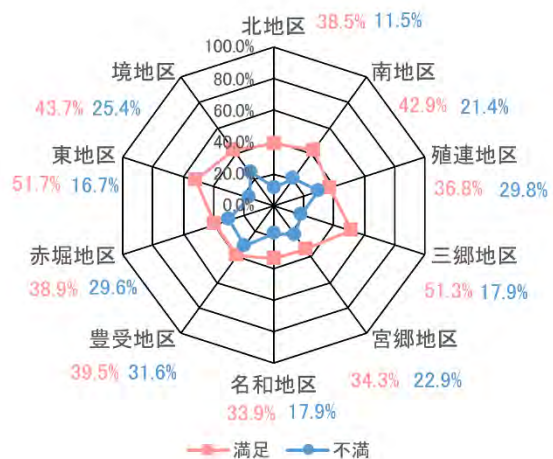
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

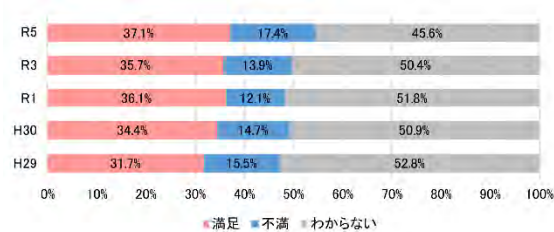


4-1-3 中等教育学校教育の充実

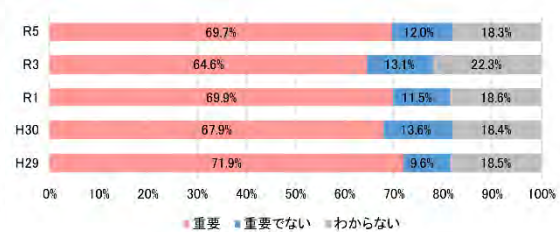
取り組みの例
<ul style="list-style-type: none"> ● 四ツ葉学園中等教育学校の中高一貫教育の特徴を生かした教育内容や進路指導の充実 など

得点	満足度	重要度
R5	2.70	3.28
順位	満足度	重要度
R5	9位	30位
R3	11位	32位
R1	8位	30位
H30	17位	32位
H29	20位	27位

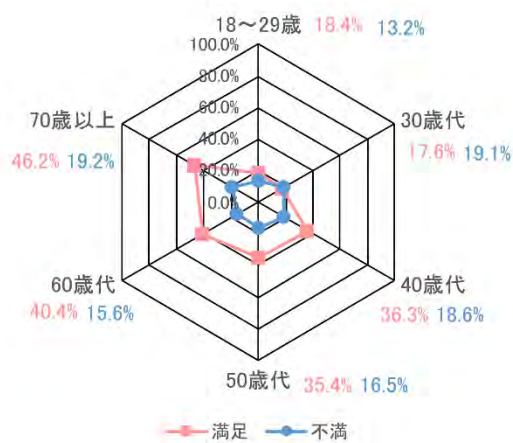
満足度割合



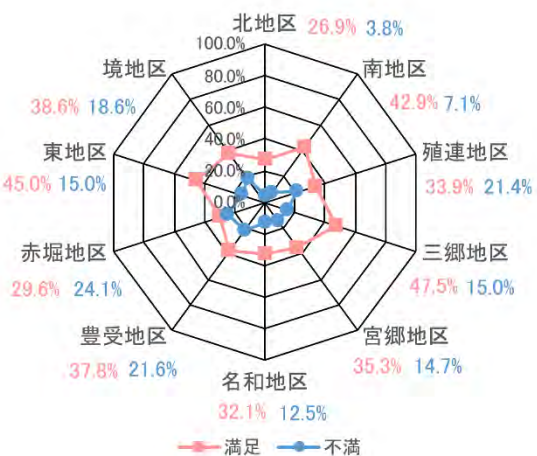
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

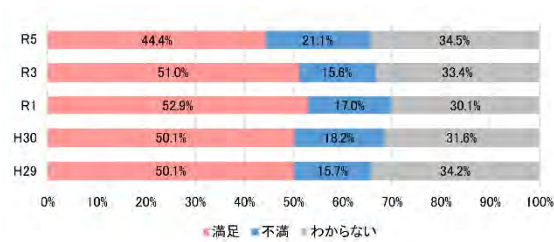


4-2-1 生涯学習の振興

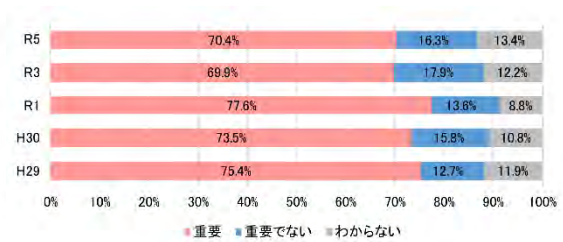
取り組みの例	
<ul style="list-style-type: none"> ● 公民館などでの学習機会の充実 ● 芸術・文化活動への支援 ● 図書館や学校などでの読書活動の推進 	など

得点	満足度	重要度
R5	2.70	3.04
順位	満足度	重要度
R5	8位	39位
R3	4位	38位
R1	9位	36位
H30	7位	39位
H29	8位	38位

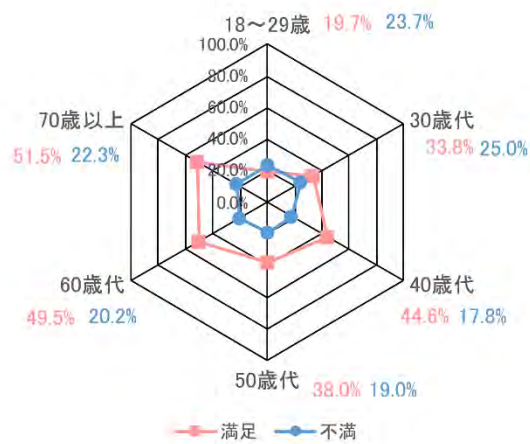
満足度割合



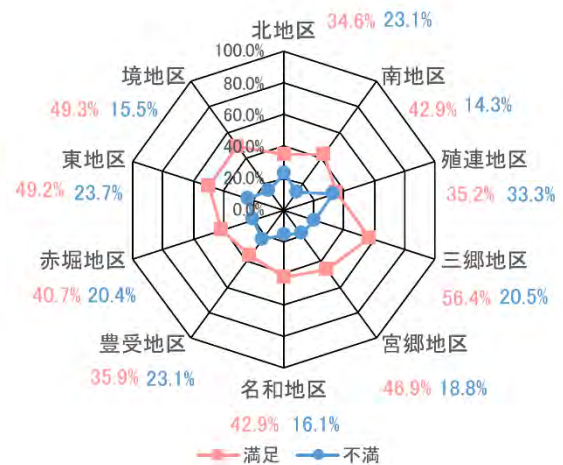
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

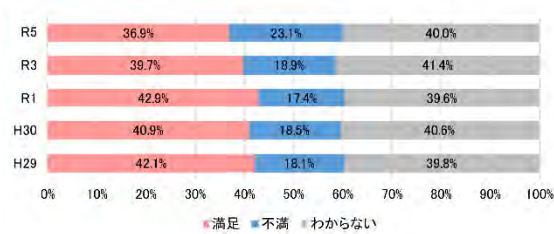


4-2-2 青少年の健全育成

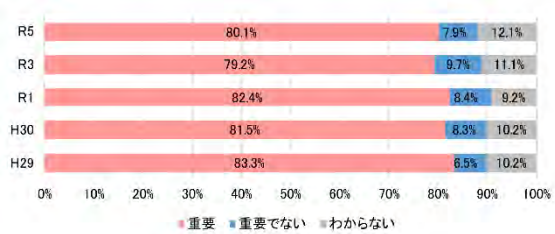
取り組みの例	
<ul style="list-style-type: none"> ● 補導活動や非行防止活動の実施 ● 相談・支援体制の充実 ● 子ども会など青少年の育成活動 	など

得点	満足度	重要度
R5	2.61	3.31
順位	満足度	重要度
R5	19位	27位
R3	19位	29位
R1	15位	27位
H30	18位	26位
H29	13位	28位

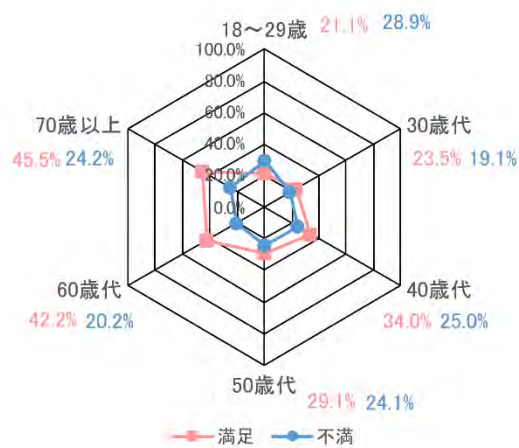
満足度割合



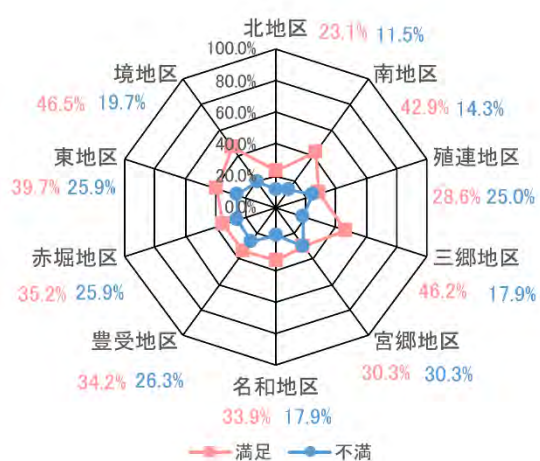
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

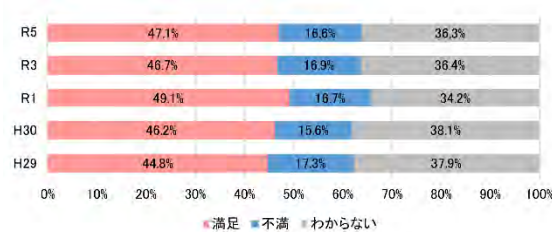


4-2-3 文化財の保存活用と伝統文化の継承

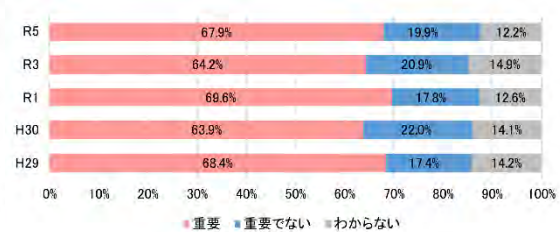
取り組みの例	
<ul style="list-style-type: none"> ● 田島弥平旧宅などの史跡の整備活用 ● 歴史的建造物や遺跡などの調査研究と情報発信 ● 伝統文化の継承活動への支援 	など

得点	満足度	重要度
R5	2.80	2.95
順位	満足度	重要度
R5	4位	40位
R3	7位	41位
R1	16位	41位
H30	5位	41位
H29	10位	41位

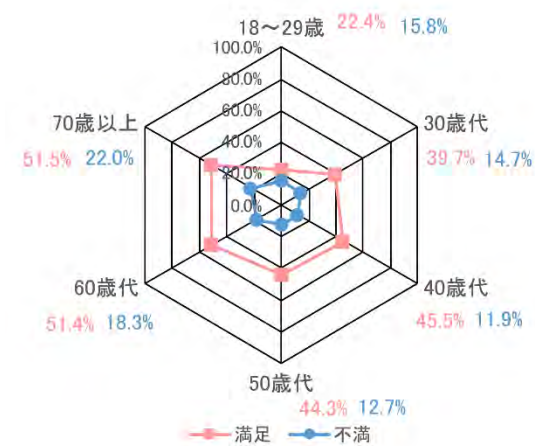
満足度割合



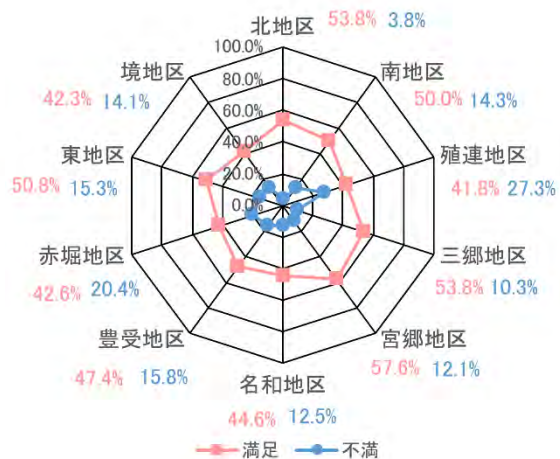
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

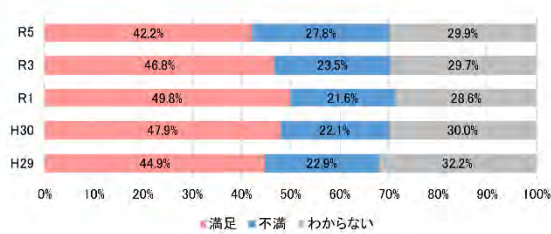


4-2-4 教育施設の充実

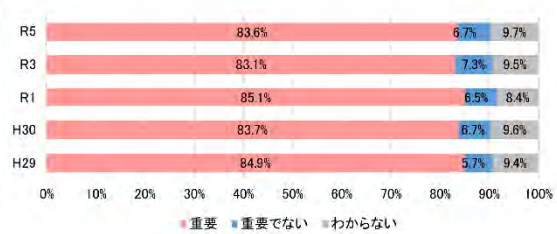
取り組みの例	
● 幼稚園や小・中学校などの学校施設の整備	など
● 図書館や公民館などの教育施設の整備	

得点	満足度	重要度
R5	2.57	3.38
順位	満足度	重要度
R5	24位	22位
R3	16位	20位
R1	17位	23位
H30	16位	22位
H29	21位	21位

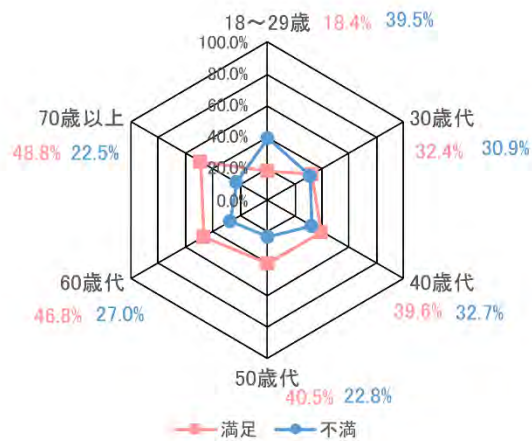
満足度割合



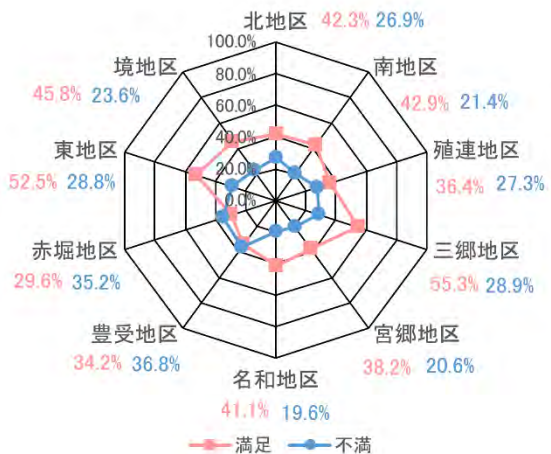
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

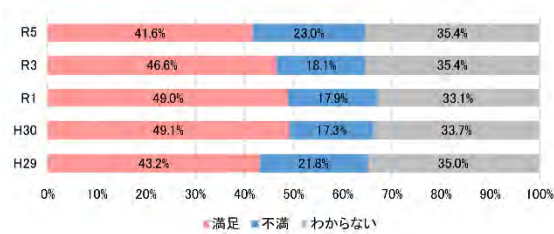


4-2-5 スポーツの推進

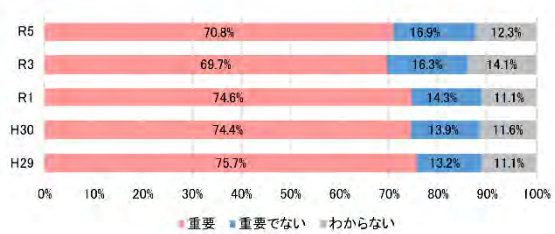
取り組みの例	
<ul style="list-style-type: none"> ● 生涯スポーツの推進 ● 競技スポーツへの支援 ● スポーツ施設の整備 	など

得点	満足度	重要度
R5	2.63	3.05
順位	満足度	重要度
R5	17位	37位
R3	10位	37位
R1	12位	37位
H30	9位	38位
H29	19位	36位

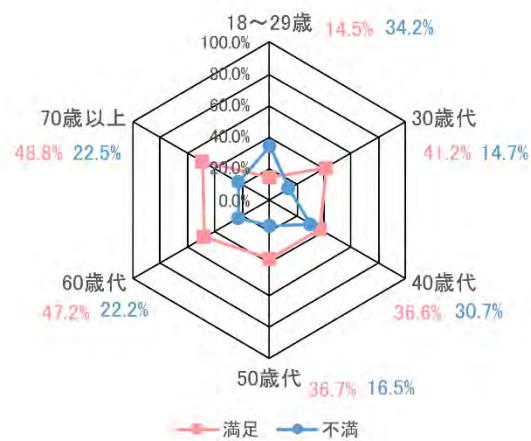
満足度割合



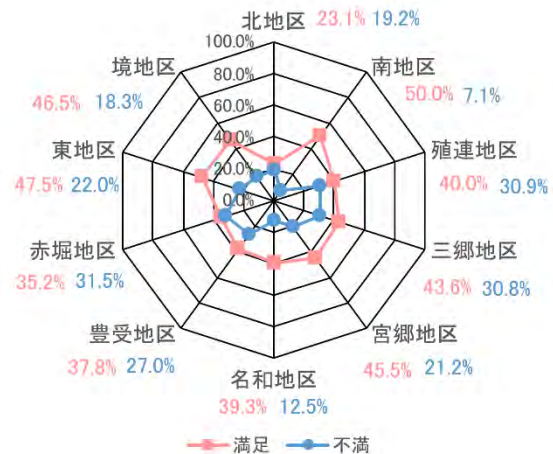
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

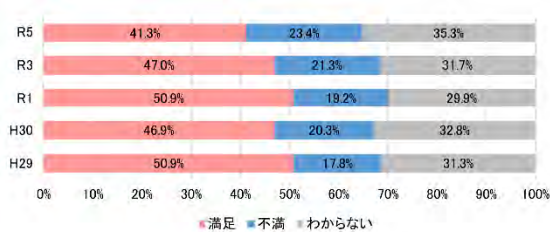


5-1-1 市民との協働によるまちづくり

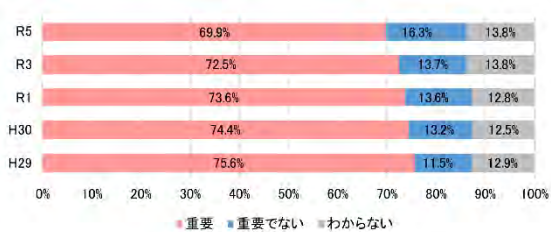
取り組みの例	
<ul style="list-style-type: none"> ● 市民活動団体への支援 ● 町内会など地域組織への支援 ● ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）の活用 ● 市広報紙や市ホームページの充実 	など

得点	満足度	重要度
R5	2.68	3.04
順位	満足度	重要度
R5	12位	38位
R3	17位	35位
R1	14位	38位
H30	13位	35位
H29	9位	37位

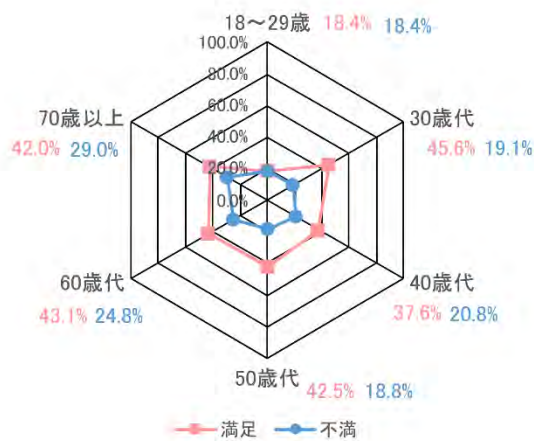
満足度割合



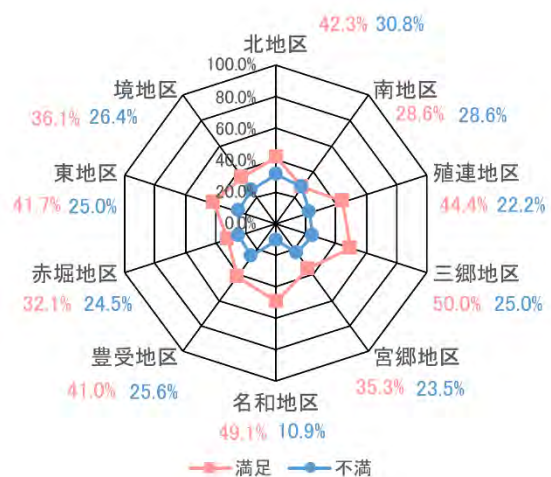
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

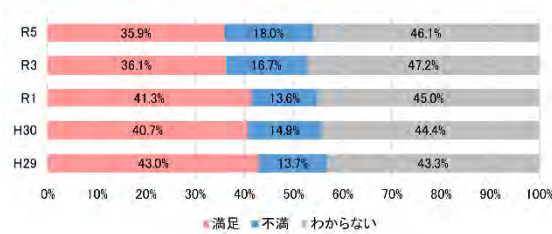


5-1-2 人権の尊重

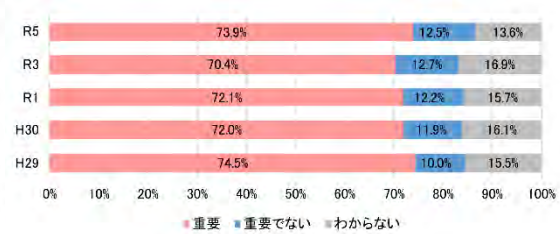
取り組みの例
<ul style="list-style-type: none"> ● 人権教育の推進、講演会などの啓発活動の実施 ● 弁護士などによる人権法律行政相談の充実 <p style="text-align: right;">など</p>

得点	満足度	重要度
R5	2.69	3.19
順位	満足度	重要度
R5	10位	34位
R3	15位	34位
R1	10位	33位
H30	12位	34位
H29	5位	33位

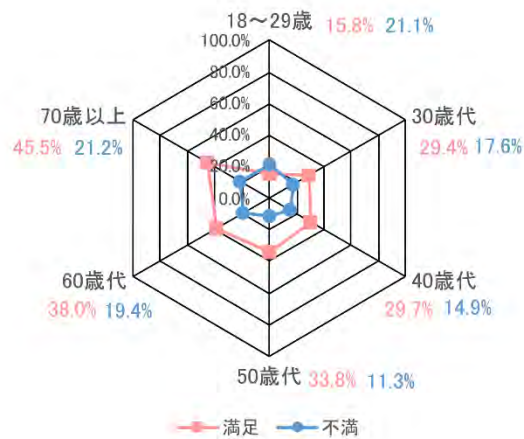
満足度割合



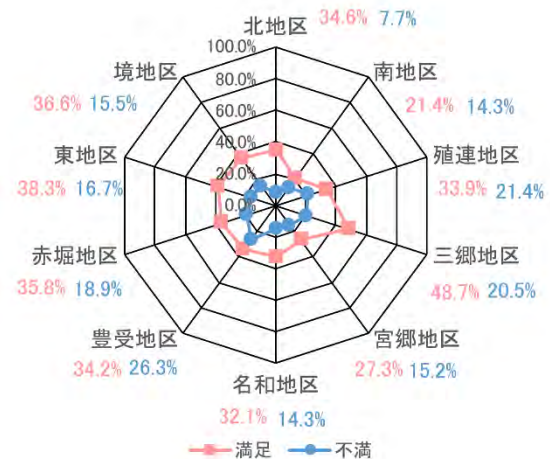
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

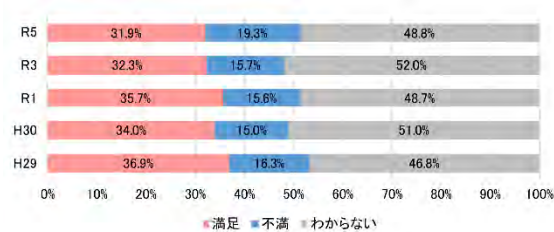


5-1-3 男女共同参画社会の確立

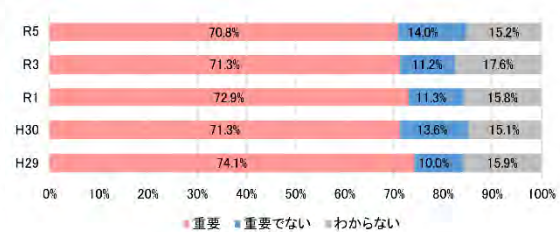
取り組みの例	
<ul style="list-style-type: none"> ● 講演会や研修会などの啓発活動の実施 ● 配偶者からの暴力などについての相談・支援体制の整備 	など

得点	満足度	重要度
R5	2.67	3.09
順位	満足度	重要度
R5	13位	35位
R3	18位	33位
R1	19位	35位
H30	15位	36位
H29	15位	35位

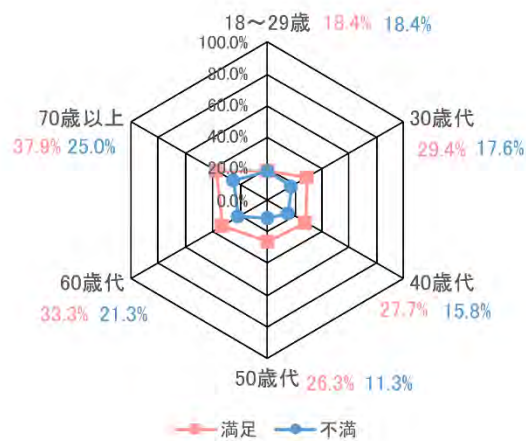
満足度割合



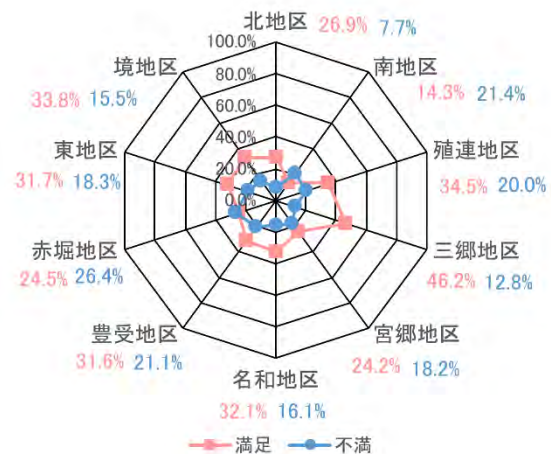
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

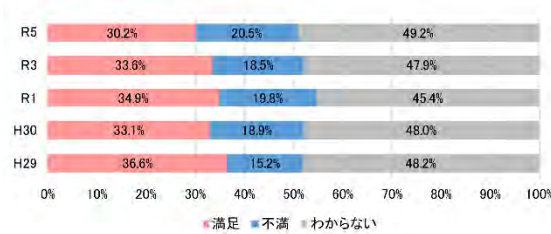


5-1-4 国際交流・国内交流の推進

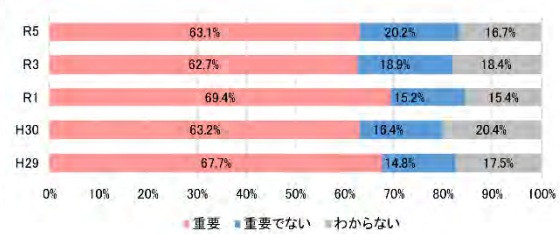
取り組みの例	
<ul style="list-style-type: none"> ● 日本人住民と外国人住民との相互理解の推進 ● 国際姉妹都市・友好都市、国内都市との市民交流 	など

得点	満足度	重要度
R5	2.62	2.93
順位	満足度	重要度
R5	18位	41位
R3	22位	40位
R1	27位	40位
H30	23位	40位
H29	17位	40位

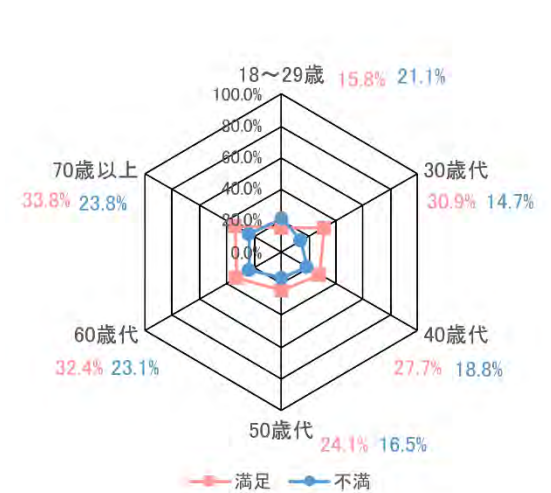
満足度割合



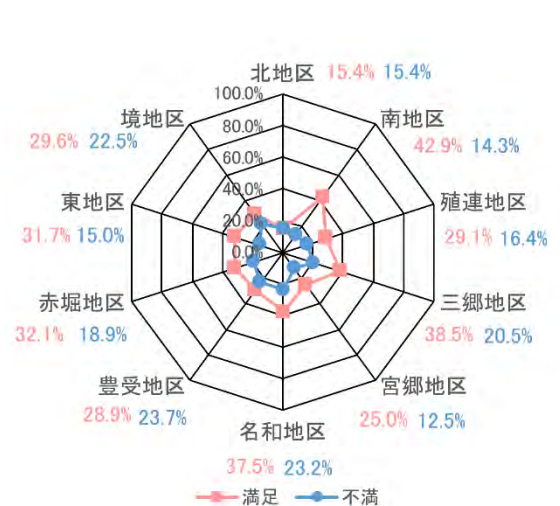
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

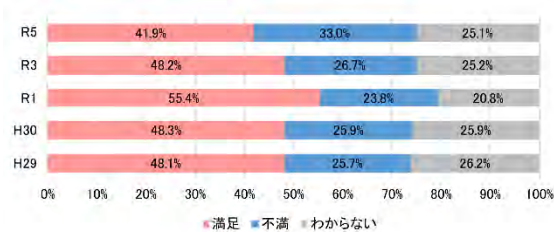


5-2-1 効率的で効果的な行政運営の推進

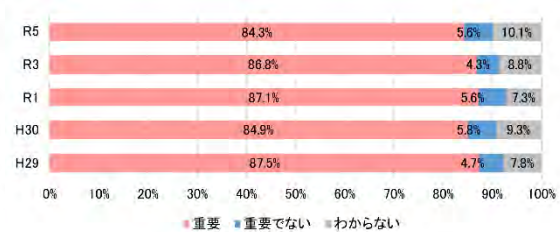
取り組みの例	
● 窓口サービスの向上など市民サービスの充実	など
● 公共施設の計画的な維持管理と有効活用	

得点	満足度	重要度
R5	2.49	3.41
順位	満足度	重要度
R5	32位	17位
R3	27位	13位
R1	18位	17位
H30	20位	18位
H29	23位	17位

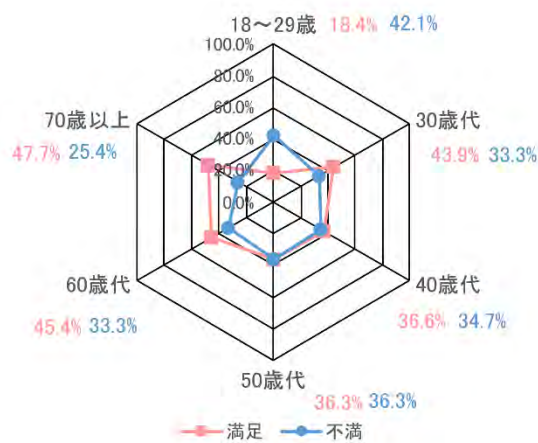
満足度割合



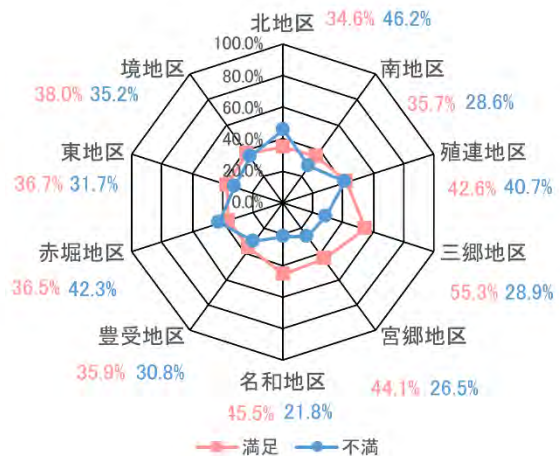
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合

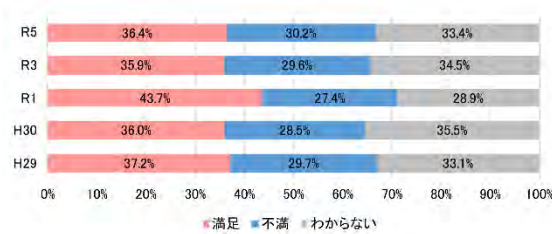


5-2-2 安定的な財政運営の推進

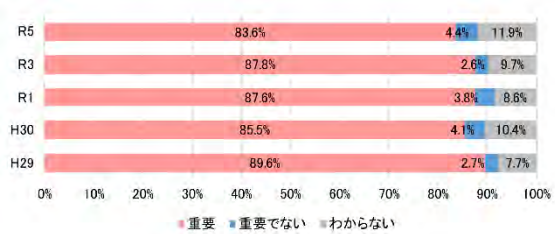
取り組みの例	
● 市税などの公平かつ適正な課税の実施と収納対策の強化	など
● 計画的な予算編成による健全で安定的な財政運営	

得点	満足度	重要度
R5	2.43	3.54
順位	満足度	重要度
R5	36位	9位
R3	38位	6位
R1	30位	7位
H30	36位	8位
H29	36位	8位

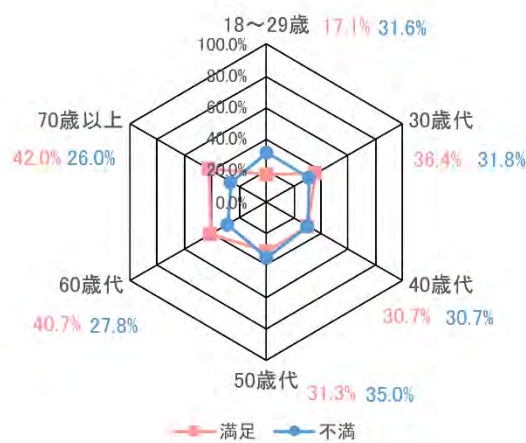
満足度割合



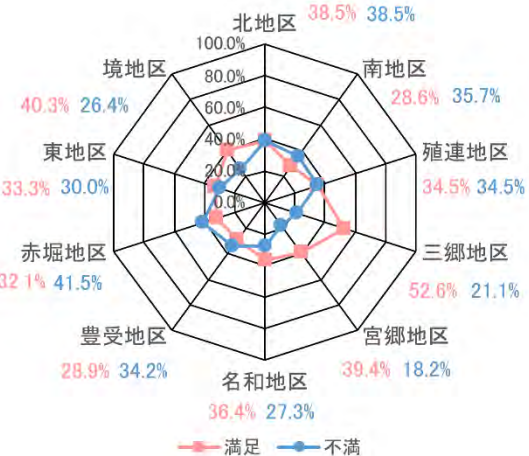
重要度割合



年代別満足度割合



地区別満足度割合



4 分野別の意見

(1)健康・医療分野

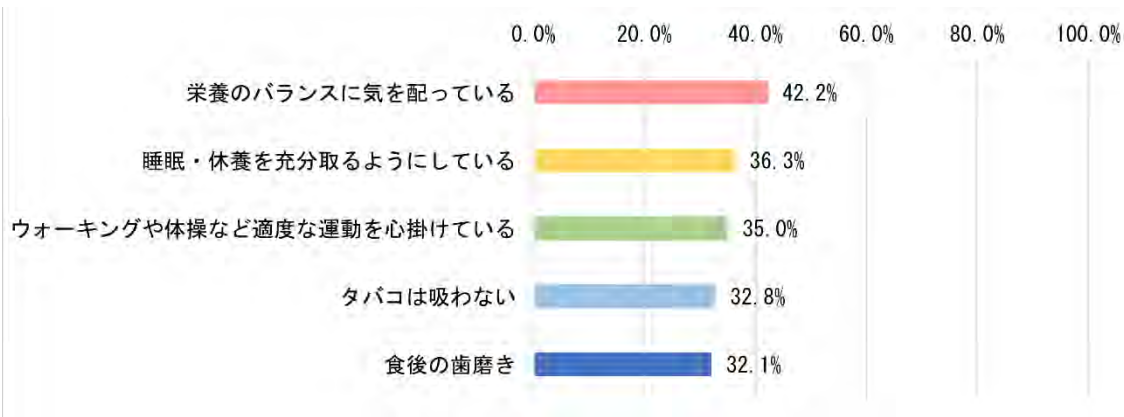
日頃、自分の健康のために、何か心掛けていることがありますか。

「栄養のバランスに気を配っている」と回答した人が最も多く、230人(42.2%)となっている。以下、「睡眠・休養を充分取るようにしている」が198人(36.3%)、「ウォーキングや体操など適度な運動を心掛けている」が191人(35.0%)と続いている。

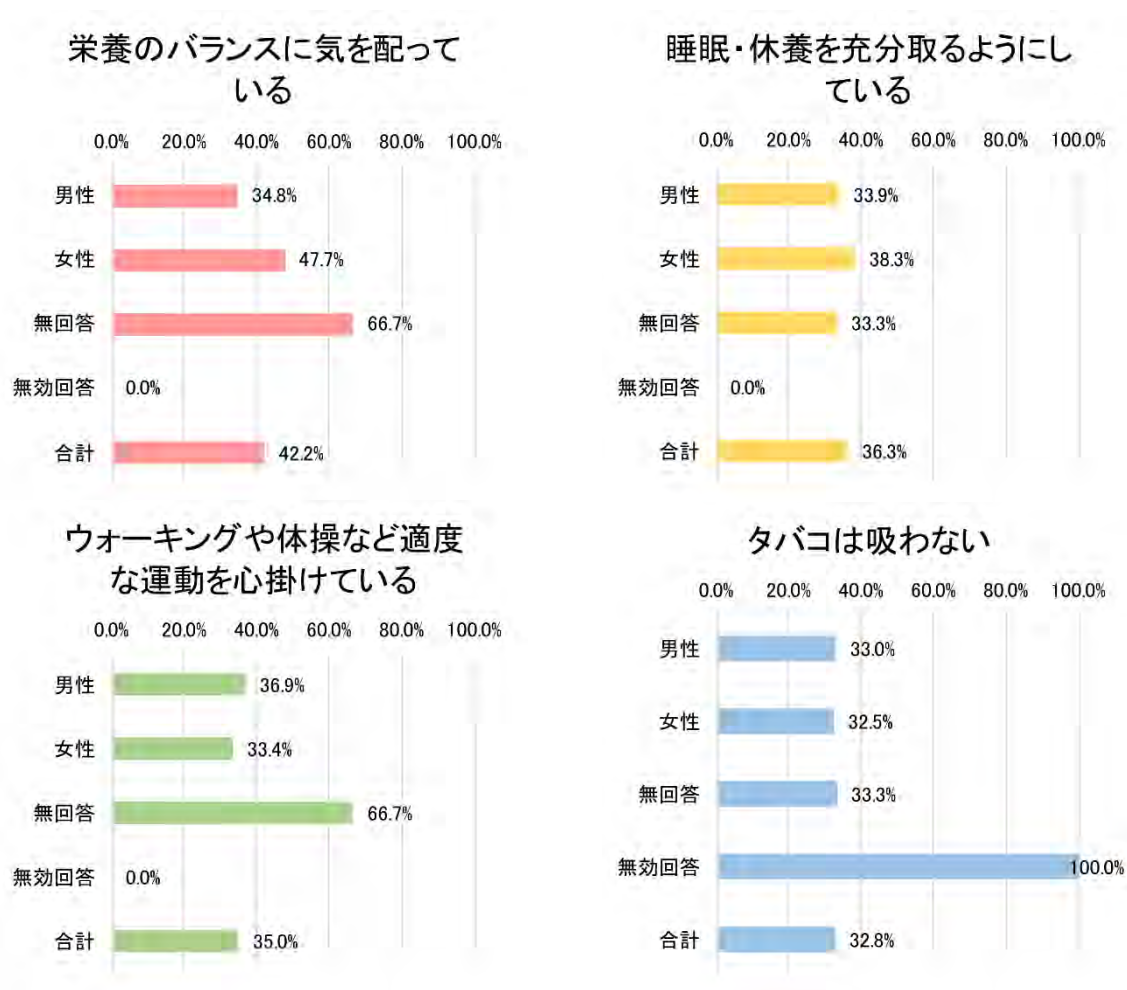
「自分の健康のために心掛けていること」の回答【複数回答】

	回答数	割合
栄養のバランスに気を配っている	230	42.2
睡眠・休養を充分取るようにしている	198	36.3
ウォーキングや体操など適度な運動を心掛けている	191	35.0
タバコは吸わない	179	32.8
食後の歯磨き	175	32.1
野菜から食べる、間食をしない、食べ過ぎないなど 食べ方に気を付けている	163	29.9
定期的に健診（人間ドックを含む）を受けている	162	29.7
落ち込まないようにするなど心の持ち方に気を付けている	88	16.1
お酒を控えている	61	11.2
その他	10	1.8
無回答	23	4.2
無効回答	4	0.7
回答者数	545	100.0

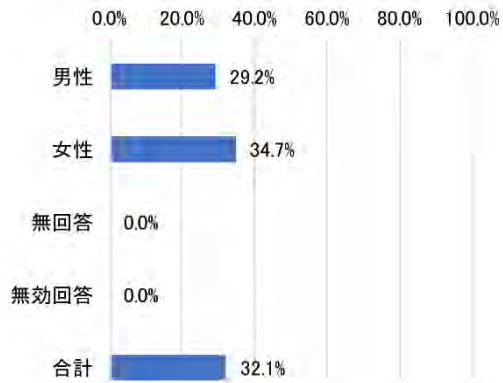
「自分の健康のために心掛けていること」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】



性別の「自分の健康のために心掛けていること」の上位5項目の回答（割合）
【複数回答】



食後の歯磨き

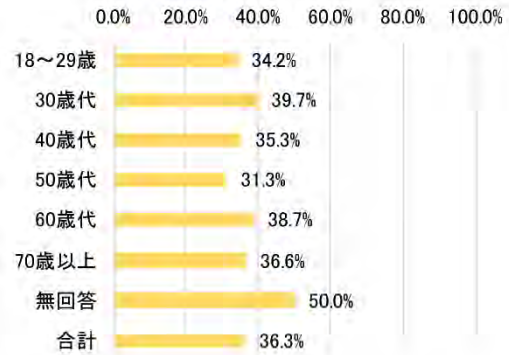


年代別の「自分の健康のために心掛けていること」の上位5項目の回答（割合）
【複数回答】

栄養のバランスに気を配っている



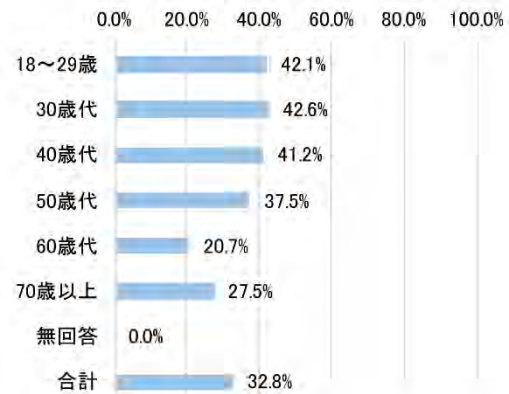
睡眠・休養を充分取るようにしている



ウォーキングや体操など適度な運動を心掛けている



タバコは吸わない

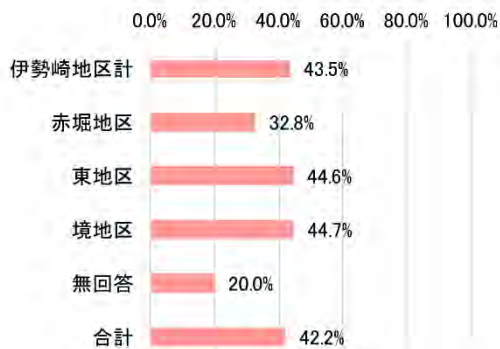


食後の歯磨き



地区別の「自分の健康のために心掛けていること」の上位5項目の回答（割合）
【複数回答】

栄養のバランスに気を配っている



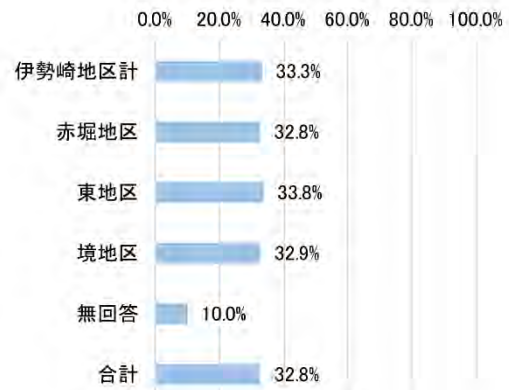
睡眠・休養を充分取るようにしている



ウォーキングや体操など適度な運動を心掛けている



タバコは吸わない



食後の歯磨き



◆「その他」の回答（主なもの）

- ・ 自宅の掃除をしている
- ・ 添加物の少ない食品や国産品を食べている
- ・ 適度な運動や心掛けのバランスを調節している

(2) 福祉分野

子育てのしやすいまちにするために、どのようなことが重要だと思いますか。

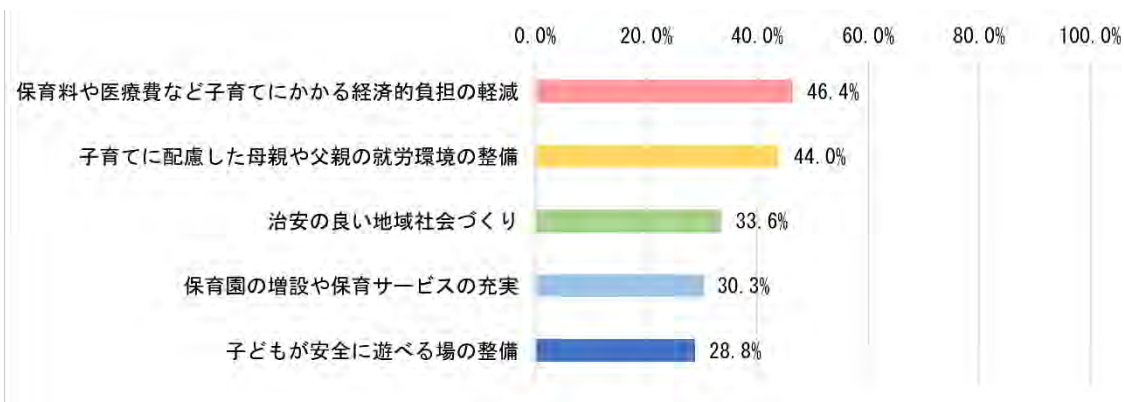
「保育料や医療費など子育てにかかる経済的負担の軽減」と回答した人が最も多く、253人(46.4%)となっている。以下、「子育てに配慮した母親や父親の就労環境の整備」が240人(44.0%)、「治安の良い地域社会づくり」が183人(33.6%)と続いている。

「子育てしやすいまちにするために重要なこと」の回答【複数回答】

	回答数	割合
保育料や医療費など子育てにかかる経済的負担の軽減	253	46.4
子育てに配慮した母親や父親の就労環境の整備	240	44.0
治安の良い地域社会づくり	183	33.6
保育園の増設や保育サービスの充実	165	30.3
子どもが安全に遊べる場の整備	157	28.8
子育てを理解しサポートし合う地域社会づくり	82	15.0
子ども（特に乳幼児）の医療体制の充実	75	13.8
子育てに関する相談窓口の充実	50	9.2
子育て支援活動を行っている団体や人材の育成	46	8.4
子育てに関する情報提供の充実	38	7.0
各種施設における授乳室やオムツ替え台の設置など 子育てしやすい環境の整備	33	6.1
その他	15	2.8
無回答	66	12.1
無効回答	1	0.2
回答者数	545	100.0

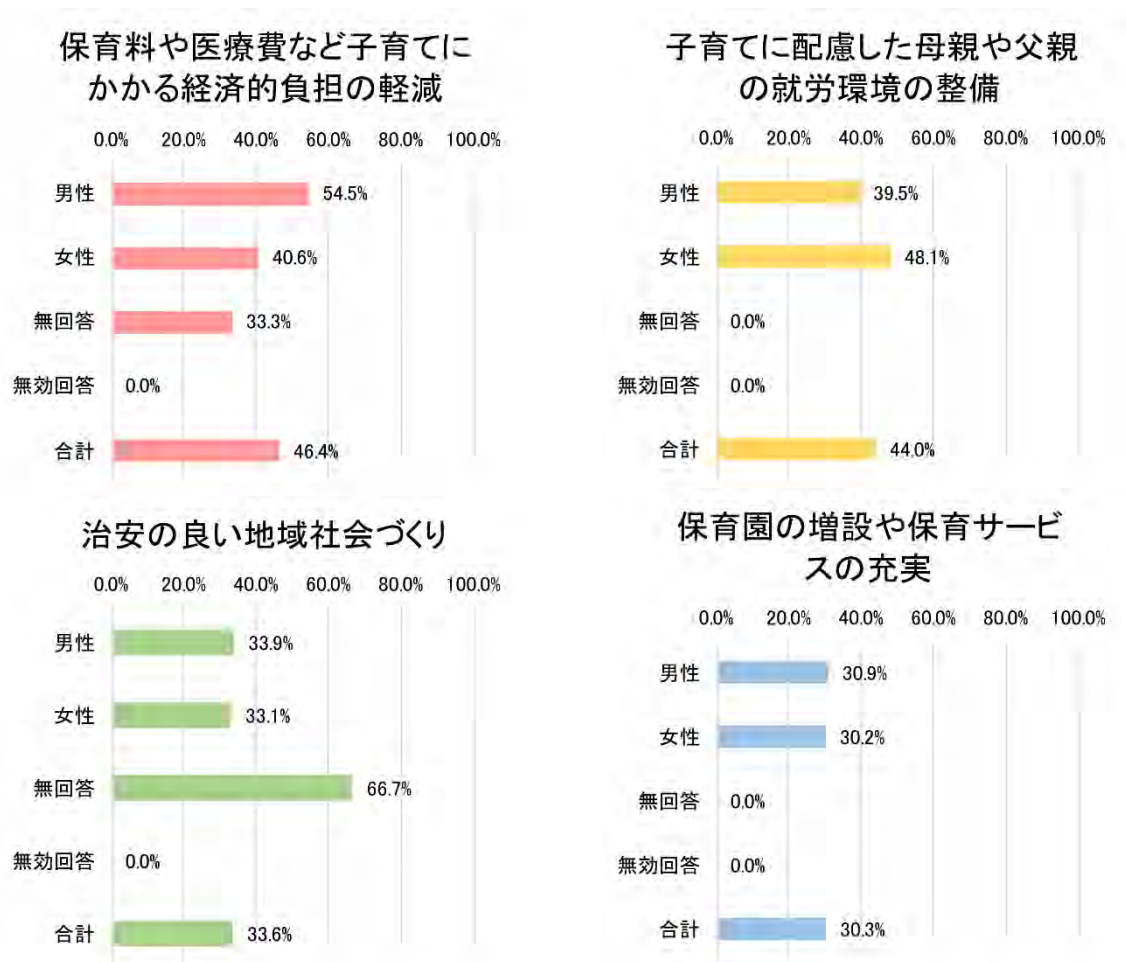
「子育てしやすいまちにするために重要なこと」の上位5項目の回答（割合）

【複数回答】

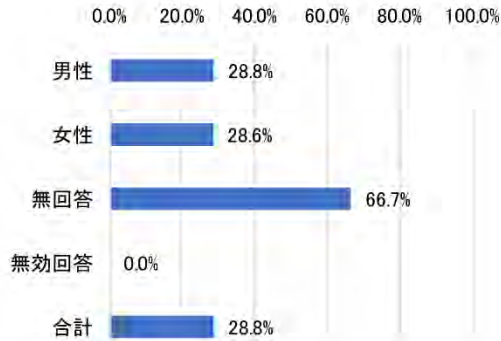


性別の「子育てしやすいまちにするために重要なこと」の上位5項目の回答（割合）

【複数回答】



子どもが安全に遊べる場の整備



年代別の「子育てしやすいまちにするために重要なこと」の上位5項目の回答（割合）
【複数回答】

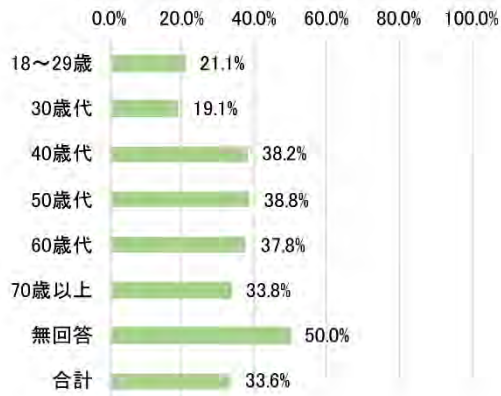
保育料や医療費など子育てにかかる経済的負担の軽減



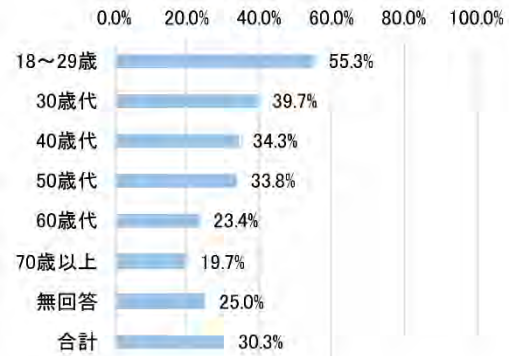
子育てに配慮した母親や父親の就労環境の整備



治安の良い地域社会づくり



保育園の増設や保育サービスの充実



子どもが安全に遊べる場の整備

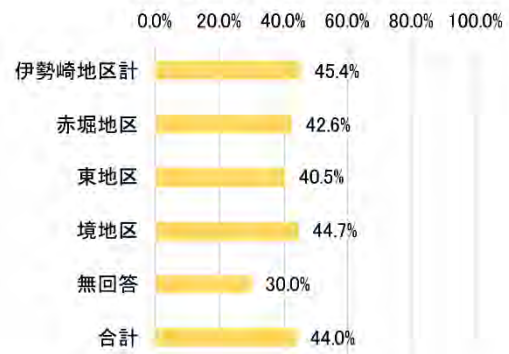


地区別の「子育てしやすいまちにするために重要なこと」の上位5項目の回答（割合）
【複数回答】

保育料や医療費など子育てにかかる経済的負担の軽減



子育てに配慮した母親や父親の就労環境の整備



治安の良い地域社会づくり



保育園の増設や保育サービスの充実



子どもが安全に遊べる場の整備



◆「その他」の回答（主なもの）

- ・ 給食費の無料化
- ・ 未満児等の多種多様なママサークルの設立
- ・ 高校、大学への進学支援制度の拡充

高齢者に優しいまちづくりに向けてどのようなことが重要だと思いますか。

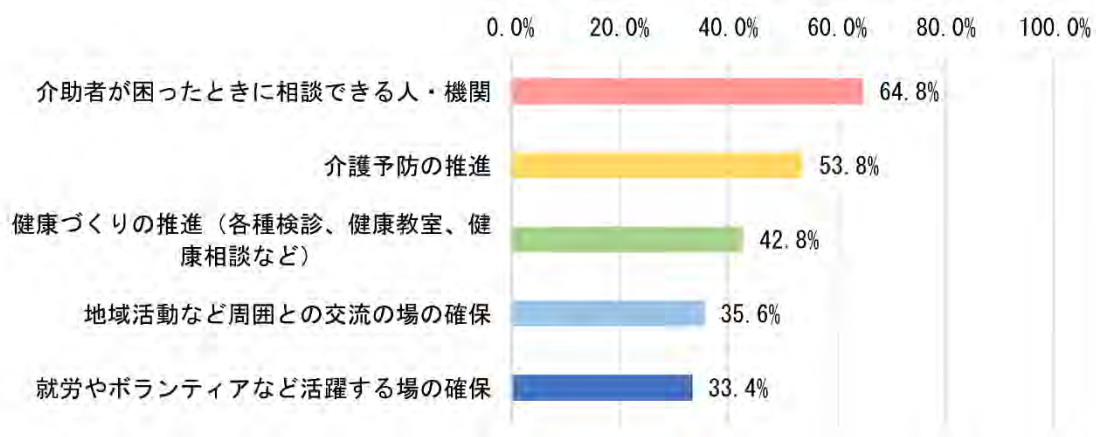
「介助者が困ったときに相談できる人・機関」と回答した人が最も多く、353人(64.8%)となっている。以下、「介護予防の推進」が293人(53.8%)、「健康づくりの推進(各種検診、健康教室、健康相談など)」が233人(42.8%)と続いている。

「高齢者に優しいまちづくりに向けて重要なこと」の回答【複数回答】

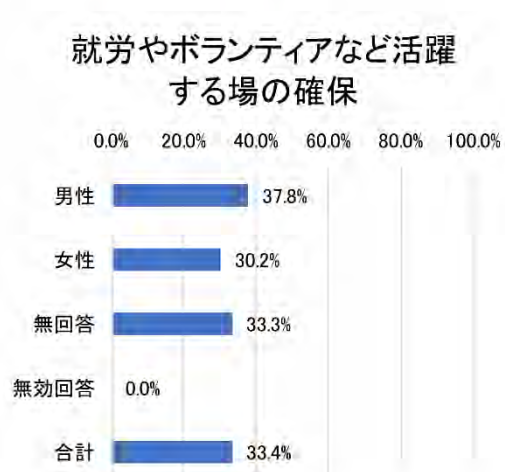
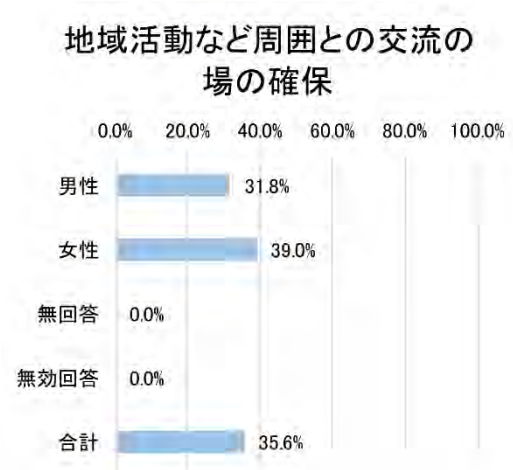
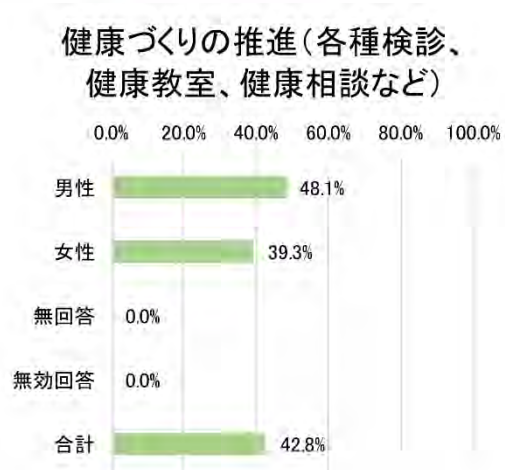
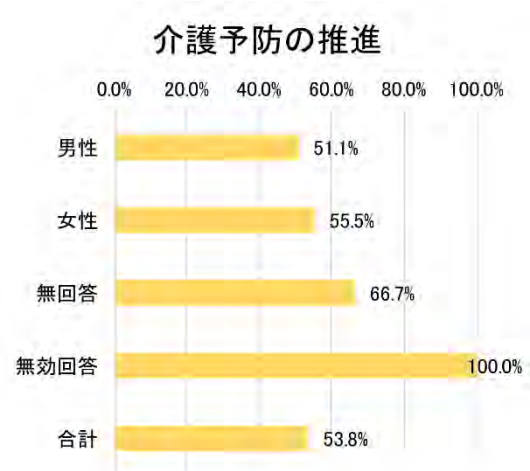
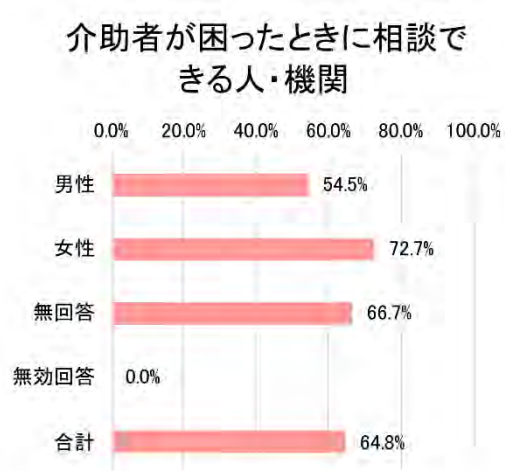
	回答数	割合
介助者が困ったときに相談できる人・機関	353	64.8
介護予防の推進	293	53.8
健康づくりの推進(各種検診、健康教室、健康相談など)	233	42.8
地域活動など周囲との交流の場の確保	194	35.6
就労やボランティアなど活躍する場の確保	182	33.4
生涯学習ができる場所	108	19.8
子どもとの交流ができる機会の確保	60	11.0
その他	24	4.4
無回答	5	0.9
無効回答	0	0.0
回答者数	545	100.0

「高齢者に優しいまちづくりに向けて重要なこと」の上位5項目の回答(割合)

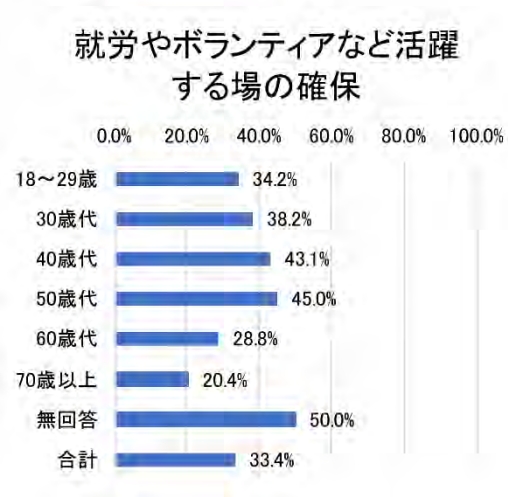
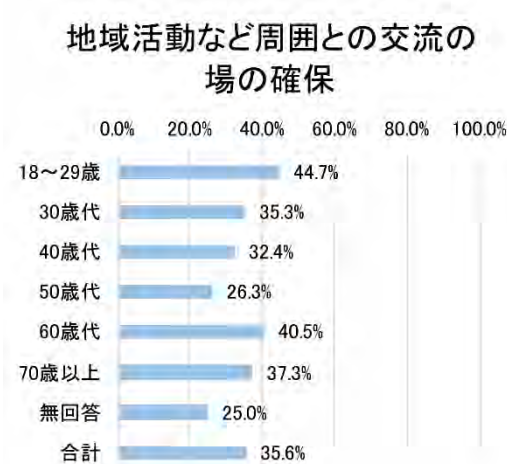
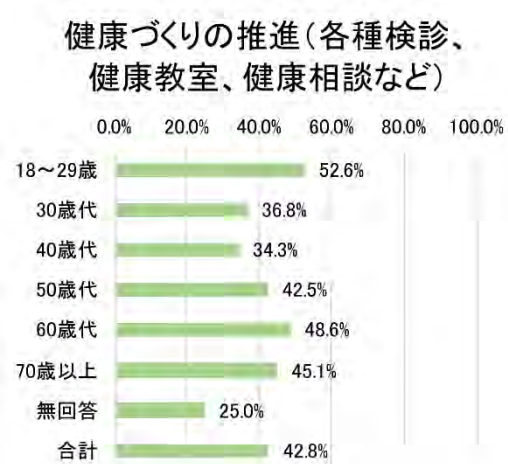
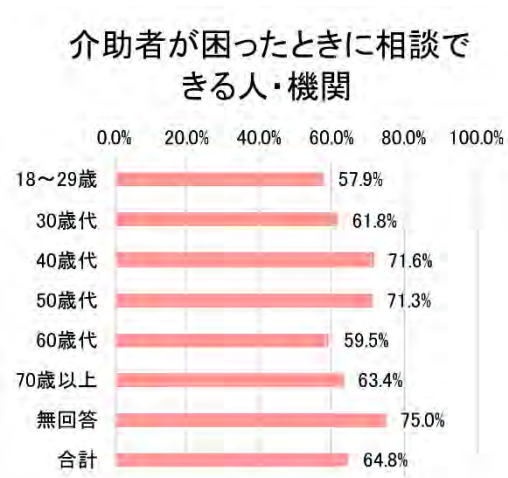
【複数回答】



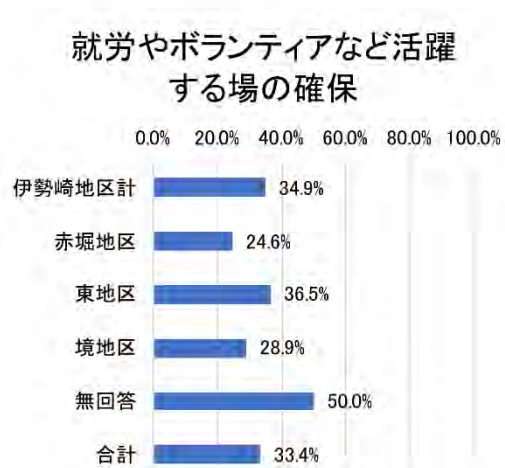
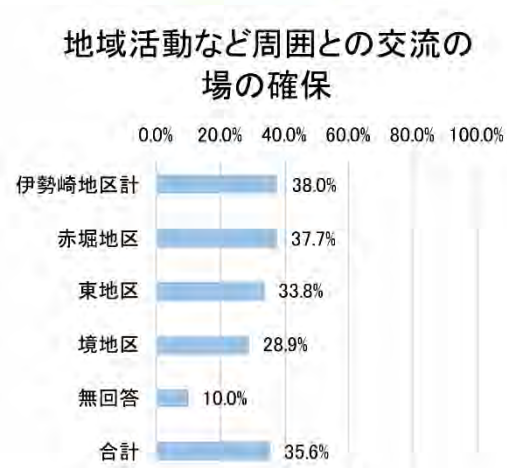
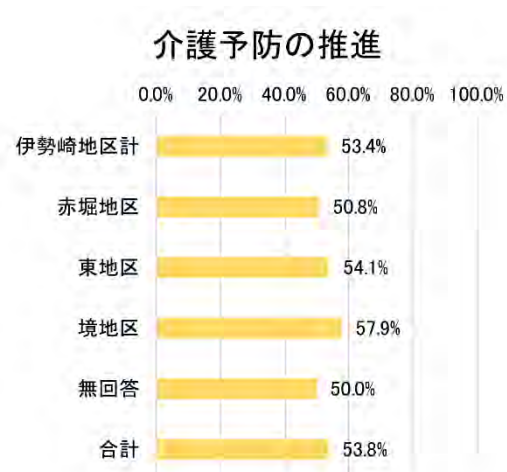
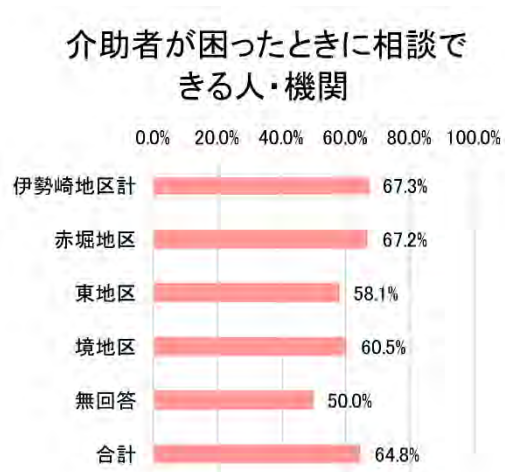
性別の「高齢者に優しいまちづくりに向けて重要なこと」の上位5項目の回答（割合）
【複数回答】



年代別の「高齢者に優しいまちづくりに向けて重要なこと」の上位5項目の回答（割合）
【複数回答】



地区別の「高齢者に優しいまちづくりに向けて重要なこと」の上位5項目の回答（割合）
【複数回答】



◆「その他」の回答（主なもの）

- ・免許返納の推進
- ・地域活動や様々なやりがいや役割の創出
- ・車のいない街づくり

(3) 都市基盤分野

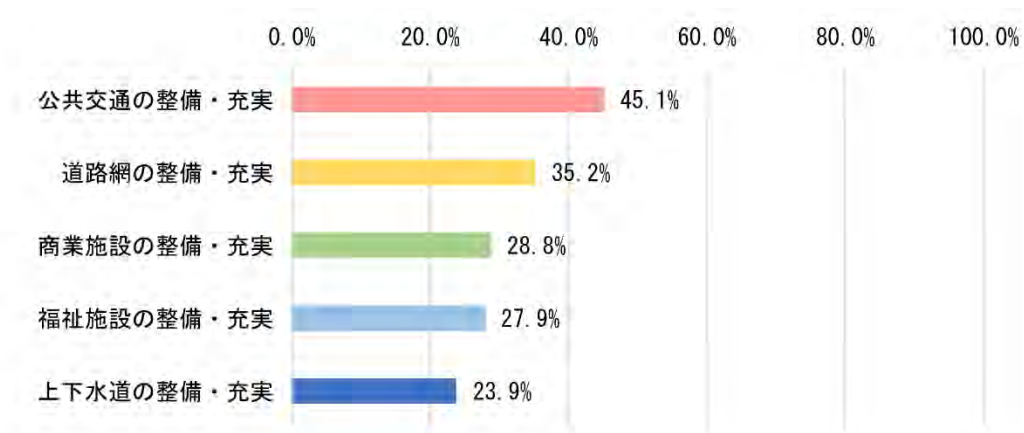
伊勢崎市が持続可能な都市づくりを実現するために、都市基盤の整備においてどのようなことが重要だと思いますか。

「公共交通の整備・充実」と回答した人が最も多く、246人(45.1%)となっている。以下、「道路網の整備・充実」が192人(35.2%)、「商業施設の整備・充実」が157人(28.8%)と続いている。

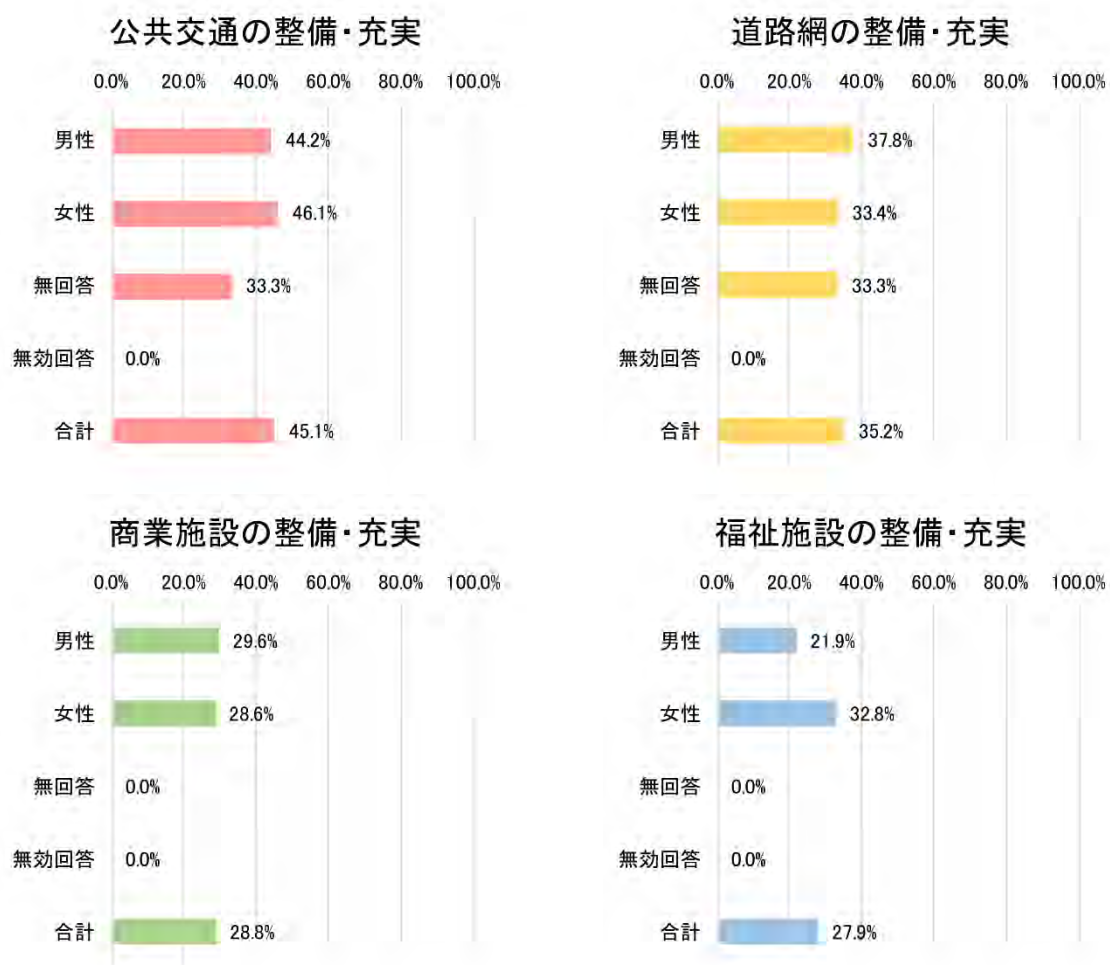
「伊勢崎市が持続可能な都市づくりを実現するために、都市基盤の整備において重要なこと」の回答【複数回答】

	回答数	割合
公共交通の整備・充実	246	45.1
道路網の整備・充実	192	35.2
商業施設の整備・充実	157	28.8
福祉施設の整備・充実	152	27.9
上下水道の整備・充実	130	23.9
良好な居住環境や生産環境の形成につながる 土地利用ルールの見直し	127	23.3
公共施設の整備・充実	113	20.7
計画的な市街地の形成	93	17.1
伊勢崎駅以外の鉄道駅周辺の整備	61	11.2
良好な景観の形成及び保全	45	8.3
伊勢崎駅周辺地区の整備	40	7.3
コンパクトシティ（市街地のまとまり）の実現	38	7.0
工業施設の整備・充実	36	6.6
その他	23	4.2
無回答	7	1.3
無効回答	5	0.9
回答者数	545	100.0

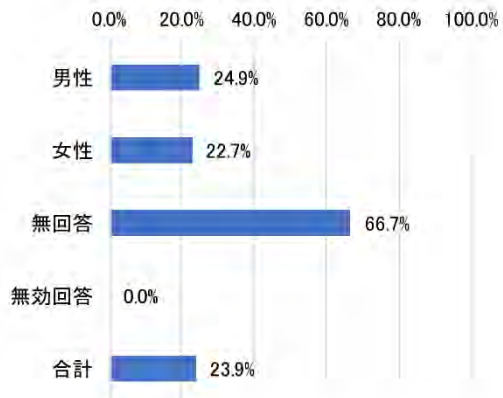
「伊勢崎市が持続可能な都市づくりを実現するために、
都市基盤の整備において重要なこと」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】



性別の「伊勢崎市が持続可能な都市づくりを実現するために、
都市基盤の整備において重要なこと」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】



上下水道の整備・充実

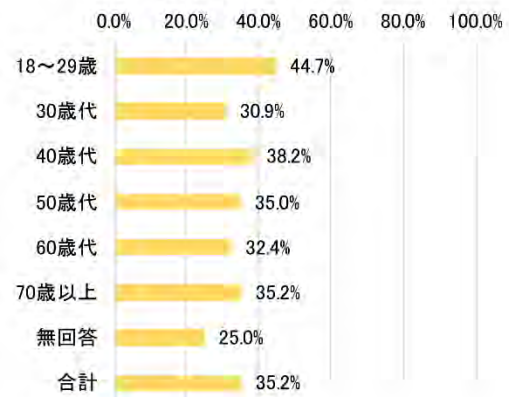


年代別の「伊勢崎市が持続可能な都市づくりを実現するために、
都市基盤の整備において重要なこと」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】

公共交通の整備・充実



道路網の整備・充実



商業施設の整備・充実



福祉施設の整備・充実



上下水道の整備・充実



地区別の「伊勢崎市が持続可能な都市づくりを実現するために、都市基盤の整備において重要なこと」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】

公共交通の整備・充実



道路網の整備・充実

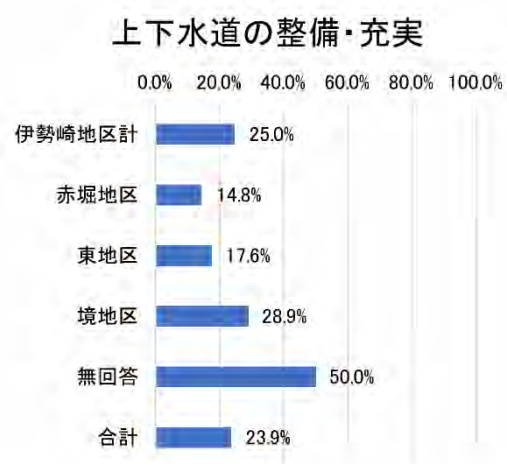


商業施設の整備・充実



福祉施設の整備・充実





◆「その他」の回答（主なもの）

- ・ 空き家の対応
- ・ 働ける場を増やすこと
- ・ 市街地の再開発

(4) 産業・観光分野

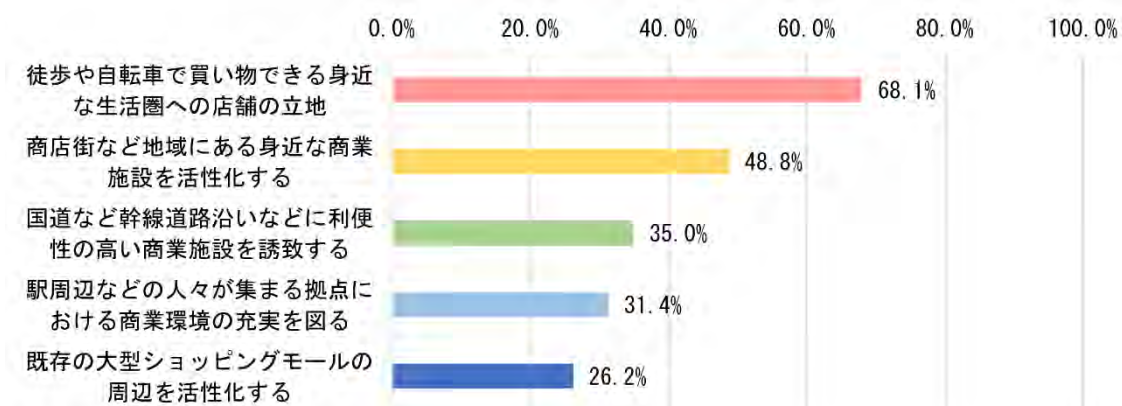
これからの伊勢崎市の商業地のあり方に関してどのようなことが重要だと思いますか。

「徒歩や自転車で買い物できる身近な生活圏への店舗の立地」と回答した人が最も多く、371人(68.1%)となっている。以下、「商店街など地域にある身近な商業施設を活性化」が266人(48.8%)、「国道など幹線道路沿いなどに利便性の高い商業施設を誘致する」が191人(35.0%)と続いている。

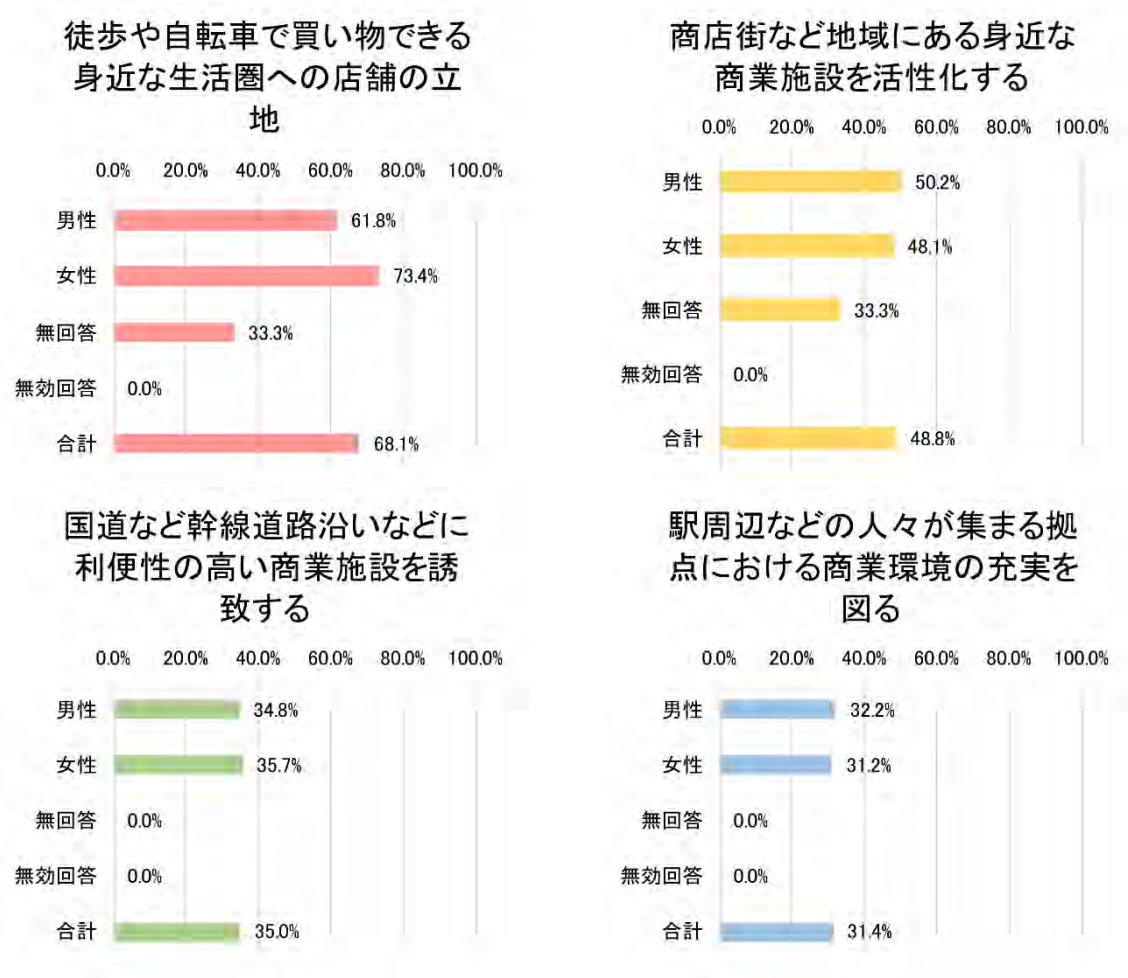
「これからの伊勢崎市の商業地のあり方に関して重要なこと」の回答【複数回答】

	回答数	割合
徒歩や自転車で買い物できる身近な生活圏への店舗の立地	371	68.1
商店街など地域にある身近な商業施設を活性化	266	48.8
国道など幹線道路沿いなどに 利便性の高い商業施設を誘致する	191	35.0
駅周辺などの人々が集まる拠点における 商業環境の充実を図る	171	31.4
既存の大型ショッピングモールの周辺を活性化	143	26.2
現状のままでよい	41	7.5
その他	28	5.1
特になし	24	4.4
無回答	4	0.7
無効回答	1	0.2
回答者数	545	100.0

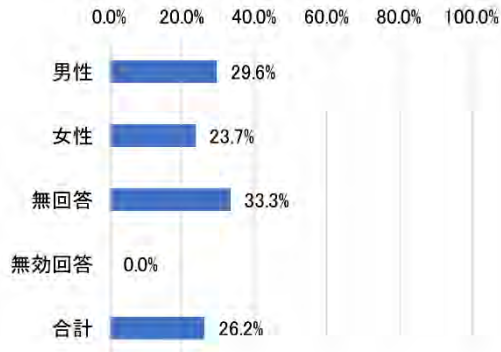
「これからの伊勢崎市の商業地のあり方に関して重要なこと」の上位5項目の
回答（割合）【複数回答】



性別の「これからの伊勢崎市の商業地のあり方に関して重要なこと」の上位5項目の
回答（割合）【複数回答】



既存の大型ショッピングモールの周辺を活性化する

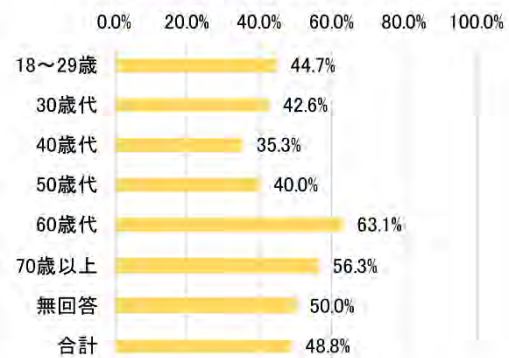


年代別の「これからの伊勢崎市の商業地のあり方に関して重要なこと」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】

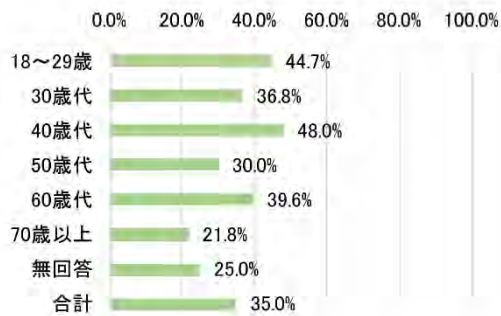
徒歩や自転車で買い物できる身近な生活圏への店舗の立地



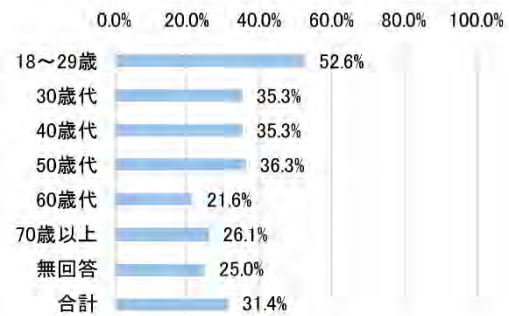
商店街など地域にある身近な商業施設を活性化する



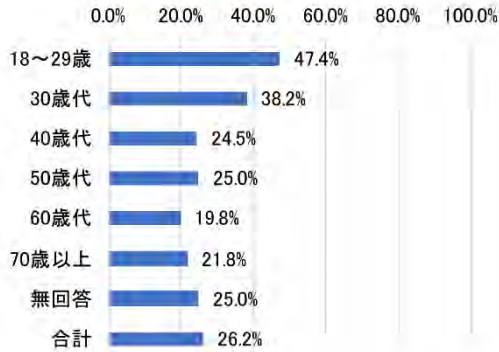
国道など幹線道路沿いなどに利便性の高い商業施設を誘致する



駅周辺などの人々が集まる拠点における商業環境の充実を図る



既存の大型ショッピングモールの周辺を活性化する

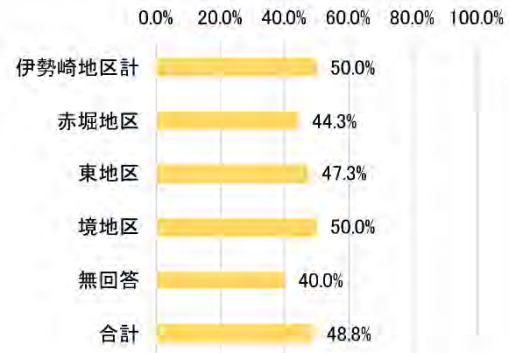


地区別の「これからの伊勢崎市の商業地のあり方に関して重要なこと」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】

徒歩や自転車で買い物できる身近な生活圏への店舗の立地



商店街など地域にある身近な商業施設を活性化する



国道など幹線道路沿いなどに利便性の高い商業施設を誘致する



駅周辺などの人々が集まる拠点における商業環境の充実を図る



既存の大型ショッピングモールの周辺を活性化する



◆「その他」の回答（主なもの）

- ・ 拠点間を繋ぐ交通機関の整備
- ・ 道路整備、駐車場整備
- ・ 飲食店を増やすこと

(5) 安心安全分野

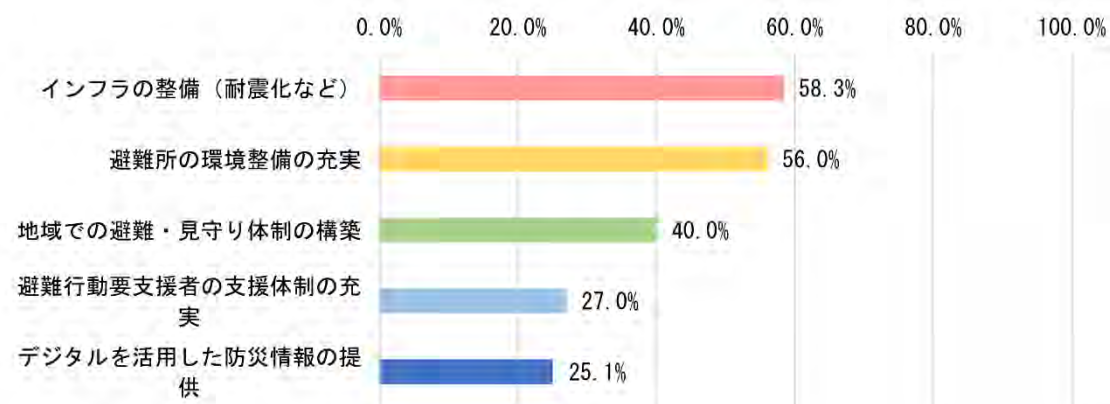
災害に強いまちづくりを推進するためにはどのようなことが重要だと思いますか。

「インフラの整備（耐震化など）」と回答した人が最も多く、318人(58.3%)となっている。以下、「避難所の環境整備の充実」が305人(56.0%)、「地域での避難・見守り体制の構築」が218人(40.0%)と続いている。

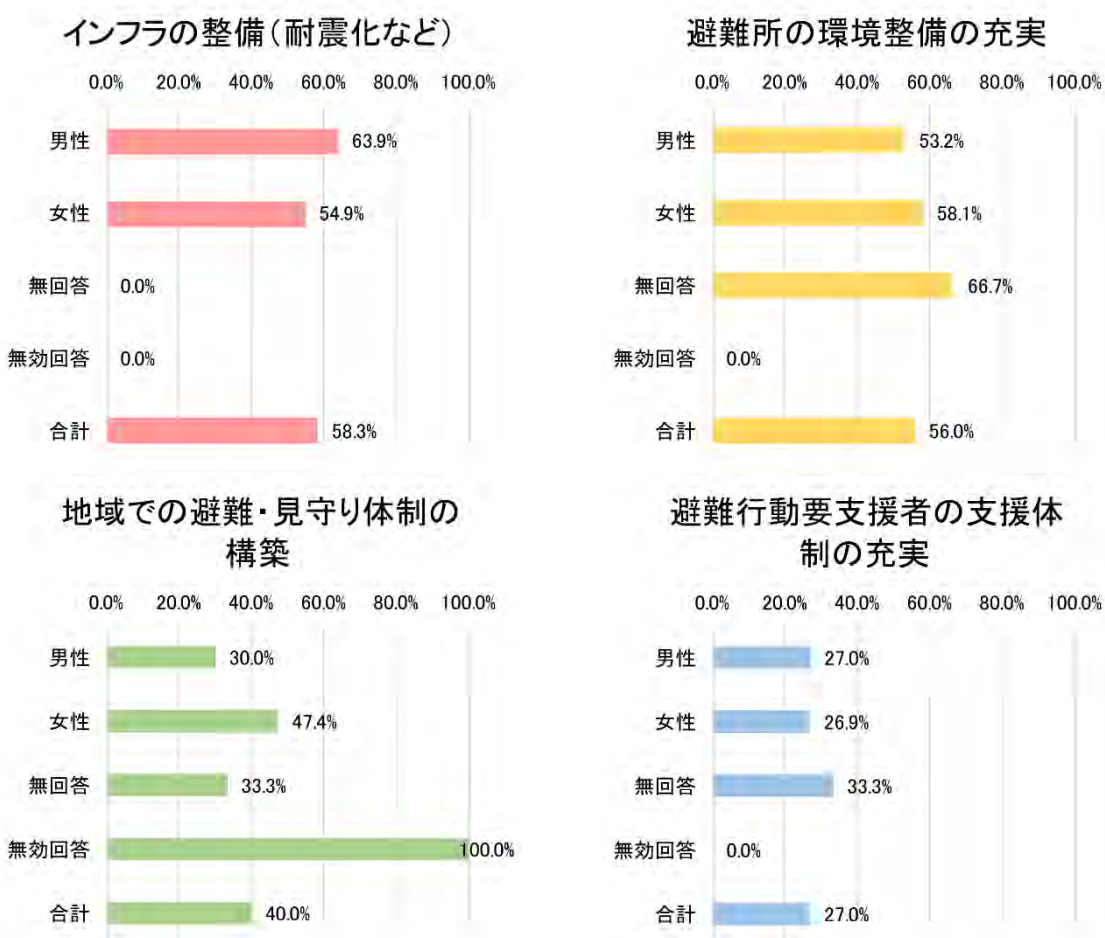
「災害に強いまちづくりを推進するために重要なこと」の回答【複数回答】

	回答数	割合
インフラの整備（耐震化など）	318	58.3
避難所の環境整備の充実	305	56.0
地域での避難・見守り体制の構築	218	40.0
避難行動要支援者の支援体制の充実	147	27.0
デジタルを活用した防災情報の提供	137	25.1
防災教育の充実	119	21.8
市民を対象とした避難訓練の実施	79	14.5
他自治体との災害協定	67	12.3
その他	16	2.9
無回答	5	0.9
無効回答	0	0.0
回答者数	545	100.0

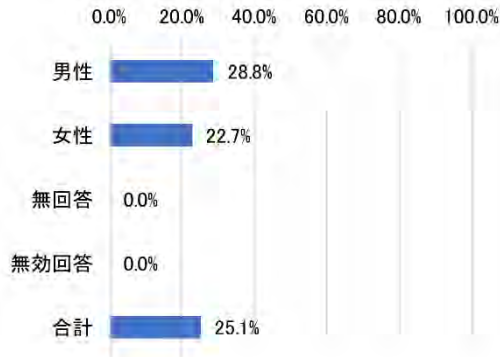
「災害に強いまちづくりを推進するために重要なこと」の上位5項目の
回答（割合）【複数回答】



性別の「災害に強いまちづくりを推進するために重要なこと」の上位5項目の
回答（割合）【複数回答】

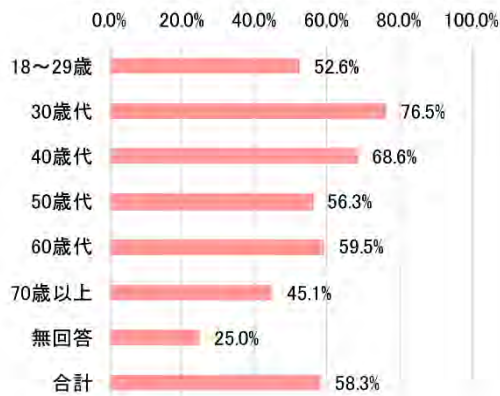


デジタルを活用した防災情報の提供

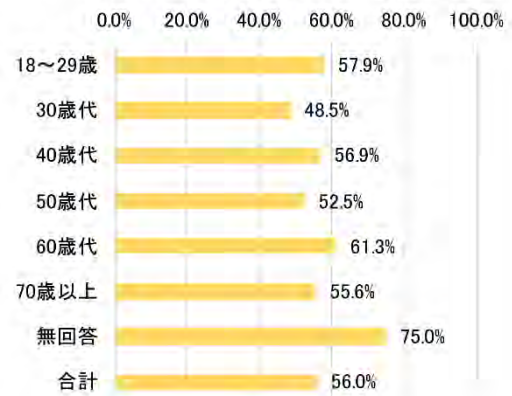


年代別の「災害に強いまちづくりを推進するために重要なこと」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】

インフラの整備（耐震化など）



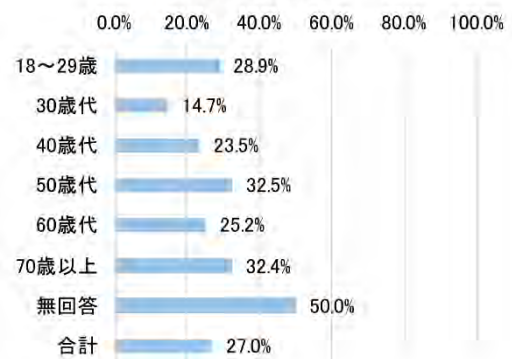
避難所の環境整備の充実



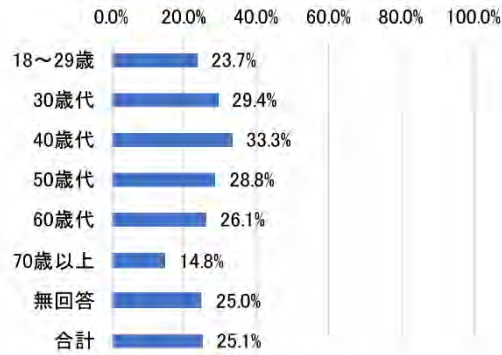
地域での避難・見守り体制の構築



避難行動要支援者の支援体制の充実



デジタルを活用した防災情報の提供



地区別の「災害に強いまちづくりを推進するために重要なこと」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】

インフラの整備（耐震化など）



避難所の環境整備の充実



地域での避難・見守り体制の構築



避難行動要支援者の支援体制の充実



デジタルを活用した防災情報の提供



- ◆ 「その他」の回答（主なもの）
 - ・ 自分で自分の身を守る意識の啓発
 - ・ 災害情報の的確な周知・情報共有
 - ・ 災害用物資を各家庭に一定程度配布すること

(6) 環境分野

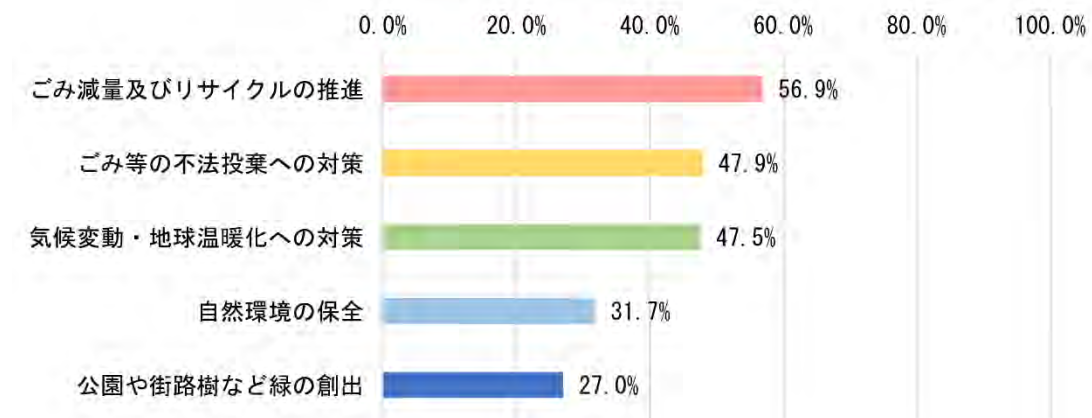
これからの環境のために、どのようなことが重要だと思いますか。

「ごみ減量及びリサイクルの推進」と回答した人が最も多く、310人(56.9%)となっている。以下、「ごみ等の不法投棄への対策」が261人(47.9%)、「気候変動・地球温暖化への対策」が259人(47.5%)と続いている。

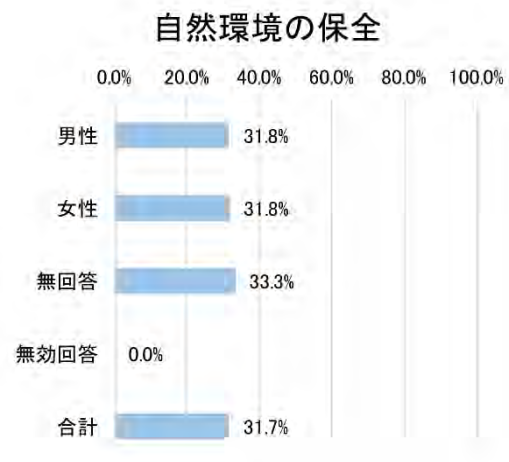
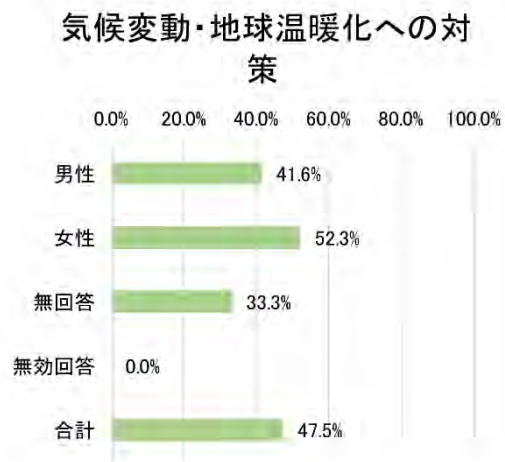
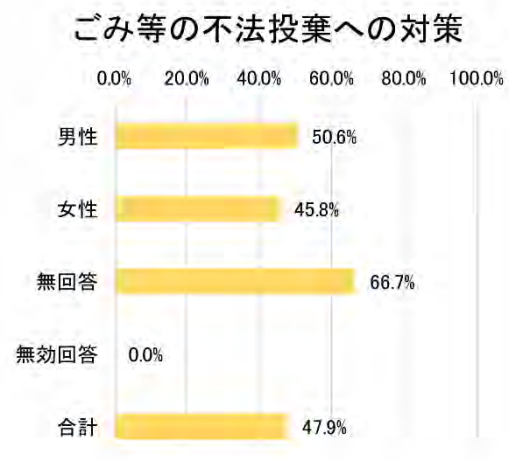
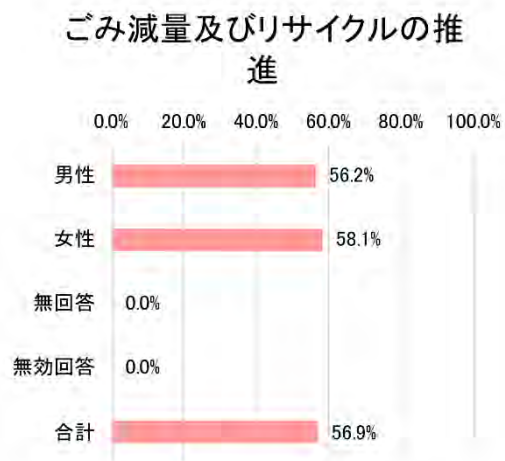
「これからの環境のために重要なこと」の回答【複数回答】

	回答数	割合
ごみ減量及びリサイクルの推進	310	56.9
ごみ等の不法投棄への対策	261	47.9
気候変動・地球温暖化への対策	259	47.5
自然環境の保全	173	31.7
公園や街路樹など緑の創出	147	27.0
公共交通や自転車利用の促進	127	23.3
大気汚染等の公害対策	121	22.2
その他	7	1.3
無回答	7	1.3
無効回答	1	0.2
回答者数	545	100.0

「これからの環境のために重要なこと」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】



性別の「これからの環境のために重要なこと」の上位5項目の
回答（割合）【複数回答】

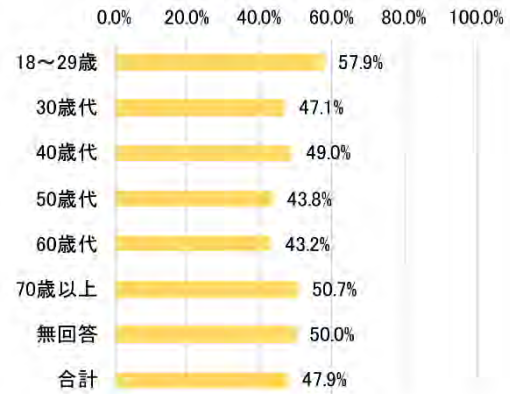


年代別の「これからの環境のために重要なこと」の上位5項目の
回答（割合）【複数回答】

ごみ減量及びリサイクルの推
進



ごみ等の不法投棄への対策



気候変動・地球温暖化への対
策



自然環境の保全

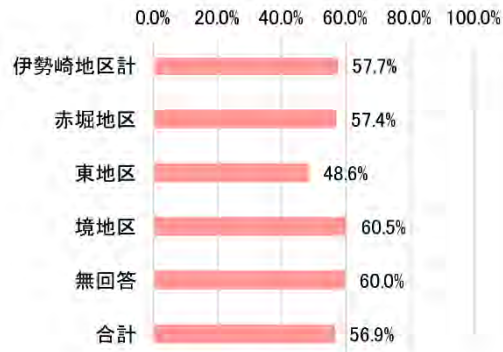


公園や街路樹など緑の創出

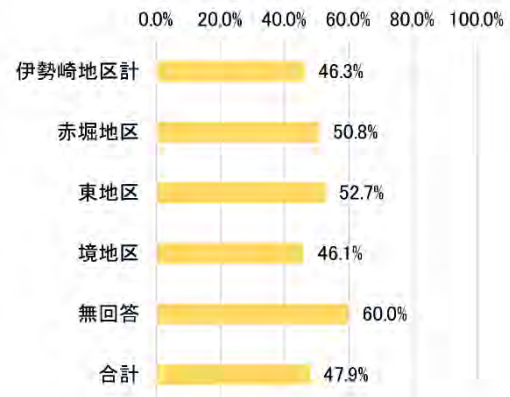


地区別の「これからの環境のために重要なこと」の上位5項目の
回答（割合）【複数回答】

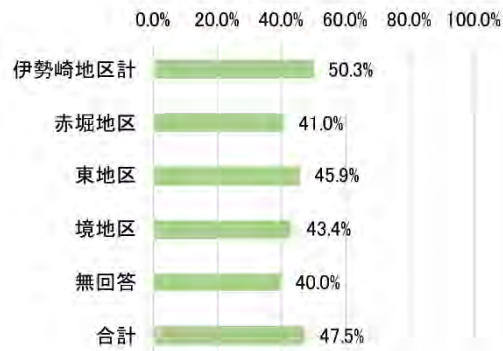
ごみ減量及びリサイクルの推
進



ごみ等の不法投棄への対策



気候変動・地球温暖化への対
策



自然環境の保全



公園や街路樹など緑の創出



◆「その他」の回答（主なもの）

- ・庭木をチップにしてくれるサービスの提供
- ・道路・河川の除草
- ・動物による被害（特にネコ）への対策

(7)教育分野

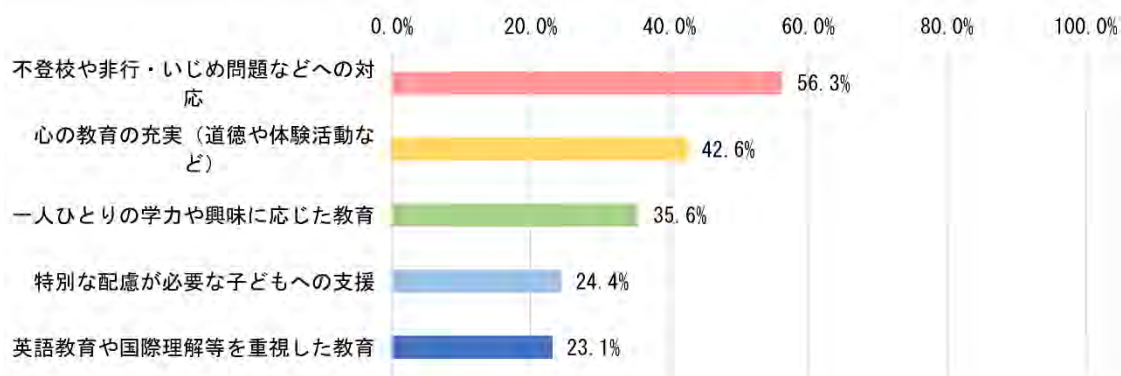
小・中学校の教育において、どのようなことが重要だと思いますか。

「不登校や非行・いじめ問題などへの対応」と回答した人が最も多く、307人(56.3%)となっている。以下、「心の教育の充実（道徳や体験活動など）」が232人(42.6%)、「一人ひとりの学力や興味に応じた教育」が194人(35.6%)と続いている。

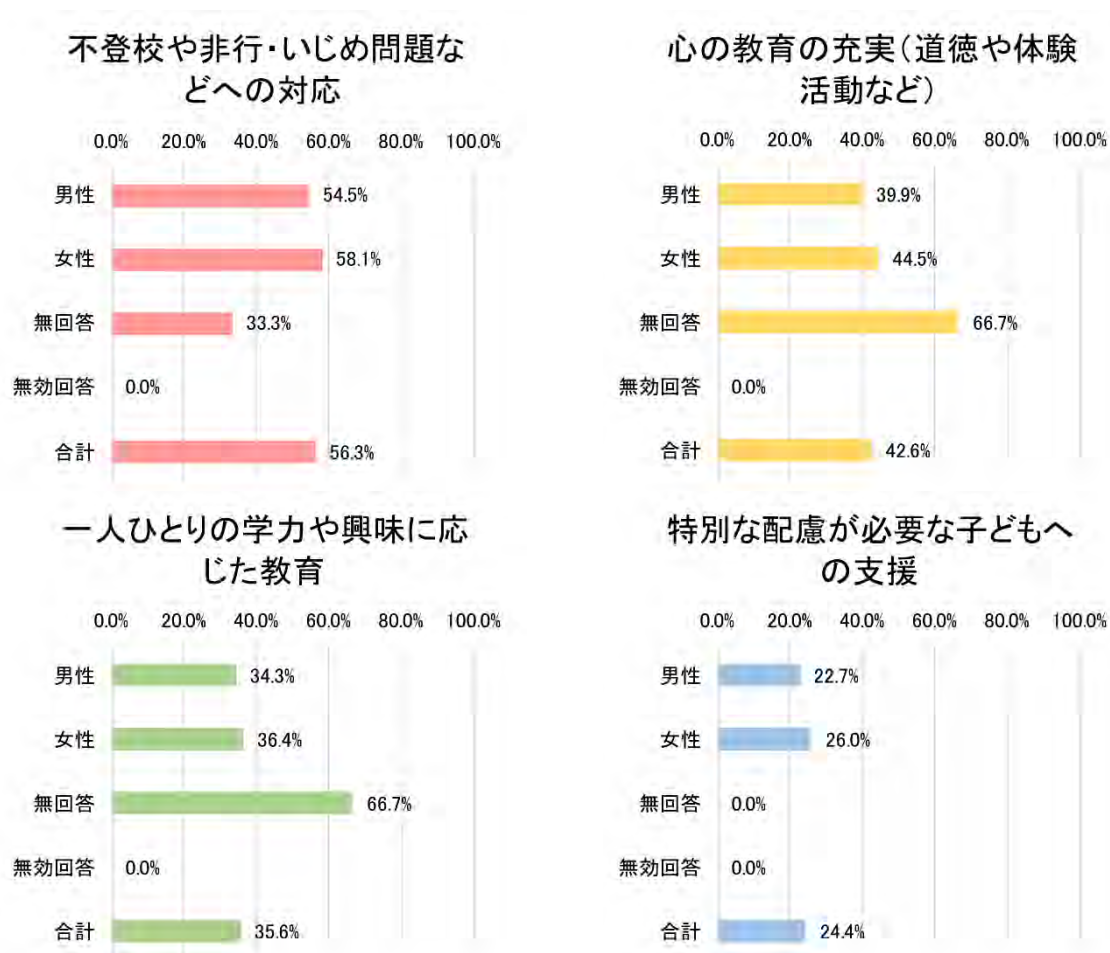
「小・中学校の教育において重要なこと」の回答【複数回答】

	回答数	割合
不登校や非行・いじめ問題などへの対応	307	56.3
心の教育の充実（道徳や体験活動など）	232	42.6
一人ひとりの学力や興味に応じた教育	194	35.6
特別な配慮が必要な子どもへの支援	133	24.4
英語教育や国際理解等を重視した教育	126	23.1
学校施設の整備（校舎や体育館など）	123	22.6
キャリア（将来の進路や職業について考えさせる）教育	121	22.2
ICT技術を活用した授業やICTに関する正しい知識の習得	94	17.2
文化活動やスポーツ活動の充実	79	14.5
地域の人による学校生活への支援	42	7.7
その他	19	3.5
無回答	15	2.8
無効回答	1	0.2
回答者数	545	100.0

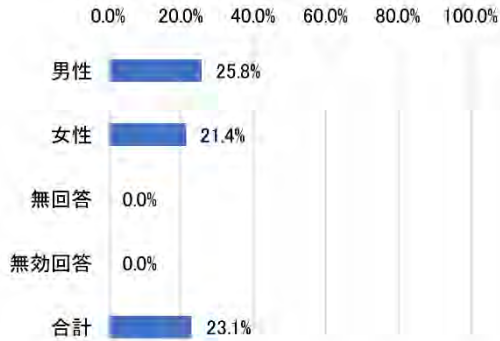
「小・中学校の教育において重要なこと」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】



性別の「小・中学校の教育において重要なこと」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】



英語教育や国際理解等を重視した教育

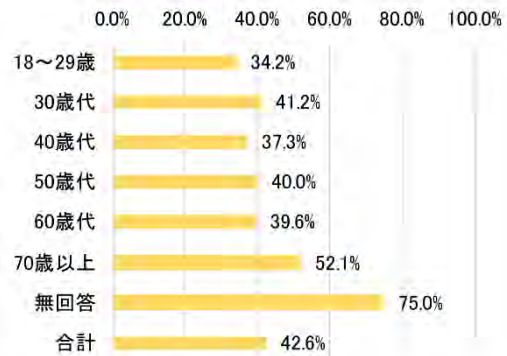


年代別の「小・中学校の教育において重要なこと」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】

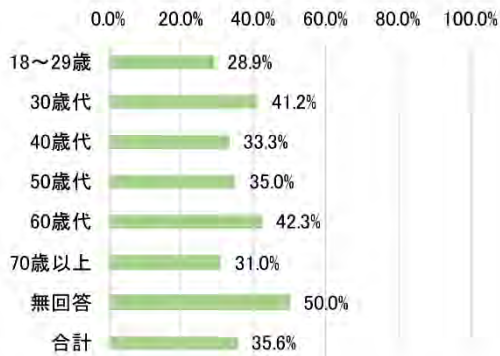
不登校や非行・いじめ問題などへの対応



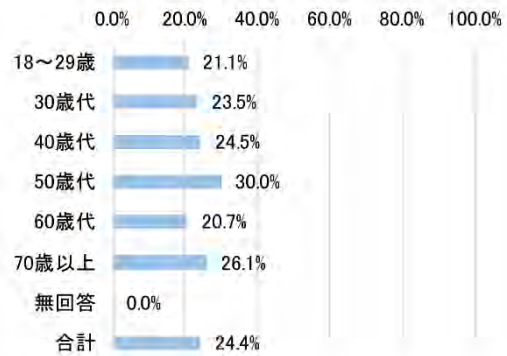
心の教育の充実(道徳や体験活動など)



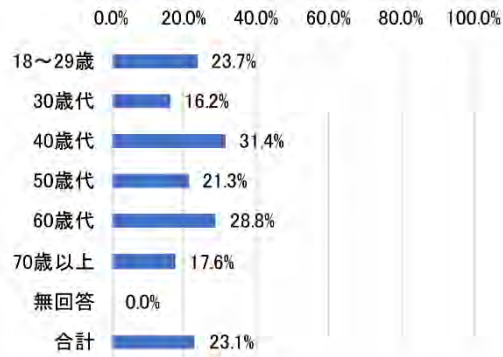
一人ひとりの学力や興味に応じた教育



特別な配慮が必要な子どもへの支援

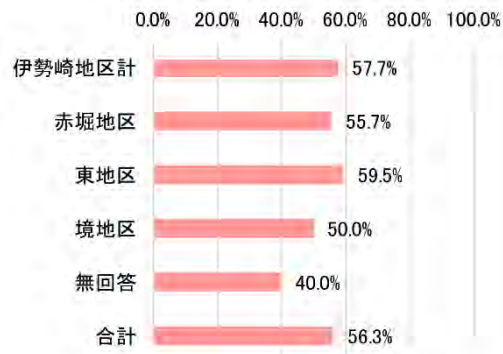


英語教育や国際理解等を重視した教育

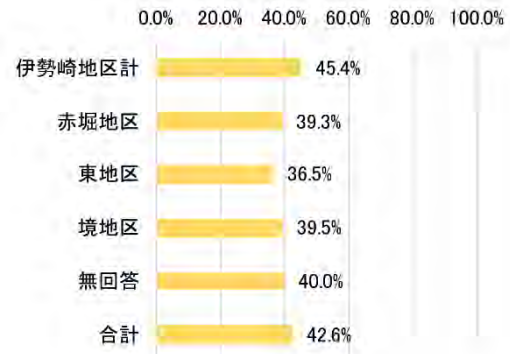


地区別の「小・中学校の教育において重要なこと」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】

不登校や非行・いじめ問題などへの対応



心の教育の充実(道徳や体験活動など)



一人ひとりの学力や興味に応じた教育



特別な配慮が必要な子どもへの支援



英語教育や国際理解等を重視した教育



◆「その他」の回答（主なもの）

- ・ 公立高校の進学校を増やす
- ・ 一人ひとりの性格を尊重した教育の推進
- ・ 考えるきっかけを提供できる教育

(8)生涯学習・スポーツ・文化分野

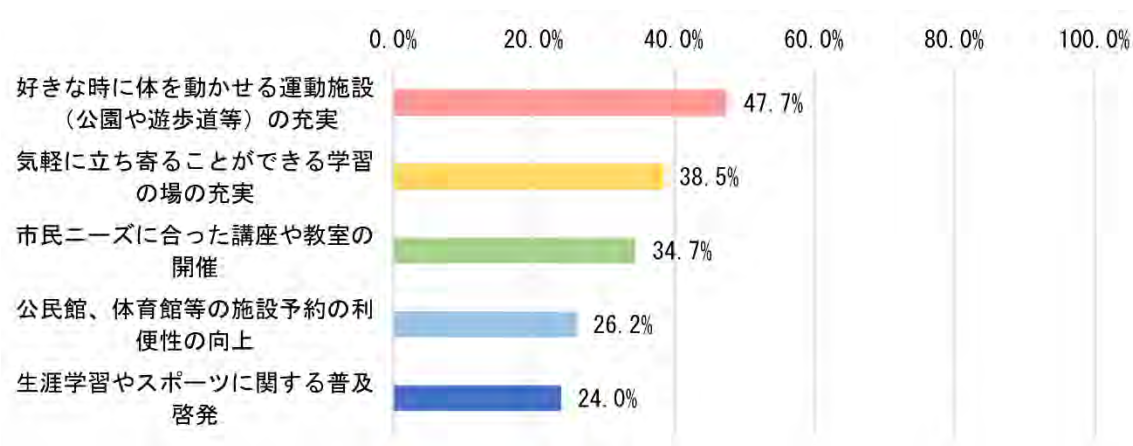
市民の生涯学習やスポーツ・文化を推進するために、どのようなことが重要だと思いますか。

「好きな時に体を動かせる運動施設（公園や遊歩道等）の充実」と回答した人が最も多く、260人(47.7%)となっている。以下、「気軽に立ち寄ることができる学習の場の充実」が210人(38.5%)、「市民ニーズに合った講座や教室の開催」が189人(34.7%)と続いている。

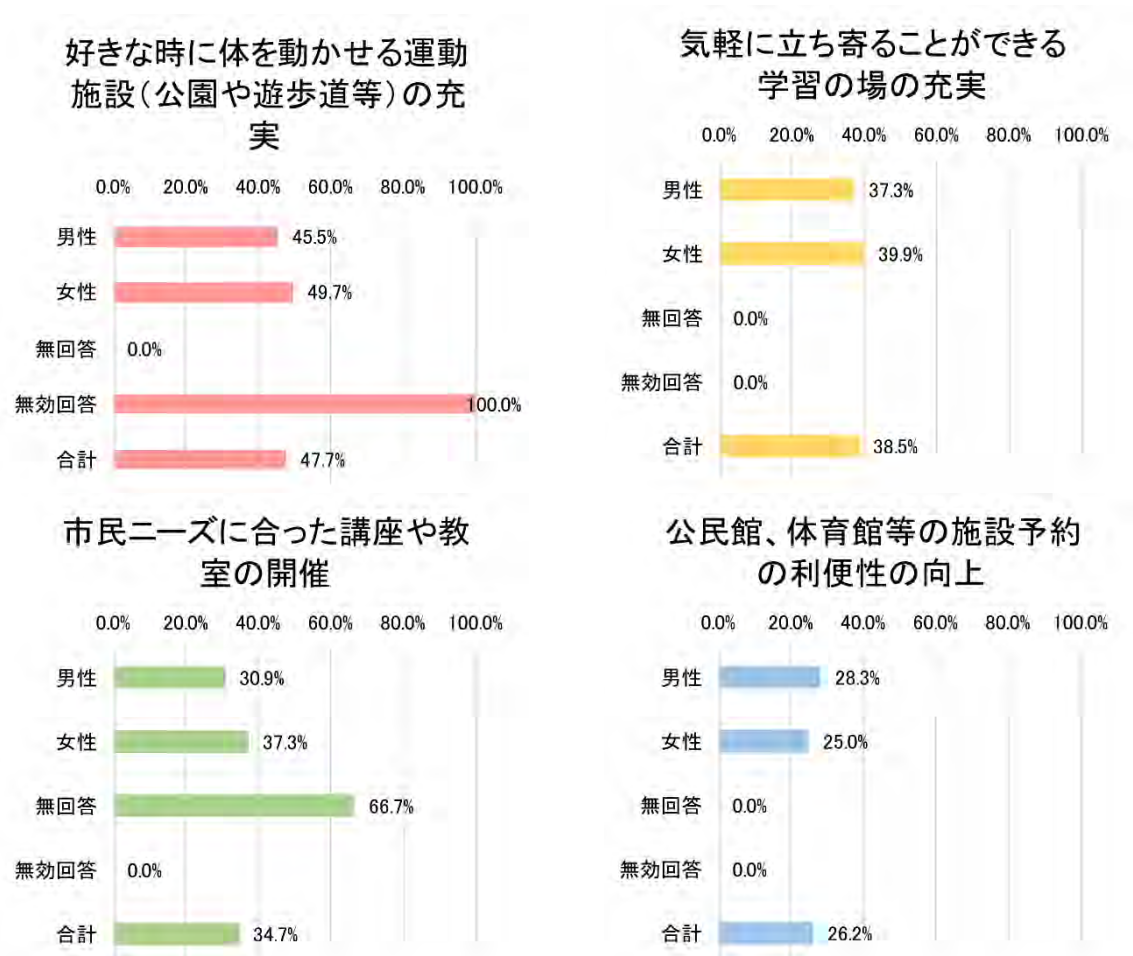
「市民の生涯学習やスポーツ・文化を推進するために重要なこと」の回答【複数回答】

	回答数	割合
好きな時に体を動かせる運動施設 （公園や遊歩道等）の充実	260	47.7
気軽に立ち寄ることができる学習の場の充実	210	38.5
市民ニーズに合った講座や教室の開催	189	34.7
公民館、体育館等の施設予約の利便性の向上	143	26.2
生涯学習やスポーツに関する普及啓発	131	24.0
図書館等の蔵書（本、DVD等）の充実	110	20.2
コンサートや文化講演などを開催できる場所の充実	103	18.9
著名なアーティストによる公演の開催	81	14.9
グループやサークルでの学習活動のための場 （公民館等）の充実	73	13.4
グループやサークルでの体育活動のための場 （体育館や広場等）の充実	46	8.4
学習した成果を発表する場の充実	22	4.0
その他	13	2.4
無回答	13	2.4
無効回答	1	0.2
回答者数	545	100.0

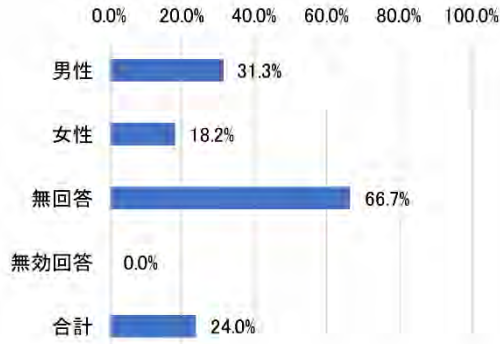
「市民の生涯学習やスポーツ・文化を推進するために重要なこと」の
上位5項目の回答（割合）【複数回答】



性別の「市民の生涯学習やスポーツ・文化を推進するために重要なこと」の上位5項目の
回答（割合）【複数回答】



生涯学習やスポーツに関する 普及啓発

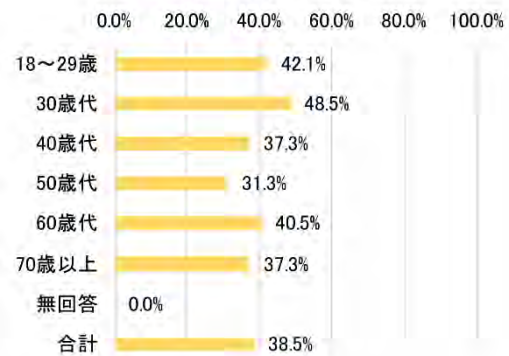


年代別の「市民の生涯学習やスポーツ・文化を推進するために重要なこと」の
上位5項目の回答（割合）【複数回答】

好きな時に体を動かせる運動 施設(公園や遊歩道等)の充 実



気軽に立ち寄ることができる 学習の場の充実



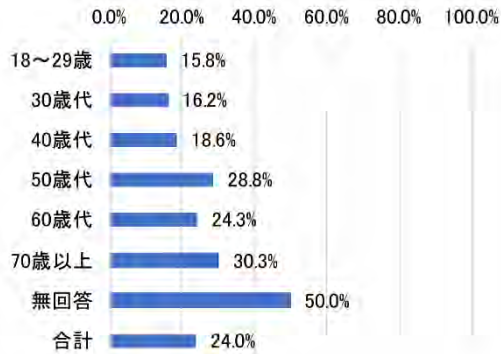
市民ニーズに合った講座や教 室の開催



公民館、体育館等の施設予約 の利便性の向上



生涯学習やスポーツに関する 普及啓発

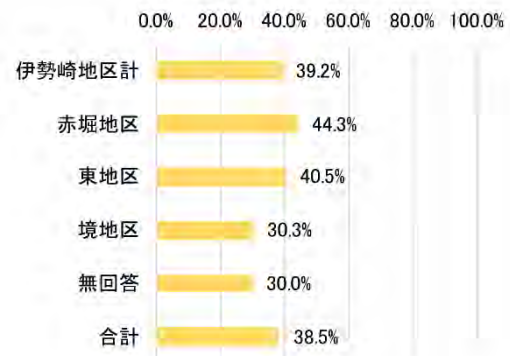


地区別の「市民の生涯学習やスポーツ・文化を推進するために重要なこと」の
上位5項目の回答（割合）【複数回答】

好きな時に体を動かせる運動 施設(公園や遊歩道等)の充 実



気軽に立ち寄ることができる 学習の場の充実



市民ニーズに合った講座や教 室の開催



公民館、体育館等の施設予約 の利便性の向上



生涯学習やスポーツに関する 普及啓発



- ◆ 「その他」の回答（主なもの）
 - ・ 伊勢崎市民プールの再活用
 - ・ 無料で利用できるテニスコートの提供
 - ・ スポーツ大会（年齢ごと）の開催

(9) 協働・共生分野

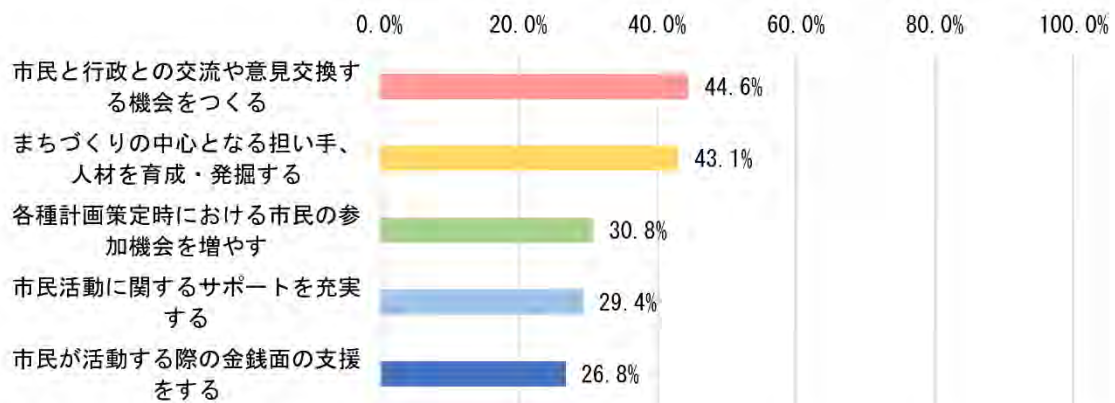
市民と行政が協働してまちづくりを行う上で、どのようなことが重要だと思いますか。

「市民と行政との交流や意見交換する機会をつくる」と回答した人が最も多く、243人(44.6%)となっている。以下、「まちづくりの中心となる担い手、人材を育成・発掘する」が235人(43.1%)、「各種計画策定時における市民の参加機会を増やす」が168人(30.8%)と続いている。

「市民と行政が協働してまちづくりを行う上で重要なこと」の回答【複数回答】

	回答数	割合
市民と行政との交流や意見交換する機会をつくる	243	44.6
まちづくりの中心となる担い手、人材を育成・発掘する	235	43.1
各種計画策定時における市民の参加機会を増やす	168	30.8
市民活動に関するサポートを充実する	160	29.4
市民が活動する際の金銭面の支援をする	146	26.8
市民が活動するための拠点施設を整備する	136	25.0
事業者や教育機関との連携による取り組みを増やす	125	22.9
その他	16	2.9
無回答	18	3.3
無効回答	0	0.0
回答者数	545	100.0

「市民と行政が協働してまちづくりを行う上で重要なこと」の
上位5項目の回答（割合）【複数回答】

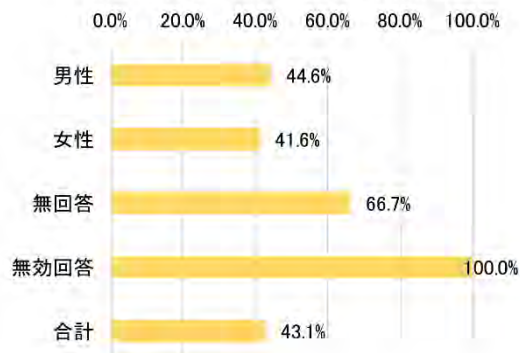


性別の「市民と行政が協働してまちづくりを行う上で重要なこと」の
上位5項目の回答（割合）【複数回答】

市民と行政との交流や意見交換する機会をつくる



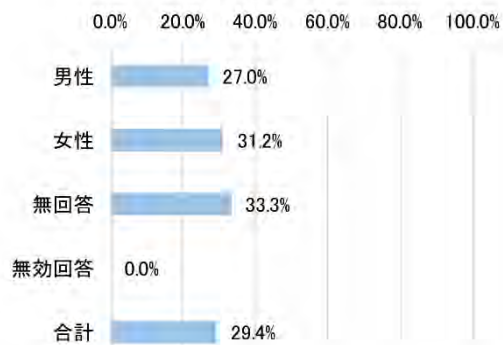
まちづくりの中心となる担い手、人材を育成・発掘する



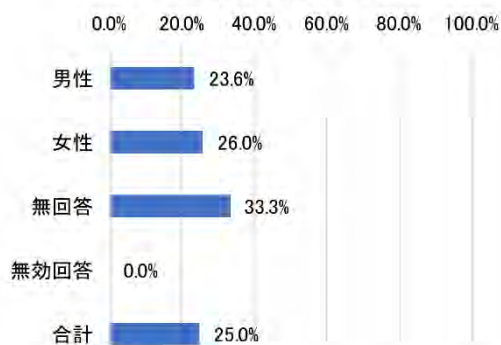
各種計画策定時における市民の参加機会を増やす



市民活動に関するサポートを充実する

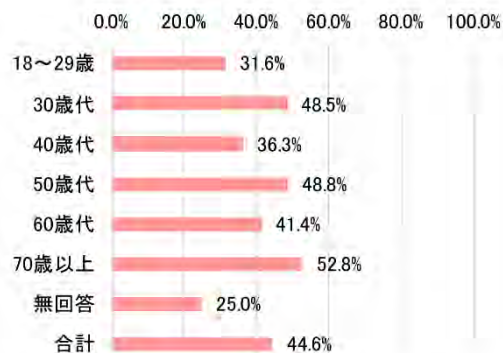


市民が活動するための拠点施設を整備する

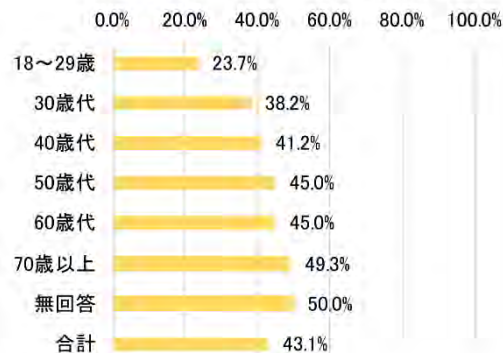


年代別の「市民と行政が協働してまちづくりを行う上で重要なこと」の
上位5項目の回答（割合）【複数回答】

市民と行政との交流や意見交
換する機会をつくる



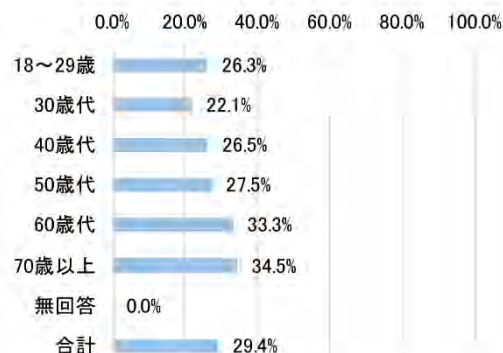
まちづくりの中心となる担い
手、人材を育成・発掘する



各種計画策定時における市
民の参加機会を増やす



市民活動に関するサポートを
充実する



市民が活動するための拠点
施設を整備する

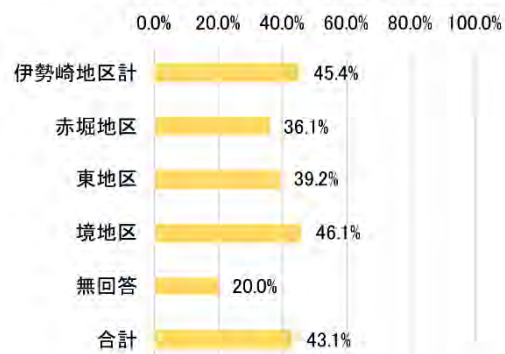


地区別の「市民と行政が協働してまちづくりを行う上で重要なこと」の
上位5項目の回答（割合）【複数回答】

市民と行政との交流や意見交
換する機会をつくる



まちづくりの中心となる担い
手、人材を育成・発掘する



各種計画策定時における市
民の参加機会を増やす



市民活動に関するサポ^oートを
充実する



市民が活動するための拠点
施設を整備する



◆「その他」の回答（主なもの）

- ・ デジタル技術を活用した意見交換
- ・ 若い世代の意見を取り入れる努力
- ・ 「市民の声」の重要視

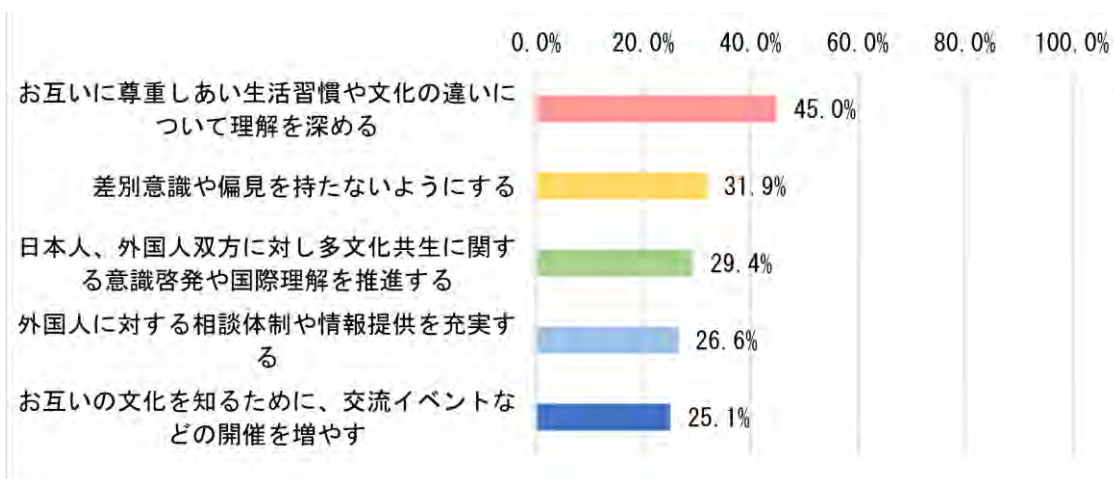
日本人と外国人が共生してまちづくりを行う上で、どのようなことが重要だと思いますか。

「お互いに尊重しあい生活習慣や文化の違いについて理解を深める」と回答した人が最も多く、245人(45.0%)となっている。以下、「差別意識や偏見を持たないようにする」が174人(31.9%)、「日本人、外国人双方に対し多文化共生に関する意識啓発や国際理解を推進する」が160人(29.4%)と続いている。

「日本人と外国人が共生してまちづくりを行う上で重要なこと」の回答【複数回答】

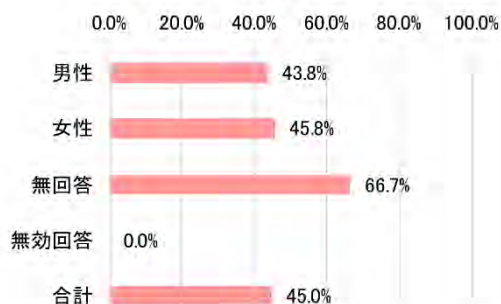
	回答数	割合
お互いに尊重しあい生活習慣や文化の違いについて理解を深める	245	45.0
差別意識や偏見を持たないようにする	174	31.9
日本人、外国人双方に対し多文化共生に関する意識啓発や国際理解を推進する	160	29.4
外国人に対する相談体制や情報提供を充実する	145	26.6
お互いの文化を知るために、交流イベントなどの開催を増やす	137	25.1
その他	20	3.7
無回答	16	2.9
無効回答	38	7.0
回答者数	545	100.0

「日本人と外国人が共生してまちづくりを行う上で重要なこと」の
上位5項目の回答（割合）【複数回答】

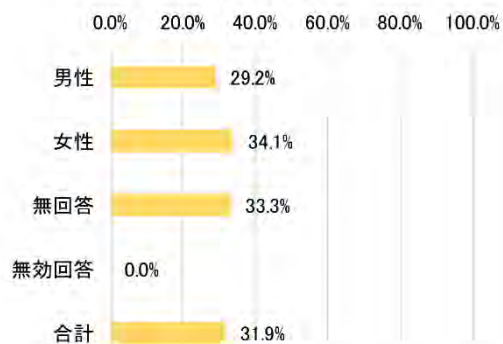


性別の「日本人と外国人が共生してまちづくりを行う上で重要なこと」の
上位5項目の回答（割合）【複数回答】

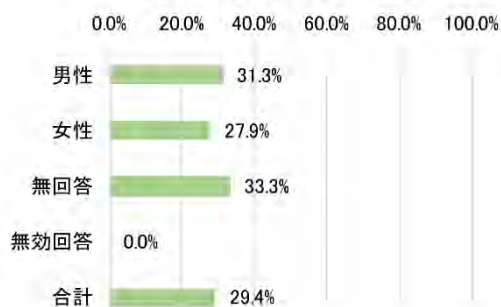
お互いに尊重しあい生活習慣
や文化の違いについて理解を
深める



差別意識や偏見を持たないよ
うにする



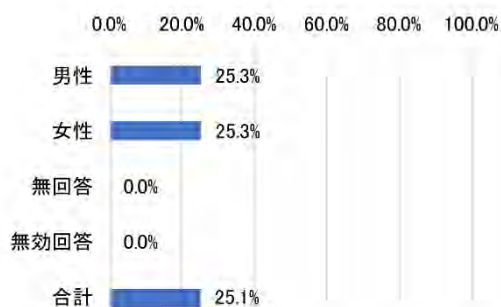
日本人、外国人双方に対し多
文化共生に関する意識啓発
や国際理解を推進する



外国人に対する相談体制や
情報提供を充実する

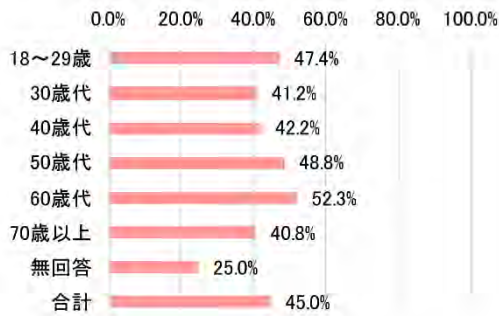


お互いの文化を知るために、
交流イベントなどの開催を増
やす



年代別の「日本人と外国人が共生してまちづくりを行う上で重要なこと」の
上位5項目の回答（割合）【複数回答】

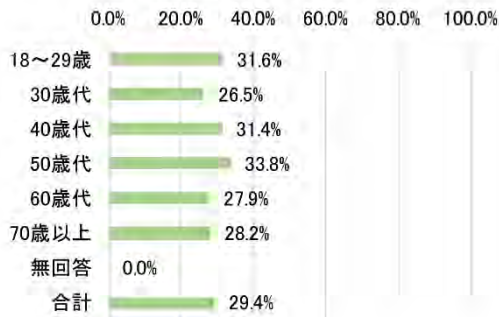
お互いに尊重しあい生活習慣
や文化の違いについて理解を
深める



差別意識や偏見を持たないよ
うにする



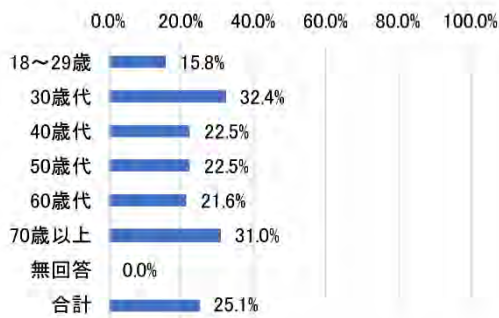
日本人、外国人双方に対し多
文化共生に関する意識啓発
や国際理解を推進する



外国人に対する相談体制や
情報提供を充実する



お互いの文化を知るために、
交流イベントなどの開催を増
やす



地区別の「日本人と外国人が共生してまちづくりを行う上で重要なこと」の
上位5項目の回答（割合）【複数回答】

お互いに尊重しあい生活習慣
や文化の違いについて理解を
深める



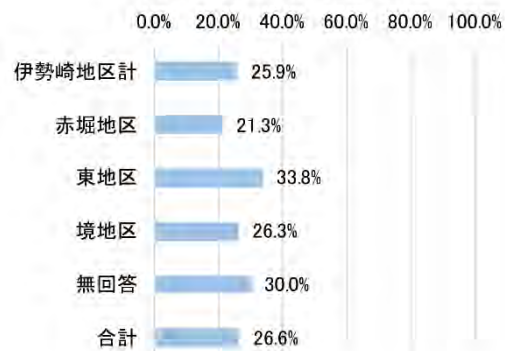
差別意識や偏見を持たないよ
うにする



日本人、外国人双方に対し多
文化共生に関する意識啓発
や国際理解を推進する



外国人に対する相談体制や
情報提供を充実する



お互いの文化を知るために、
交流イベントなどの開催を増
やす



◆「その他」の回答（主なもの）

- ・ 外国語習得の支援の推進
- ・ 外国籍の方にも PTA や町内会の仕事にも参加してもらうこと
- ・ 通訳者の充実

(10) 行財政分野

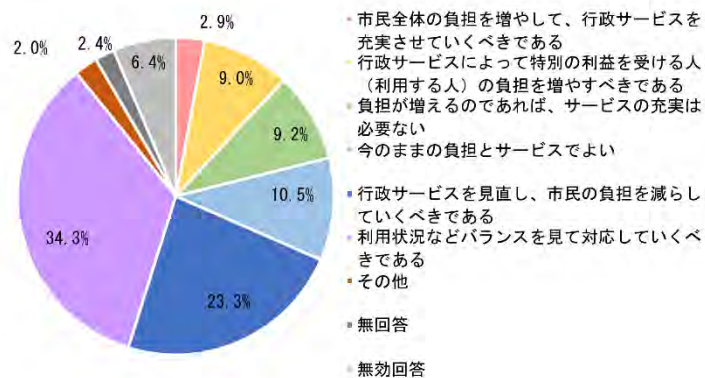
行政サービスとその負担について、今後どのようにすべきだと思いますか。

「利用状況などバランスを見て対応していくべきである」と回答した人が最も多く、187人(34.3%)となっている。以下、「行政サービスを見直し、市民の負担を減らしていくべきである」が127人(23.3%)、「今のままの負担とサービスでよい」が57人(10.5%)と続いている。

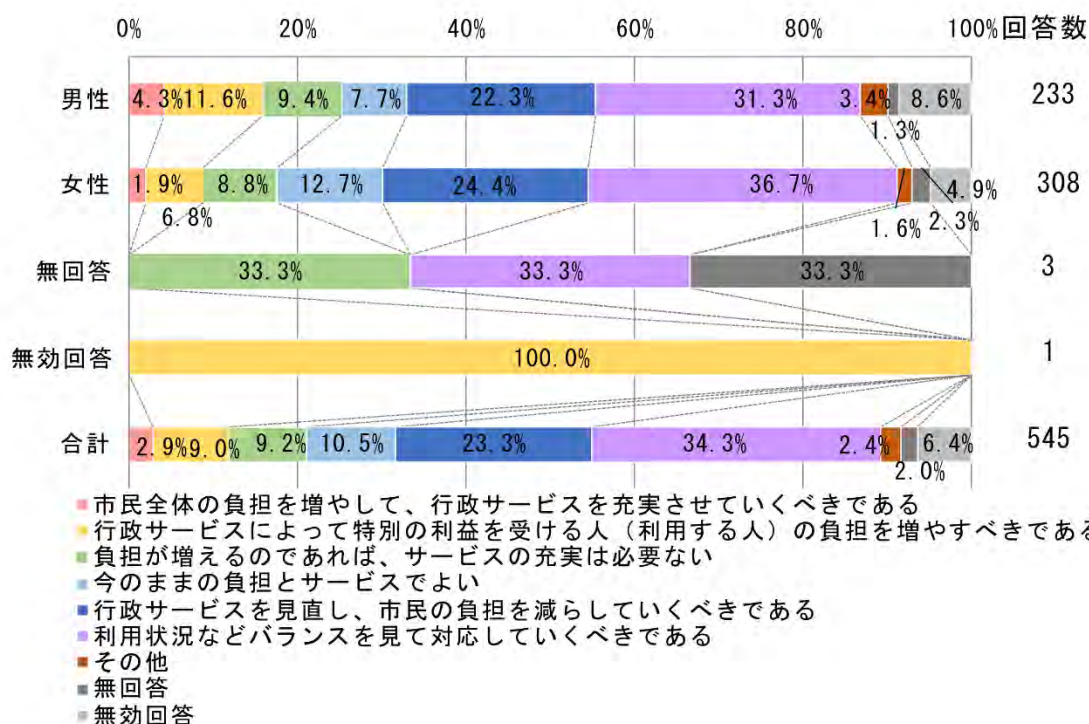
「行政サービスとその負担について」の回答

	回答数	割合
利用状況などバランスを見て対応していくべきである	187	34.3
行政サービスを見直し、 市民の負担を減らしていくべきである	127	23.3
今のままの負担とサービスでよい	57	10.5
負担が増えるのであれば、サービスの充実はない	50	9.2
行政サービスによって特別の利益を受ける人 (利用する人)の負担を増やすべきである	49	9.0
市民全体の負担を増やして、 行政サービスを充実させていくべきである	16	2.9
その他	13	2.4
無回答	11	2.0
無効回答	35	6.4
合計	545	100.0

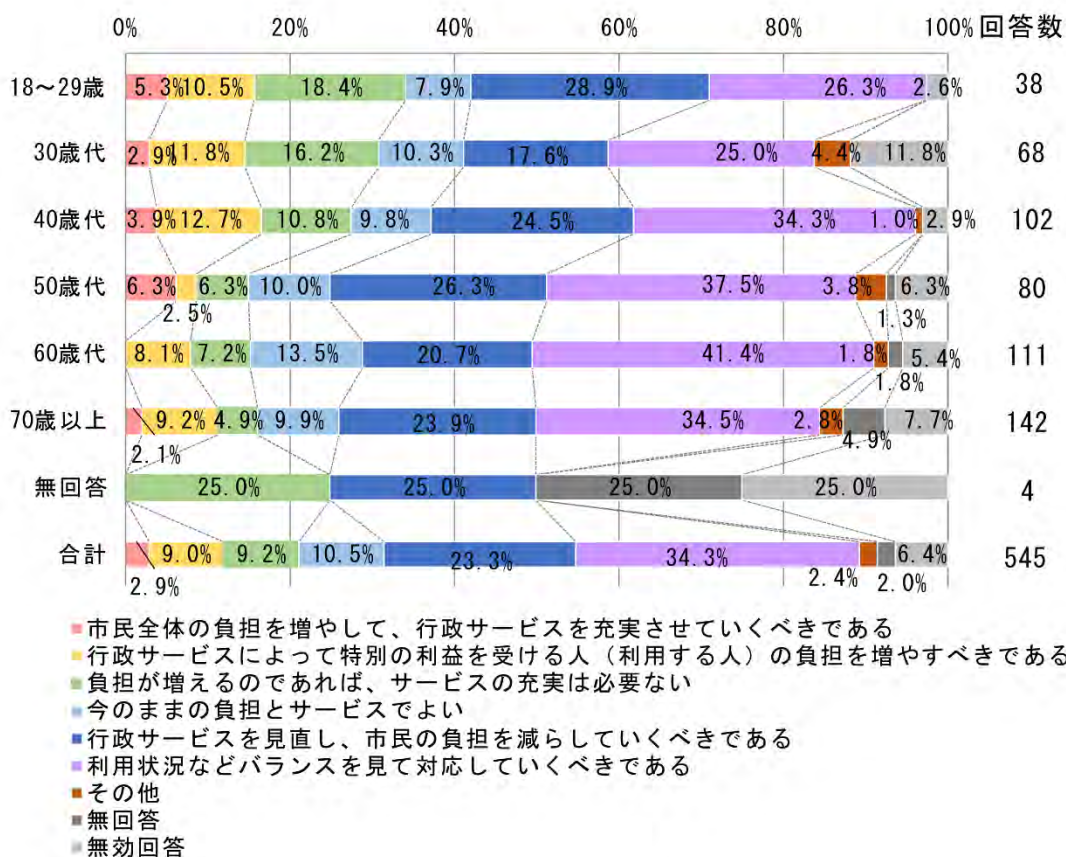
「行政サービスとその負担について」の回答（割合）



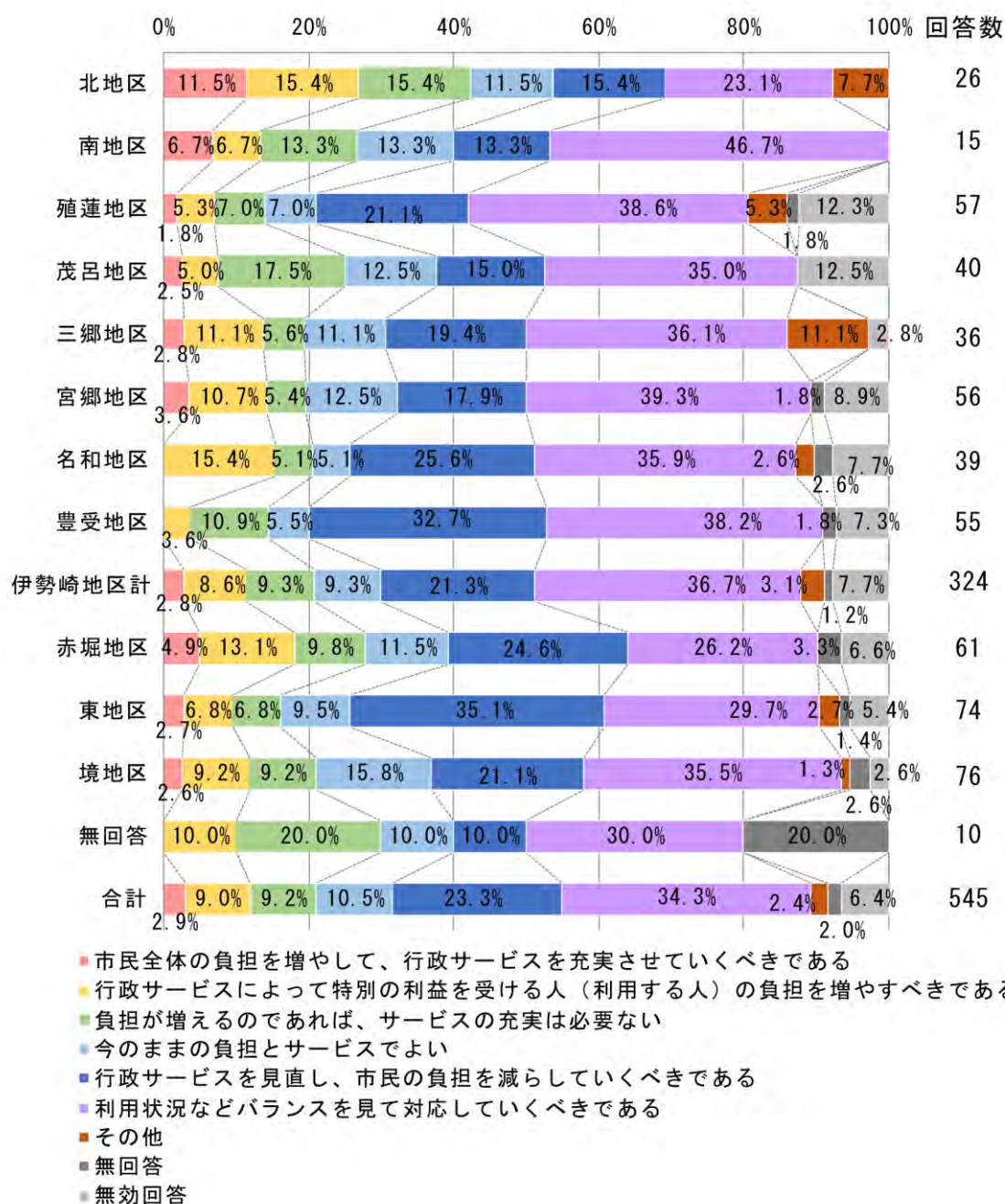
性別の「行政サービスとその負担について」の回答（割合）



年代別の「行政サービスとその負担について」の回答（割合）



地区別の「行政サービスとその負担について」の回答（割合）



◆ 「その他」の回答（主なもの）

- ・今の負担でよいので、市民のニーズを把握し、サービスの見直しを行う
- ・行政の見直しや無駄の排除
- ・行政区規模の格差によるサービスの不公平をなくす

市の職員に必要なもの

伊勢崎市の職員に求められる10個のスキルについて、どの程度必要かを算出し、各能力に対する相対的な評価を行った。

「必要である」または「ある程度必要である」と回答した人は「倫理観、公平、責任感」が最も多く合計で92.9%となっている。以下、「市民目線、信頼感」が91.9%、「課題発見・解決力」が90.8%と続いている。

各スキルの性別、年代別、地区別集計及び詳細については、166～185ページを参照。

「市の職員に必要なもの」の回答（割合）

	必要である	ある程度必要である	どちらともいえない	あまり必要でない	必要でない	無回答	無効回答
職員の熱意、熱心さ、元気さ	46.6	40.4	7.9	1.8	0.9	2.4	0.0
市民、地域、企業との連携、コミュニケーション力	49.7	38.0	8.1	1.1	0.4	2.8	0.0
チャレンジ精神、改革力、先見性	40.0	41.1	13.2	2.2	0.7	2.6	0.2
企画立案能力、専門知識	49.4	38.3	7.3	1.3	0.6	3.1	0.0
倫理観、公平、責任感	70.1	22.8	3.9	0.4	0.6	2.4	0.0
コスト意識、経営感覚	45.9	38.7	10.3	1.1	1.3	2.8	0.0
仕事へのスピード感、臨機応変さ	58.2	32.3	5.3	0.9	0.6	2.8	0.0
市民目線、信頼感	70.1	21.8	4.0	0.7	0.7	2.4	0.2
課題発見・解決力	53.0	37.8	5.1	0.6	0.9	2.6	0.0
情報発信力	46.4	39.8	8.4	2.0	0.7	2.6	0.0

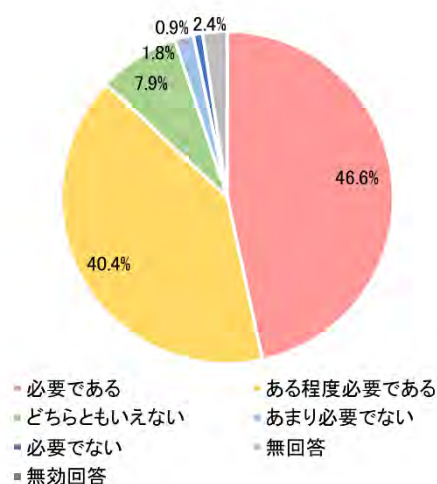
【職員の熱意、熱心さ、元気さ】

「職員の熱意、熱心さ、元気さ」については、「必要である」が254人(46.6%)、「ある程度必要である」が220人(40.4%)、「どちらともいえない」が43人(7.9%)、「あまり必要でない」が10人(1.8%)、「必要でない」が5人(0.9%)、「無回答」が13人(2.4%)、「無効回答」が0人(0.0%)となった。

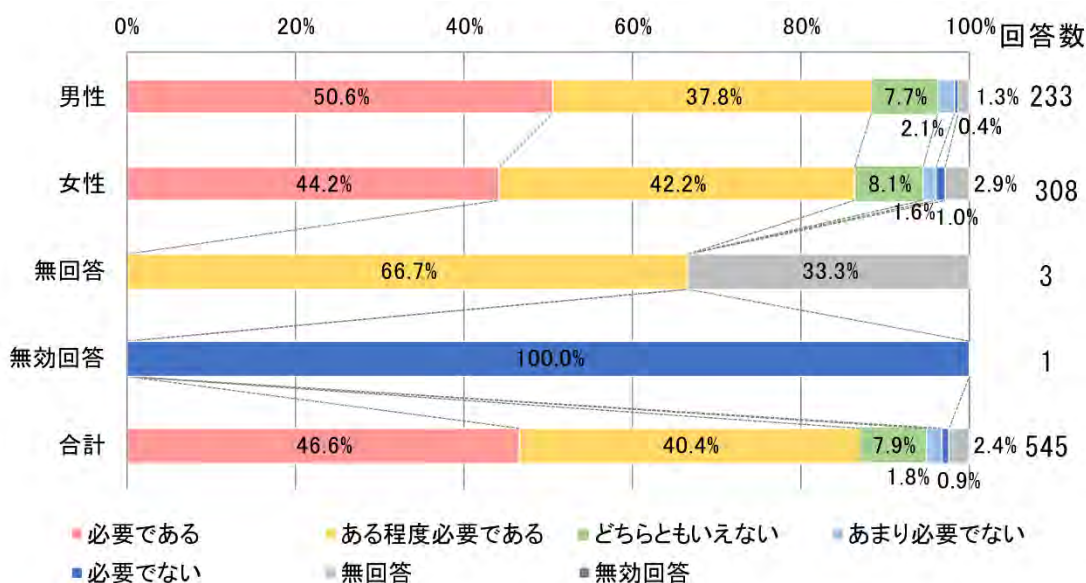
「職員の熱意、熱心さ、元気さ」の回答

	回答数	割合
必要である	254	46.6
ある程度必要である	220	40.4
どちらともいえない	43	7.9
あまり必要でない	10	1.8
必要でない	5	0.9
無回答	13	2.4
無効回答	0	0.0
合計	545	100.0

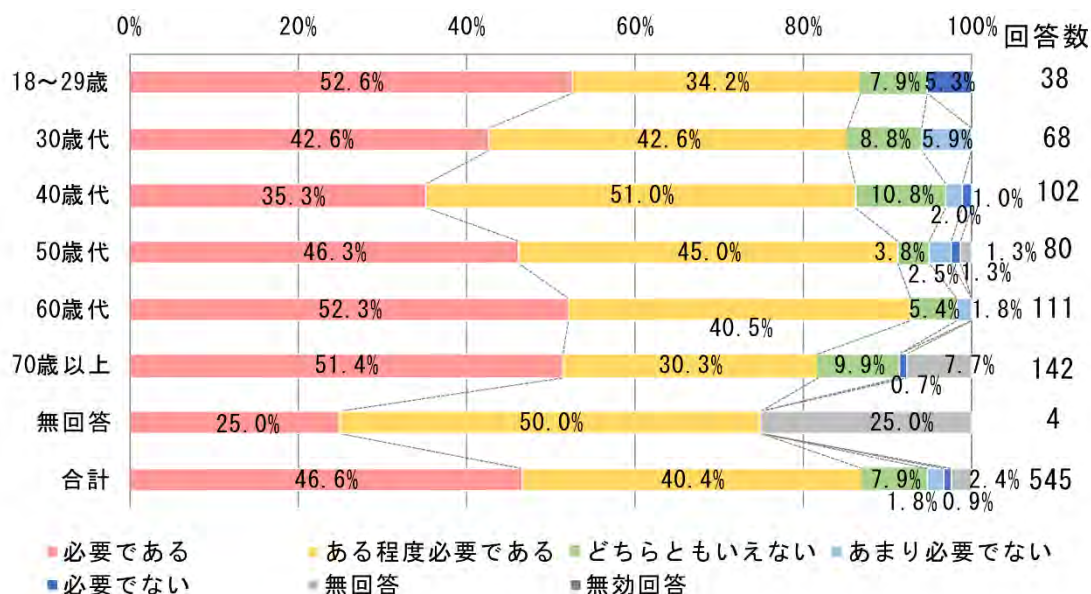
職員の熱意、熱心さ、元気さ
(割合)



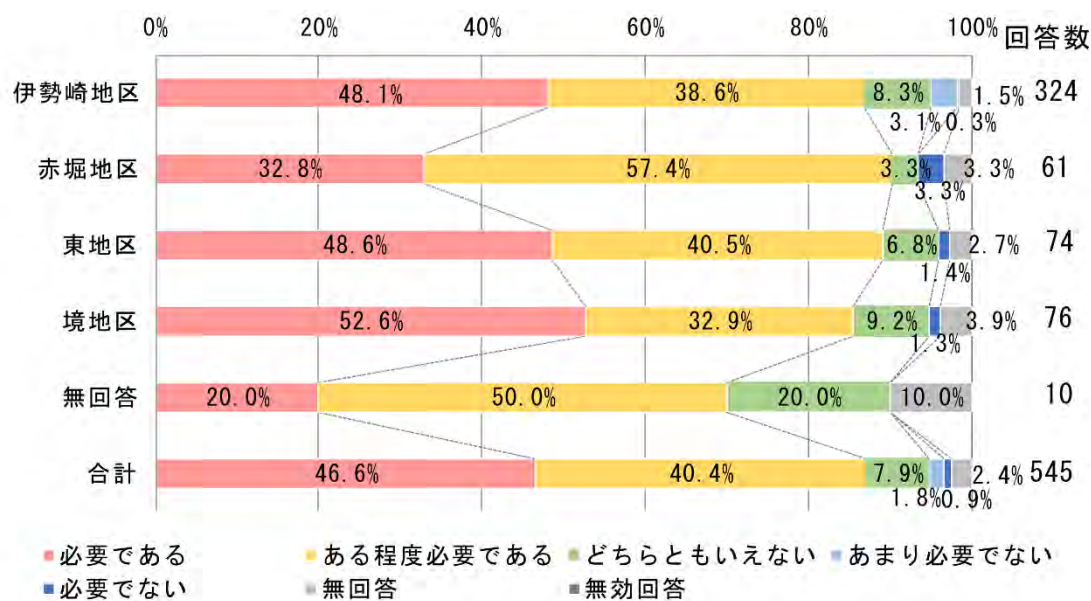
性別の「職員の熱意、熱心さ、元気さ」の回答 (割合)



年代別の「職員の熱意、熱心さ、元気さ」の回答（割合）



地域別の「職員の熱意、熱心さ、元気さ」の回答（割合）



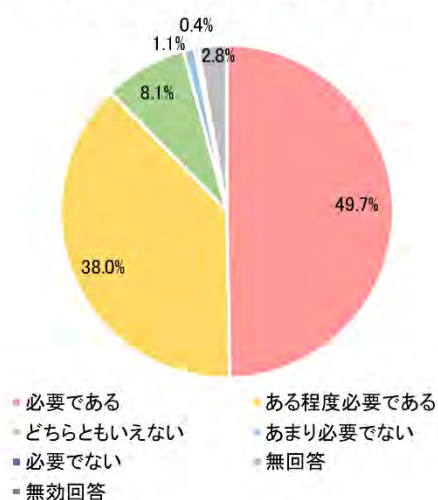
【市民、地域、企業との連携、コミュニケーション力】

「市民、地域、企業との連携、コミュニケーション力」については、「必要である」が271人(49.7%)、「ある程度必要である」が207人(38.0%)、「どちらともいえない」が44人(8.1%)、「あまり必要でない」が6人(1.1%)、「必要でない」が2人(0.4%)、「無回答」が15人(2.8%)、「無効回答」が0人(0.0%)となった。

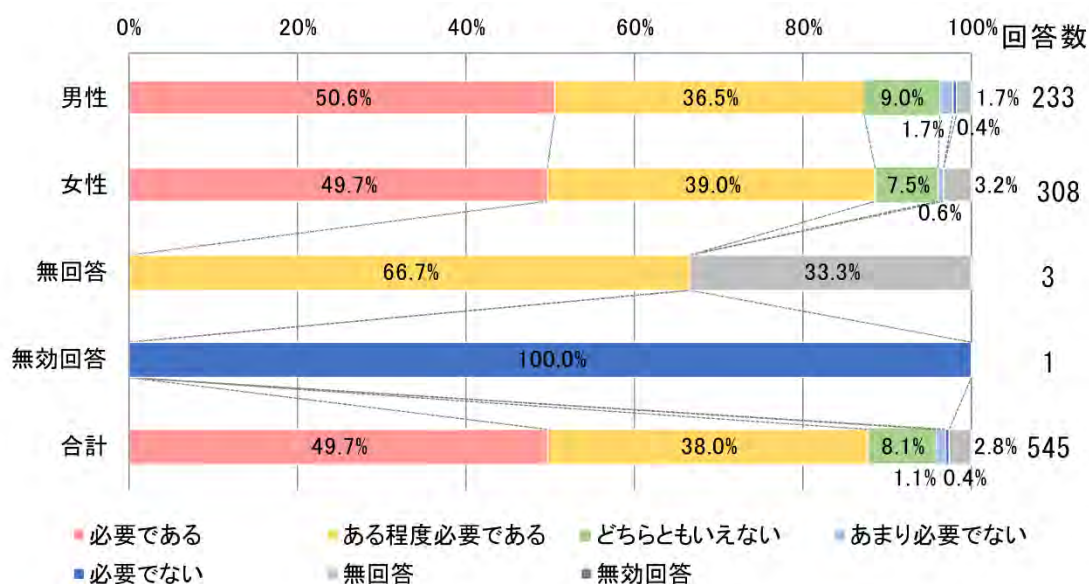
「市民、地域、企業との連携、コミュニケーション力」の回答

	回答数	割合
必要である	271	49.7
ある程度必要である	207	38.0
どちらともいえない	44	8.1
あまり必要でない	6	1.1
必要でない	2	0.4
無回答	15	2.8
無効回答	0	0.0
合計	545	100.0

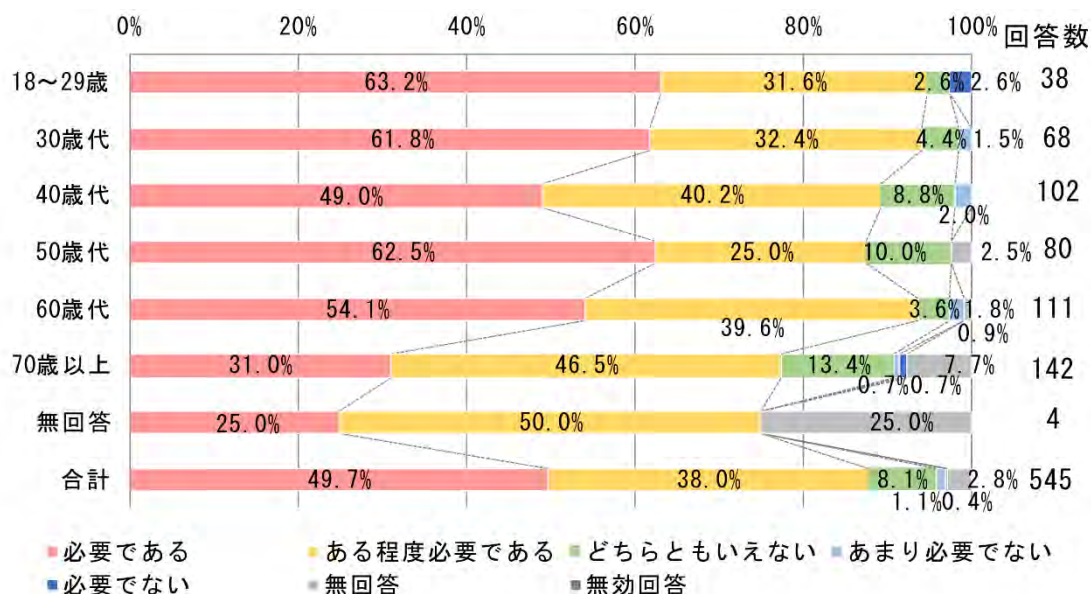
市民、地域、企業との連携、コミュニケーション力(割合)



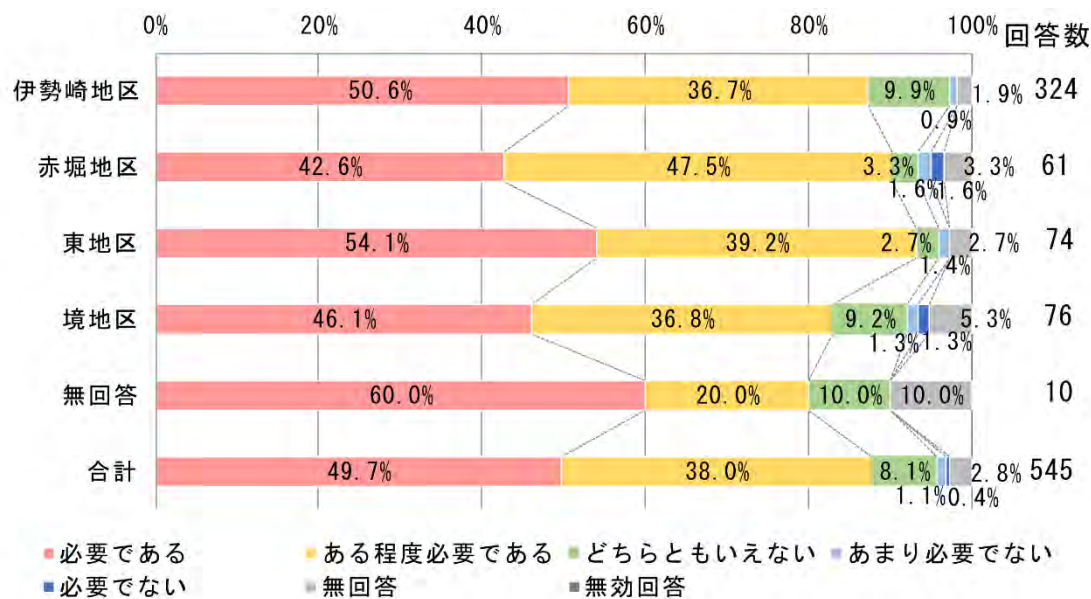
性別の「市民、地域、企業との連携、コミュニケーション力」の回答(割合)



年代別の「市民、地域、企業との連携、コミュニケーション力」の回答（割合）



地域別の「市民、地域、企業との連携、コミュニケーション力」の回答（割合）



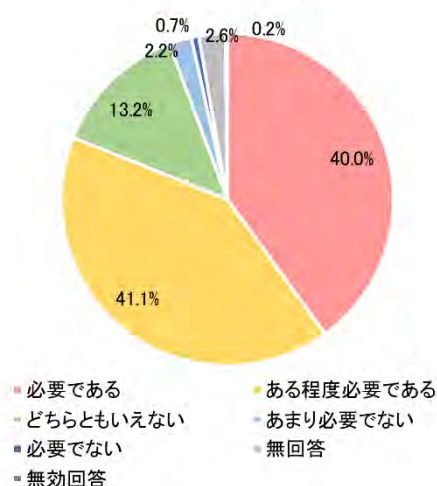
【チャレンジ精神、改革力、先見性】

「チャレンジ精神、改革力、先見性」については、「必要である」が218人(40.0%)、「ある程度必要である」が224人(41.1%)、「どちらともいえない」が72人(13.2%)、「あまり必要でない」が12人(2.2%)、「必要でない」が4人(0.7%)、「無回答」が14人(2.6%)、「無効回答」が1人(0.2%)となった。

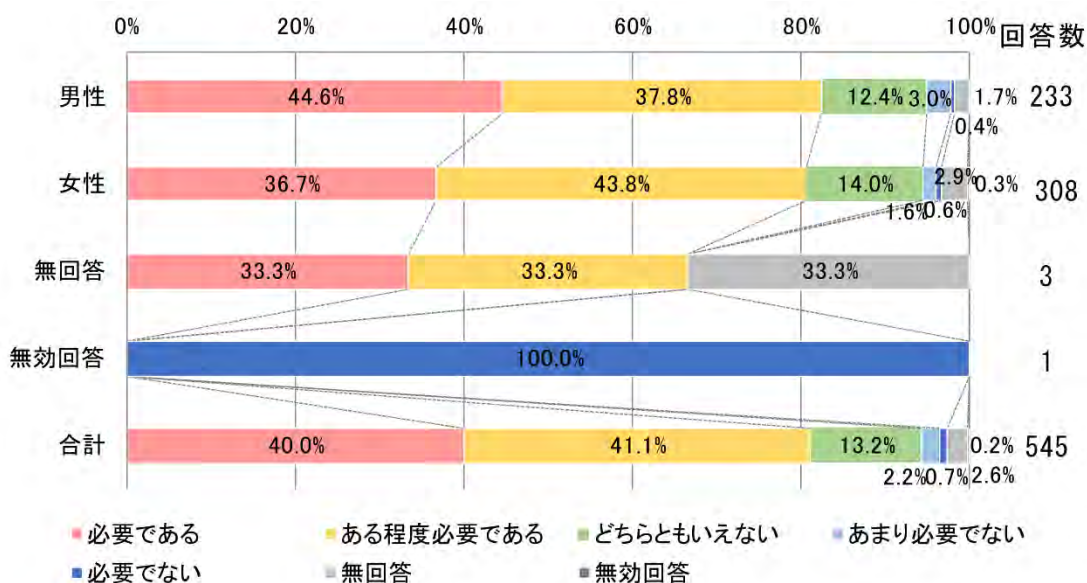
「チャレンジ精神、改革力、先見性」の回答

	回答数	割合
必要である	218	40.0
ある程度必要である	224	41.1
どちらともいえない	72	13.2
あまり必要でない	12	2.2
必要でない	4	0.7
無回答	14	2.6
無効回答	1	0.2
合計	545	100.0

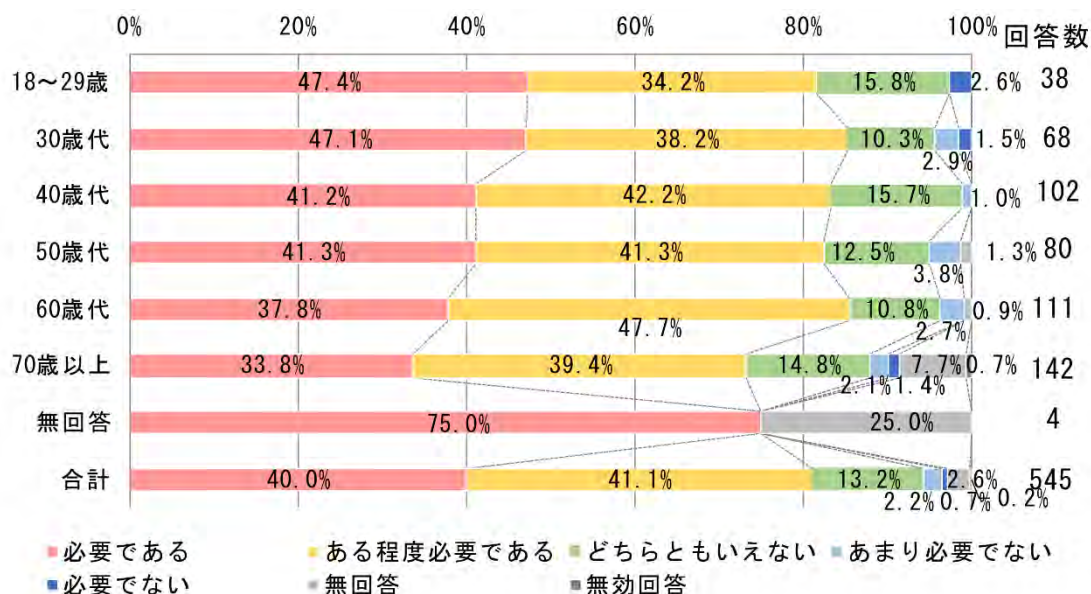
チャレンジ精神、改革力、先見性(割合)



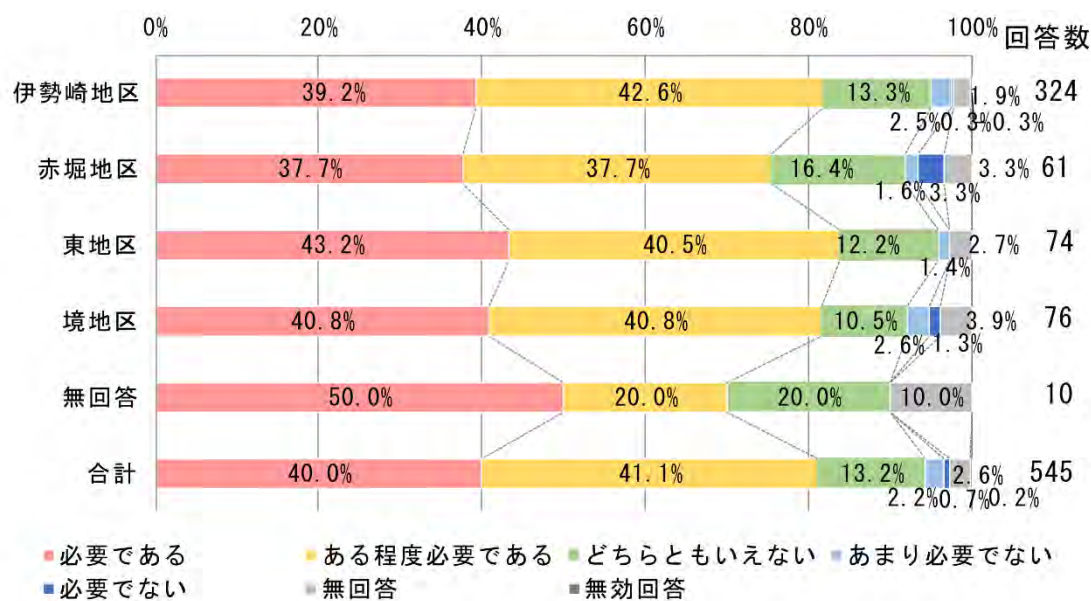
性別の「チャレンジ精神、改革力、先見性」の回答 (割合)



年代別の「チャレンジ精神、改革力、先見性」の回答（割合）



地域別の「チャレンジ精神、改革力、先見性」の回答（割合）



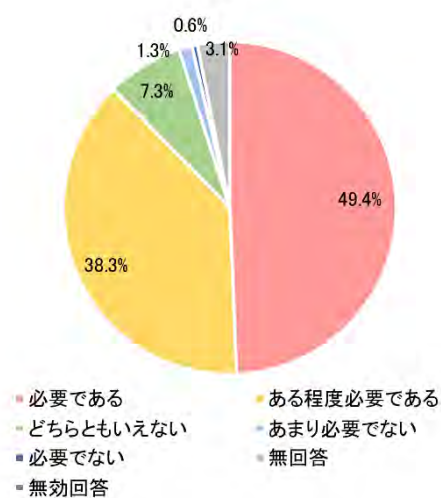
【企画立案能力、専門知識】

「企画立案能力、専門知識」については、「必要である」が269人(49.4%)、「ある程度必要である」が209人(38.3%)、「どちらともいえない」が40人(7.3%)、「あまり必要でない」が7人(1.3%)、「必要でない」が3人(0.6%)、「無回答」が17人(3.1%)、「無効回答」が0人(0.0%)となった。

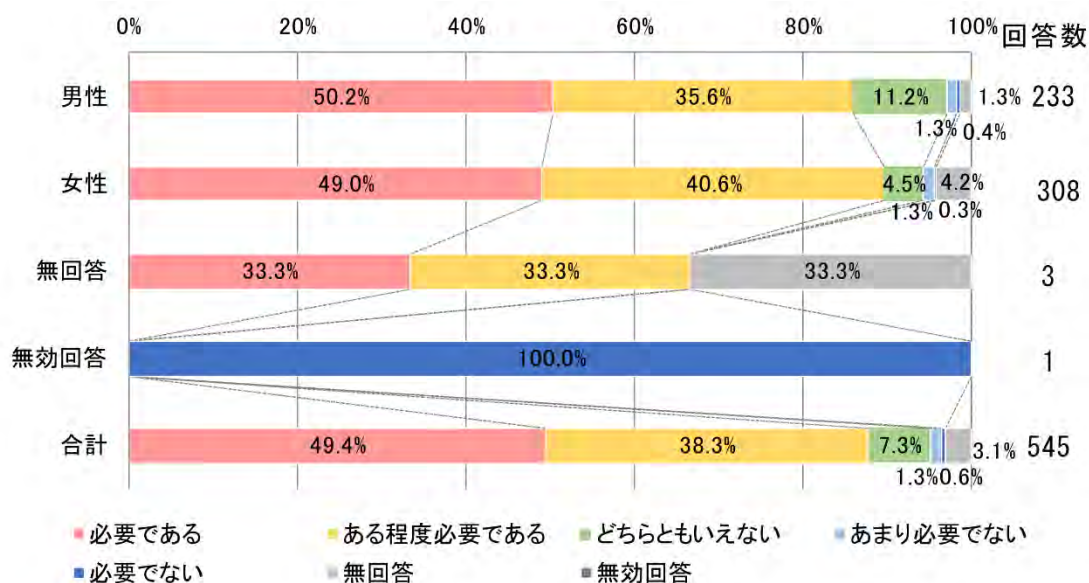
「企画立案能力、専門知識」の回答

	回答数	割合
必要である	269	49.4
ある程度必要である	209	38.3
どちらともいえない	40	7.3
あまり必要でない	7	1.3
必要でない	3	0.6
無回答	17	3.1
無効回答	0	0.0
合計	545	100.0

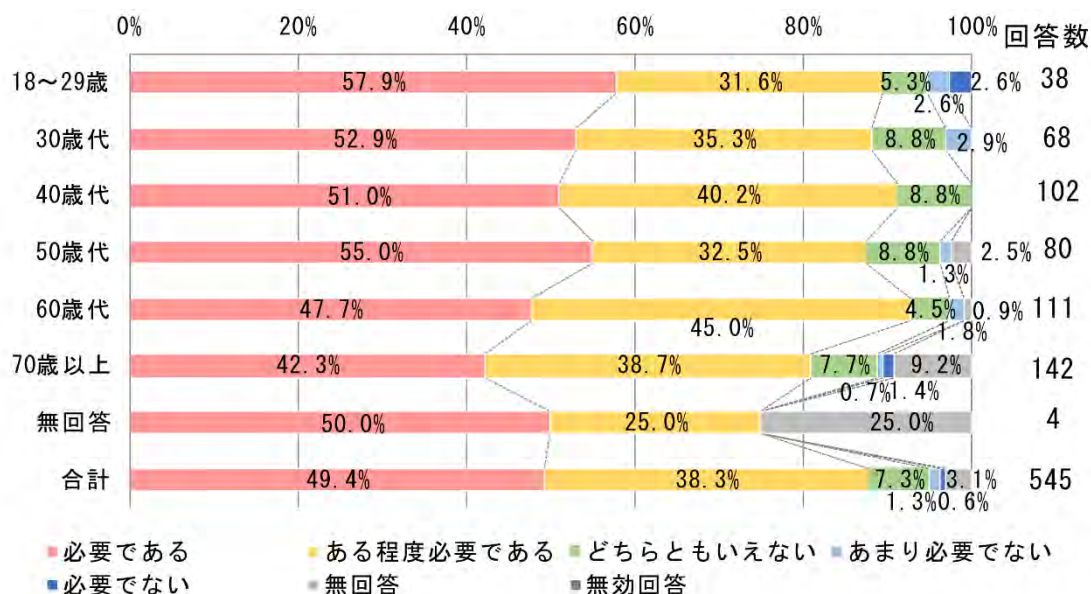
企画立案能力、専門知識(割合)



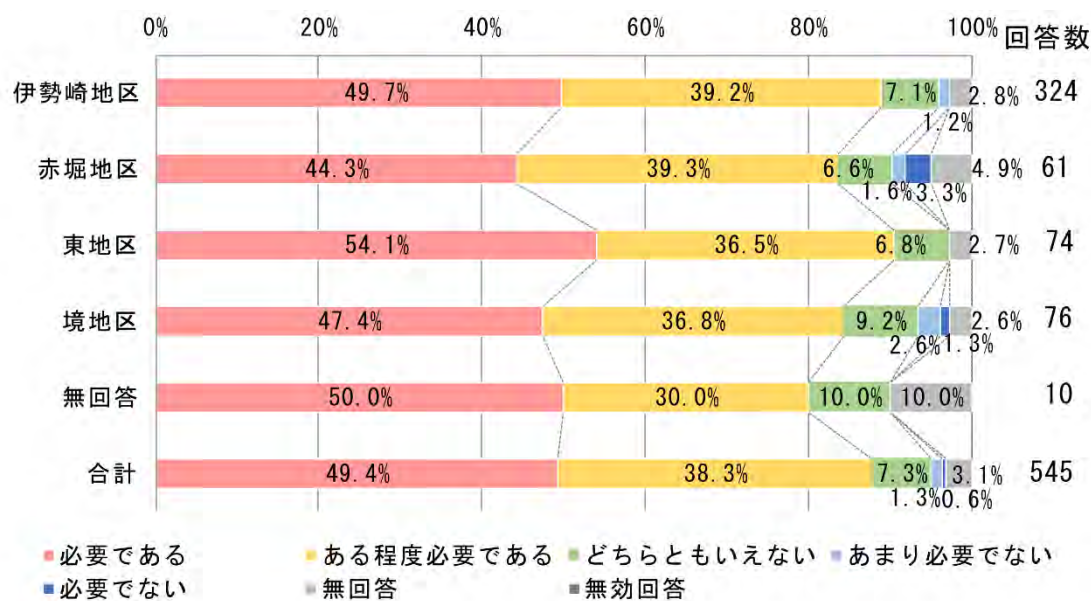
性別の「企画立案能力、専門知識」の回答(割合)



年代別の「企画立案能力、専門知識」の回答（割合）



地域別の「企画立案能力、専門知識」の回答（割合）



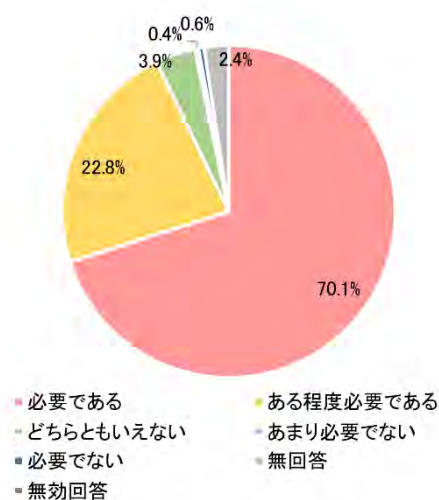
【倫理観、公平、責任感】

「倫理観、公平、責任感」については、「必要である」が382人(70.1%)、「ある程度必要である」が124人(22.8%)、「どちらともいえない」が21人(3.9%)、「あまり必要でない」が2人(0.4%)、「必要でない」が3人(0.6%)、「無回答」が13人(2.4%)、「無効回答」が0人(0.0%)となった。

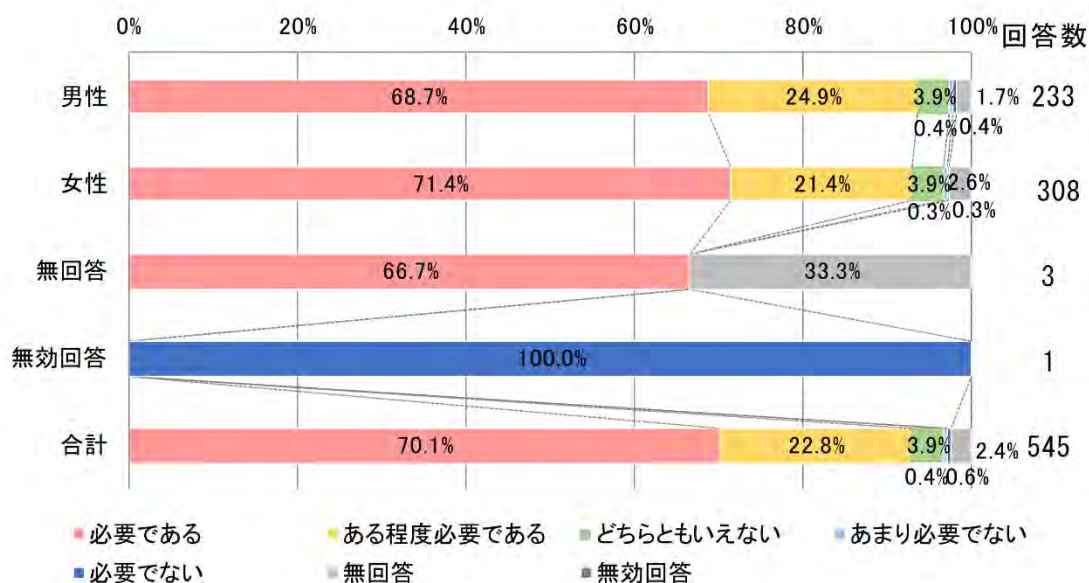
「倫理観、公平、責任感」の回答

	回答数	割合
必要である	382	70.1
ある程度必要である	124	22.8
どちらともいえない	21	3.9
あまり必要でない	2	0.4
必要でない	3	0.6
無回答	13	2.4
無効回答	0	0.0
合計	545	100.0

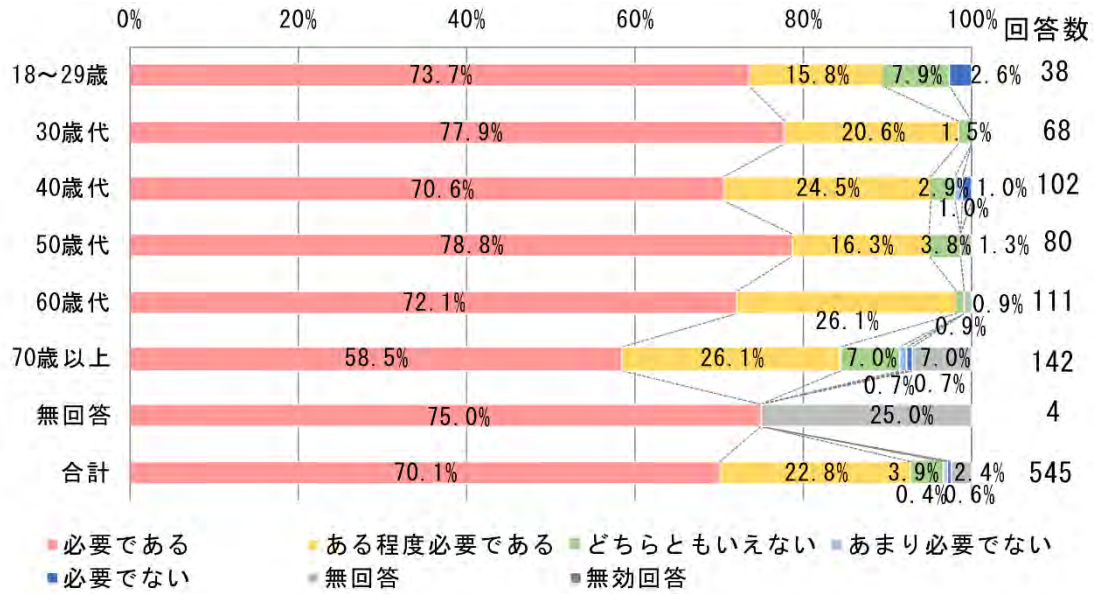
倫理観、公平、責任感(割合)



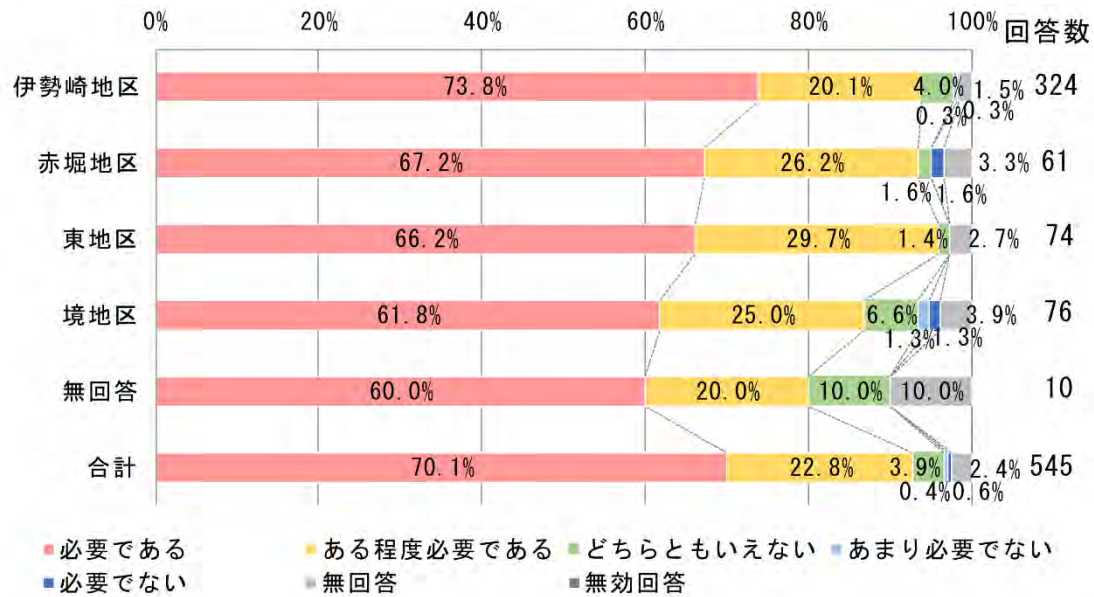
性別の「倫理観、公平、責任感」の回答(割合)



年代別の「倫理観、公平、責任感」の回答（割合）



地域別の「倫理観、公平、責任感」の回答（割合）



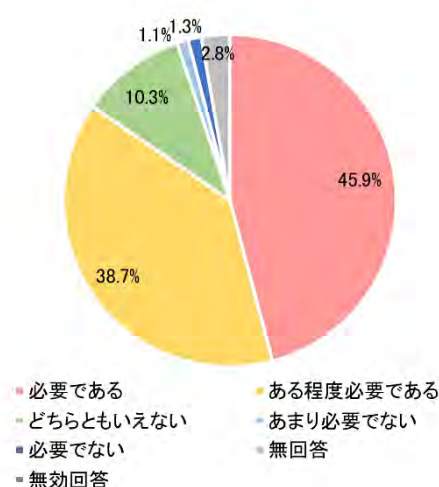
【コスト意識、経営感覚】

「職員の熱意、熱心さ、元気さ」については、「必要である」が250人(45.9%)、「ある程度必要である」が211人(38.7%)、「どちらともいえない」が56人(10.3%)、「あまり必要でない」が6人(1.1%)、「必要でない」が7人(1.3%)、「無回答」が15人(2.8%)、「無効回答」が0人(0.0%)となった。

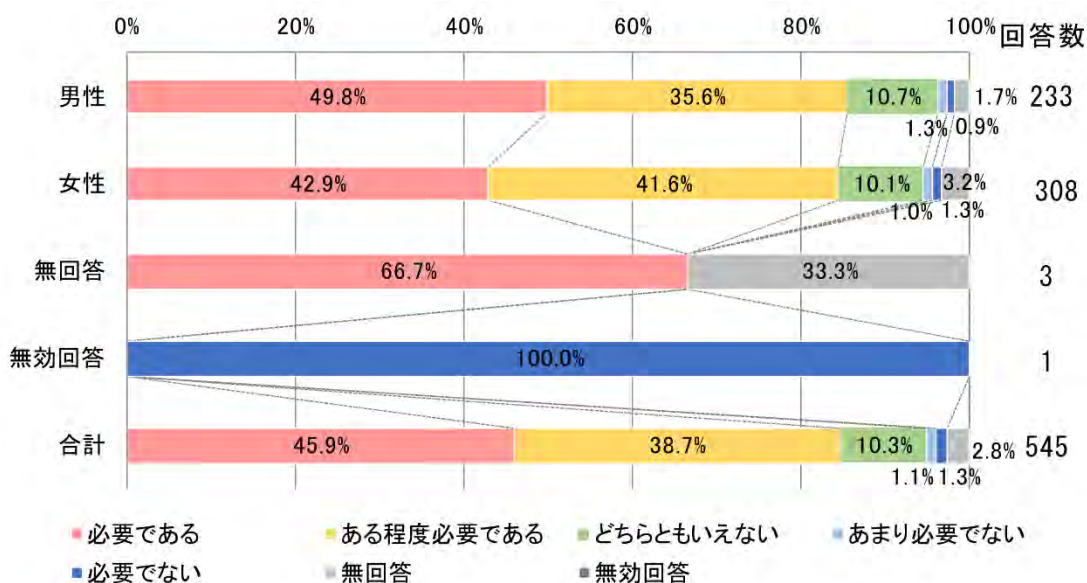
「コスト意識、経営感覚」の回答

	回答数	割合
必要である	250	45.9
ある程度必要である	211	38.7
どちらともいえない	56	10.3
あまり必要でない	6	1.1
必要でない	7	1.3
無回答	15	2.8
無効回答	0	0.0
合計	545	100.0

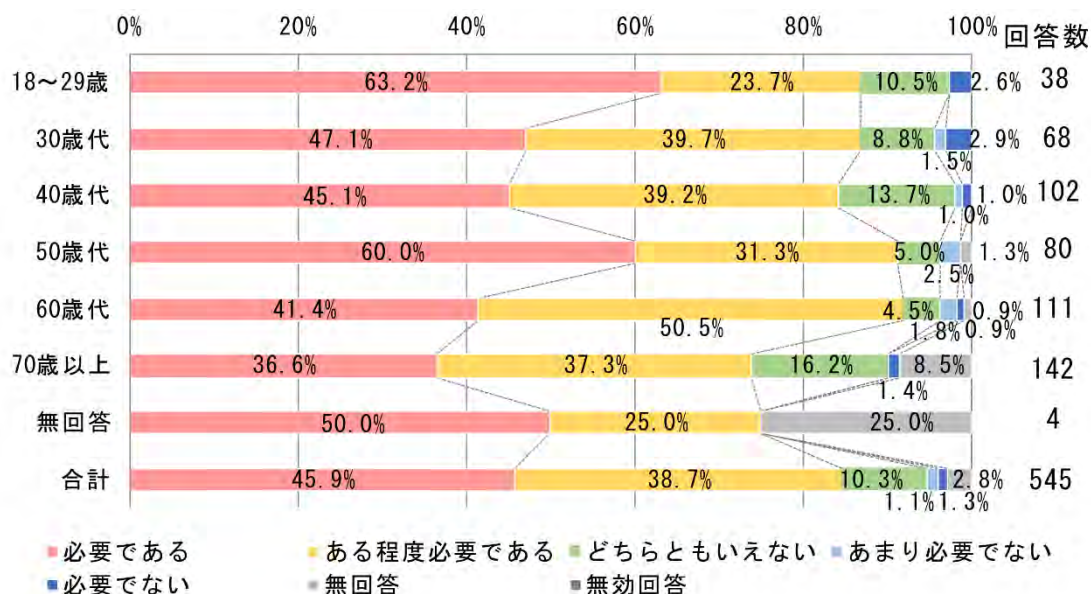
コスト意識、経営感覚(割合)



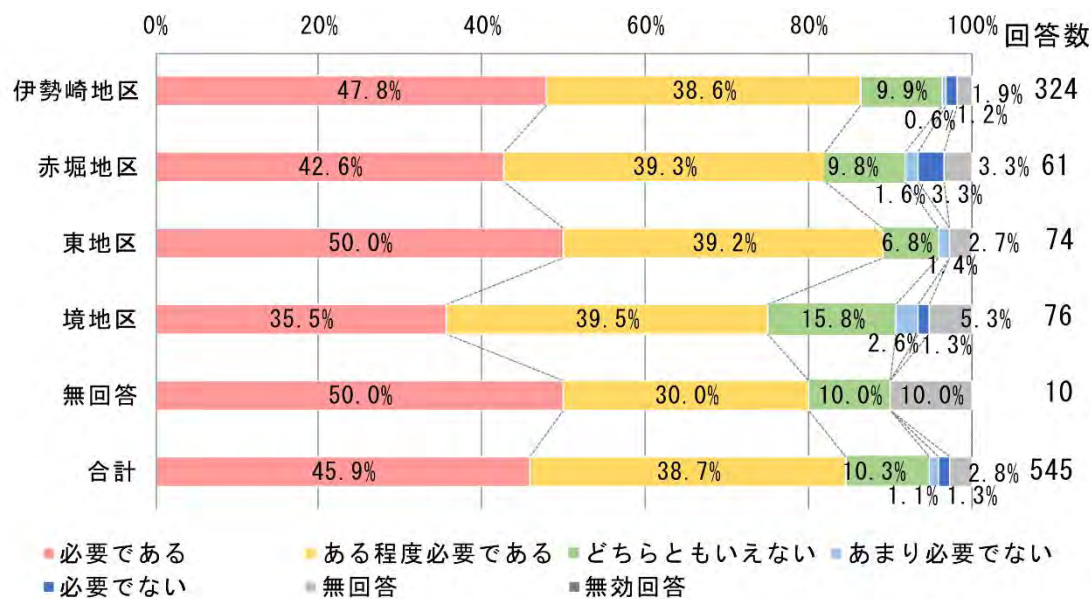
性別の「コスト意識、経営感覚」の回答(割合)



年代別の「コスト意識、経営感覚」の回答（割合）



地域別の「コスト意識、経営感覚」の回答（割合）



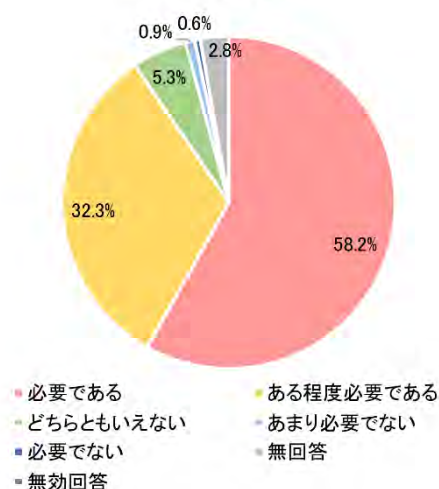
【仕事へのスピード感、臨機応変さ】

「仕事へのスピード感、臨機応変さ」については、「必要である」が317人(58.2%)、「ある程度必要である」が176人(32.3%)、「どちらともいえない」が29人(5.3%)、「あまり必要でない」が5人(0.9%)、「必要でない」が3人(0.6%)、「無回答」が15人(2.8%)、「無効回答」が0人(0.0%)となった。

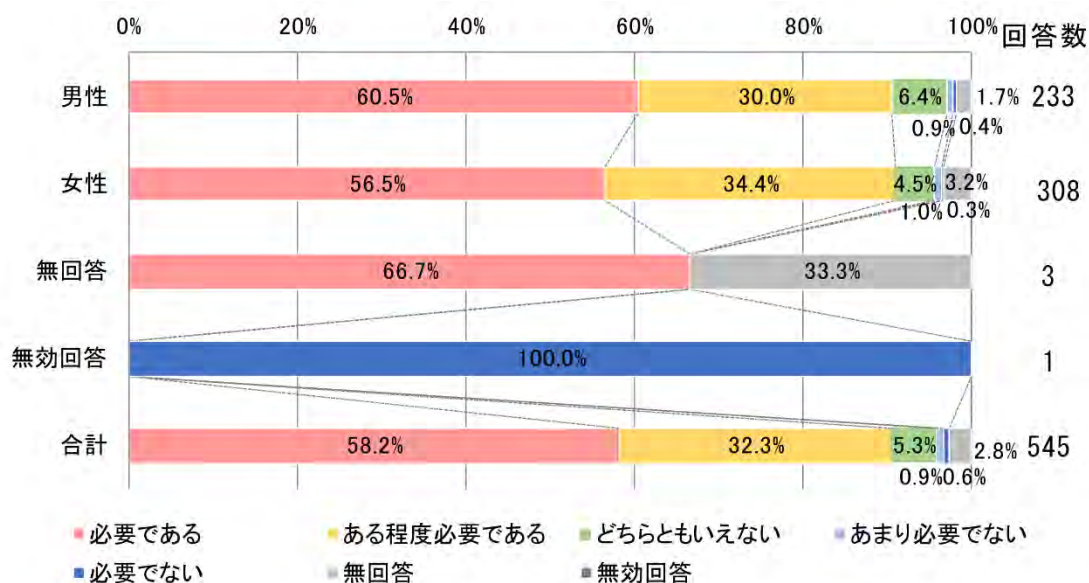
「仕事へのスピード感、臨機応変さ」の回答

	回答数	割合
必要である	317	58.2
ある程度必要である	176	32.3
どちらともいえない	29	5.3
あまり必要でない	5	0.9
必要でない	3	0.6
無回答	15	2.8
無効回答	0	0.0
合計	545	100.0

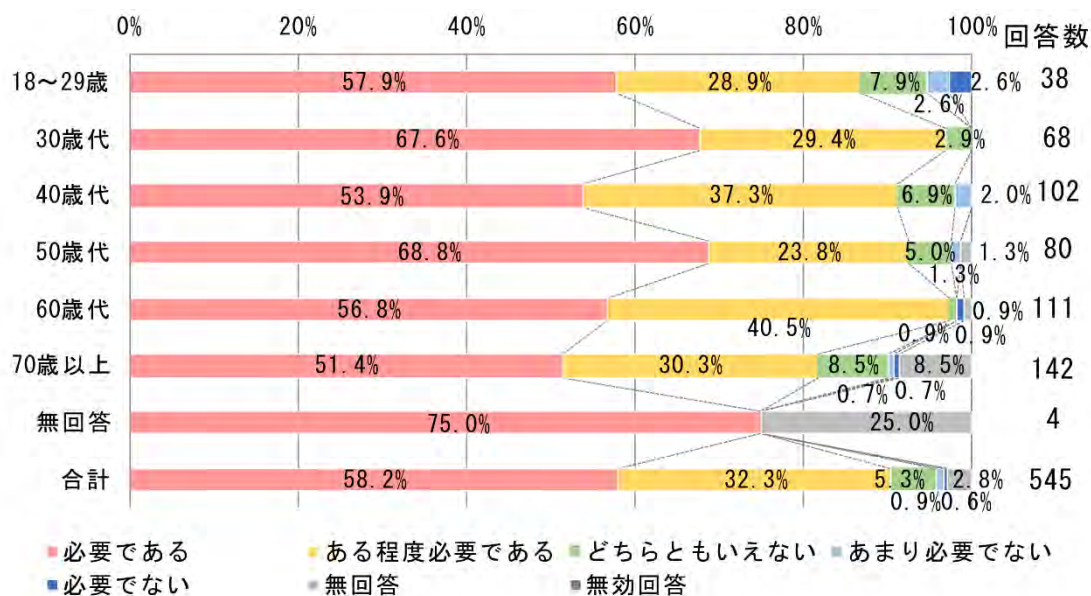
仕事へのスピード感、臨機応変さ(割合)



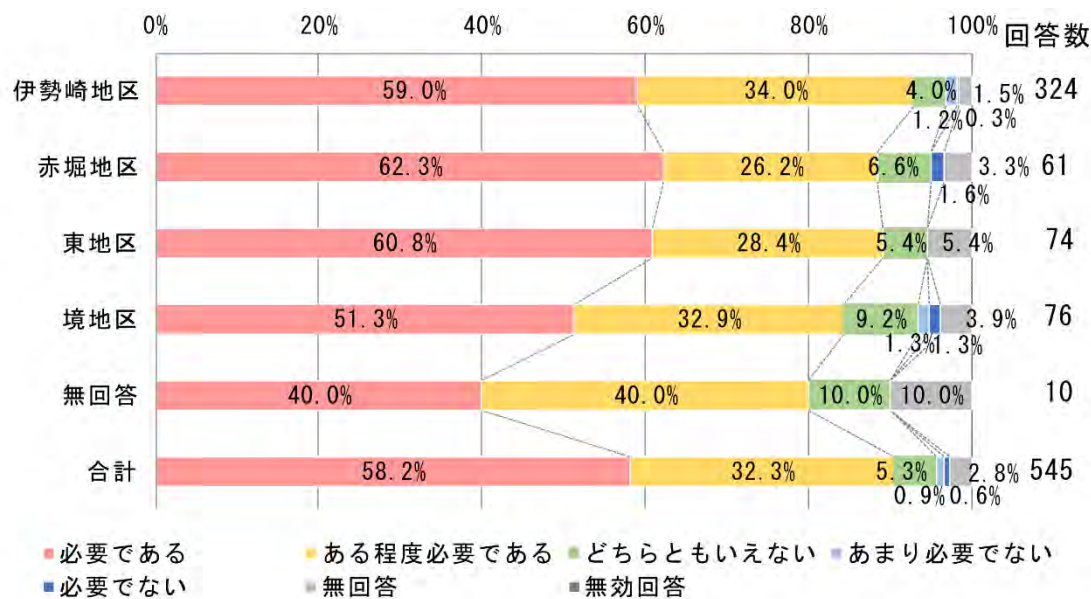
性別の「仕事へのスピード感、臨機応変さ」の回答(割合)



年代別の「仕事へのスピード感、臨機応変さ」の回答（割合）



地域別の「仕事へのスピード感、臨機応変さ」の回答（割合）



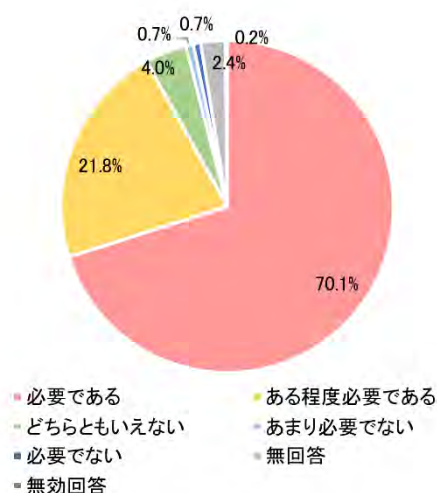
【市民目線、信頼感】

「市民目線、信頼感」については、「必要である」が382人(70.1%)、「ある程度必要である」が119人(21.8%)、「どちらともいえない」が22人(4.0%)、「あまり必要でない」が4人(0.7%)、「必要でない」が4人(0.7%)、「無回答」が13人(2.4%)、「無効回答」が1人(0.2%)となった。

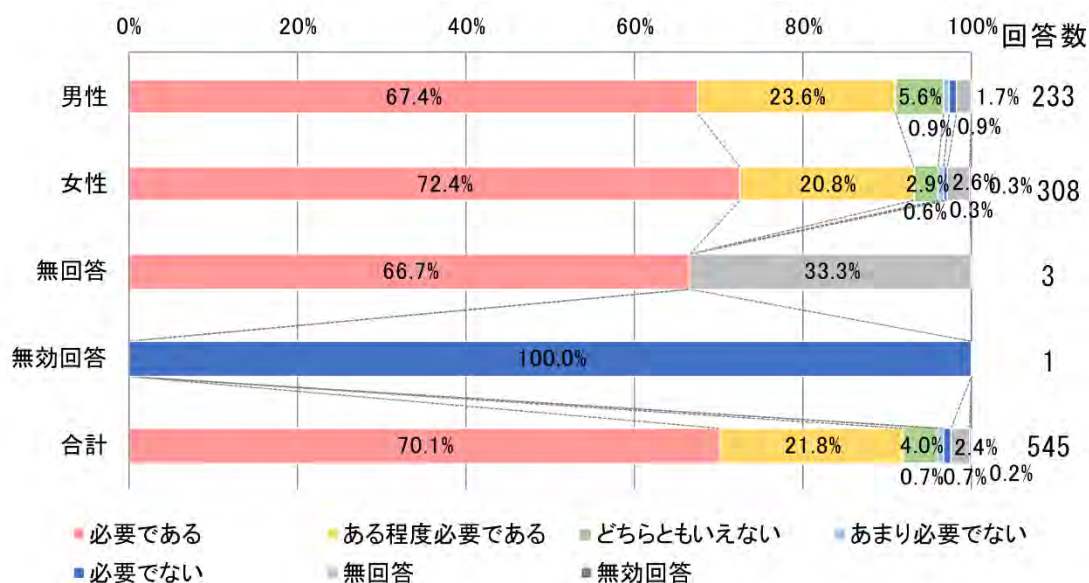
「市民目線、信頼感」の回答

	回答数	割合
必要である	382	70.1
ある程度必要である	119	21.8
どちらともいえない	22	4.0
あまり必要でない	4	0.7
必要でない	4	0.7
無回答	13	2.4
無効回答	1	0.2
合計	545	100.0

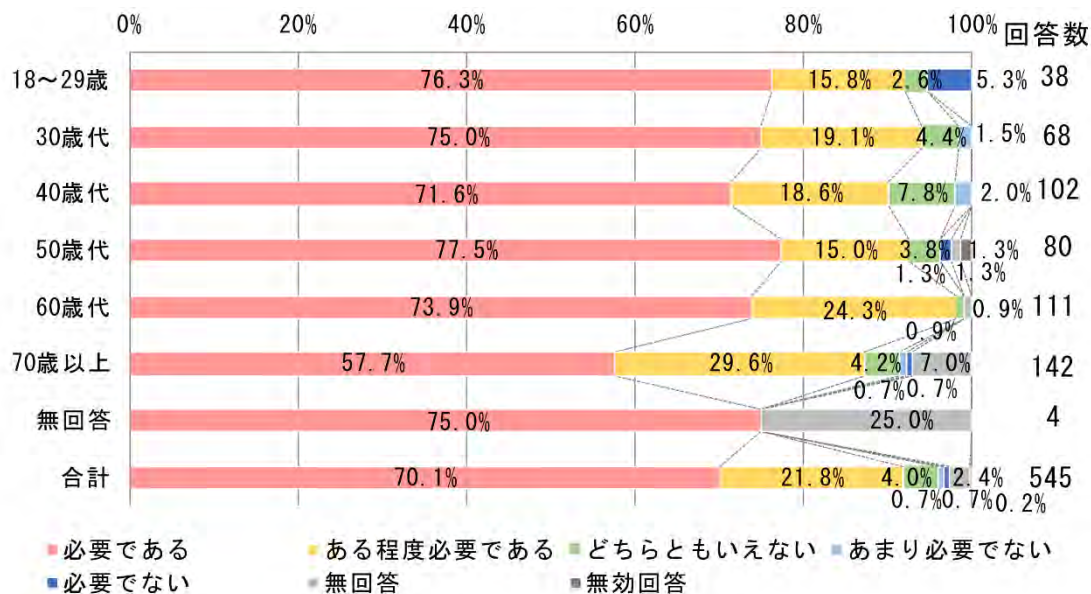
市民目線、信頼感(割合)



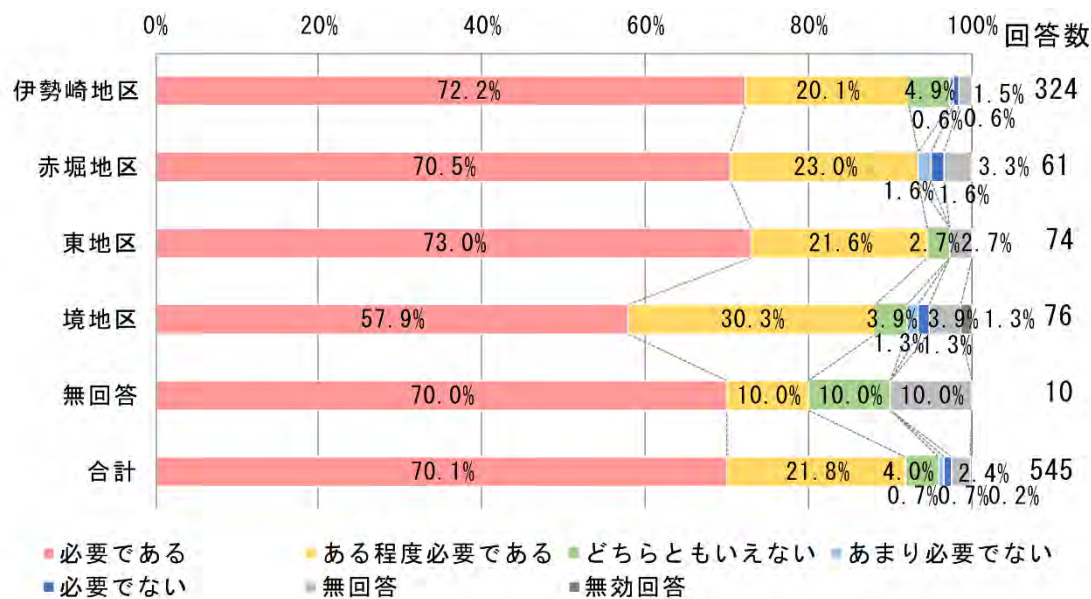
性別の「市民目線、信頼感」の回答(割合)



年代別の「市民目線、信頼感」の回答（割合）



地域別の「市民目線、信頼感」の回答（割合）



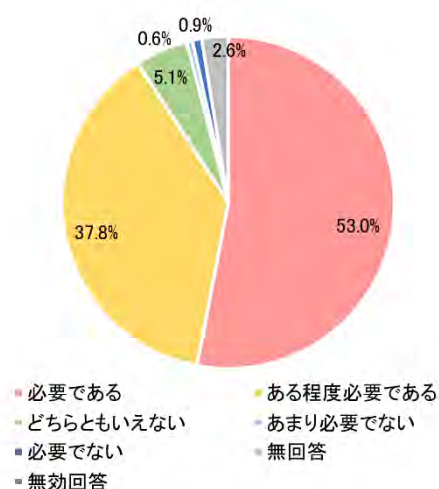
【課題発見・解決力】

「課題発見・解決力」については、「必要である」が289人(53.0%)、「ある程度必要である」が206人(37.8%)、「どちらともいえない」が28人(5.1%)、「あまり必要でない」が3人(0.6%)、「必要でない」が5人(0.9%)、「無回答」が14人(2.6%)、「無効回答」が0人(0.0%)となった。

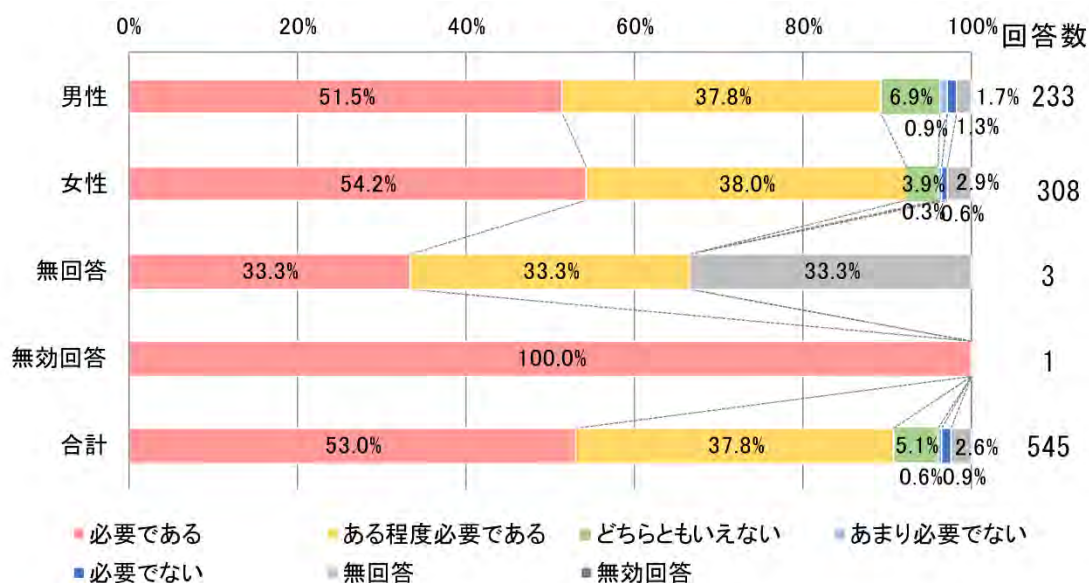
「課題発見・解決力」の回答

	回答数	割合
必要である	289	53.0
ある程度必要である	206	37.8
どちらともいえない	28	5.1
あまり必要でない	3	0.6
必要でない	5	0.9
無回答	14	2.6
無効回答	0	0.0
合計	545	100.0

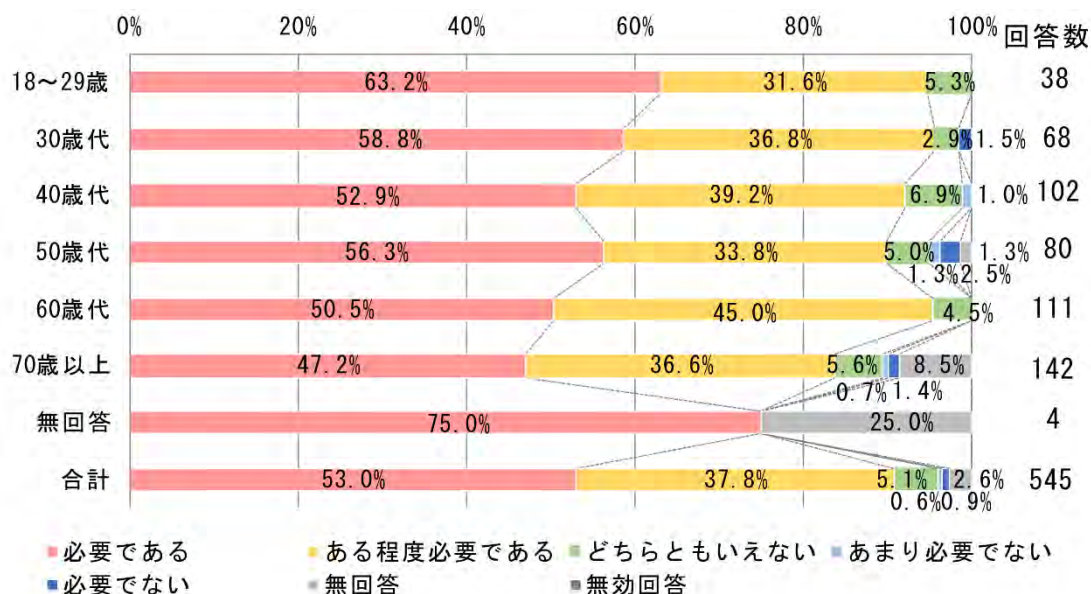
課題発見・解決力(割合)



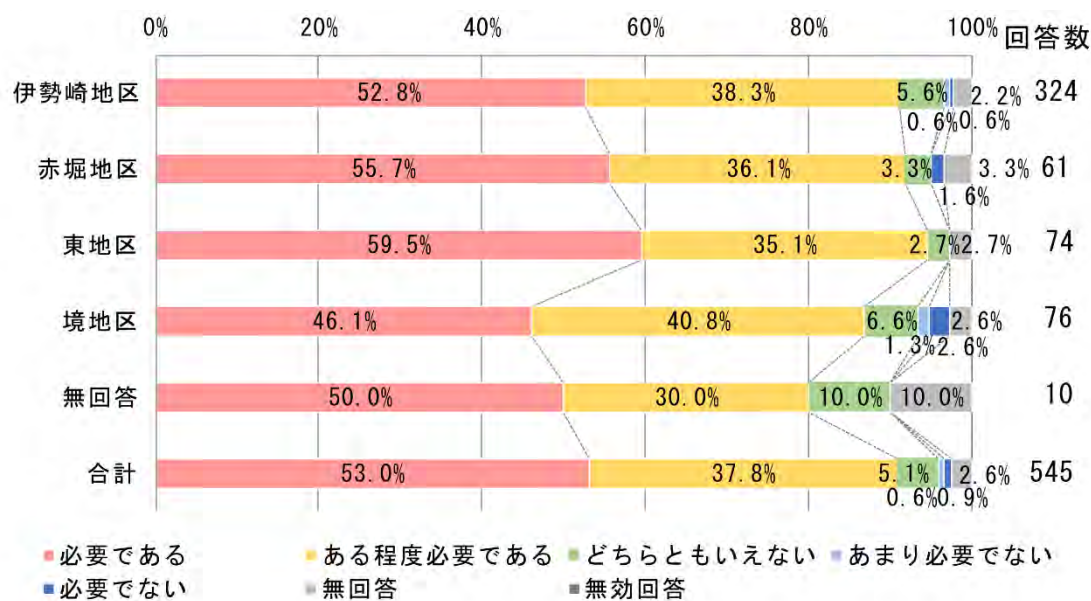
性別の「課題発見・解決力」の回答(割合)



年代別の「課題発見・解決力」の回答（割合）



地域別の「課題発見・解決力」の回答（割合）



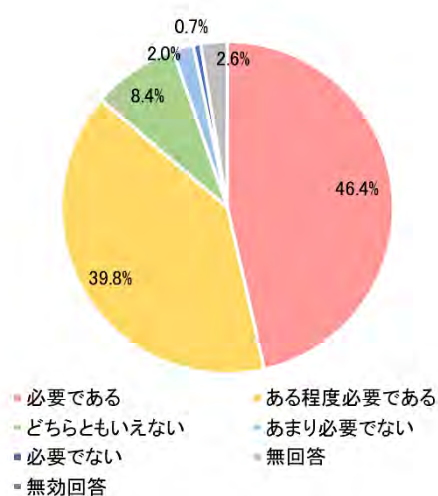
【情報発信力】

「情報発信力」については、「必要である」が253人(46.4%)、「ある程度必要である」が217人(39.8%)、「どちらともいえない」が46人(8.4%)、「あまり必要でない」が11人(2.0%)、「必要でない」が4人(0.7%)、「無回答」が14人(2.6%)、「無効回答」が0人(0.0%)となった。

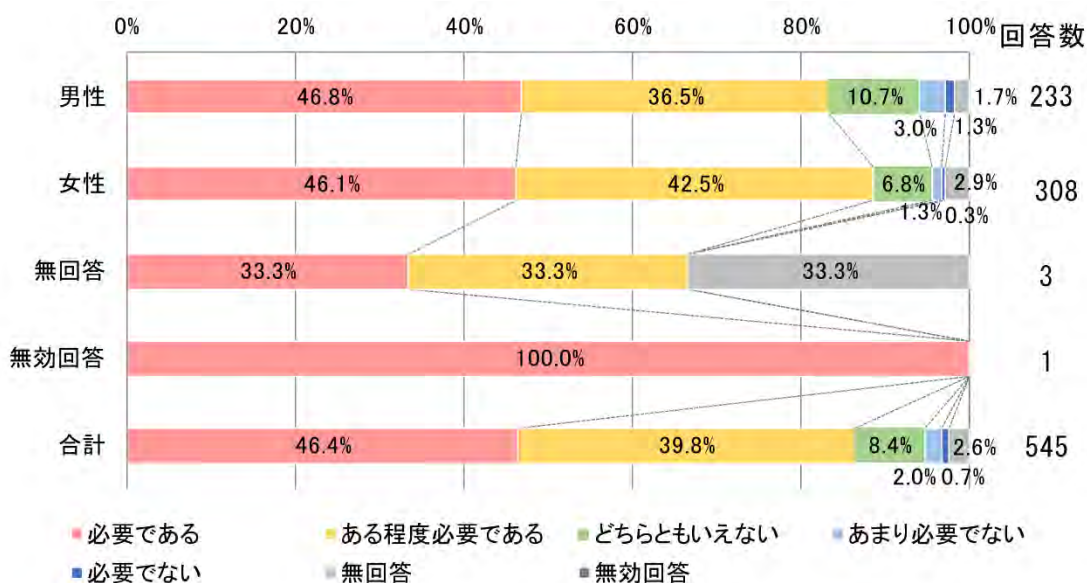
「情報発信力」の回答

	回答数	割合
必要である	253	46.4
ある程度必要である	217	39.8
どちらともいえない	46	8.4
あまり必要でない	11	2.0
必要でない	4	0.7
無回答	14	2.6
無効回答	0	0.0
合計	545	100.0

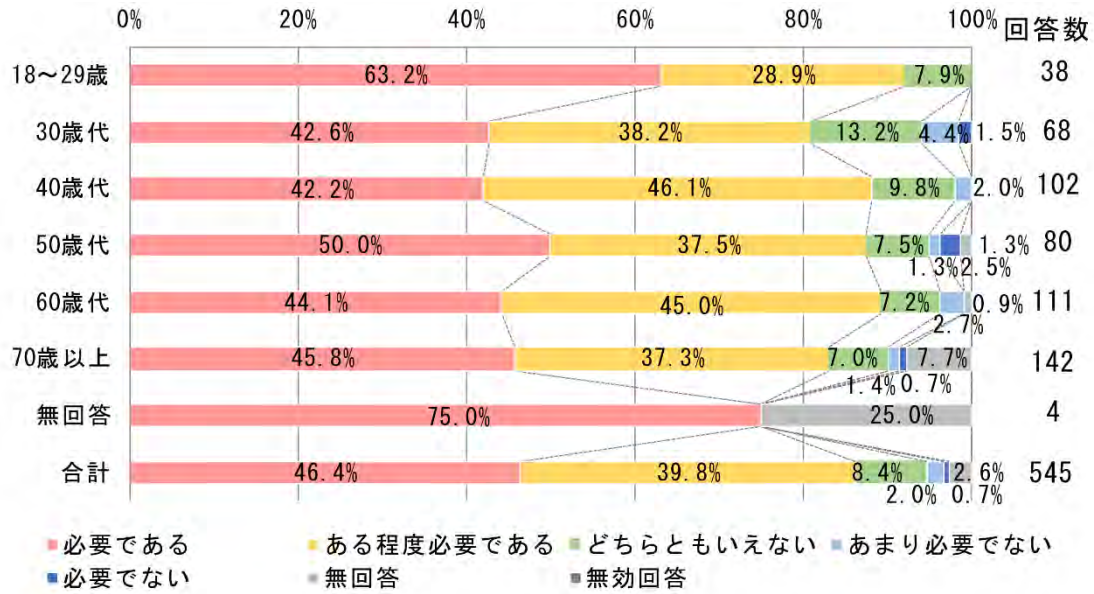
情報発信力(割合)



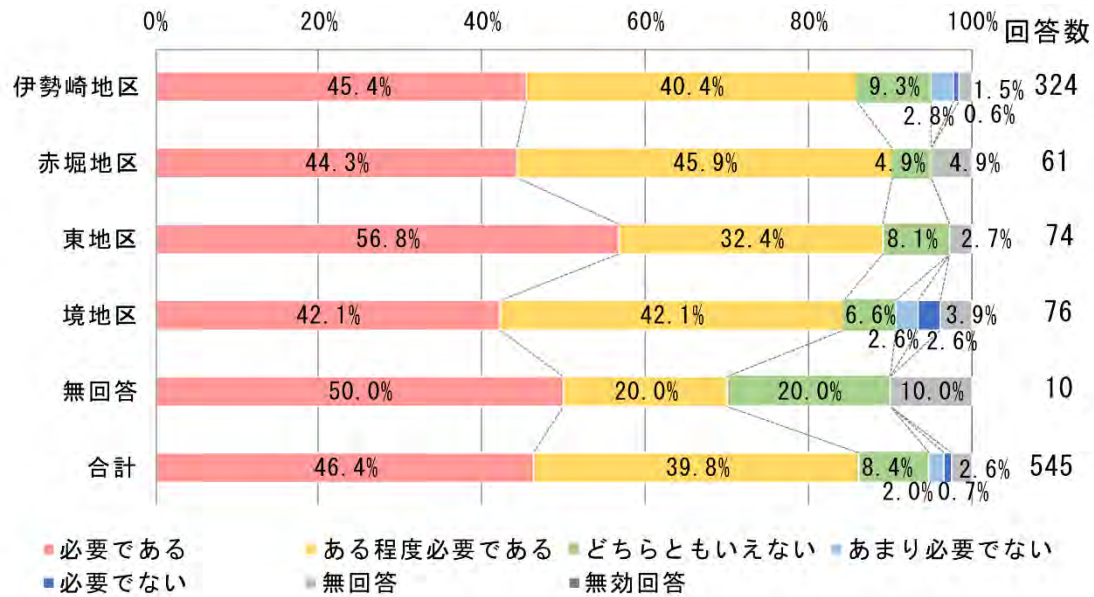
性別の「情報発信力」の回答(割合)



年代別の「情報発信力」の回答（割合）



地域別の「情報発信力」の回答（割合）



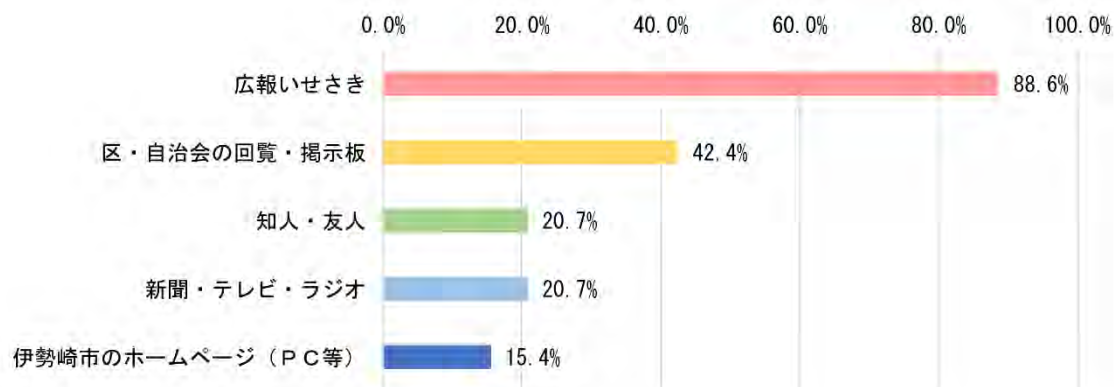
市からの情報は主に何によって知りますか。

「広報いせさき」と回答した人が最も多く、483人(88.6%)となっている。以下、「区・自治会の回覧・掲示板」が231人(42.4%)、「知人・友人」と「新聞・テレビ・ラジオ」が113人(20.7%)と続いている。

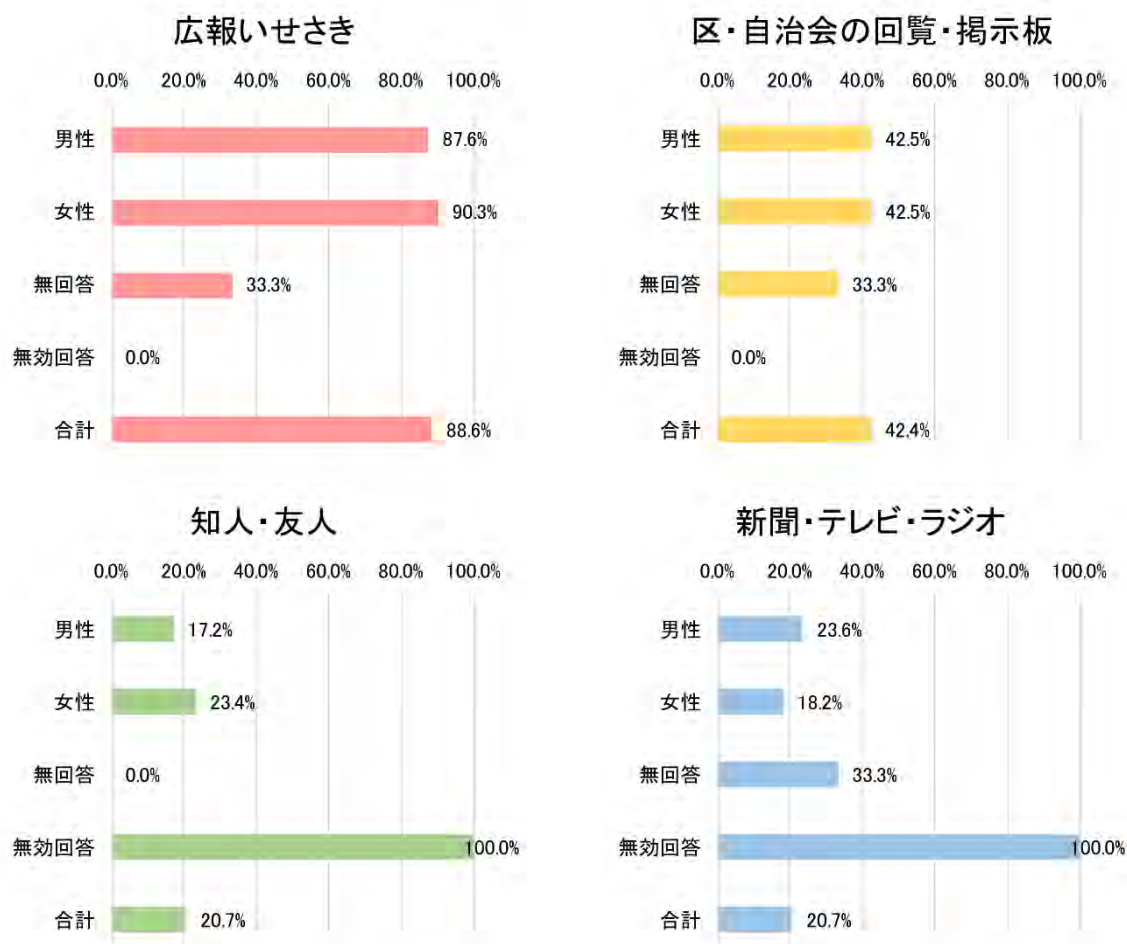
「市からの情報入手の手段について」の回答【複数回答】

	回答数	割合
広報いせさき	483	88.6
区・自治会の回覧・掲示板	231	42.4
知人・友人	113	20.7
新聞・テレビ・ラジオ	113	20.7
伊勢崎市のホームページ（PC等）	84	15.4
いせさき情報メール	77	14.1
公共施設におけるポスターやチラシ	61	11.2
伊勢崎市のモバイルサイト （スマートフォン・携帯電話等）	59	10.8
「広報いせさき」以外の市の刊行物	49	9.0
市役所の窓口から直接	19	3.5
ソーシャルメディア公式アカウント （フェイスブック・ツイッター）	17	3.1
その他	4	0.7
無回答	10	1.8
無効回答	1	0.2
回答者数	545	100.0

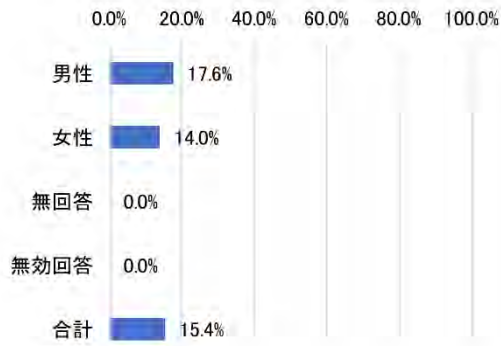
「市からの情報入手の手段について」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】



性別の「市からの情報入手の手段について」の
上位5項目の回答（割合）【複数回答】

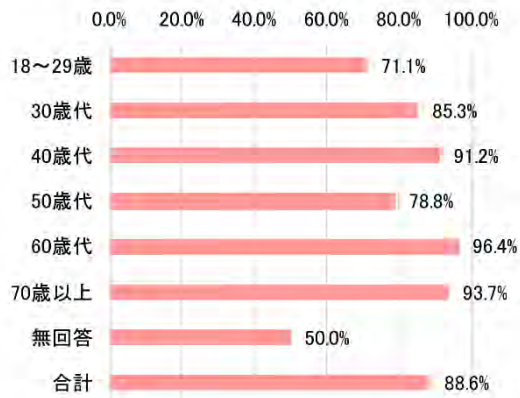


伊勢崎市のホームページ(PC等)

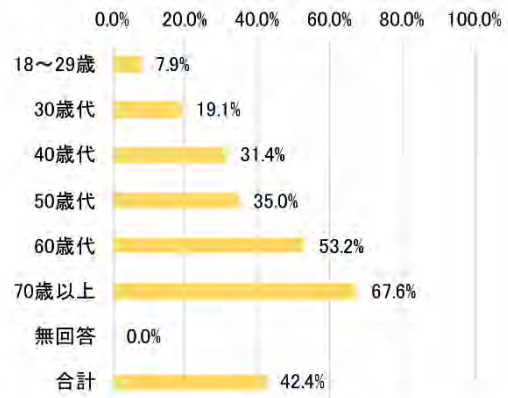


年代別の「市からの情報入手の手段について」の 上位5項目の回答(割合)【複数回答】

広報いせさき



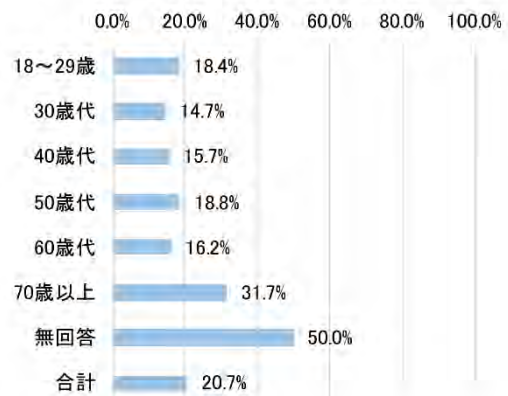
区・自治会の回覧・掲示板



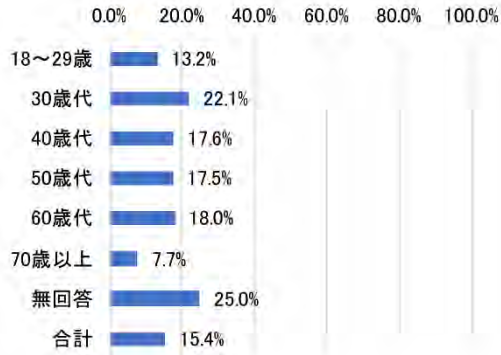
知人・友人



新聞・テレビ・ラジオ

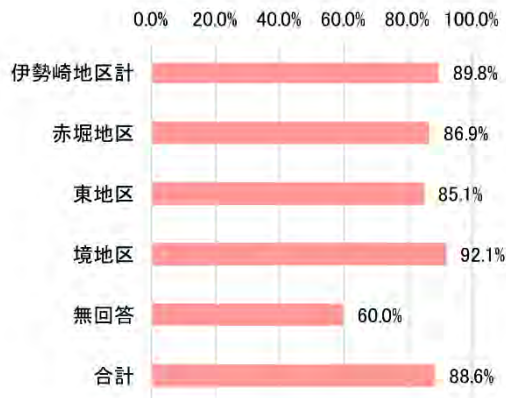


伊勢崎市のホームページ(PC等)



地区別の「市からの情報入手の手段について」の 上位5項目の回答（割合）【複数回答】

広報いせさき



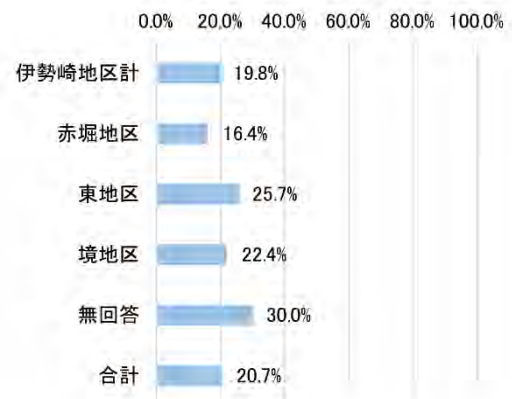
区・自治会の回覧・掲示板



知人・友人



新聞・テレビ・ラジオ



伊勢崎市のホームページ(PC等)



◆「その他」の回答（主なもの）

- ・いせさき FM

5	現在と将来の市について
---	-------------

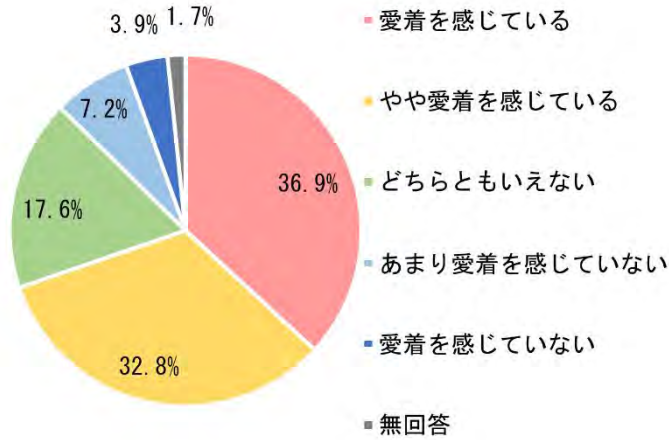
(1) 伊勢崎市への愛着

「やや愛着を感じている」を含め「愛着を感じている」と回答した人は380人(69.7%)、「どちらともいえない」と回答した人は96人(17.6%)、「あまり愛着を感じていない」を含め「愛着を感じていない」と回答した人は60人(11.0%)、「無回答」が9人(1.7%)、「無効回答」が0人(0.0%)となり、多くの人が「やや愛着を感じている」を含め「愛着を感じている」と回答した。

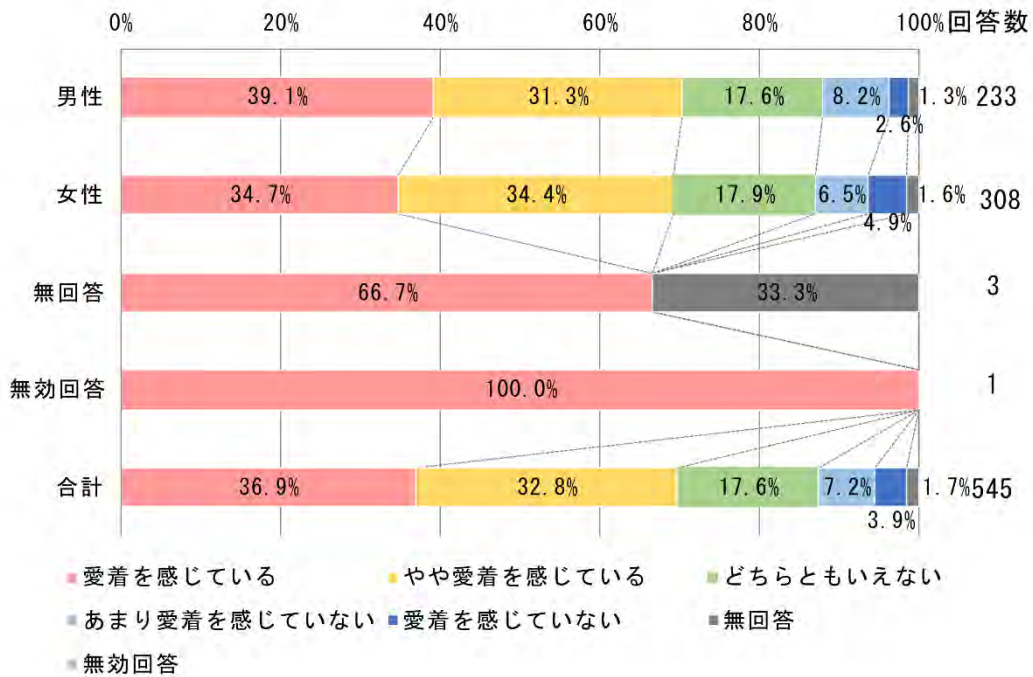
伊勢崎市への愛着

	回答数	割合
愛着を感じている	201	36.9
やや愛着を感じている	179	32.8
どちらともいえない	96	17.6
あまり愛着を感じていない	39	7.2
愛着を感じていない	21	3.9
無回答	9	1.7
無効回答	0	0
合計	545	100.0

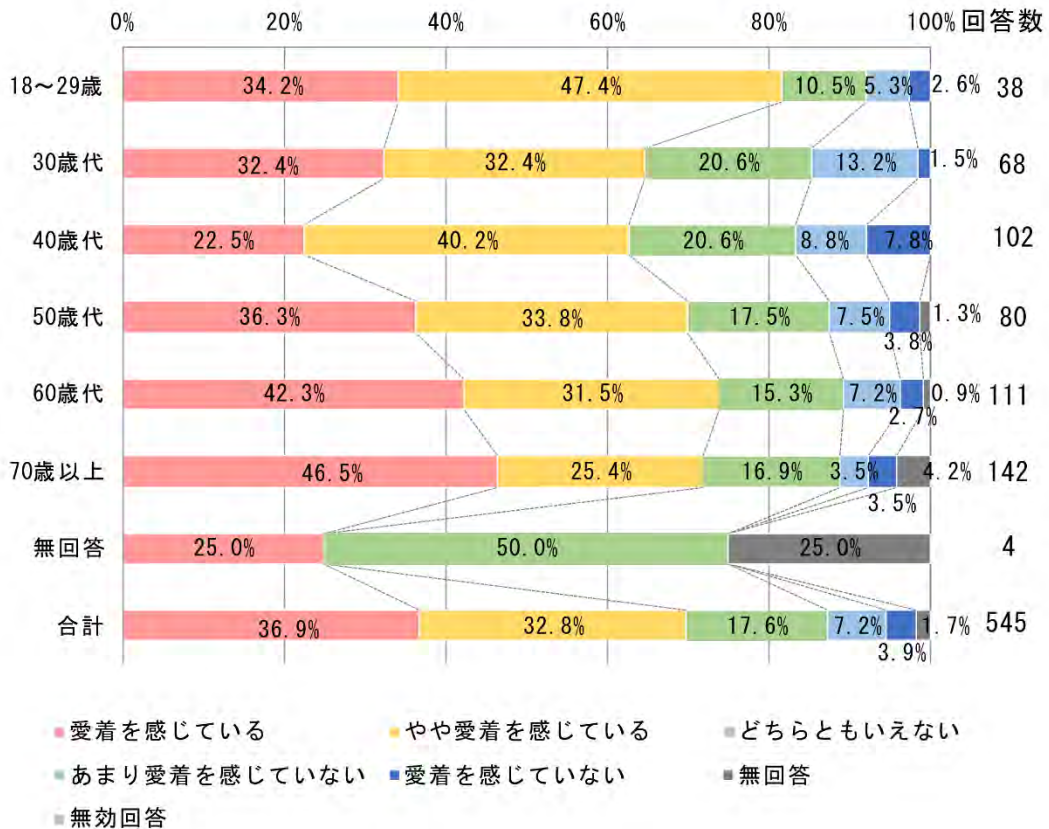
伊勢崎市への愛着（割合）



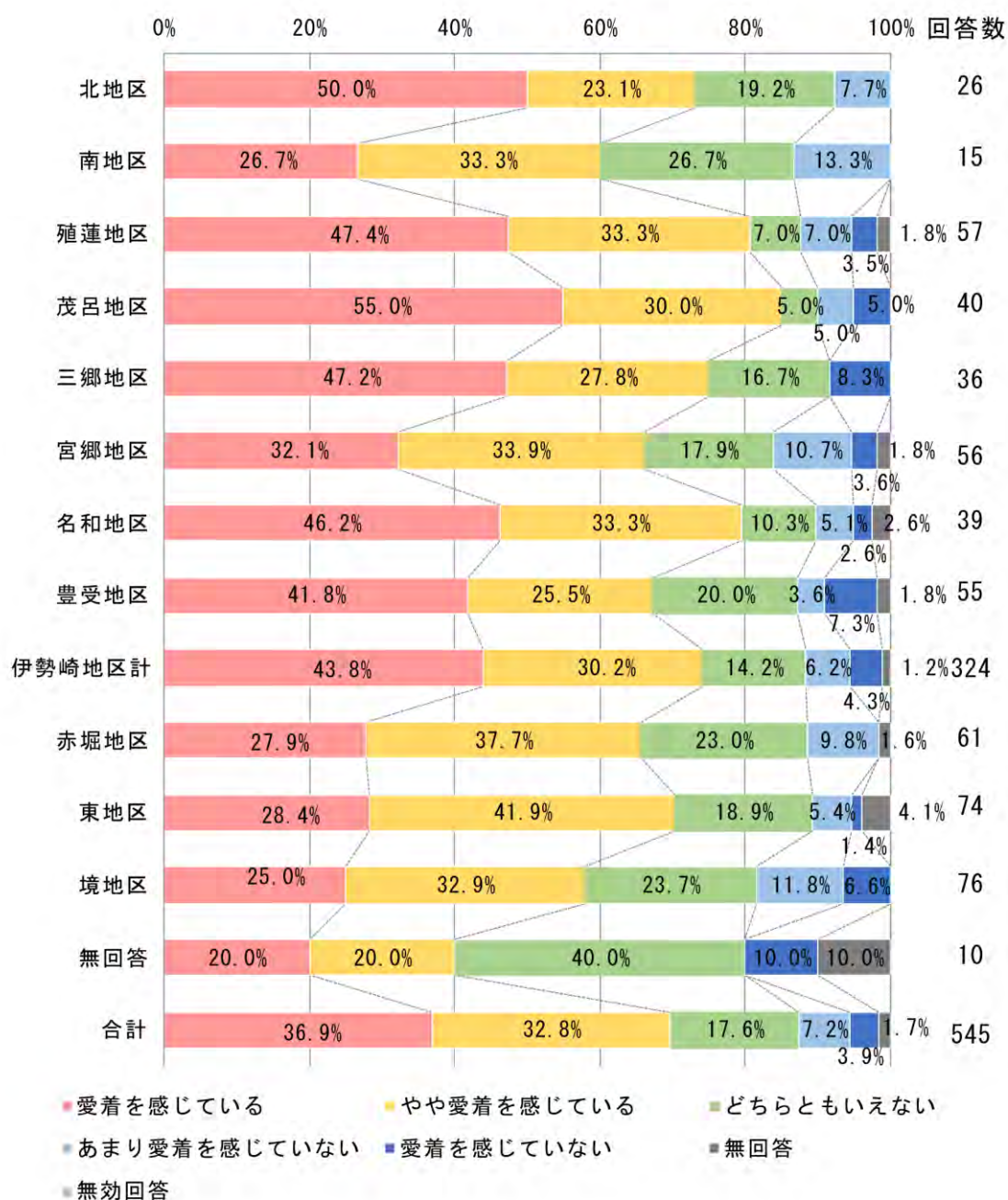
性別の伊勢崎市への愛着の回答（割合）



年代別の伊勢崎市への愛着の回答（割合）



地区別の伊勢崎市への愛着の回答（割合）



(2) 現在と将来の市のイメージ

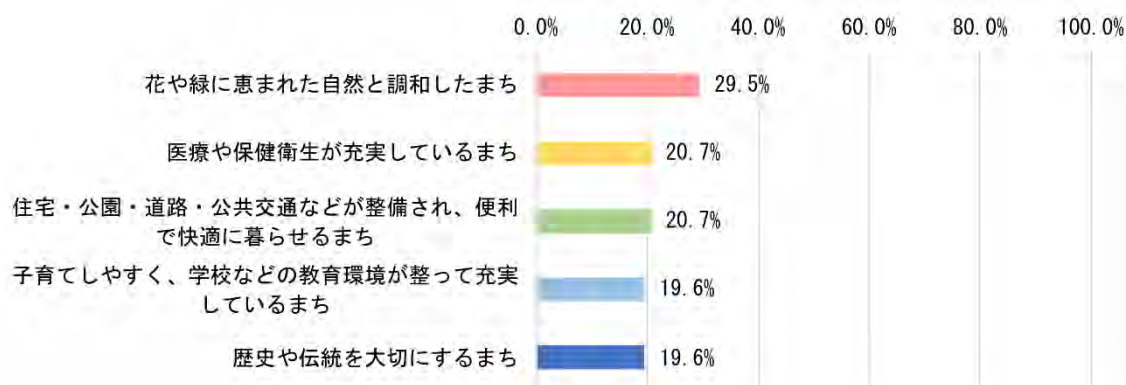
現在の伊勢崎市にどのようなイメージを持っていますか。

「花や緑に恵まれた自然と調和したまち」と回答した人が最も多く、161人(29.5%)となっている。以下、「医療や保健衛生が充実しているまち」と「住宅・公園・道路・公共交通などが整備され、便利で快適に暮らせるまち」が113人(20.7%)、「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」と「歴史や伝統を大切にするまち」が107人(19.6%)と続いている。

「現在の伊勢崎市のイメージ」の回答【複数回答】

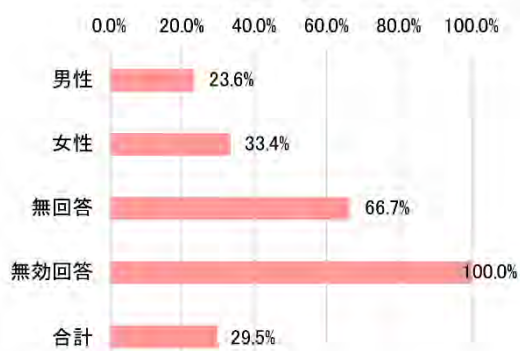
	回答数	割合
花や緑に恵まれた自然と調和したまち	161	29.5
医療や保健衛生が充実しているまち	113	20.7
住宅・公園・道路・公共交通などが整備され、 便利で快適に暮らせるまち	113	20.7
子育てしやすく、学校などの教育環境が整って 充実しているまち	107	19.6
歴史や伝統を大切にするまち	107	19.6
防災・防火・救急・防犯・交通安全などが整備され、 安心して暮らせるまち	98	18.0
買い物やグルメが楽しめるまち	98	18.0
産業が盛んで働く場所が多いまち	58	10.6
高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち	50	9.2
教育・文化環境が整い、 スポーツやレクリエーション活動が盛んなまち	27	5.0
快適な街並みや美しい都市景観に満ちたまち	25	4.6
脱炭素・循環型社会を目指したまち	2	0.4
その他	56	10.3
無回答	41	7.5
無効回答	1	0.2
回答者数	545	100.0

「現在の伊勢崎市のイメージ」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】

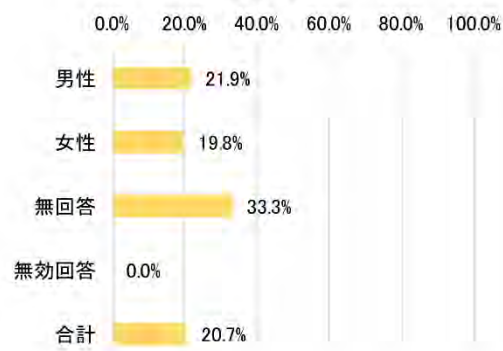


性別の「現在の伊勢崎市のイメージ」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】

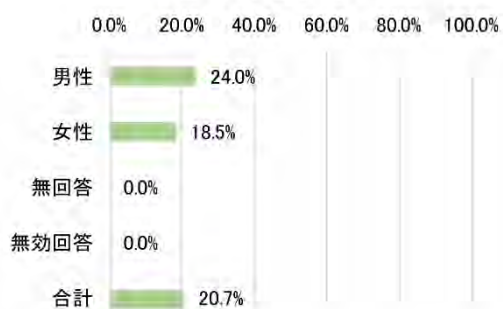
花や緑に恵まれた自然と調和したまち



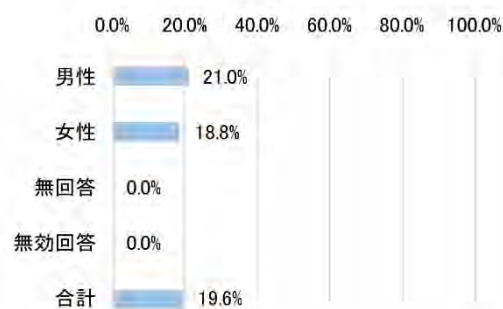
医療や保健衛生が充実しているまち



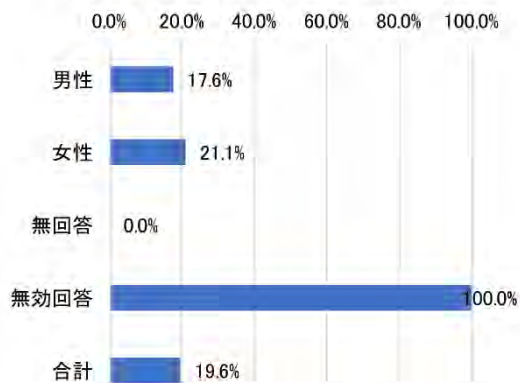
住宅・公園・道路・公共交通などが整備され、便利で快適に暮らせるまち



子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち



歴史や伝統を大切にするまち



年代別の「現在の伊勢崎市のイメージ」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】

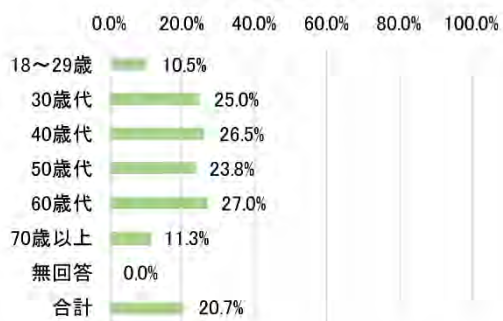
花や緑に恵まれた自然と調和したまち



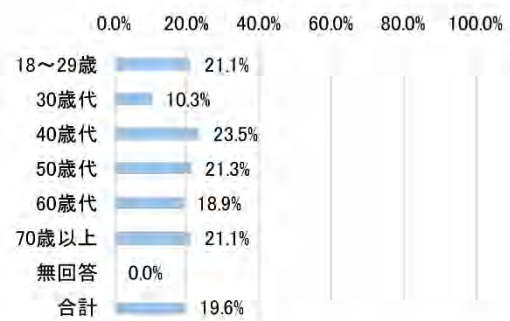
医療や保健衛生が充実しているまち



住宅・公園・道路・公共交通などが整備され、便利で快適に暮らせるまち



子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち

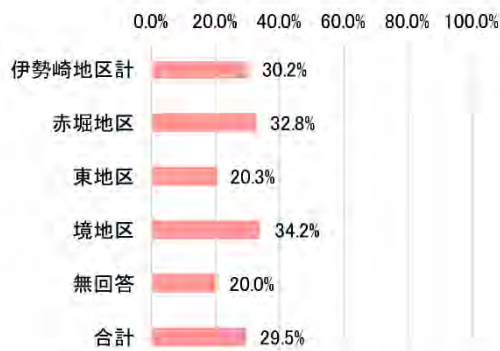


歴史や伝統を大切にすまち



地区別の「現在の伊勢崎市のイメージ」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】

花や緑に恵まれた自然と調和したまち



医療や保健衛生が充実しているまち



住宅・公園・道路・公共交通などが整備され、便利で快適に暮らせるまち



子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち



歴史や伝統を大切にするまち



◆「その他」の回答（主なもの）

- ・道路幅が広くて、運転しやすいまち
- ・丁度良い環境
- ・生活しやすいまち

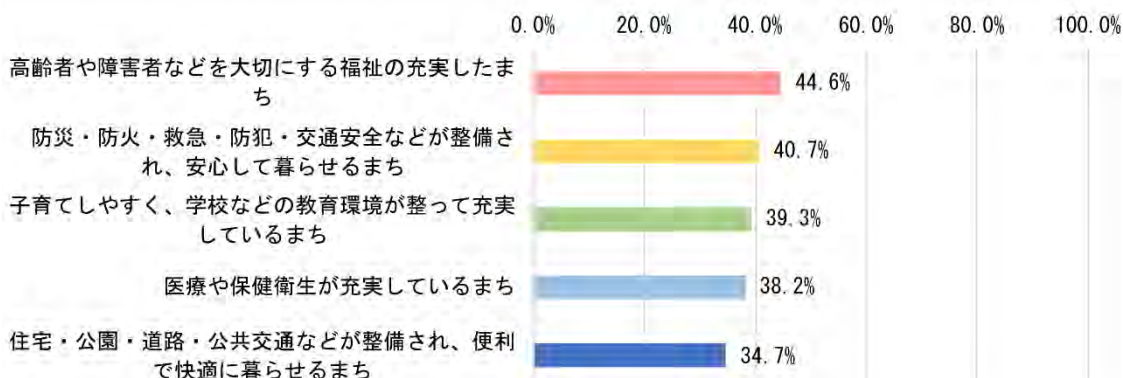
将来の伊勢崎市がどのようになってほしいですか。

「高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち」と回答した人が最も多く、243人(44.6%)となっている。以下、「防災・防火・救急・防犯・交通安全などが整備され、安心して暮らせるまち」が222人(40.7%)、「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」が214人(39.3%)と続いている。

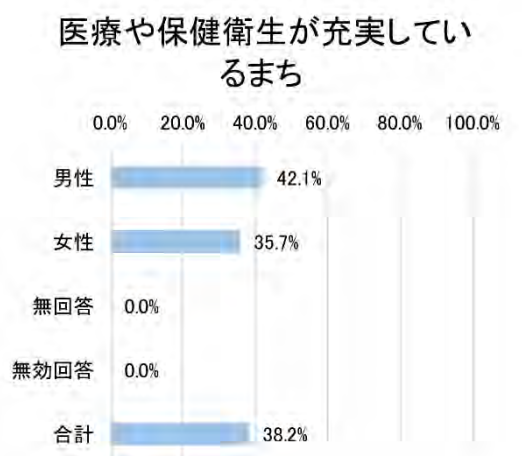
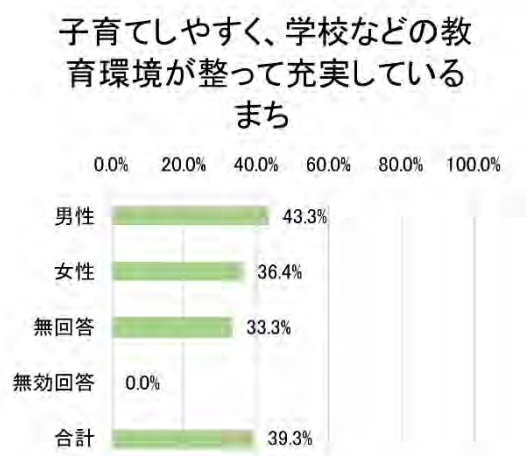
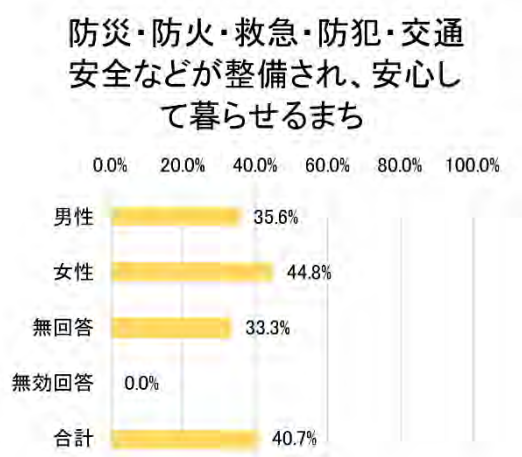
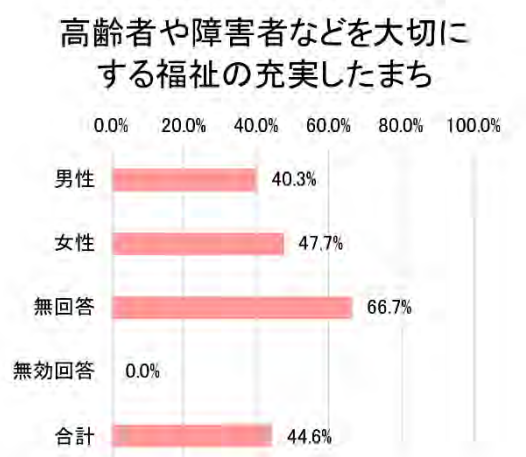
「伊勢崎市がどのようになって欲しいか」の回答【複数回答】

	回答数	割合
高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち	243	44.6
防災・防火・救急・防犯・交通安全などが整備され、安心して暮らせるまち	222	40.7
子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち	214	39.3
医療や保健衛生が充実しているまち	208	38.2
住宅・公園・道路・公共交通などが整備され、便利で快適に暮らせるまち	189	34.7
買い物やグルメが楽しめるまち	85	15.6
産業が盛んで働く場所が多いまち	71	13.0
花や緑に恵まれた自然と調和したまち	66	12.1
教育・文化環境が整い、スポーツやレクリエーション活動が盛んなまち	61	11.2
快適な街並みや美しい都市景観に満ちたまち	59	10.8
歴史や伝統を大切にするまち	28	5.1
脱炭素・循環型社会を目指したまち	23	4.2
その他	14	2.6
無回答	12	2.2
無効回答	1	0.2
回答者数	545	100.0

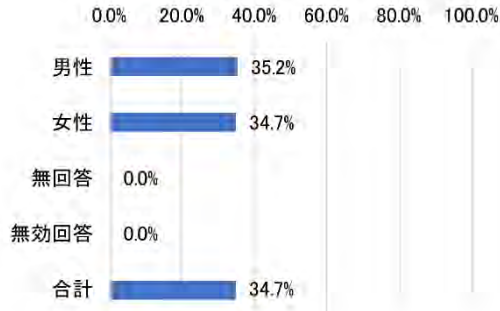
「伊勢崎市がどのようになって欲しいか」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】



性別の「伊勢崎市がどのようになって欲しいか」の上位5項目の回答（割合）
【複数回答】



住宅・公園・道路・公共交通などが整備され、便利で快適に暮らせるまち

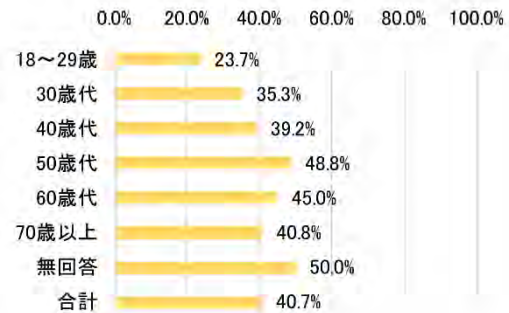


年代別の「伊勢崎市がどのようになって欲しいか」の上位5項目の回答（割合）
【複数回答】

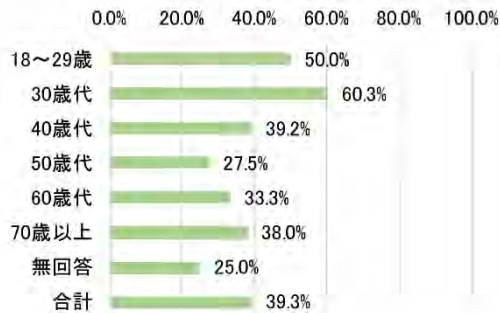
高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち



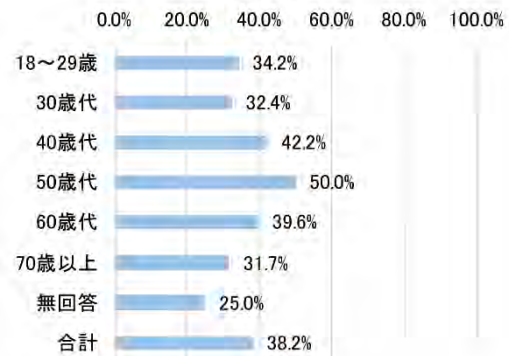
防災・防火・救急・防犯・交通安全などが整備され、安心して暮らせるまち



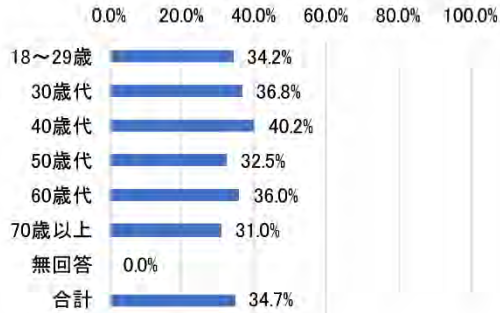
子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち



医療や保健衛生が充実しているまち



住宅・公園・道路・公共交通などが整備され、便利で快適に暮らせるまち



地区別の「伊勢崎市がどのようになって欲しいか」の上位5項目の回答（割合）
【複数回答】

高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち



防災・防火・救急・防犯・交通安全などが整備され、安心して暮らせるまち



子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち



医療や保健衛生が充実しているまち



住宅・公園・道路・公共交通などが整備され、便利で快適に暮らせるまち



- ◆「その他」の回答（主なもの）
- ・住む人全てが笑顔でいられるまち
 - ・ペットにもやさしいまち
 - ・治安が良いまち

(3) 今後重要だと思うこと

伊勢崎市が若い世代（20代～30代）にとって魅力的なまちになるために、重要だと思うことは何ですか。

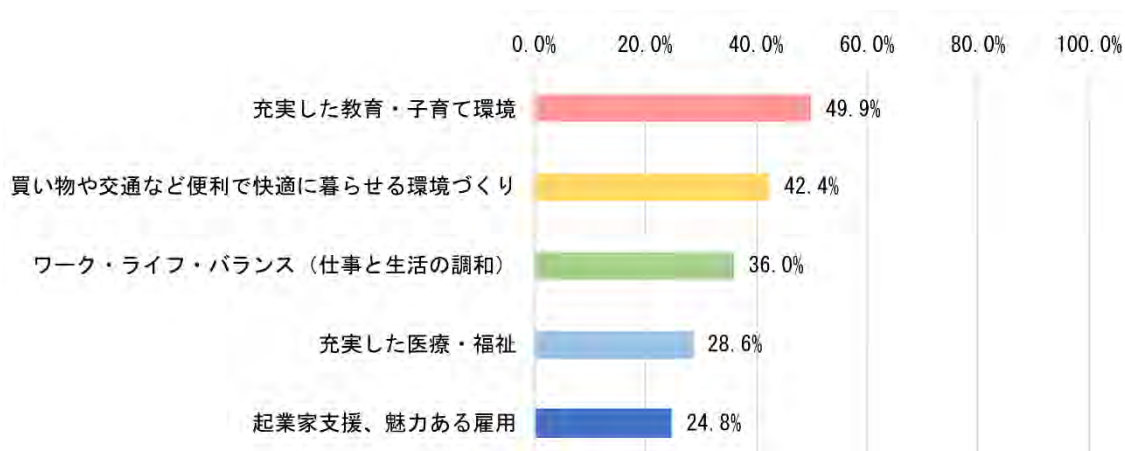
「充実した教育・子育て環境」と回答した人が最も多く、272人(49.9%)となっている。以下、「買い物や交通など便利で快適に暮らせる環境づくり」が231人(42.4%)、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」が196人(36.0%)と続いている。

「若い世代にとって魅力的なまちになるために重要なこと」の回答【複数回答】

	回答数	割合
充実した教育・子育て環境	272	49.9
買い物や交通など便利で快適に暮らせる環境づくり	231	42.4
ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	196	36.0
充実した医療・福祉	156	28.6
起業家支援、魅力ある雇用	135	24.8
手ごろな価格での住宅の購入	101	18.5
多くの集客が見込まれる祭りなど誇れるイベントの開催	79	14.5
緑あふれる落ち着いた生活環境の整備	70	12.8
活気あふれる中心市街地	65	11.9
若者のまちづくりへの参画	64	11.7
特色ある農畜産業の充実	57	10.5
スポーツなどによる健康づくり	35	6.4
その他	8	1.5
無回答	17	3.1
無効回答	0	0.0
回答者数	545	100.0

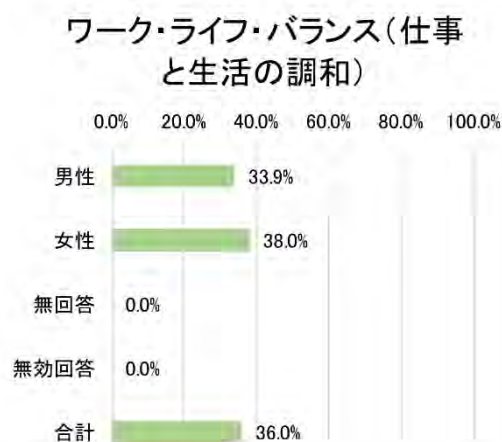
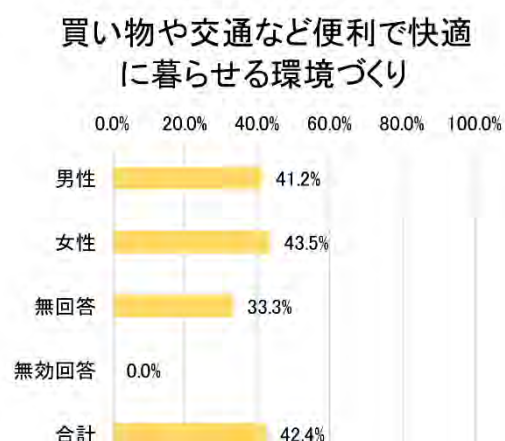
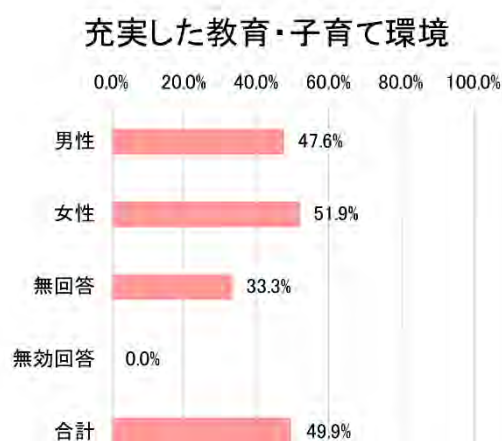
「若い世代にとって魅力的なまちになるために重要なこと」の上位5項目の回答（割合）

【複数回答】

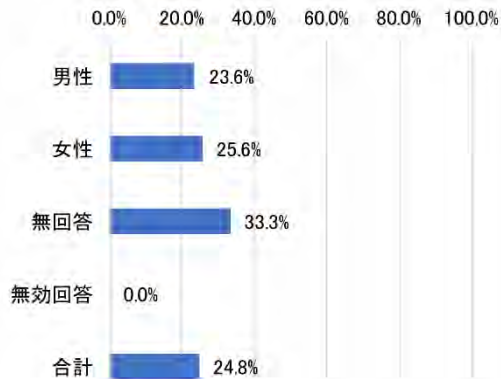


性別の「若い世代にとって魅力的なまちになるために重要なこと」の

上位5項目の回答（割合）【複数回答】

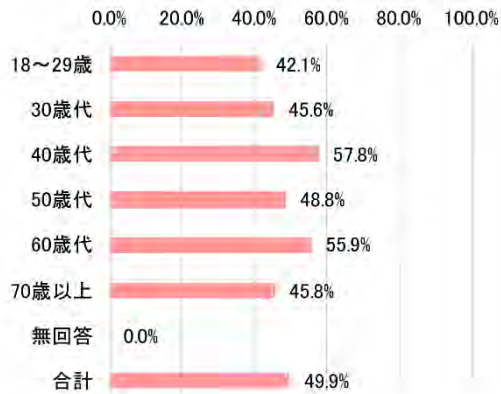


起業家支援、魅力ある雇用

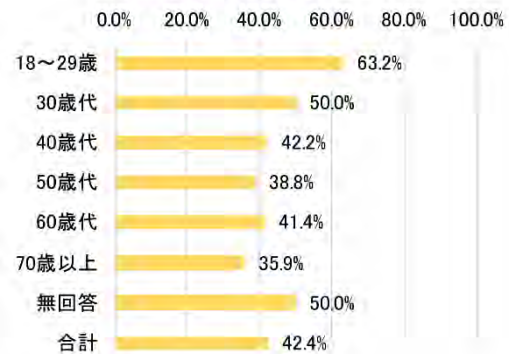


年代別の「若い世代にとって魅力的なまちになるために重要なこと」の 上位5項目の回答（割合）【複数回答】

充実した教育・子育て環境



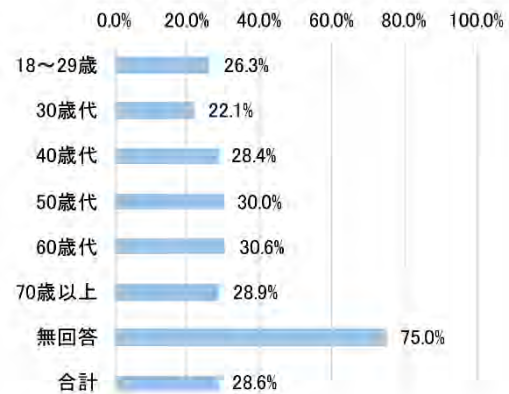
買い物や交通など便利で快適 に暮らせる環境づくり



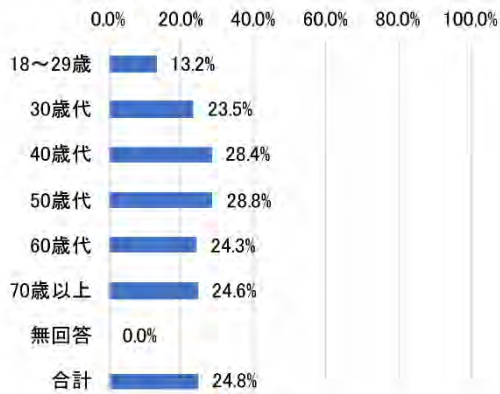
ワーク・ライフ・バランス(仕事 と生活の調和)



充実した医療・福祉



起業家支援、魅力ある雇用

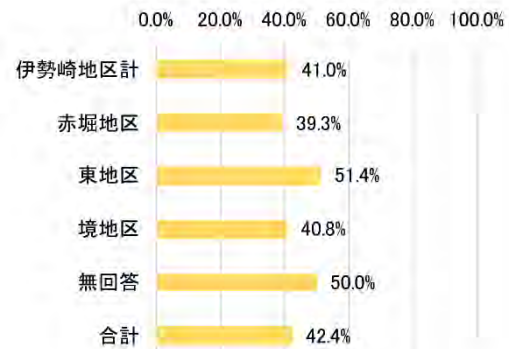


地区別の「若い世代にとって魅力的なまちになるために重要なこと」の 上位5項目の回答（割合）【複数回答】

充実した教育・子育て環境



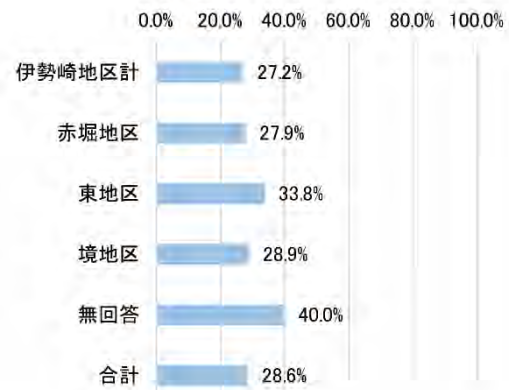
買い物や交通など便利で快適 に暮らせる環境づくり



ワーク・ライフ・バランス(仕事 と生活の調和)



充実した医療・福祉



起業家支援、魅力ある雇用



◆「その他」の回答（主なもの）

- ・ 魅力ある雇用
- ・ お笑いや、バーチャル YouTuber などのタレントを利用してのネット活動
- ・ 大手企業の誘致

あなたはどの社会情勢を重視して行政運営を行っていくべきだと考えますか。

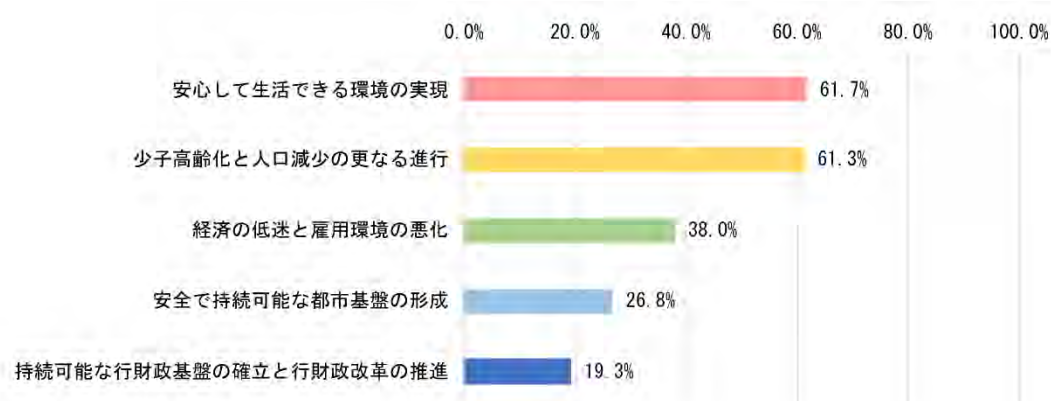
「安心して生活できる環境の実現」と回答した人が最も多く、336人(61.7%)となっている。以下、「少子高齢化と人口減少の更なる進行」が334人(61.3%)、「経済の低迷と雇用環境の悪化」が207人(38.0%)と続いている。

「行政が重視して行っていくべきだと考えること」の回答【複数回答】

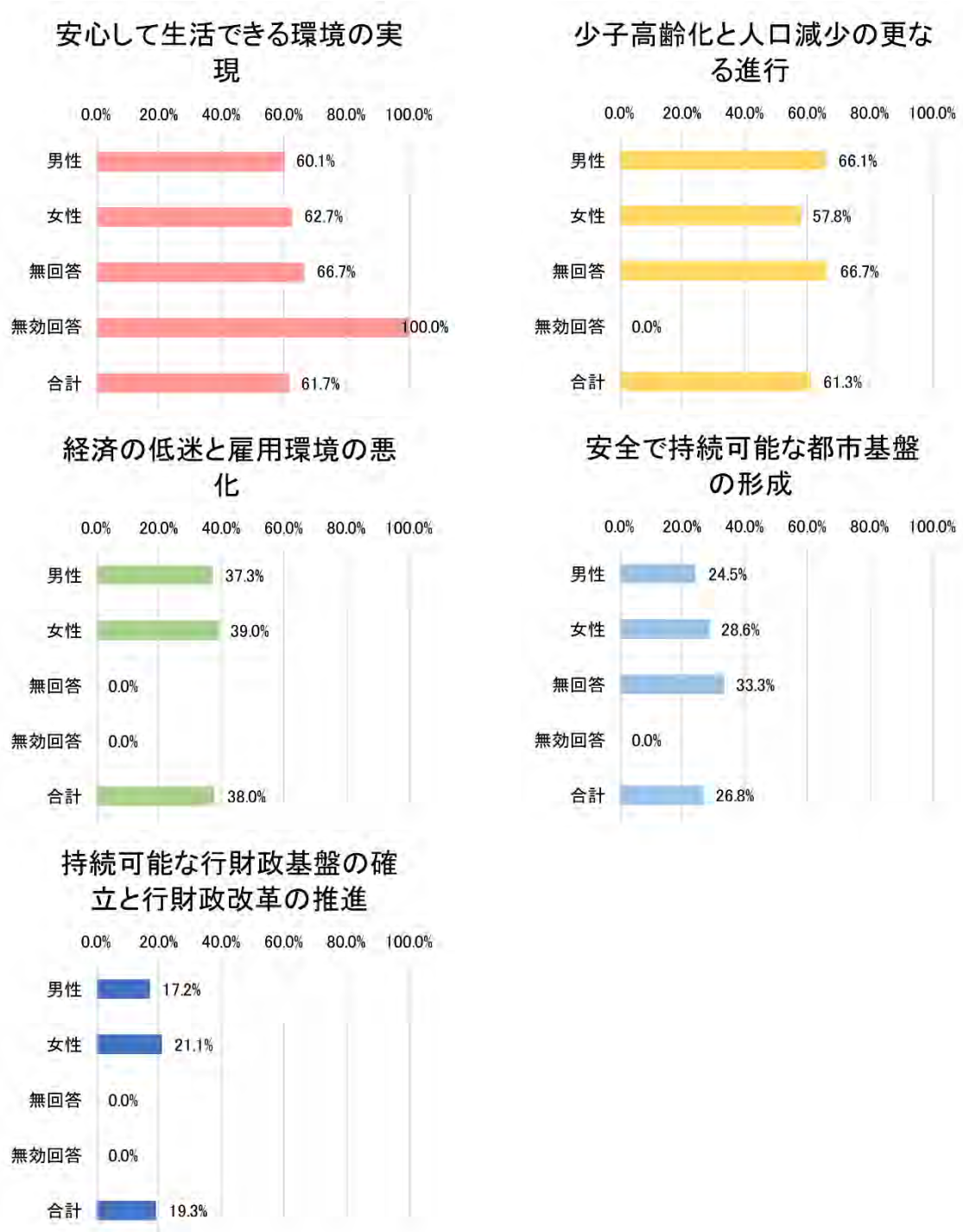
	回答数	割合
安心して生活できる環境の実現	336	61.7
少子高齢化と人口減少の更なる進行	334	61.3
経済の低迷と雇用環境の悪化	207	38.0
安全で持続可能な都市基盤の形成	146	26.8
持続可能な行財政基盤の確立と行財政改革の推進	105	19.3
多文化共生の実現	79	14.5
SDGs（持続可能な開発目標）の推進	60	11.0
DXの推進とSociety5.0の到来	57	10.5
カーボンニュートラル（脱炭素社会）の実現	41	7.5
無回答	17	3.1
無効回答	1	0.2
回答者数	545	100.0

「行政が重視して行っていくべきだと考えること」の上位5項目の回答（割合）

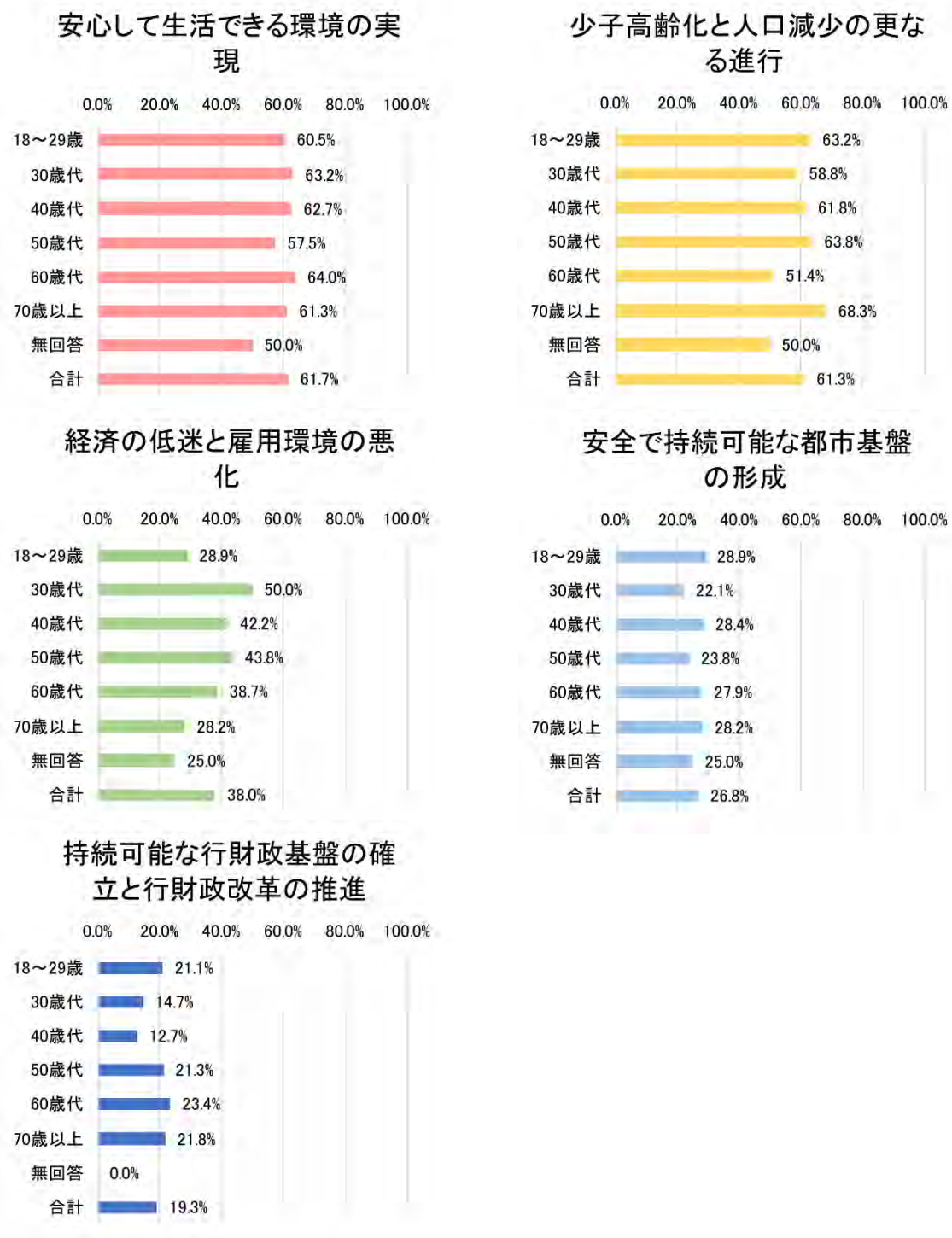
【複数回答】



性別の「行政が重視して行っていくべきだと考えること」の上位5項目の回答（割合）
【複数回答】

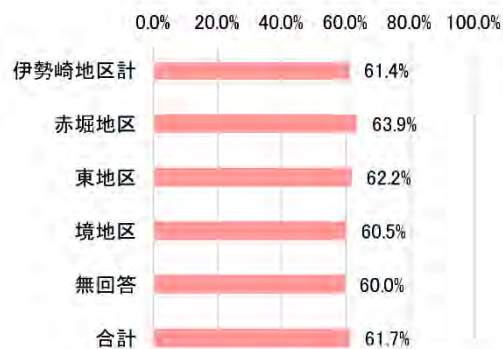


年代別の「行政が重視して行っていくべきだと考えること」の上位5項目の回答（割合）
【複数回答】

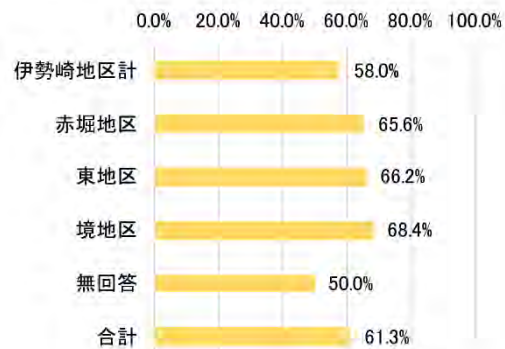


地区別の「行政が重視して行っていくべきだと考えること」の上位5項目の回答（割合）
【複数回答】

安心して生活できる環境の実現



少子高齢化と人口減少の更なる進行



経済の低迷と雇用環境の悪化



安全で持続可能な都市基盤の形成



持続可能な行財政基盤の確立と行財政改革の推進



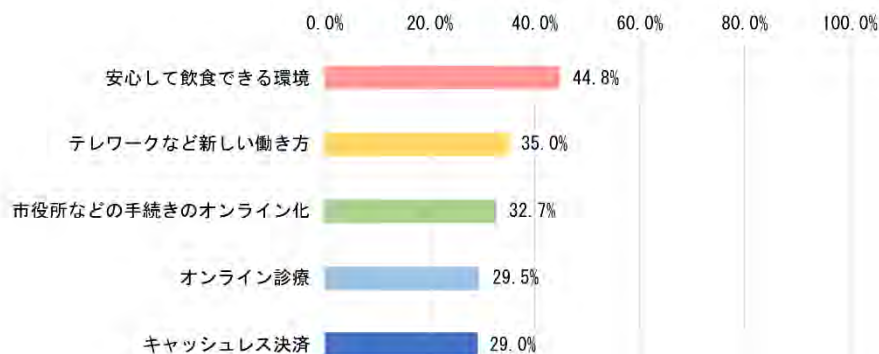
新型コロナウイルス感染症拡大によって、生活スタイルが変化中、今後重要だと思うことは何ですか。

「安心して飲食できる環境」と回答した人が最も多く、244人(44.8%)となっている。以下、「テレワークなど新しい働き方」が191人(35.0%)、「市役所などの手続きのオンライン化」が178人(32.7%)と続いている。

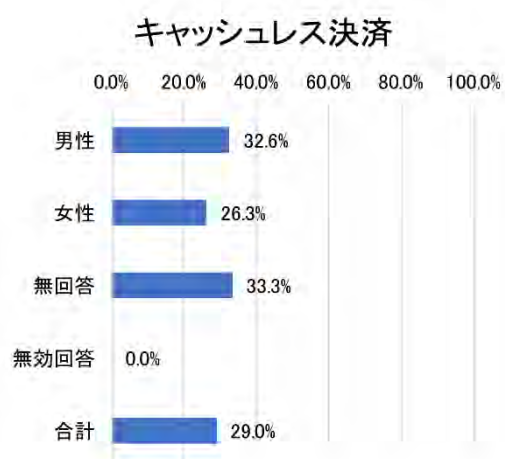
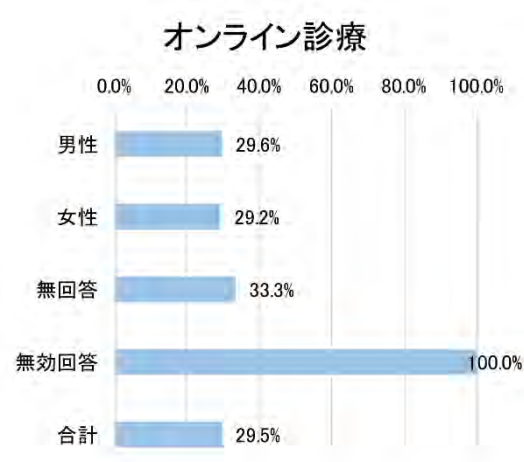
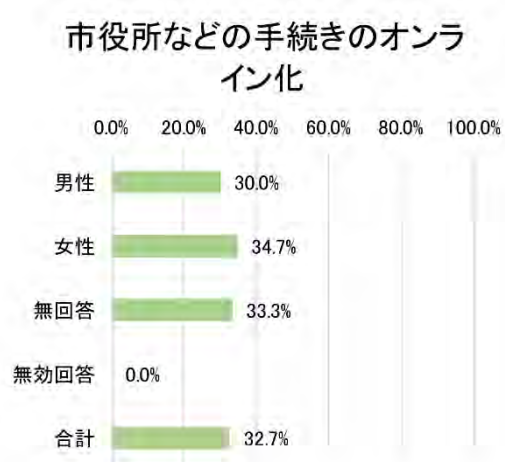
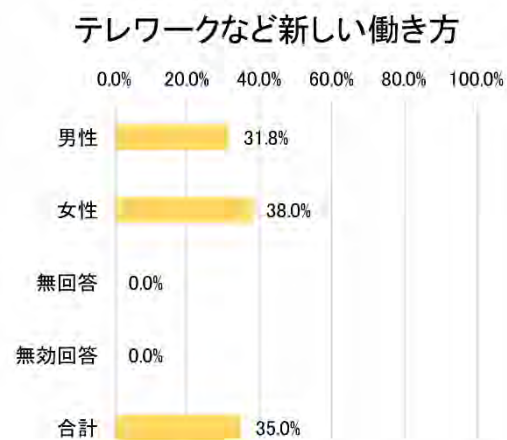
「新型コロナウイルス感染症拡大による生活スタイルの変化する中で重要だと思うこと」の回答【複数回答】

	回答数	割合
安心して飲食できる環境	244	44.8
テレワークなど新しい働き方	191	35.0
市役所などの手続きのオンライン化	178	32.7
オンライン診療	161	29.5
キャッシュレス決済	158	29.0
デジタルを活用した教育の充実	131	24.0
非接触型の会議・イベントの開催	52	9.5
バーチャルでの観光・文化・スポーツ体験	19	3.5
その他	27	5.0
無回答	27	5.0
無効回答	0	0.0
回答者数	545	100.0

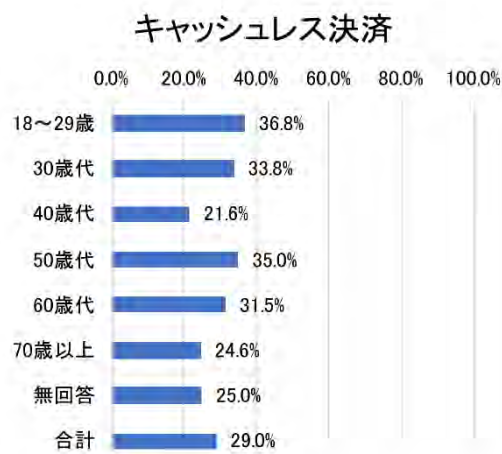
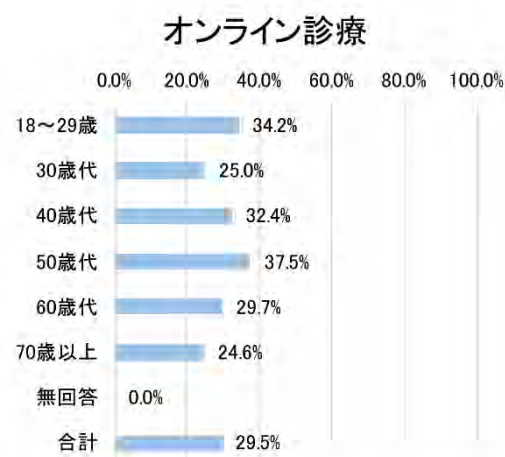
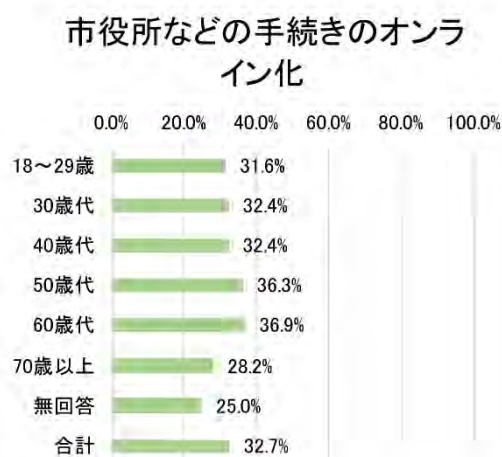
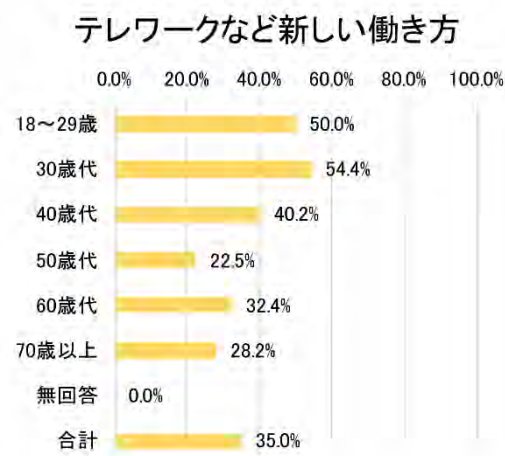
「新型コロナウイルス感染症拡大による生活スタイルの変化する中で重要だと思うこと」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】



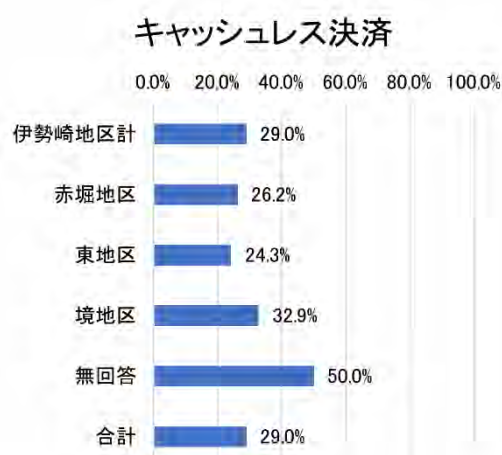
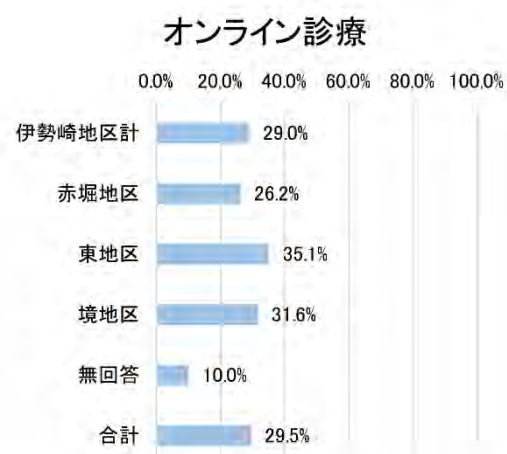
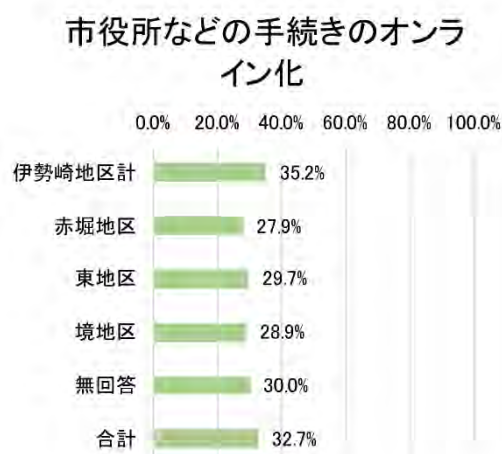
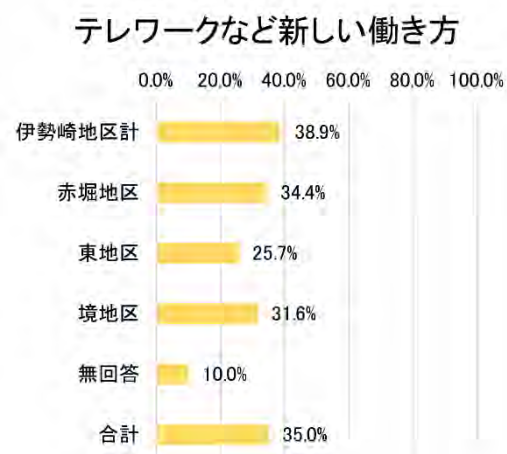
性別の「新型コロナウイルス感染症拡大による生活スタイルの変化する中で重要だと思うこと」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】



年代別の「新型コロナウイルス感染症拡大による生活スタイルの変化する中で重要だと思うこと」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】



地区別の「新型コロナウイルス感染症拡大による生活スタイルの変化する中で重要だと思うこと」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】



◆「その他」の回答（主なもの）

- ・ 事業が継続できるしくみや体制の構築
- ・ デジタルシステムのセキュリティ強化
- ・ 対面でも安全に話しができるような工夫

(4) 将来不安なこと

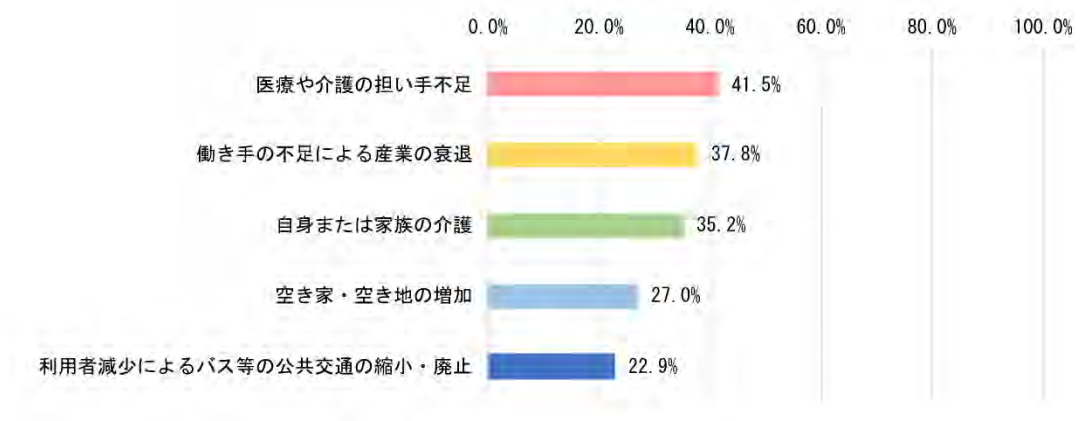
将来人口減少、少子高齢化が見込まれる中、10～15年先を見据え不安に感じることは何ですか。

「医療や介護の担い手不足」と回答した人が最も多く、226人(41.5%)となっている。以下、「働き手の不足による産業の衰退」が206人(37.8%)、「自身または家族の介護」が192人(35.2%)と続いている。

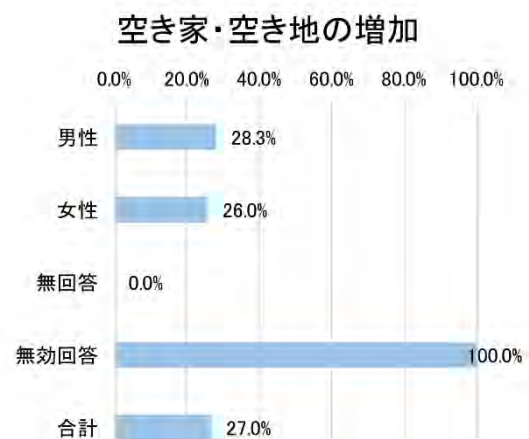
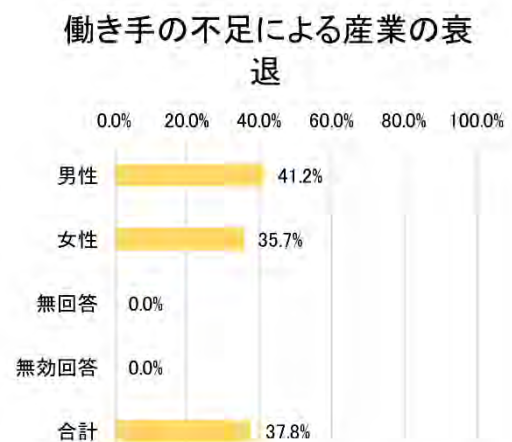
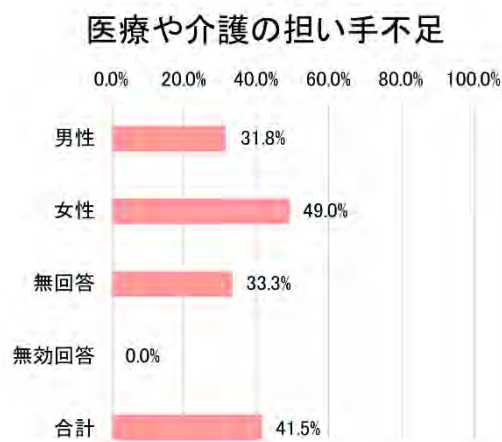
「10～15年先を見据え不安に感じること」の回答【複数回答】

	回答数	割合
医療や介護の担い手不足	226	41.5
働き手の不足による産業の衰退	206	37.8
自身または家族の介護	192	35.2
空き家・空き地の増加	147	27.0
利用者減少によるバス等の公共交通の縮小・廃止	125	22.9
市の財政の悪化（公的サービスの縮小）	108	19.8
農家の担い手不足による耕作放棄地の増加	105	19.3
商店の減少（買い物等の不便）	103	18.9
公共施設の老朽化（それに伴う廃止）	81	14.9
自分を支えてくれる家族等の不在	51	9.4
地域住民同士の関係の希薄化	49	9.0
道路や都市基盤の整備の遅れ	47	8.6
小中学校の統廃合	21	3.9
文化・芸術などの継承者の不足	10	1.8
その他	7	1.3
無回答	10	1.8
無効回答	6	1.1
回答者数	545	100.0

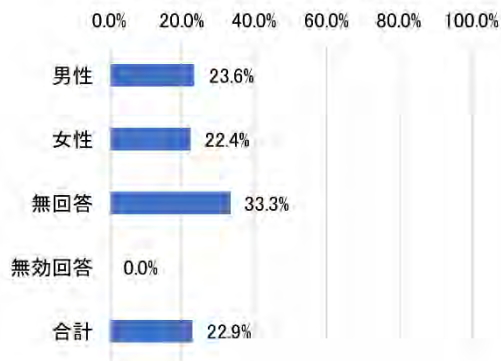
「10～15年先を見据え不安に感じる事」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】



性別の「10～15年先を見据え不安に感じる事」の上位5項目の回答（割合）
【複数回答】



利用者減少によるバス等の公共交通の縮小・廃止



年代別の「10～15年先を見据え不安に感じること」の上位5項目の回答（割合） 【複数回答】

医療や介護の担い手不足



働き手の不足による産業の衰退



自身または家族の介護



空き家・空き地の増加



利用者減少によるバス等の公共交通の縮小・廃止

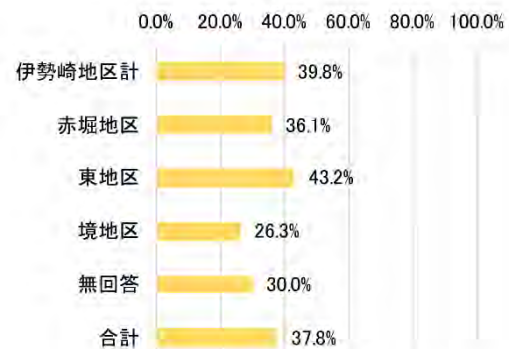


地区別の「10～15年先を見据え不安に感じること」の上位5項目の回答（割合） 【複数回答】

医療や介護の担い手不足



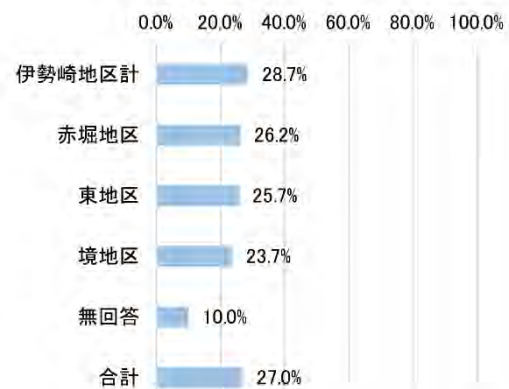
働き手の不足による産業の衰退



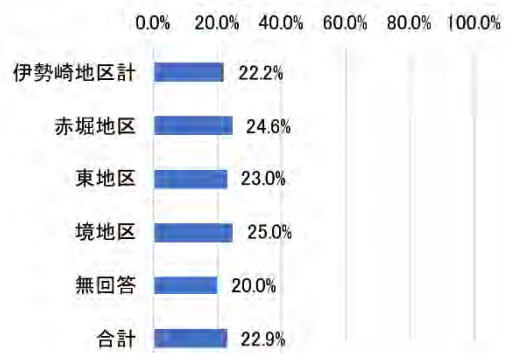
自身または家族の介護



空き家・空き地の増加



利用者減少によるバス等の公共交通の縮小・廃止



◆「その他」の回答（主なもの）

- ・納めた年金を満額もらえるか
- ・不安なく老後を迎えられるか
- ・市の財政悪化による負担増

6 自由意見

自由意見には149人から回答があり、最も意見の多かった分野は「福祉分野」で36件(24.2%)となっている。以下、「都市基盤分野」で26件(17.4%)、「産業・観光分野」で19件(12.8%)と続いており、子育てに関する意見や高齢者・障害者に関する意見など、福祉分野に関する意見が多く寄せられていた。

自由意見の分野別の分類

	回答数	割合
福祉分野	36	24.2
都市基盤分野	26	17.4
産業・観光分野	19	12.8
環境分野	18	12.1
市政全般に対する意見	15	10.1
行財政分野	14	9.4
アンケートに関する意見	11	7.4
健康・医療分野	10	6.7
安心安全分野	10	6.7
伊勢崎市への愛、励まし等	9	6.0
生涯学習・スポーツ・文化分野	6	4.0
協働・共生分野	6	4.0
教育分野	5	3.4
田舎すぎる等のネガティブ意見	3	2.0
その他	14	9.4
無回答	396	72.7
無効回答	0	0.0
回答者数	545	100.0

※「特になし」と回答した人は1人おり、何も回答しなかった人と含めて「無回答」としている。

自由意見の回答（実数）



◆主な自由意見

- ・「群馬で子育てするなら伊勢崎」と思われるようなまちになってほしい。
- ・外国人等との多文化共生は大切な取組だが、日本の住民にとって「多文化強制」になってはならない
- ・車に乗れないと不便な地域なので、免許返納後が心配である。
コミュニティバス等の公共交通機関を充実してほしい。
- ・若い世代の意見を取り入れる努力をしてほしい。
一番頑張っている30～50歳代の支援をもっとしてほしい。

Ⅲ 総括

1 意見の総括

(1) 回答者の属性

回答者の男女比は、やや女性の方が多結果（男性：42.8%、女性：56.5%）となった。

回答者の年齢構成は、39歳以下（19.5%）に比べて、60歳以上（46.5%）が2倍以上となっており、年齢構成に偏りがある。

年齢構成に偏りがあることに起因して、回答者の多く（77.2%）が「伊勢崎市に20年以上居住している」と回答しており、家族構成も「配偶者」や「子ども」と同居していると回答している。また、回答者の子どもの年齢についても、「働いている」子どもが約45%と多くなっており、次いで、「未就学児」・「小学生」・「中学生」の子どもがそれぞれ15～20%程度となっている。

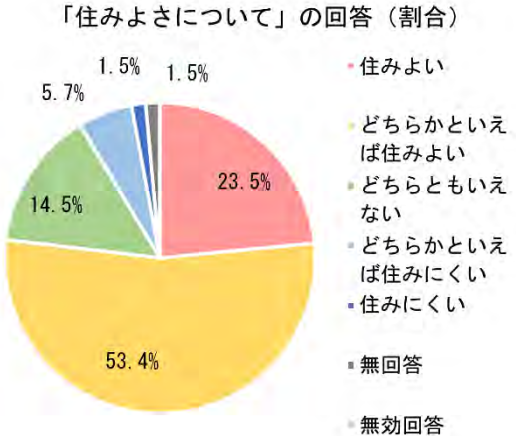
回答者の居住地域は、伊勢崎地区が最も多く（59.4%）、赤堀地区・境地区・東地区がそれぞれ10～15%程度となっている。

回答者の勤務地・通学場所については、伊勢崎市内が最も多く（42.4%）、次いで前橋市（7.3%）や太田市（6.4%）など近隣市町村に通勤・通学している回答者が多くなっている。

(2) 住みやすさと定住意向

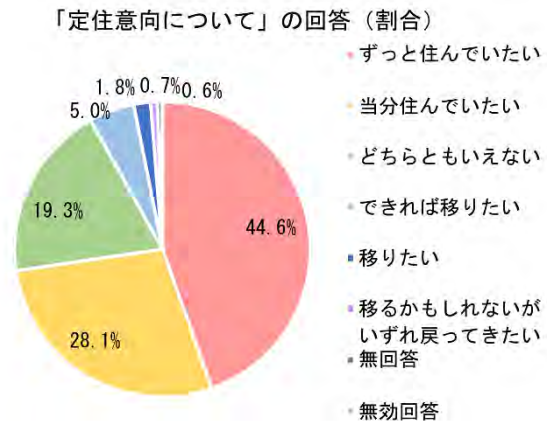
伊勢崎市の住みよさについては「住みよい」、「どちらかといえば住みよい」と感じている回答者が多く（76.9%）、住みよいと感じる理由としては「災害が比較的少ないから」（68.8%）、「買い物便利だから」（42.4%）、「車移動が便利だから」（40.4%）などが多く挙げられている。特に「災害が比較的少ないから」については、60歳以上の高齢者の多く（約80%）が住みよい理由として挙げており、伊勢崎市において安心安全に生活することができる大きな要因となっている。

一方で住みにくと感じる理由としては「バスなどの公共交通機関が不便だから」（56.7%）、「高齢者・障害者への対応が進んでいないから」（19.3%）、「買い物不便だから」（16.1%）などが多く挙げられている。特に「バスなどの公共交通機関が不便だから」については、若い世代から高齢者まで広い世代で住みにくい理由として挙げられてい



る。また、「高齢者・障害者への対応が進んでいないから」については、60歳以上の高齢者の回答者ほど理由として挙げている傾向があることから、喫緊の課題である可能性がある。

伊勢崎市への定住意向については「ずっと住んでいたい」、「当分住んでいたい」と回答した人が多い（72.7%）という結果であり、多くの市民が今後も伊勢崎市で生活したいと感じている。年代別の定住意向を比較すると18～29歳の回答者の約50%が「ずっと住んでいたい」、「当分住んでいたい」と回答しているのに対して、60歳代・70歳以上の回答者の約80%が「ずっと住んでいたい」、「当分住んでいたい」と回答していることから、年代が大きくなるほど定住意向が強くなるという傾向がある。



(3) 現行の取り組みへの評価

令和3年度に実施した市民意識調査時の満足度・重要度に比べて、今回の市民アンケートでは41施策中34施策で満足度が下がっている一方で、重要度は約6割の25施策で重要度が上がっており、現行の取り組みでは市民のニーズに対して十分に対応できていない可能性があると考えられる。

また、年代別で満足度や重要度を見ると、30歳代という子育てに励む市民が多い年代において、「子ども・子育て支援の充実」が重要度としては3位であるのに対して、その満足度は全41施策中の最下位となっていることから子育て世代への支援が十分でない可能性がある。

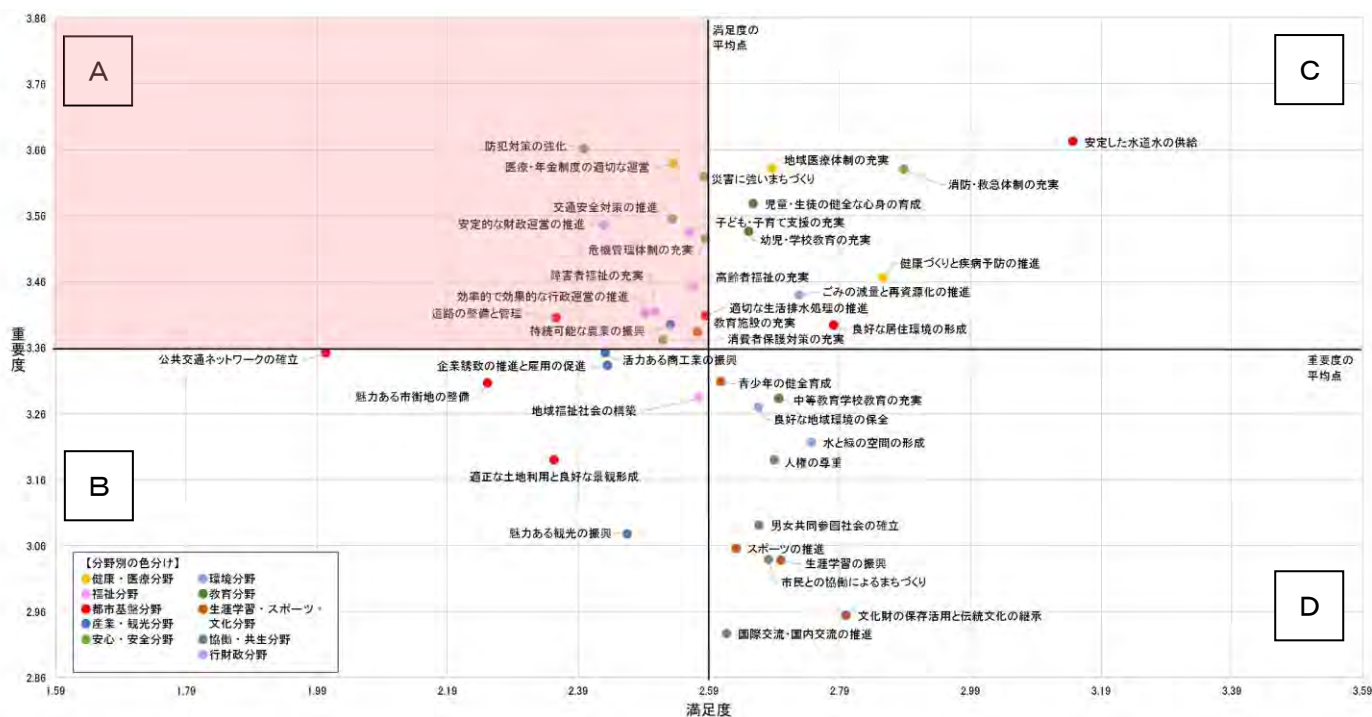
施策別の満足度・重要度の散布図を見ると、41施策中15施策において重要度が高く満足度が低い「A 重点改善施策」に挙げられており、その内訳は健康・医療分野が1施策、福祉分野が3施策、都市基盤分野が2施策、産業・観光分野が1施策、安心安全分野が5施策、生涯学習・スポーツ・文化分野が1施策、行財政分野が2施策となっている。さらに、7施策において重要度が低く満足度も低い「B 改善施策」に挙げられており、その内訳は福祉分野が1施策、都市基盤分野が3施策、産業・観光分野が3施策となっている。このことから、福祉分野、都市基盤分野、産業・観光分野、安心安全分野、行財政分野については次期計画においては特に重点分野に位置付けて事業に取り組む必要があると考えられる。一方で、環境分野、教育分野、協働・共生分野については、いずれの施策においても比較的市民の満足度が高く、市の取り組みが市民の生活に反映されていると考えられ、今後も現状の取り組みを維持していくことが求められている。

分野別の施策分類ごとの施策数

分野	A	B	C	D	合計施策数
健康・医療分野	1	—	2	—	3
福祉分野	3	1	—	—	4
都市基盤分野	2	3	2	—	7
産業・観光分野	1	3	—	—	4
安心安全分野	5	—	1	—	6
環境分野	—	—	1	2	3
教育分野	—	—	2	1	3
生涯学習・スポーツ 文化分野	1	—	—	4	5
協働・共生分野	—	—	—	4	4
行財政分野	2	—	—	—	2
合計	15	7	8	11	41

A:重点改善施策、B:改善施策、C:重点維持施策、D:維持施策

施策別の満足度・重要度の散布図（全41施策）

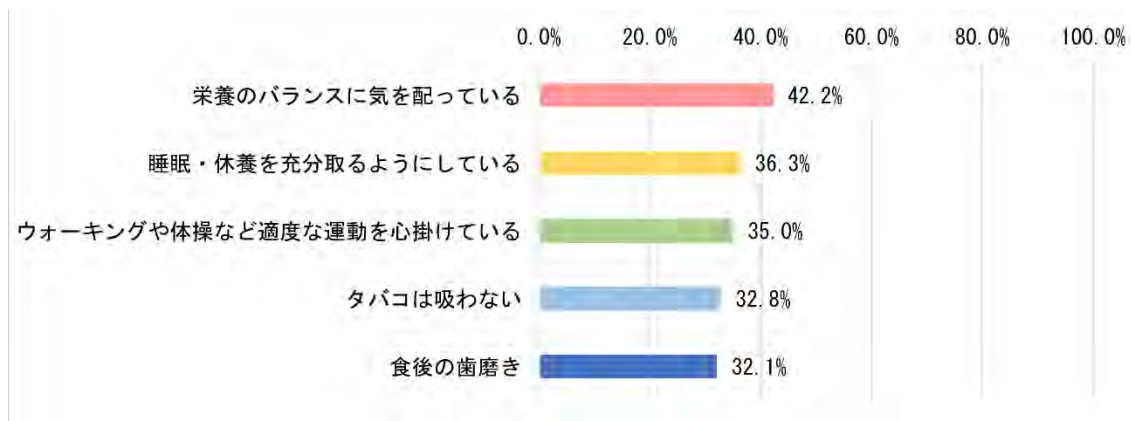


(4) 分野別の意見

【健康・医療分野】

「自分の健康のために心掛けていることはどのようなことか」という設問に対しては、「栄養のバランスに気を配っている」(42.2%)、「睡眠・休養を充分取るようにしている」(36.3%)、「ウォーキングや体操など適度な運動を心掛けている」(35.0%)という回答する人が多かった。栄養バランスや睡眠・休養の重要性については、市の広報などで重要性を伝え、市民一人ひとりの健康意識の醸成が必要であると考えられる。一方で、ウォーキングや体操の推進は、ウォーキングや体操を喚起するのは当然のことながら、市民が安全にウォーキングできるような遊歩道の整備や体操イベントの開催するための運動場・施設の整備などハード面での支援も求められていると考えられる。市民一人ひとりの健康を守るためにはソフト面とハード面の両方を活用していく必要があると考えられる。

「自分の健康のために心掛けていること」の上位5項目の回答(割合)【複数回答】

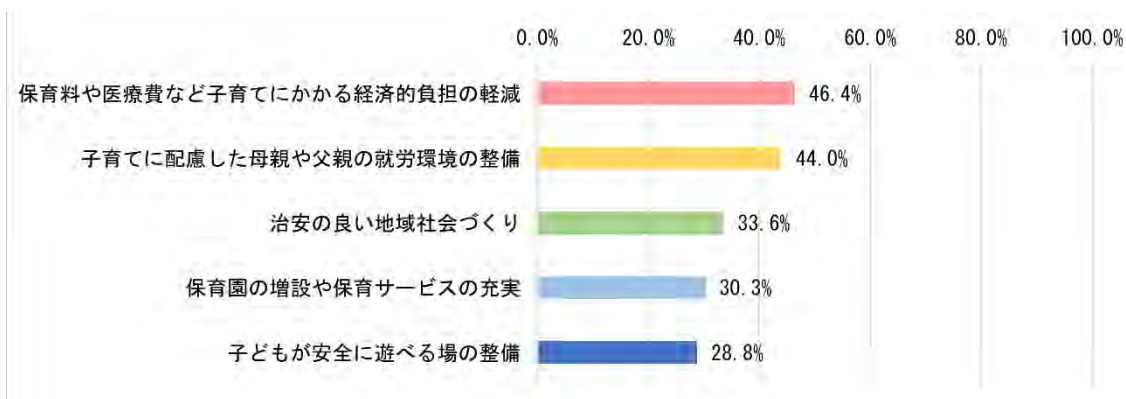


【福祉分野】

「子育てのしやすいまちにするためにどのようなことが重要か」という設問に対しては、「保育料や医療費など子育てにかかる経済的負担の軽減」(46.4%)、「子育てに配慮した母親や父親の就労環境の整備」(44.0%)を特に重要視している市民が多いと言える。近年の物価上昇や生活スタイルの多様化に伴って、子育てにかかる費用も大きくなっていると考えられるため、それらの負担を軽減できるようにさらなる経済的な支援が求められていると考えられる。また、新型コロナウイルス感染症の流行により、テレワークの普及等、就労環境も大きく変わっていると考えられる一方で、就労環境の整備については遅れていると感じている市民が多いと考えられる。サテライトオフィスの整備や一時保育の充実など、保護者の就労環境の変化に合わせた行政サービスが求められていると考えられる。

「子育てしやすいまちにするために重要なこと」の上位5項目の回答（割合）

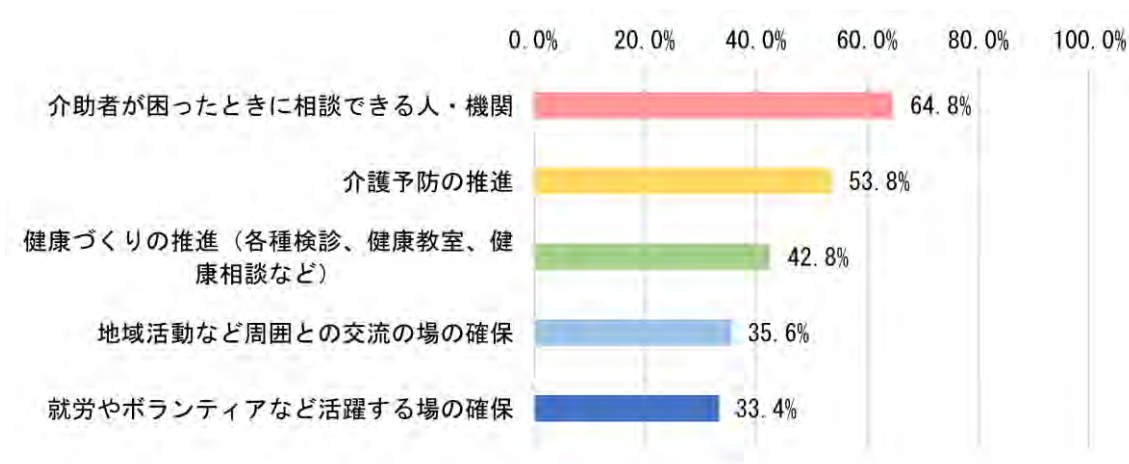
【複数回答】



「高齢者に優しいまちづくりに向けてどのようなことが重要か」という設問に対しては、「介助者が困ったときに相談できる人・機関」（64.8%）、「介護予防の推進」（53.8%）、「健康づくりの推進」（42.8%）を特に重要視している市民が多いと言える。「介護予防の推進」や「健康づくりの推進」は高齢者がいつまでもいきいきと社会の中で活躍できるような環境が求められていると考えられ、併せて、高齢者が地域活動などを行える場や就労やボランティアなどの活躍できる場の確保も併せて求められている。また、高齢者自身の支援だけではなく、介助者への支援が求められている。介助を必要とする高齢者が高齢化し、介助者も高齢化しているという問題や、必要な介助の多様化・複雑化の問題があると考えられ、それらの問題に対応できるように、介助者が困ったときに相談できるような体制の整備が求められている。

「高齢者に優しいまちづくりに向けて重要なこと」の上位5項目の回答（割合）

【複数回答】

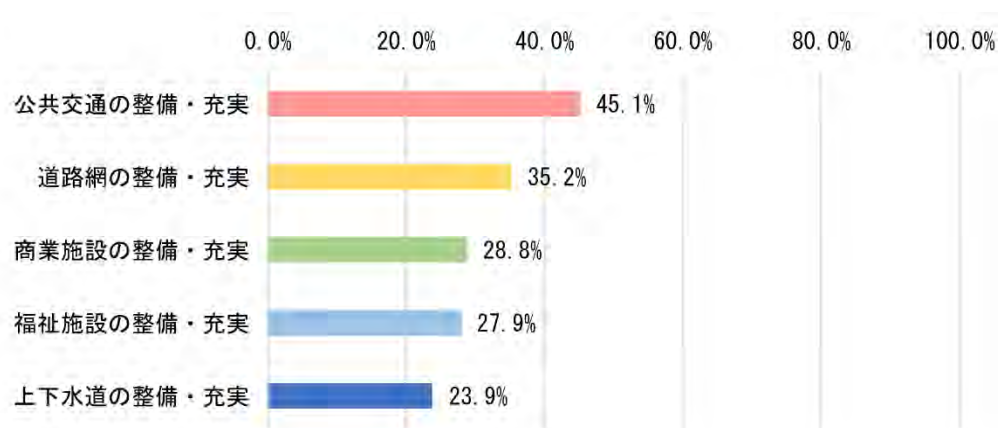


【都市基盤分野】

「伊勢崎市が持続可能な都市づくりを実現するために、都市基盤の整備においてどのようなことが重要か」という設問に対しては、「公共交通の整備・充実」(45.1%)、「道路網の整備・充実」(35.2%)、「商業施設の整備・充実」(28.8%)、「福祉施設の整備・充実」(27.9%)の順に回答が多くなっている。日本全体で高齢化が進み、高齢者の移動手段の確保が課題となっている自治体が多く、伊勢崎市においても「公共交通の整備・充実」や「道路網の整備・充実」が回答の上位に挙がっている。高齢者の自主的な免許返納が求められている中で、駅やバス停までのラストワンマイル問題もあり、コミュニティバスに加えてオンデマンド交通の実用化などが求められている。

一方で、商業施設や福祉施設の整備も回答の上位に挙がっており、施設を一地域に集約するのではなく、市民が快適に生活するために施設を分散化させるなど、バランスの良い都市整備が求められていると考えられる。

「伊勢崎市が持続可能な都市づくりを実現するために、都市基盤の整備において重要なこと」の上位5項目の回答(割合)【複数回答】



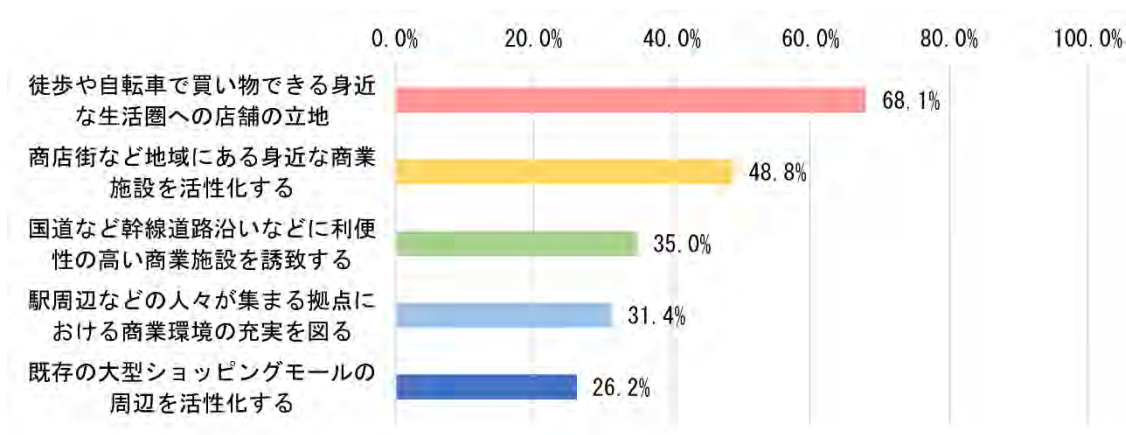
【産業・観光分野】

「これからの伊勢崎市の商業地のあり方に関してどのようなことが重要か」という設問に対しては、「徒歩や自転車で買い物できる身近な生活圏への店舗の立地」(68.1%)、「商店街など地域にある身近な商業施設を活性化する」(48.8%)を重要視している市民が多いと言える。

両者ともに、幹線道路沿いの大型ショッピングモールでの買い物を求める声よりも、地域に根差した徒歩や自転車で行くことのできる店舗の充実を求めている。

また、小規模から中規模の商業施設は地域の活性化に大きく関係するため、創業支援や融資をはじめ、市民や観光客を巻き込んだ商店街のイベントの開催などへの支援が必要と考えられる。

「これからの伊勢崎市の商業地のあり方に関して重要なこと」の上位5項目の回答
(割合)【複数回答】

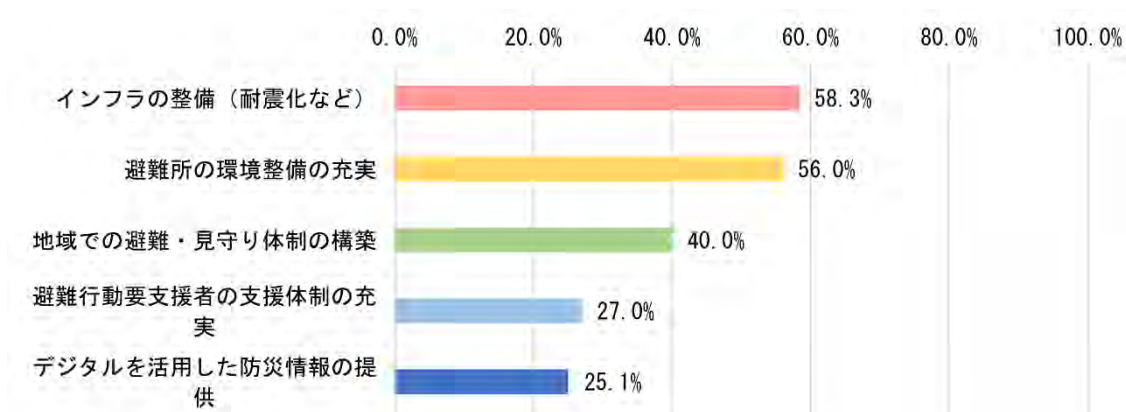


【安心安全分野】

「災害に強いまちづくりを推進するためにどのようなことが重要か」という設問に対しては、「インフラの整備（耐震化など）」(58.3%)、「避難所の環境整備の充実」(56.0%)、「地域での避難・見守り体制の構築」(40.0%)を重要視している市民が多いと言える。

近年、激甚化・多発化する災害に対して、市民が不自由なく生活できるようにインフラを整備するのはもちろんのこと、新型コロナウイルス感染症の流行で課題が浮き彫りになった避難所での感染症対策等の環境の整備が求められている。要支援者の避難支援を行政のみが担うことは現実的に難しくなっている現代において、地域全体で避難・見守り体制を構築していく必要がある。しかし、年々、地域住民同士の関係が希薄になってしまっているという問題もあり、行政が自治会等に支援を行い、「自助」・「共助」・「公助」のバランスを保っていく必要があると考えられる。

「災害に強いまちづくりを推進するために重要なこと」の回答(割合)【複数回答】



【環境分野】

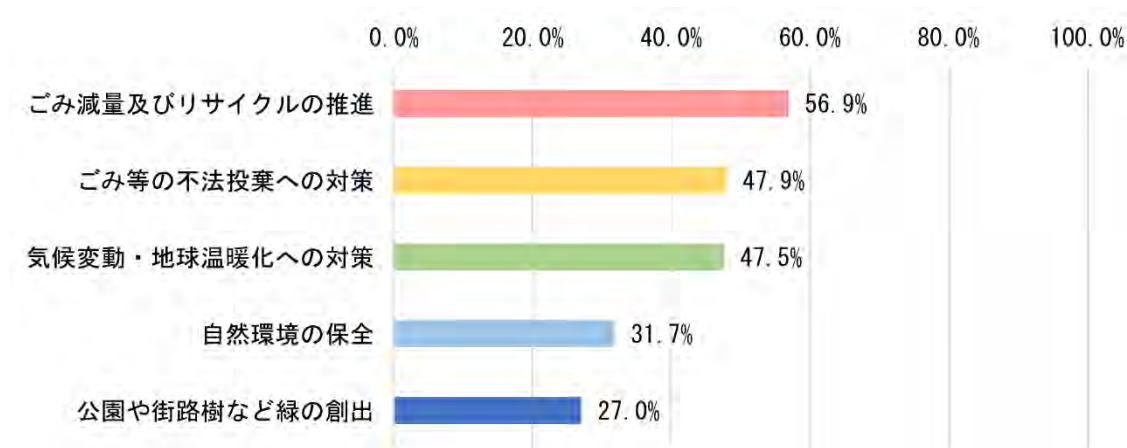
「これからの環境のためにどのようなことが重要か」という設問に対しては、「ごみ減量及びリサイクルの推進」(56.9%)、「ごみ等の不法投棄への対策」(47.9%)、「気候変動・地球温暖化への対策」(47.5%)を重要視している市民が多いと言える。

ごみの不法投棄は、カラスなどの鳥害やネズミ等の発生による生活環境の悪化が懸念されるほか、さらには治安の悪化の可能性もあるため、特に対策が急務とされている。

さらに、マイ袋やマイ箸を持参するなど、「ごみを出さない」取り組みが推奨される。5R(リフューズ、リデュース、リユース、リペア、リサイクル)を中心に、市民一人ひとりができる限りごみを出さないようにする意識の醸成が求められている。

伊勢崎市ではGX(グリーントランスフォーメーション)を推進しており、地球温暖化をはじめとする気候変動への対策を行っている。本アンケートにおいても「気候変動・地球温暖化への対策」を市民が重要視しており、今後も一層重点事業として地球温暖化対策や脱炭素を推進していく必要があると考えられる。

「これからの環境のために重要なこと」の上位5項目の回答(割合)【複数回答】



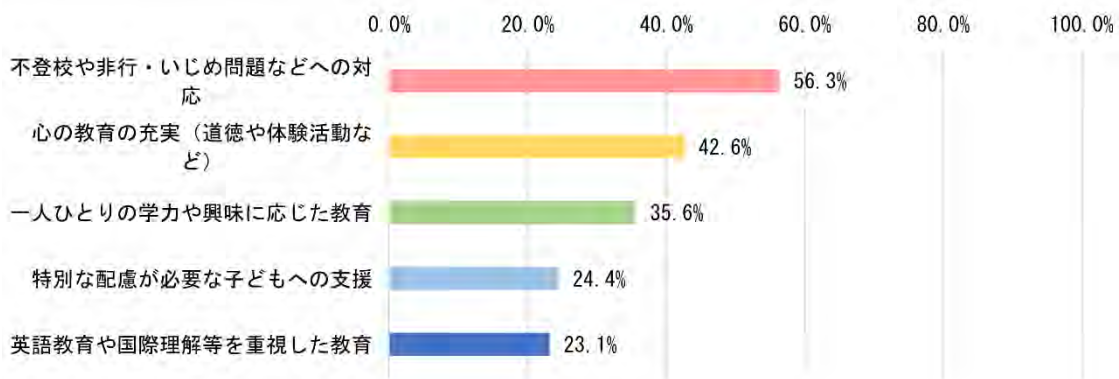
【教育分野】

「小・中学校の教育においてどのようなことが重要か」という設問に対しては「不登校や非行・いじめ問題への対応」(56.3%)、「心の教育の充実(道徳や体験活動など)」(42.6%)を重要視している市民が多いと言える。

学校におけるいじめ問題は、インターネットの普及やSNSの発達とともに、顕在化しにくい問題となっている。特に、多くの児童・生徒がスマホ等で不特定多数のユーザーとチャット等のやり取りをすることができるようになったために、事件に巻き込まれるということも多くなっている。このような問題に適切に対応していくためには、生徒・児童を見守る「保護者」、「学校」、「行政」が連携していじめ等の問題を早期発見、早期対応を行っていく必要があると考えられる。また、ネットリテラシーなどの道徳教育を積極的に実施

し、児童・生徒が加害者とならない、非行に走らないような活動を推進していく必要があると考えられる。

「小・中学校の教育において重要なこと」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】



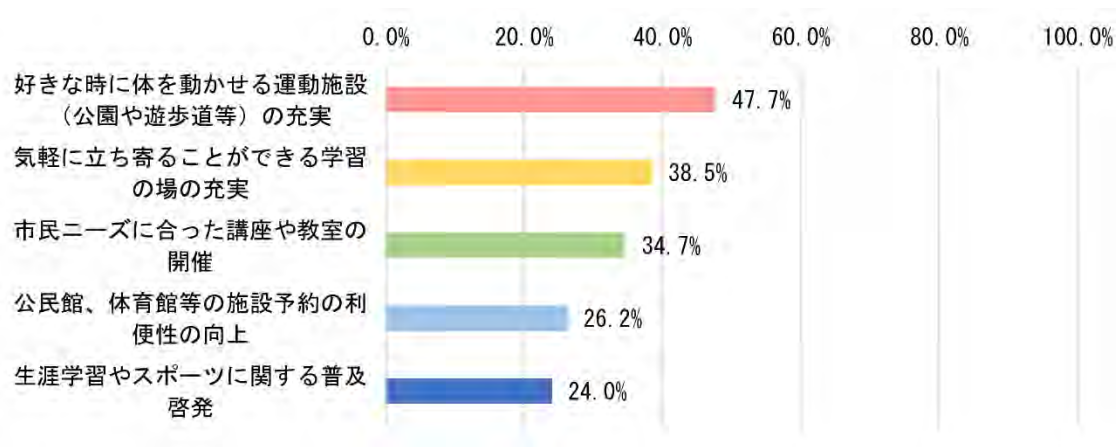
【生涯学習・スポーツ・文化分野】

「市民の生涯学習やスポーツ・文化を推進するためにどのようなことが重要か」という設問に対しては、「好きな時に体を動かせる運動施設（公園や遊歩道等）の充実」（47.7%）、「気軽に立ち寄ることができる学習の場の充実」（38.5%）、「市民ニーズに合った講座や教室の開催」（34.7%）を重要視している市民が多いと言える。

医療・健康分野や福祉分野でも言及したとおり、市民がいつまでも元気に自分らしく生き生きと活動するための環境を整備することが重要であると考えられる。特に、公園や遊歩道等は子どもから高齢者まで様々な年代の人々が利用できる施設であり、緑や水が豊かな施設とすることで環境にも優しい拠点となることができるから積極的な整備が求められていると考えられる。

また、図書館や公民館など、様々な年代の人々が目的に応じて利用できる施設を充実させることにより、積極的な多年代交流や地域交流につながると考えられる。さらに、ハード面の充実とともに、市民ニーズに合った講座や教室を開催するなど、ソフト面の充実も求められていると考えられる。

「市民の生涯学習やスポーツ・文化を推進するために重要なこと」の上位5項目の回答
(割合)【複数回答】



【協働・共生分野】

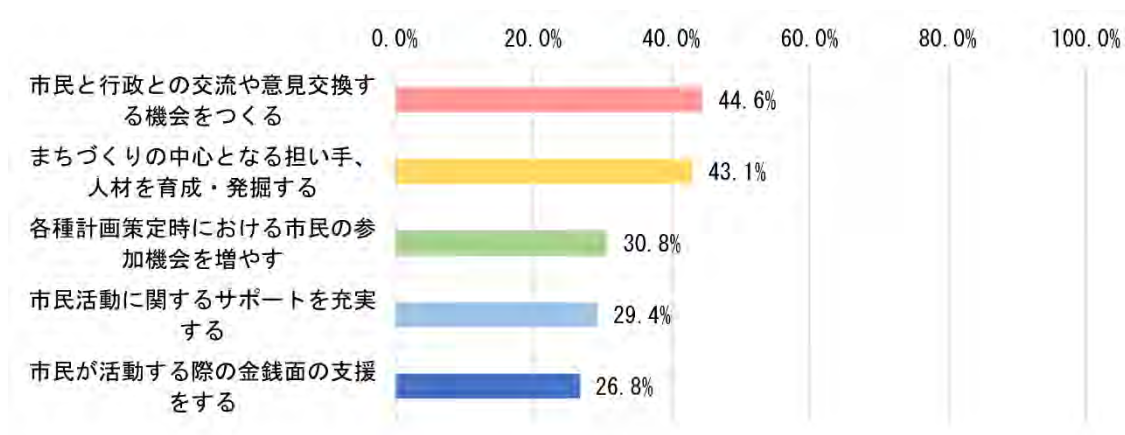
「市民と行政が協働してまちづくりを行う上でどのようなことが重要か」という設問に対しては、「市民と行政との交流や意見交換する機会をつくる」(44.6%)、「まちづくりの中心となる担い手、人材を育成・発掘する」(43.1%)を重要視している市民が多いと言える。

自由意見においても、いくつかの意見において市長への提言や市政全般に対する意見が散見されており、市民の意見を市政に伝える機会や手段が不足している可能性が考えられる。また、「職員に必要なもの」においても「市民、地域、企業との連携、コミュニケーション力」が「必要である」、「ある程度必要である」と回答している市民は多く

(87.7%)、今後、市民と行政が協働してまちづくりを行っていく上で、行政が市民に対して意見交換できるような機会を積極的に創出することが求められていると考えられる。

一方で、「まちづくりの中心となる担い手、人材を育成・発掘する」といったまちづくりに参画する人材の育成・発掘に力を入れるべきであるという意見も多くある。市民と行政が協働してまちづくりを行うにあたっては、特に若い世代の市民から核となるべき人材を育成・発掘していく必要があると考えられる。自治会等の高齢化・加入率の低下が進み、若い世代の市民参画の機会が少なくなりつつある現代において、新しい市民参画の手法を検討していく必要があると考えられる。

「市民と行政が協働して、まちづくりを行う上で重要なこと」の上位5項目の回答
(割合)【複数回答】

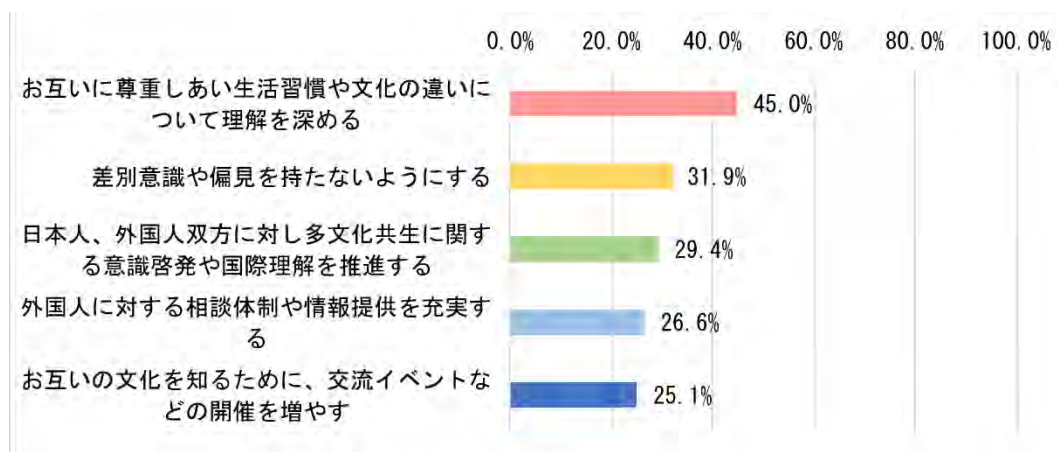


「日本人と外国人が共生してまちづくりを行う上でどのようなことが重要か」という設問に対しては、「お互いに尊重しあい生活習慣や文化の違いについて理解を深める」(45.0%)が最も重要視されており、次いで「差別意識や偏見を持たないようにする」(31.9%)と続いている。

日本人と外国人の共生をはじめ、多様性が重視される現代においては多数派（マジョリティ）と少数派（マイノリティ）がお互いに尊重しあい、考え方や文化の違いについて理解を深め、受け入れることが必要とされている。特に外国の文化は日本の文化と大きく異なるところがあるが、「郷に入りては郷に従え」というように日本の文化を強制するのではなく、外国の文化を認め、日本の文化と共存させる必要がある。同様に、外国人も日本の文化や生活習慣を理解し、自身の生活習慣を適合させていく必要があると考えられる。

行政においては、双方が生活習慣や文化の違いについて理解を深め、受け入れることを支援するための意識啓発、文化交流等を推進していくことが求められている。

「日本人と外国人が共生してまちづくりを行う上で重要なこと」の上位5項目の回答
(割合)【複数回答】

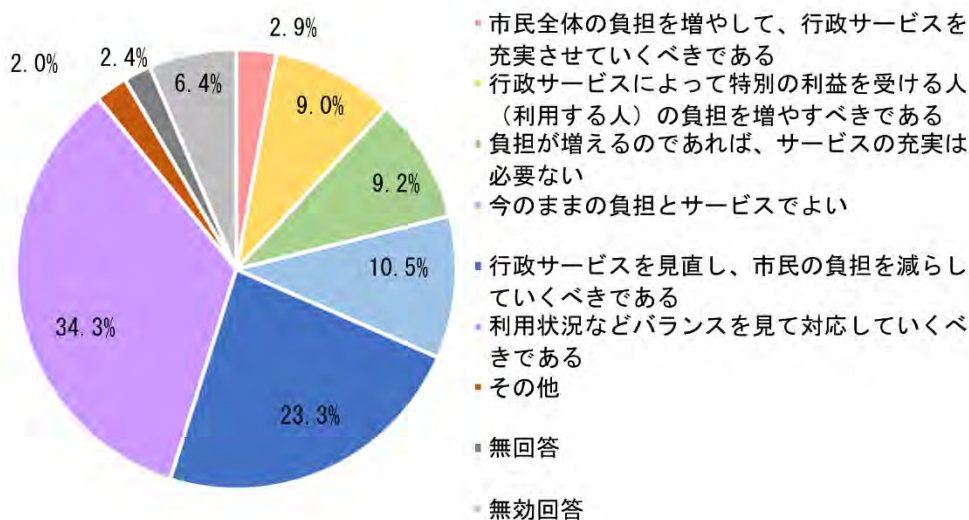


【行財政分野】

「行政サービスとその負担について、今後どのようにすべきか」という設問に対しては、「利用状況などのバランスを見て対応していくべき」と考える市民が最も多く（34.3%）、次いで「行政サービスを見直し、市民の負担を減らしていくべき」と考える市民が多く（23.3%）なっている。

自由意見でも挙げられているとおり、年々多様化・複雑化する市民ニーズを把握し、そのニーズに対応した適切なサービスを常に提供していくことが求められている。そのためには、市民目線を持つのはもちろんのこと、スピード感を持って臨機応変に対応していく必要がある。このようなスピード感を持って臨機応変に対応しながら行政サービスの見直しをするにあたっては、申請方式のデジタル化やAI・RPAの活用をはじめとしたDX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みを進めることが求められている。DXの取り組みを推進する際には、一部の市民が利益を得ることや従来受けられていたサービスが受けられなくなるなどのサービスの不公平がないように、公平性を持って取り組んでいく必要がある。

「行政サービスとその負担について今後どのようにすべきか」の回答（割合）

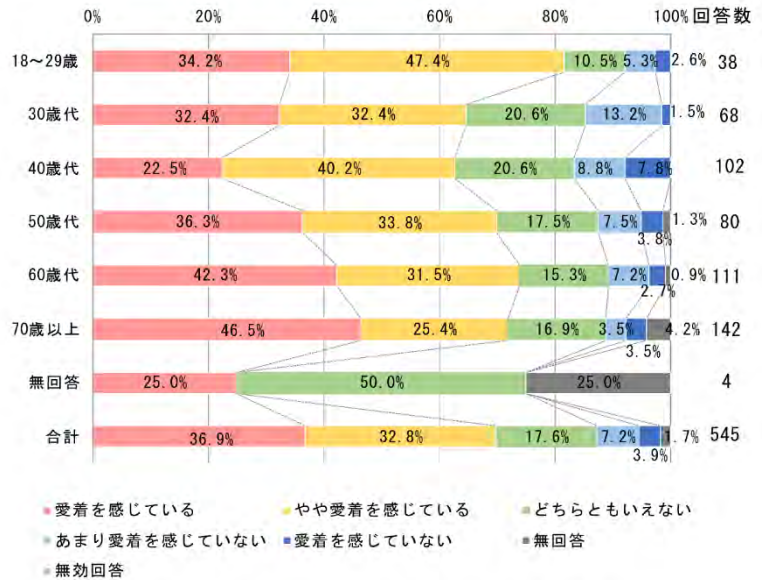


(5) 現在と将来の市について

伊勢崎市への愛着については「愛着を感じている」と回答した人の割合は概ね年齢が増加していくにつれて大きくなっている。また、「愛着を感じている」及び「やや愛着を感じている」と回答した人の割合を見ると、18～29歳の回答割合が大きい(81.6%)ことが分かる。このことから、伊勢崎市に愛着を持ちつつある若い世代にもっと愛着を持ってもらえるような取り組みを行うことで若い世代の定住につながっていくと考えられる。

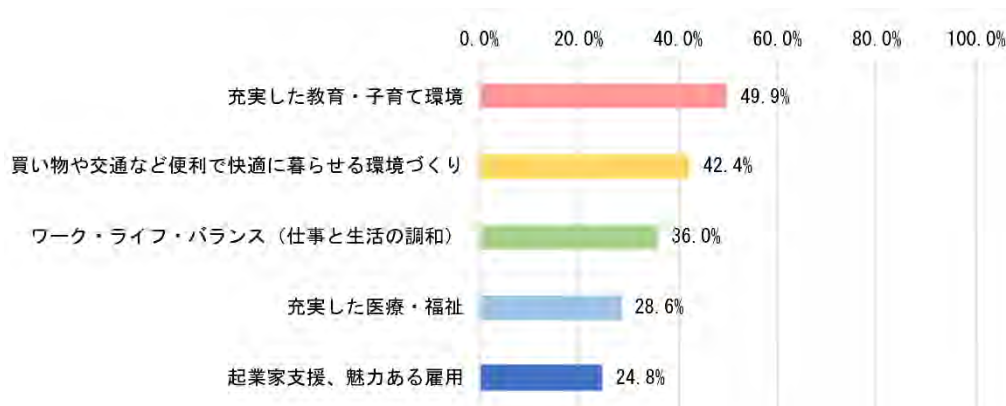
そのためには、若い世代にとって魅力的なまちになるために重要だと思うことに挙げられているように「充実した教育・子育て環境」(49.9%)、「買い物や交通など便利で快適に暮らせる環境づくり」(42.4%)、「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」(36.0%)といった、子育てと仕事を両立しやすいまちづくりを目指していく必要があると考えられる。

年代別の伊勢崎市への愛着の回答(割合)



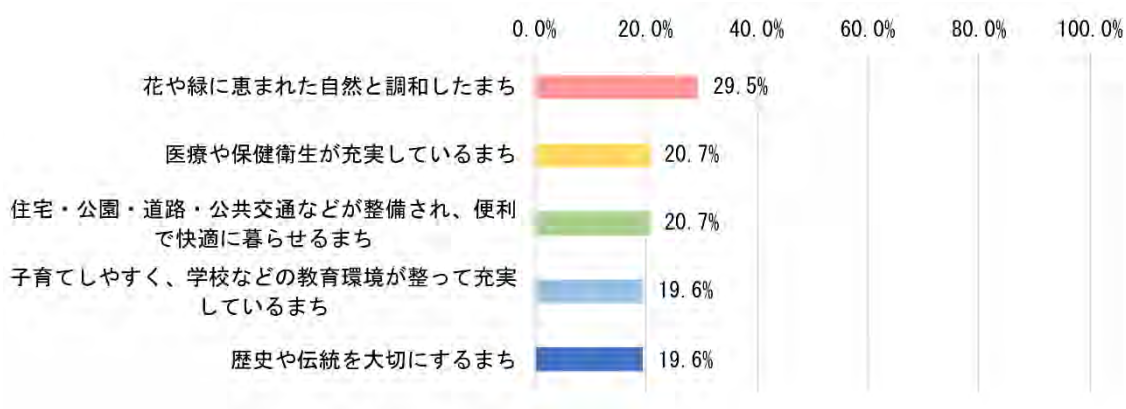
「若い世代にとって魅力的なまちになるために重要なこと」の上位5項目の回答(割合)

【複数回答】

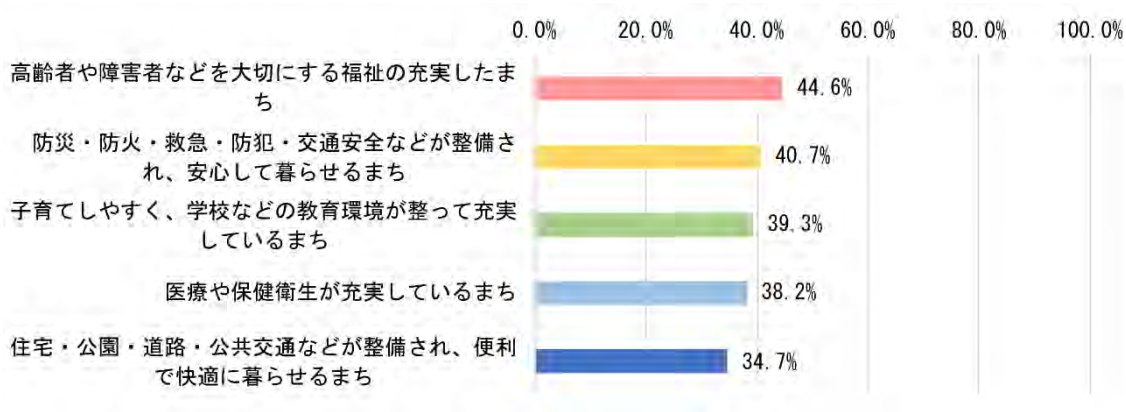


現在の伊勢崎市のイメージと将来目指してほしい伊勢崎市のイメージを見ると、上述の子育てと仕事が両立できるようなまちづくりを目指してほしいということの他に、「高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち」（44.6%）や「防災・防火・救急・防犯・交通安全などが整備され、安心して暮らせるまち」（40.7%）といった安心安全にいつまでも伊勢崎市で生活できるようなまちを目指してほしいという意見が多いことや、(3) 現行の取り組みへの評価においても福祉分野や安心安全分野の施策の多くが重点改善施策に挙げられていることから、福祉分野や安心安全分野を次期計画において特に重点分野に位置付ける必要があると考えられる。

「現在の伊勢崎市のイメージ」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】

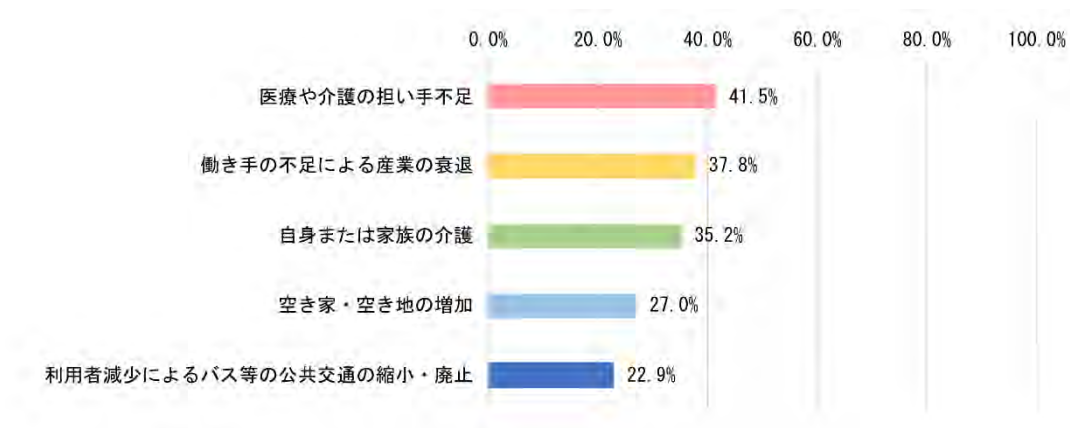


「伊勢崎市がどのようになって欲しいか」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】



将来（10～15年後）を見据えて不安に感じる事としては、上位3項目に「医療や介護の担い手不足」（41.5%）、「働き手の不足による産業の衰退」（37.8%）、「自身または家族の介護」（35.2%）が挙げられている。これらはいずれも少子高齢化や人口減少に伴う人材不足が原因であると考えられるため、伊勢崎市として少子高齢化対策や人口減少対策に取り組んでいく必要がある。また、少子高齢化や人口減少は日本全体の問題であるため、伊勢崎市においても年齢・性別・国籍問わず多種多様な人材が互いに支えあいながら、地域社会で活躍できるようなまちづくりを目指す必要があると考えられる。

「10～15年先を見据え不安に感じる事」の上位5項目の回答（割合）【複数回答】

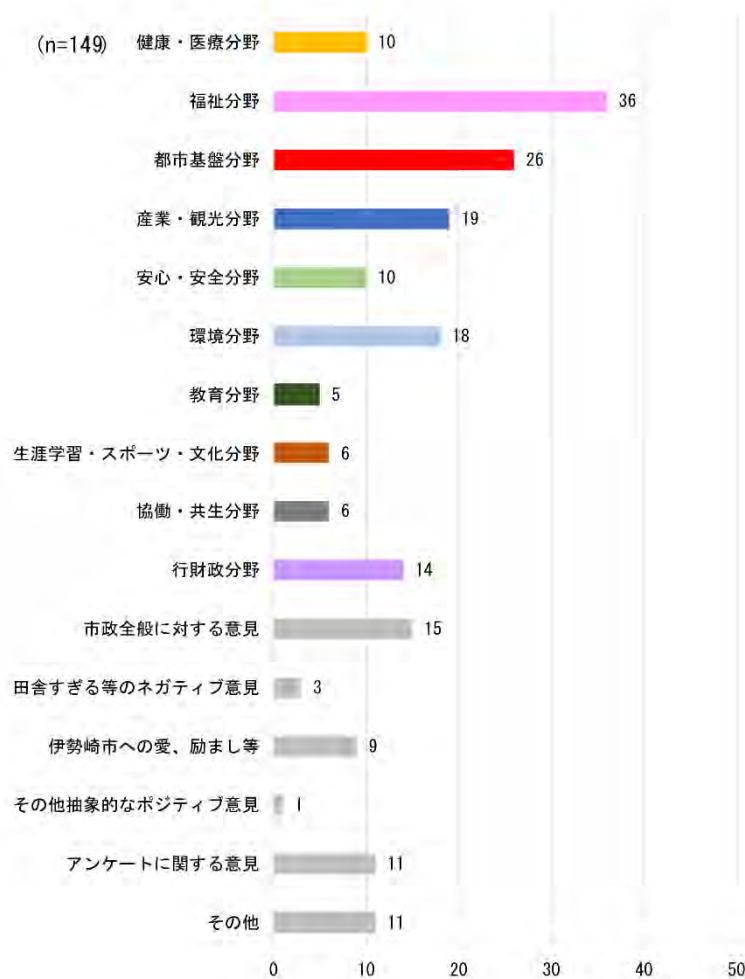


(6) 自由意見

自由意見においても、子育て支援に関する意見や高齢者支援に関する意見などの福祉分野の意見が多く、それら分野の意見においては、「伊勢崎市は他市に比べて遅れている」といったネガティブな意見が多くみられた。また、高齢者支援に付随して免許返納後の移動手段の確保に関する意見も多く、「伊勢崎市は車があると便利ではあるが、コミュニティバスの路線網が貧弱であり、免許を返納すると移動が不便になる」という懸念を持つ市民も見られた。

また、市長に対する提言や市政全般に対する漠然とした意見も多く見られたことから、市民意見を市政に伝える手段や機会が不足している可能性も考えられる。同様に、(4)分野別の意見においても協働・共生分野において「市民と行政との交流や意見交換する機会をつくる」、「各種計画策定時における市民の参加機会を増やす」といった市民の市政への参加に関する意見が多かったことから、市民の市政への参画機会を増やしていく必要があると考えられる。

自由意見の回答（実数）



2 重点分野ごとに他分野と横断的に取り組む課題

アンケート結果の施策別の満足度・重要度を踏まえると、重点改善施策及び改善施策が多い分野は「福祉分野」、「都市基盤分野」、「産業・観光分野」、「安心安全分野」の4分野である。近年特に、DX、地球温暖化対策や脱炭素のためのGX、SDGsなど、社会的課題の解決に取り組むための共通項として取り入れ、分野を隔てることなく、いずれの分野にも共通して普及促進を進めなければならない取組がある。

ここでは、分野ごとに、他の分野と連携して横断的に取り組むべき課題を整理する。

(1) 福祉分野

アンケート結果からは、20歳代、30歳代の若い世代の人々の満足度が低く重要度が高い子育て関係の取り組みを充実させる必要がある。また、伊勢崎市を担っていく若い世代の人々は「教育・子育て環境の充実」や「買い物や交通などが便利で快適に暮らせる環境づくり」、「ワーク・ライフ・バランス」を重要視しており、**教育分野及び都市基盤分野**との連携が必要である。子育て支援にあたっては、「保育料や医療費といった子育てにかかる経済的支援」や「子育てに配慮した保護者の就労環境の整備」が特に重要視され、**産業・観光分野**との連携が必要である。

このように、若い世代に対する次元の高い子育て政策の実現が求められているとともに多様化する市民ニーズへの対応が求められている。

この実現のためには、**教育分野**と福祉分野が連携した保育から高等教育までの一貫した子育て環境の整備が必要である。雇用関係においては、行政サービスだけでなく、テレワークなど新しい働き方を推進する商工事業者や企業といった雇用者側の協力も欠かせず、**産業・観光分野**との連携が必要である。これからは元気な高齢者を増やす、障害者の働く場所を確保するといった一人一人が生きがいを持てる社会を実現するためにも、同様に**産業・観光分野**との連携が必要である。

また、保育所の入所手続や子育て給付などのため、保護者が市役所に来なくても行政手続を行えるように手続きのオンライン化等のDXの取組の推進が求められており、**行財政分野**との連携が必要であると考えられる。

関連分野：都市基盤分野、産業・観光分野、教育分野、行財政分野（DX） など

(2) 都市基盤分野

都市基盤はまちづくりにおいて根幹にあたるものであり、市民の関心も高く重要視する意見も多く見られる。また、「現行の取り組みへの評価」においても「A 重点改善施策」が2施策、「B 改善施策」が3施策、「C 重点維持施策」が2施策となっていることから

も重要度は高いと考えられる。

近年、ゲリラ豪雨などの気候変動による災害が頻発しており、抜本的な地球温暖化対策のため、市民・事業者・行政が総ぐるみでGXを推進していく必要があり、**環境分野**との連携が必要であるとともに、ITを活用した防災システムの充実を図るため、**行財政分野**との連携が必要である。また、公園を整備するなどして、「花や緑といった自然と調和したまち」という伊勢崎市の特徴的なイメージを失うことなく、環境にも配慮した美しく快適な都市を整備していくため、緑化の推進や水資源の活用も推進していく必要があり、**環境分野**との連携が必要である。

都市基盤の整備は公園や道路、公共交通が整備され、市民が便利で快適に暮らすために公園や道路を整備するだけでなく、防災・防火・救急などの災害時のための基盤整備にも並行して取り組む必要があり、**安心安全分野**との連携が必要である。

関連分野：安心安全分野、環境分野（GX）、行財政分野 など

(3) 産業・観光分野

産業は言わば「まちの心臓」にあたる部分であり、産業の活性化は伊勢崎市全体の活性化につながると考えられる。しかし、今回のアンケートからは産業・観光分野の全4施策とも「A 重点改善分野」、「B 改善分野」に位置づけられていることから、産業・観光分野においては市民の満足度が低いことが分かり、次期計画においては重点的に事業を進めていく必要があるとされる。関東有数の工業都市として産業を更に強化するための道路をはじめとするインフラ整備も必要であり、**都市基盤分野**との連携が必要である。

62カ国の外国籍住民が生活する伊勢崎市は、日本の自治体において先進的であるといえる。しかし、現在は人口増加傾向が続いている伊勢崎市も、近い将来人口減少を迎えることとなる。そこで、伊勢崎市全体を活性化させるにあたっては「関係人口」※の増加が大きな要因となると考えられ、移住支援施策などの**行財政分野**との連携が必要である。世界遺産である「田島弥平旧宅」や華蔵寺公園遊園地など魅力的な文化、歴史、観光資源を訪れる人々に多様な形で伊勢崎市に関わってもらうための取り組みを推進する必要があると考えられ、**生涯学習・スポーツ・文化分野**との連携が必要である。

また、既存の商店街などでは小規模事業者を中心に高齢化が進み、事業の継続が難しくなっていることから、キャッシュレス決済など、DXの推進を支援することで、事業を持続可能にするような取り組みも積極的に進める必要があり、**行財政分野**との連携が必要である。

※関係人口：兼業や副業などの仕事を絡める、祭りやイベントの運営に参画して楽しむなどファンベースの交流を重ねるなど、多様な形で特定の地域に継続的に関わる人（内閣府：地方創生HPより抜粋）

関連分野：都市基盤分野、生涯学習・スポーツ・文化分野、行財政分野（DX）など

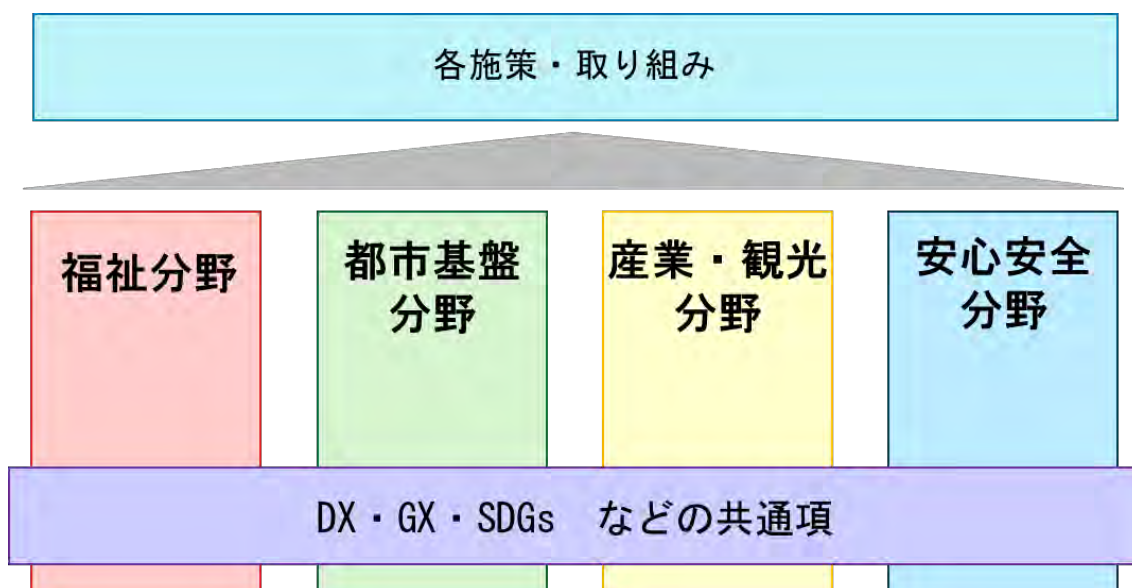
(4) 安心安全分野

災害が多発・激甚化している現代において、「安心安全に伊勢崎市で暮らす」ことを望む市民の関心は非常に高くなっている。市民が安心安全に生活するためには、防災・防犯の推進や救急医療体制の充実などによる**健康・医療分野**との連携はもちろんのこと、道路や公共交通などの**都市基盤分野**の充実など、多岐にわたる分野において横断的に取り組みを進めていく必要がある。また、年代・性別・国籍を問わず、全ての市民がいきいきと自分らしく伊勢崎市で生活ができる環境づくりが求められている。

SDGs の理念を表す「inclusive（インクルーシブ）：包摂的」という言葉は、「誰一人取り残さない」という意味を持っているが、この視点を重視し、外国籍住民、高齢者、障害のある方、こうした多様な市民を支え、元気に社会活動ができるように「市民の健康づくりや介護予防の支援」、「日本人と外国人がお互いに尊重しあい生活習慣や文化の違いの理解を深めること」などに取り組むために**健康・医療分野、福祉分野、協働・共生分野**と連携する必要がある。

さらには、持続可能なまちを実現するためには、最も基礎的となる安定的で健全な行財政運営が求められており、安心安全に生活できる環境を実現するために、今後は、市民の負担を増やすことなく、行政サービスの利用状況などのバランスを見ながら行政サービスの見直しを行っていく必要があることから、**行財政分野**との連携が必要である。

関連分野：健康・医療分野、福祉分野、都市基盤分野、協働・共生分野、行財政分野 など



3 重点を置くべき取り組み

アンケート結果や横断的に取り組む課題を踏まえて、次期計画において特に重点を置くべき取り組みを分野ごとに整理しました。

健康・医療分野 福祉分野	<ul style="list-style-type: none"> 市民の健康づくりや介護予防の支援 各種健診の受診勧奨 子育て世代への経済的な支援 子育てに配慮した保護者の就労環境の整備 介助者の相談体制の充実 高齢者が地域活動できる場の確保
都市基盤分野 産業・観光分野	<ul style="list-style-type: none"> 道路網や公共交通等のインフラの整備 中小企業の支援などの商工業活性化への支援 積極的な企業誘致と魅力的な雇用の創出 関係人口の創出
安心安全分野 環境分野	<ul style="list-style-type: none"> 災害に強いインフラの整備 避難所の充実や避難・見守り体制の構築 防犯対策や交通安全対策の推進 地球温暖化対策や脱炭素のさらなる推進
教育分野 生涯学習・スポーツ 文化分野	<ul style="list-style-type: none"> 学校等の教育環境の充実 運動施設や図書館などの市民が気軽にスポーツや生涯学習できる場の確保
協働・共生分野 行財政分野	<ul style="list-style-type: none"> 多種多様な市民が共生できる環境の整備 市民と行政の交流や意見交換する機会の創出 利用状況に応じた行政サービスの見直し 行政手続きのオンライン化等のDXの取り組みの促進

IV 參考資料

令和5年度 「伊勢崎市市民アンケート」のお願い

市民の皆様には、日頃より、市政に対し、ご理解とご協力をいただいておりますことに心よりお礼申し上げます。

現在、伊勢崎市では、「第2次伊勢崎市総合計画」及び「第2期伊勢崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を一体化した次期計画として、長期的視点に立った総合的かつ計画的なまちづくりの指針となる「第3次伊勢崎市総合計画」の策定を進めています。

策定に当たりましては、市民の皆様一人ひとりの「声」が大変重要であることから、皆様のご意見を広く伺いする「伊勢崎市市民アンケート」を実施いたします。

皆様のご意見は、計画策定及び今後の市政運営の貴重な資料として活用させていただきます。ご多用のところお手数をおかけいたしますが、本調査にご協力くださいますようお願いいたします。

令和5年6月9日
<記入上の注意>

伊勢崎市長 臂 泰雄(ひだ やすお)

インターネット
回答用 ID

総合計画とは・・・

伊勢崎市総合計画とは、これからの伊勢崎市の方向性を描いた「まちづくりの指針」というべき最も重要な計画です。第3次伊勢崎市総合計画は令和7年度～16年度までが計画期間となります。

2つの層で構成される次期伊勢崎市総合計画のイメージ▶



- お送りしたあて名のご本人がお答えください。(代筆・代理入力は差し支えありません)
- ご回答いただいた内容は、個人が特定できないように、全て統計的に処理いたします。
- ご回答は「郵送」または「インターネット」どちらか一方でお願いします。

【郵送で回答する場合】

記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて、令和5年6月30日(金)までに郵便ポストに投函してください。(切手は不要です)

【インターネットで回答する場合】

下記URLまたはQRコードから回答ページにアクセスの上、令和5年6月30日(金)までに入力してください。(調査票の郵送は不要です)

〔回答フォームURL〕

<https://forms.gle/XpnZLhPeyUE2NZ5CA>



【回答フォーム】

※今回の調査は、18歳以上の市民の皆様から無作為に選んだ2,000人の方々にご協力をお願いしています。IDは回答の集計に用いるもので個人を特定するものではありません。

問い合わせ先 〒372-8501 群馬県伊勢崎市今泉町二丁目410
伊勢崎市 企画部 企画調整課 企画係
TEL : 0270-27-2707 (直通) FAX : 0270-23-9800
E-mail : kikaku@city.isesaki.lg.jp

世界遺産「田島弥平旧宅」
PRキャラクター
くわまる



住みやすさと定住意向

(10) あなたは、伊勢崎市の住みよさについて、どのように感じていますか。
あてはまる選択肢、1つを選んで○をつけてください。

1. 住みよい
2. どちらかといえば住みよい
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば住みにくい
5. 住みにくい

(11) 伊勢崎市の住みよいと思う点についてあてはまる選択肢、3つまで選んで○をつけてください。

1. 車移動が便利だから
2. バスなどの公共交通機関が便利だから
3. 通勤・通学先が近いから
4. 地域での人間関係がよいから
5. 買い物が便利だから
6. 自然環境がよいから
7. 学校・図書館などの教育施設が充実しているから
8. 利用しやすい公園・スポーツ施設があるから
9. 子育てしやすい環境があるから
10. 高齢者・障害者への対応が進んでいるから
11. 医療体制が充実しているから
12. 比較的災害が少ないから
13. 魅力的な仕事があるから
14. 学校教育が充実しているから
15. その他 ()

(12) 伊勢崎市の住みにくいと思う点についてあてはまる選択肢、3つまで選んで○をつけてください。

1. 車移動が不便だから
2. バスなどの公共交通機関が不便だから
3. 通勤・通学先が遠いから
4. 地域での人間関係が悪いから
5. 買い物が不便だから
6. 自然環境が悪いから
7. 学校・図書館などの教育施設が充実していないから
8. 利用しやすい公園・スポーツ施設がないから
9. 子育てしやすい環境がないから
10. 高齢者・障害者への対応が進んでいないから
11. 医療体制が充実していないから
12. 比較的災害が多いから
13. 魅力的な仕事がないから
14. 学校教育が充実していないから
15. その他 ()

(13) あなたは今後も伊勢崎市に住んでいたいと思いますか。
あてはまる選択肢、1つを選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1. ずっと住んでいたい | 2. 当分住んでいたい |
| 3. どちらともいえない | 4. できれば移りたい |
| 5. 移りたい | 6. 移るかもしれないがいずれ戻ってきたい |

現行の取り組みへの評価

(14) 本市のまちづくりの取り組みについて、あなたの現在の満足度と今後の重要度をお聞きします。

以下のそれぞれの項目の「満足度」と「重要度」について、＜記入例＞を参考に、あなたのお考えに最も近いものをそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

「健康・医療分野」		満足度					重要度				
		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	わからない	重要	どちらかといえば重要	どちらかといえば重要でない	重要でない	わからない
設問項目											
＜記入例＞		5	④	3	2	1	⑤	4	3	2	1
健康づくりと疾病予防の推進		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
地域医療体制の充実		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
医療・年金制度の適切な運営		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
「福祉分野」											
設問項目											
子ども・子育て支援の充実		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
地域福祉社会の構築		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
高齢者福祉の充実		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
障害者福祉の充実		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
「都市基盤分野」											
設問項目											
適正な土地利用と良好な景観形成		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
魅力ある市街地の整備		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
公共交通ネットワークの確立		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
道路の整備と管理		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
適切な生活排水処理の推進		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
安定した水道水の供給		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
良好な居住環境の形成		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

具体的な取り組みの例

〇〇〇〇の推進、△△△△の活用

乳幼児健診、予防接種の充実、がん検診などの受診率向上対策の推進、
こころの健康づくりへの支援、健康情報の提供など

伊勢崎市民病院の医療体制の充実、休日や夜間の救急医療体制の充実、
地域の医療機関の連携への支援など

国民健康保険や後期高齢者医療制度の健全な運営、
子どもの医療費無料化など医療費負担の軽減など

具体的な取り組みの例

子育て家庭支援の充実、児童館、児童センターの機能の充実、
保育施設・体制の整備、保育サービスの充実など

地域の福祉活動団体への支援、福祉ボランティア活動の活性化、
福祉ボランティア人材の養成・確保など

ミニデイサービス事業や相談・支援体制の充実、
高齢者の自立生活への支援、介護保険サービスの充実など

在宅福祉サービスの充実、相談体制の充実、
就労の促進、社会参加の支援など

具体的な取り組みの例

適正な土地利用の誘導、生活関連サービスの集約と居住の誘導、
大規模な建築物などの景観誘導、屋外広告物の適正表示の推進など

土地区画整理事業の推進による安全で快適な市街地の整備、
利便性の高い道路や公園などの都市施設の整備など

コミュニティバスの路線や停留所など再編による利便性の向上
コミュニティバス、路線バス、高速バスの利用促進など

幹線道路の整備による交通利便性の向上、幅員の狭い道路の解消、
橋りょうやガードレールなどの道路施設の維持修繕など

下水道の整備と接続の促進、
浄化槽の設置や入れ替えに対する補助制度の充実など

水道施設の耐震化、老朽化した水道施設の更新、
配水管の整備、水質検査などによる安全性の確保など

無秩序な住宅開発を防ぐための指導、住宅の耐震対策の促進、
市営住宅の計画的な整備・修繕など

(前ページからの続きです)

「産業・観光分野」 設問項目	満足度				
	満足	い え ば 満 足	ど ち ら か と い え ば 不 満	不 満	わ か ら な い
持続可能な農業の振興	5	4	3	2	1
活力ある商工業の振興	5	4	3	2	1
企業誘致の推進と雇用の促進	5	4	3	2	1
魅力ある観光の振興	5	4	3	2	1

重要度	重要度					
	重 要	い え ば 重 要	ど ち ら か と い え ば 重 要 で な い	重 要 で な い	わ か ら な い	
	5	4	3	2	1	■ ■
	5	4	3	2	1	■ ■
	5	4	3	2	1	■ ■
	5	4	3	2	1	■ ■

「安心・安全分野」 設問項目	満足度				
	満足	い え ば 満 足	ど ち ら か と い え ば 不 満	不 満	わ か ら な い
危機管理体制の充実	5	4	3	2	1
災害に強いまちづくり	5	4	3	2	1
防犯対策の強化	5	4	3	2	1
消防・救急体制の充実	5	4	3	2	1
交通安全対策の充実	5	4	3	2	1
消費者保護対策の充実	5	4	3	2	1

重要度	重要度					
	重 要	い え ば 重 要	ど ち ら か と い え ば 重 要 で な い	重 要 で な い	わ か ら な い	
	5	4	3	2	1	■ ■
	5	4	3	2	1	■ ■
	5	4	3	2	1	■ ■
	5	4	3	2	1	■ ■
	5	4	3	2	1	■ ■
	5	4	3	2	1	■ ■

「環境分野」 設問項目	満足度				
	満足	い え ば 満 足	ど ち ら か と い え ば 不 満	不 満	わ か ら な い
良好な地域環境の保全	5	4	3	2	1
ごみの減量と再資源化の推進	5	4	3	2	1
水と緑の空間の形成	5	4	3	2	1

重要度	重要度					
	重 要	い え ば 重 要	ど ち ら か と い え ば 重 要 で な い	重 要 で な い	わ か ら な い	
	5	4	3	2	1	■ ■
	5	4	3	2	1	■ ■
	5	4	3	2	1	■ ■

「教育分野」 設問項目	満足度				
	満足	い え ば 満 足	ど ち ら か と い え ば 不 満	不 満	わ か ら な い
幼児・学校教育の充実	5	4	3	2	1
児童・生徒の健全な心身の育成	5	4	3	2	1
中等教育学校教育の充実	5	4	3	2	1

重要度	重要度					
	重 要	い え ば 重 要	ど ち ら か と い え ば 重 要 で な い	重 要 で な い	わ か ら な い	
	5	4	3	2	1	■ ■
	5	4	3	2	1	■ ■
	5	4	3	2	1	■ ■

具体的な取り組みの例

意欲ある農業者の確保・育成、土地改良事業によるほ場整備など
農業生産基盤の整備、地元産農産物の地産地消の推進や流通の拡大など
商業活性化への支援、融資制度や経営相談の充実、
中小企業の販路や受注の拡大への支援など
積極的な企業誘致活動の展開、雇用機会の確保と雇用の推進、
新たな産業団地の検討など
華蔵寺公園遊園地・赤堀花しょうぶ園などの花施設など観光資源の活用、
花火大会・まつりなど誘客に繋がる地域活性化イベントの開催など

具体的な取り組みの例

メールなどによる情報発信、防災訓練など地域の防災体制の強化、
企業などとの災害時協力協定の締結など
水路の整備などによる浸水被害の防止、住宅や公共施設の耐震化、
機材や物資の備蓄による避難場所の環境整備など
警察や防犯団体との連携体制の強化、防犯パトロールの実施、
防犯灯や防犯カメラ内蔵防犯灯の設置など
消防施設の整備や装備の充実、救急出動体制や装備資器材の整備、
住宅用火災警報器の設置と維持管理対策の促進など
道路反射鏡や道路標識など交通安全施設の充実、
高齢者・子どもを対象とした交通安全教室の開催など
悪質商法などの被害を防止するための意識啓発、
消費者トラブルに対する相談体制の充実など

具体的な取り組みの例

公害防止のための検査や指導、環境美化活動、
企業や家庭での省エネ・省資源活動の促進など
ごみの分別収集とリサイクルの推進、
ごみ処理施設、し尿処理施設の機能の充実や安定稼働など
公園施設の整備・維持管理、
地域のみどりや親水空間の保全と緑化の推進など

具体的な取り組みの例

学力向上や豊かな心の育成、独自の教育構想による特色ある学校づくり、
様々な人との交流や体験活動を重視した幼稚園教育の充実など
小・中学生への規則正しい生活習慣の指導、
学校給食での食材や食品の安全管理、通学路の安全対策、感染症対策など
四ツ葉学園中等教育学校の中高一貫教育の特徴を生かした
教育内容や進路指導の充実など

(前ページからの続きです)

「生涯学習・スポーツ・文化分野」 設問項目	満足度					重要度					
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	わからない	重要	どちらかといえば重要	どちらかといえば重要でない	重要でない	わからない	
生涯学習の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	■ ■
青少年の健全育成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	■ ■
文化財の保存活用と伝統文化の継承	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	■ ■
教育施設の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	■ ■
スポーツの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	■ ■
「協働・共生分野」											
設問項目	満足度					重要度					
市民との協働によるまちづくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	■ ■
人権の尊重	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	■ ■
男女共同参画社会の確立	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	■ ■
国際交流・国内交流の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	■ ■
「行財政分野」											
設問項目	満足度					重要度					
効率的で効果的な行政運営の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	■ ■
安定的な財政運営の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	■ ■

分野別の意見

「健康・医療分野」

(15) あなたは、日頃ご自分の健康のために、何か心掛けていることがありますか。
あてはまる選択肢、3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養のバランスに気を配っている 2. 野菜から食べる、間食をしない、食べ過ぎないなど食べ方に気を付けている 3. 食後の歯磨き 4. 睡眠・休養を充分取るようにしている 5. 落ち込まないようにするなど心の持ち方に気を付けている 6. ウォーキングや体操など適度な運動を心掛けている 7. 定期的に健診（人間ドックを含む）を受けている 8. お酒を控えている 9. タバコは吸わない 10. その他（ |) |
|--|---|

- (17) 高齢者に優しいまちづくりに向けてどのようなことが重要だと思いますか。
あてはまる選択肢、3つまで選んで○をつけてください。

- | |
|-------------------------------|
| 1. 介護予防の推進 |
| 2. 就労やボランティアなど活躍する場の確保 |
| 3. 生涯学習ができる場所 |
| 4. 地域活動など周囲との交流の場の確保 |
| 5. 子どもとの交流ができる機会の確保 |
| 6. 健康づくりの推進（各種検診、健康教室、健康相談など） |
| 7. 介助者が困ったときに相談できる人・機関 |
| 8. その他（ |

)

「都市基盤分野」

- (18) 伊勢崎市が持続可能な都市づくりを実現するために、都市基盤の整備においてはどのようなことが重要だと思いますか。
あてはまる選択肢、3つまで選んで○をつけてください。

- | | | |
|-------------------------------------|------------------|----------------|
| 1. 道路網の整備・充実 | 2. 公共交通の整備・充実 | 3. 上下水道の整備・充実 |
| 4. 商業施設の整備・充実 | 5. 工業施設の整備・充実 | 6. 公共施設の整備・充実 |
| 7. 福祉施設の整備・充実 | 8. 計画的な市街地の形成 | 9. 伊勢崎駅周辺地区の整備 |
| 10. 伊勢崎駅以外の鉄道駅周辺の整備 | 11. 良好な景観の形成及び保全 | |
| 12. 良好な居住環境や生産環境の形成につながる土地利用ルールの見直し | | |
| 13. コンパクトシティ（市街地のまとまり）の実現 | | |
| 14. その他（ | | |

)

「産業・観光分野」

- (19) これからの伊勢崎市の商業地のあり方に関してどのようなことが重要だと思いますか。
あてはまる選択肢、3つまで選んで○をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 駅周辺などの人々が集まる拠点における商業環境の充実を図る |
| 2. 商店街など地域にある身近な商業施設を活性化させる |
| 3. 国道など幹線道路沿いなどに利便性の高い商業施設を誘致する |
| 4. 既存の大型ショッピングモールの周辺を活性化させる |
| 5. 徒歩や自転車で買い物できる身近な生活圏への店舗の立地 |
| 6. 現状のままでよい |
| 7. 特にない |
| 8. その他（ |

)

「安心安全分野」

- (20) 災害に強いまちづくりを推進するためにはどのようなことが重要だと思いますか。
あてはまる選択肢、3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. インフラの整備（耐震化など） | 2. 地域での避難・見守り体制の構築 |
| 3. 避難行動要支援者の支援体制の充実 | 4. 避難所の環境整備の充実 |
| 5. デジタルを活用した防災情報の提供 | 6. 防災教育の充実 |
| 7. 市民を対象とした避難訓練の実施 | 8. 他自治体との災害協定 |
| 9. その他（ | |

)

「環境分野」

(21) これからの環境のために、どのようなことが重要だと思いますか。
あてはまる選択肢、3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. ごみ減量及びリサイクルの推進 | 2. 気候変動・地球温暖化への対策 |
| 3. 大気汚染等の公害対策 | 4. 自然環境の保全 |
| 5. 公園や街路樹など緑の創出 | 6. ごみ等の不法投棄への対策 |
| 7. 公共交通や自転車利用の促進 | 8. その他 () |

「教育分野」

(22) 小・中学校の教育において、どのようなことが重要だと思いますか。
あてはまる選択肢、3つまで選んで○をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 学校施設の整備（校舎や体育館など） |
| 2. 不登校や非行・いじめ問題などへの対応 |
| 3. 特別な配慮が必要な子どもへの支援 |
| 4. 一人ひとりの学力や興味に応じた教育 |
| 5. 文化活動やスポーツ活動の充実 |
| 6. 心の教育の充実（道徳や体験活動など） |
| 7. キャリア（将来の進路や職業について考えさせる）教育 |
| 8. 英語教育や国際理解等を重視した教育 |
| 9. ICT技術を活用した授業やICTに関する正しい知識の習得 |
| 10. 地域の人による学校生活への支援 |
| 11. その他 () |

「生涯学習・スポーツ・文化分野」

(23) 市民の生涯学習やスポーツ・文化を推進するために、どのようなことが重要だと思いますか。あてはまる選択肢、3つまで選んで○をつけてください。

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 生涯学習やスポーツに関する普及啓発 |
| 2. 市民ニーズに合った講座や教室の開催 |
| 3. 公民館、体育館等の施設予約の利便性の向上 |
| 4. 図書館等の蔵書（本、DVD等）の充実 |
| 5. 気軽に立ち寄ることができる学習の場の充実 |
| 6. グループやサークルでの学習活動のための場（公民館等）の充実 |
| 7. 学習した成果を発表する場の充実 |
| 8. コンサートや文化講演などを開催できる場所の充実 |
| 9. 好きな時に体を動かせる運動施設（公園や遊歩道等）の充実 |
| 10. グループやサークルでの体育活動のための場（体育館や広場等）の充実 |
| 11. 著名なアーティストによる公演の開催 |
| 12. その他 () |

「協働・共生分野」

(24) 市民と行政が協働してまちづくりを行う上で、どのようなことが重要だと思いますか。
あてはまる選択肢、3つまで選んで○をつけてください。

1. 市民と行政との交流や意見交換する機会をつくる
2. 各種計画策定時における市民の参加機会を増やす
3. 市民が活動するための拠点施設を整備する
4. まちづくりの中心となる担い手、人材を育成・発掘する
5. 市民が活動する際の金銭面の支援をする
6. 市民活動に関するサポートを充実する
7. 事業者や教育機関との連携による取り組みを増やす
8. その他 ()

(25) 日本人と外国人が共生してまちづくりを行う上で、どのようなことが重要だと思いますか。あてはまる選択肢、2つまで選んで○をつけてください。

1. 日本人、外国人双方に対し多文化共生に関する意識啓発や国際理解を推進する
2. お互いの文化を知るために、交流イベントなどの開催を増やす
3. お互いに尊重しあい生活習慣や文化の違いについて理解を深める
4. 外国人に対する相談体制や情報提供を充実する
5. 差別意識や偏見を持たないようにする
6. その他 ()

「行財政分野」

(26) 行政のサービスは市民の皆様の税金や利用料でまかなわれています。行政サービスとその負担について、今後どのようにすべきだと思いますか。
あてはまる選択肢、1つを選んで○をつけてください。

1. 市民全体の負担を増やして、行政サービスを充実させていくべきである
2. 行政サービスによって特別の利益を受ける人（利用する人）の負担を増やすべきである
3. 負担が増えるのであれば、サービスの充実は必要ない
4. 今のままの負担とサービスでよい
5. 行政サービスを見直し、市民の負担を減らしていくべきである
6. 利用状況などバランスを見て対応していくべきである
7. その他 ()

(27) 市の職員に必要とされているものについて、あなたはどのように思いますか。以下の各項目について、あなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

設問項目	選択肢				
	必要である	ある程度必要である	いどちらともいえない	あまり必要でない	必要でない
<記入例>	⑤	4	3	2	1
職員の熱意、熱心さ、元気さ	5	4	3	2	1
市民、地域、企業との連携、コミュニケーション力	5	4	3	2	1
チャレンジ精神、改革力、先見性	5	4	3	2	1
企画立案能力、専門知識	5	4	3	2	1
倫理観、公平、責任感	5	4	3	2	1
コスト意識、経営感覚	5	4	3	2	1
仕事へのスピード感、臨機応変さ	5	4	3	2	1
市民目線、信頼感	5	4	3	2	1
課題発見・解決力	5	4	3	2	1
情報発信力	5	4	3	2	1

(28) 市からの情報は主に何によって知りますか。
 あてはまる選択肢、3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 広報いせさき 2. 「広報いせさき」以外の市の刊行物 3. 伊勢崎市のホームページ（PC等） 4. 伊勢崎市のモバイルサイト（スマートフォン・携帯電話等） 5. いせさき情報メール 6. ソーシャルメディア公式アカウント（フェイスブック・ツイッター） 7. 市役所の窓口から直接 8. 知人・友人 9. 公共施設におけるポスターやチラシ 10. 新聞・テレビ・ラジオ 11. 区・自治会の回覧・掲示板 12. その他（ |) |
|---|---|

「現在の市のイメージ・愛着」

(29) あなたは伊勢崎市に愛着を感じていますか。

あてはまる選択肢、1つを選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 愛着を感じている | 2. やや愛着を感じている |
| 3. どちらともいえない | 4. あまり愛着を感じていない |
| 5. 愛着を感じていない | |

(30) あなたは、現在の伊勢崎市にどんなイメージを持っていますか。

あてはまる選択肢、3つまでを選んで○をつけてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち |
| 2. 高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち |
| 3. 医療や保健衛生が充実しているまち |
| 4. 防災・防火・救急・防犯・交通安全などが整備され、安心して暮らせるまち |
| 5. 快適な街並みや美しい都市景観に満ちたまち |
| 6. 住宅・公園・道路・公共交通などが整備され、便利で快適に暮らせるまち |
| 7. 脱炭素・循環型社会を目指したまち |
| 8. 花や緑に恵まれた自然と調和したまち |
| 9. 教育・文化環境が整い、スポーツやレクリエーション活動が盛んなまち |
| 10. 歴史や伝統を大切にするまち |
| 11. 産業が盛んで働く場所が多いまち |
| 12. 買い物やグルメが楽しめるまち |
| 13. その他 () |

「将来望む市の姿」

(31) あなたは、将来の伊勢崎市がどんな市になって欲しいですか。

あてはまる選択肢、3つまでを選んで○をつけてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち |
| 2. 高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち |
| 3. 医療や保健衛生が充実しているまち |
| 4. 防災・防火・救急・防犯・交通安全などが整備され、安心して暮らせるまち |
| 5. 快適な街並みや美しい都市景観に満ちたまち |
| 6. 住宅・公園・道路・公共交通などが整備され、便利で快適に暮らせるまち |
| 7. 脱炭素・循環型社会を目指したまち |
| 8. 花や緑に恵まれた自然と調和したまち |
| 9. 教育・文化環境が整い、スポーツやレクリエーション活動が盛んなまち |
| 10. 歴史や伝統を大切にするまち |
| 11. 産業が盛んで働く場所が多いまち |
| 12. 買い物やグルメが楽しめるまち |
| 13. その他 () |

(32) 伊勢崎市が若い世代（20代～30代）にとって魅力的なまちになるために、重要だと思うことは何ですか。あてはまる選択肢、3つまで選んで○をつけてください。

1. 起業家支援、魅力ある雇用
2. 特色ある農畜産業の充実
3. 多くの集客が見込まれる祭りなど誇れるイベントの開催
4. 緑あふれる落ち着いた生活環境の整備
5. スポーツなどによる健康づくり
6. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）
7. 若者のまちづくりへの参画
8. 手ごろな価格での住宅の購入
9. 活気あふれる中心市街地
10. 買い物や交通など便利で快適に暮らせる環境づくり
11. 充実した医療・福祉
12. 充実した教育・子育て環境
13. その他（)

(33) あなたはどの社会情勢を重視して行政運営を行っていくべきだと考えますか。あてはまる選択肢、3つまで選んで○をつけてください。

1. 少子高齢化と人口減少の更なる進行
2. 経済の低迷と雇用環境の悪化
3. DX（※1）の推進とSociety5.0（※2）の到来
4. 多文化共生の実現
5. 安全で持続可能な都市基盤の形成
6. 安心して生活できる環境の実現
7. 持続可能な行財政基盤の確立と行財政改革の推進
8. SDGs（持続可能な開発目標）の推進
9. カーボンニュートラル（脱炭素社会）の実現

※1 DX（デジタルトランスフォーメーション）

デジタル技術とデータの活用が進むことによって、社会・産業・生活のあり方が根本から革命的に変わること。また、その革新に向けて産業・組織・個人が大転換を図ること。

※2 Society5.0

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会のこと。例えば、人工知能（AI）により、必要な情報が必要なときに提供されるようになり、ロボットや自動走行車などの技術で、少子高齢化、地方の過疎化、貧富の格差などの課題が克服されます。

(34) 新型コロナウイルス感染症拡大によって、生活スタイルが変化する中、今後重要だと思うことは何ですか。あてはまる選択肢、3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. キャッシュレス決済 | 2. テレワークなど新しい働き方 |
| 3. 安心して飲食できる環境 | 4. オンライン診療 |
| 5. デジタルを活用した教育の充実 | 6. バーチャルでの観光・文化・スポーツ体験 |
| 7. 非接触型の会議・イベントの開催 | 8. 市役所などの手続きのオンライン化 |
| 9. その他 (|) |

「将来不安なこと」

(35) 将来人口減少、少子高齢化が見込まれる中、10～15年先を見据え不安に感じることは何ですか。あてはまる選択肢、3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|---|
| 1. 働き手の不足による産業の衰退 | |
| 2. 公共施設の老朽化（それに伴う廃止） | |
| 3. 利用者減少によるバス等の公共交通の縮小・廃止 | |
| 4. 商店の減少（買い物等の不便） | |
| 5. 医療や介護の担い手不足 | |
| 6. 道路や都市基盤の整備の遅れ | |
| 7. 地域住民同士の関係の希薄化 | |
| 8. 空き家・空き地の増加 | |
| 9. 小中学校の統廃合 | |
| 10. 文化・芸術などの継承者の不足 | |
| 11. 農家の担い手不足による耕作放棄地の増加 | |
| 12. 市の財政の悪化（公的サービスの縮小） | |
| 13. 自身または家族の介護 | |
| 14. 自分を支えてくれる家族等の不在 | |
| 15. その他 (|) |

自由意見欄

市に対するご意見・ご要望・ご提案等がございましたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れてご投函ください（切手は不要です）。